

EPSON

取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-L890E	EB-L690E
EB-L895E	EB-L890U
EB-L795SE	EB-L790U
EB-L690SE	EB-L790SU
EB-L695SE	EB-L690U

マニュアル中の表示の意味 8

マニュアルの使い方と情報の探し方 10

- キーワードで検索する 10
- しおりから直接ジャンプする 10
- 必要なページだけ印刷する 10

ドキュメント類の最新バージョンを入手する 11

機能一覧表 12

プロジェクターを使用する前に 16

本機の特長 17

- かんたん設定 17
- 4Kエンハンスメントテクノロジーで多くの情報を鮮明でシャープに投写 17
- かんたん、便利なマルチプロジェクション設定 17
- 多様な環境で設置可能 17
- らくらく無線投写 17
- Appleデバイスとの連携 19
- 環境への配慮 19

プロジェクターの各部名称と働き 20

- プロジェクターの各部名称 - 前面/上面 20
- プロジェクターの各部名称 - 背面 21
- プロジェクターの各部名称 - 底面 22
- プロジェクターの各部名称 - インターフェイス 23
- プロジェクターの各部名称 - 操作パネル 24
- プロジェクターの各部名称 - リモコン 25

プロジェクターを準備する 27

プロジェクターの設置 28

- 輸送に関するご注意 30
- プロジェクターの設置・取り付け 30

- 設置に関するご注意 30
- 投写距離 32

セーフティーワイヤーを取り付ける 33

- 天吊り金具ELPMB22をお使いのとき 33
- 天吊り金具ELPMB30をお使いのとき 34

プロジェクターを接続する 37

- コンピューターを接続する 37
 - HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する 37
- ビデオ機器を接続する 37
 - HDMIケーブルでビデオ機器と接続する 38
- USB機器を接続する 38
 - USB機器のデータを投写する 38
 - USB機器を接続する 39
 - USB機器を取り外す 39
- 書画カメラを接続する 40
- HDBaseTトランスミッターの接続 40
- 外部機器を接続する 40
 - HDMIモニターを接続する 41
 - 外部スピーカーを接続する 41

複数台のプロジェクターを接続する 43

- デ이지チェーン接続で同じ映像を投写する 43

ケーブルカバーを取り付ける 45

リモコンに電池を取り付ける 46

- リモコンを操作する 47

プロジェクターの基本機能を使用する 48

プロジェクターの電源を入れる 49

- ホーム画面設定 50

プロジェクターの電源を切る 52

日時を設定する 53

メニューの言語を選択する 55

設置モードを選択する	56
リモコンで設置モードを変更する	56
メニューから設置モードを変更する	56
スクリーンタイプを設定する	58
映像の位置を調整する（スクリーン位置）	58
映像の水平位置を調整する（画面シフト）	59
映像の位置を調整する（レンズシフト）	61
テストパターンを表示する	62
映像の高さを調整する	63
映像の形状を補正する	64
タテヨコ台形補正で映像のゆがみを補正する	64
Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	65
曲面補正モードで映像のゆがみを補正する	68
コーナー補正モードで映像のゆがみを補正する	70
ポイント補正モードで映像のゆがみを補正する	73
保存したメモリーを呼び出す	75
ズームリングで映像の大きさを調整する	77
フォーカスリングで映像のピントを調整する	78
フォーカスリングで映像のピントを調整する（センター/コーナ ー）	79
映像を切り替える	80
映像のアスペクト比を設定する	82
映像のアスペクト比を切り替える	82
アスペクトモードの種類	83
映像を最適化する（カラーモード）	84
カラーモードを変更する	84
カラーモードの種類	84
映像の光量を調整する	86
映像の色合いを調整する	87

色相、彩度、明度を調整する	87
ガンマを調整する	88
映像の解像感を調整する	90
明るさを設定する	92
光源の使用時間	93
音量ボタンで音量を調整する	95
プロジェクターの便利な機能	96
HDMIリンク機能	97
HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する	97
2つの映像を同時に投写する	99
画面分割投写できる入力ソース	100
画面分割投写中の制限事項	101
PC Free機能で投写する	102
サポートファイル形式	102
PC Free使用時の注意事項	103
PC Freeのスライドショーを開始する	103
PC Freeで動画を投写する	104
PC Freeの表示オプション	105
コンテンツ再生モードで投写する	107
サポートファイル形式	107
コンテンツ再生モードに切り替える	108
プレイリストを再生する	108
Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する	109
映像に効果を加える（エフェクト機能）	111
コンテンツ再生モードの制限事項	113
映像と音声を一時的に遮断する	114
映像を一時的に停止する	115
音声を一時的に遮断する（ミュート）	116
画面の一部を拡大表示する（Eズーム）	117

ユーザーロゴを設定する	118
プロジェクターの設定をメモリーに保存する	120
映像の詳細設定を行う	122
色味を調整する（ユニフォーミティー）	122
光源キャリブレーションを実行する	123
マルチプロジェクション機能	125
カメラ補正機能の条件	125
手順概要	125
マルチプロジェクションの事前準備	126
プロジェクターの接続	126
プロジェクターの初期化	126
プライマリープロジェクターの選定	127
プロジェクターの補正	127
プロジェクターの設置	127
投写画面の粗調整	127
プロジェクターのネットワーク接続	128
投写画面の合成	128
Epson Projector Professional Toolとオプションのカメラを使ったブレンディ ング	129
タイリング（プロジェクターのメニューで調整するとき）	129
オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング（プロジェク ターのメニューで調整するとき）	133
Epson Projector Professional Toolとオプションのカメラを使ったスタッキ ング	134
シンプルスタッキング（プロジェクターのメニューで調整するとき）	135
スタッキング&ブレンディング（Epson Projector Professional Toolで調整す るとき）	135
色の調整	136
外付けカメラを使用する	137
オプションのカメラの接続	137
セキュリティ機能	139
パスワードプロテクトの種類	139
パスワードの設定	139
パスワードプロテクトの種類を設定する	140
パスワードを入力する	141

操作パネルのボタン操作を制限する	142
操作ボタンロックを解除する	143
リモコンのボタン操作を制限する	143
セキュリティケーブルを取り付ける	143

ネットワーク上のプロジェクターを使用する 145

有線LANでの映像投写 146

有線LANに接続する	146
有線LANを設定する	146

無線LANでの映像投写 150

内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために	150
無線LANユニットを取り付ける	151
さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法	151
プロジェクターの無線LANを設定する	152
Windowsで無線LANを設定する	155
Macで無線LANを設定する	155
無線LANのセキュリティを設定する（シンプルAPモード：オン）	155
無線LANのセキュリティを設定する（シンプルAPモード：オフ）	156
サポートするクライアント・CA証明書の一覧	158
QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する	158
USBキーを使って接続する（Windowsのみ）	159

モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Miracast） 161

Miracast設定を選択する	161
Miracast機能を使って接続する	163
Windows 10でMiracast接続する	163
Windows 11でMiracast接続する	164

AirPlayを使用する 165

AirPlayの設定をする	166
AirPlay接続でメディアをストリーミング/ミラーリングする	167

セキュアHTTP 169

メニューからWebサーバー証明書を設定する	169
サポートするWebサーバー証明書の一覧	170

画面共有 171

投写画面を共有する	171
画面共有を終了する	173
共有された画面を受信する	173

プロジェクターを監視および制御する 175

Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management 176

Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する 177

Web Controlのオプション設定	179

Webブラウザで証明書を設定する 187

メールでプロジェクターの異常を通知する 189

異常通知メールの見方	189

SNMPを使ってプロジェクターを監視する 190

ESC/VP21コマンドを使用する 192

ESC/VP21コマンドリスト	192
ケーブル配線	192

PJLinkについて 193

Crestron Connectedについて 194

Crestron Connectedを設定する	194

Web API 196

Web APIを有効にする	196

プロジェクターのイベントスケジュールを設定する 197

メニューの設定 200

プロジェクターメニューを操作する 201

ソフトキーボードを操作する 202

ソフトキーボードで入力可能な文字	202

画質メニュー 203

信号入出力メニュー 206

設置メニュー 208

マルチプロジェクションメニュー 210

表示メニュー 212

動作メニュー 214

待機モードで利用できる機能	217

管理メニュー 218

Event ID一覧	219

ネットワークメニュー 222

ネットワーク設定メニュー	223
ネットワーク設定 - 無線LANメニュー	225
ネットワーク設定 - 有線LANメニュー	227
ネットワーク設定 - メール通知メニュー	228
ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー	229
ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー	231

情報メニュー 233

メモリーメニュー 234

節電メニュー 235

初期・全体設定メニュー 236

メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能） 238

USBメモリーを使って一括設定する	238
コンピューターを使って一括設定する	239
一括設定でエラーが発生したときは	240

プロジェクターをメンテナンスする 242

プロジェクターのメンテナンス 243

レンズを清掃する 244

本機を清掃する 245

エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする 246

エアフィルターと吸気口を清掃する 246

エアフィルターを交換する 248

ファームウェアを更新する 250

USBストレージを使ってファームウェアを更新する 250

ネットワーク経由でファームウェアを更新する 252

困ったときに 254

トラブルの対処方法 255

インジケータの見方 256

ステータス表示を確認する 260

映像や音声に関するトラブル 261

映像が表示されない 261

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される 262

Windowsのノートパソコンから映像を出力する 262

Macのノートパソコンから映像を出力する 262

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される 262

映像の一部が表示されない 263

映像にノイズが入る、乱れる 263

映像がぼやける 264

映像がゆがむ 264

映像の明るさや色合いが違う 265

自動補正がうまくできない 265

シンプルスタッキングがうまくできない 266

シンプルブレンディングがうまくできない 266

映像に残像が残る（焼き付き） 267

音が出ない、小さい 267

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない 267

PC Freeで映像が投写できない 268

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル 269

電源が入らない、予期せず切れる 269

リモコンで操作できない 269

パスワードが入力できない 270

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される 270

ネットワークに関するトラブル 271

無線LAN認証できない 271

Webブラウザを使って設定を変更できない 271

異常が起きたときにメール通知されない 272

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる 272

Miracastで接続できない 272

Miracastの映像・音声乱れる 273

AirPlayで接続できない 273

AirPlayの映像・音声乱れる 273

共有画面を受信できない 273

コンテンツ再生モードに関するトラブル 275

HDMIリンクで操作できない 276

付録 277

オプション・消耗品一覧 278

スクリーン 278

設置用金具 278

無線LAN用オプション 278

外付けオプション 279

消耗品 279

スクリーンサイズと投写距離 280

対応解像度 288

本機仕様	289
接続端子	291
外形寸法図	292
Epson Projector Content Managerの対応機能	295
安全規格対応シンボルマークと説明	296
レーザー製品を安全にお使いいただくために	298
レーザー警告ラベル	298
一般のご注意	300
使用限定について	300
本機を日本国外へ持ち出す場合の注意	300
瞬低（瞬時電圧低下）基準について	300
JIS C 61000-3-2適合品	300
表記について	300
商標について	301
ご注意	301
著作権について	302

マニュアル中の表示の意味

安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

注意	注意して取り扱わないと、本製品の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニューや設定の名称を示しています。 例： [映像調整] メニューを選択する  [映像調整] > [カラーモード]
▶▶	関連事項を記載しているページを示しています。
	プロジェクターのメニューの階層を示しています。

▶▶ 関連項目

- ・「マニュアルの使い方と情報の探し方」 [p.10](#)

- 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピュータのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

▶ 関連項目

- 「キーワードで検索する」 p.10
- 「しおりから直接ジャンプする」 p.10
- 「必要なページだけ印刷する」 p.10

キーワードで検索する

[編集] メニューの [高度な検索] をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、[検索] をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

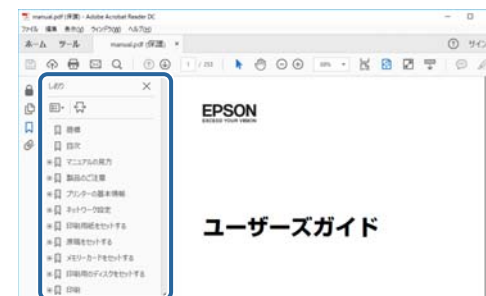


しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。[+] または [>] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windowsの場合： [Alt] キーを押したまま←キーを押します。

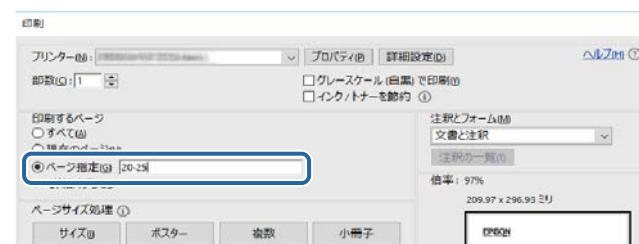
- Mac OSの場合： commandキーを押したまま ←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの [印刷] をクリックして、[印刷するページ] の [ページ指定] で印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例：5, 10, 15



説明書や仕様書の最新バージョンは、EPSONのWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/lcp/doc/にアクセスし、機種名を入れてください。

機能一覧表

各機種がサポートする機能は以下のとおりです。サポートする機能は「✓」で示しています。

	EB-L890E/EB-L895E	EB-L795SE	EB-L690SE/EB-L695SE	EB-L690E	EB-L890U	EB-L790U	EB-L790SU	EB-L690U
有線LAN	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
無線LAN（内蔵）	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓
無線LAN（オプション）	-	-	✓	-	-	-	-	-
サポートEAP形式：PEAP、EAP-TLS	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓
サポートEAP形式：PEAP、PEAP-TLS、EAP-TLS、EAP-Fast	-	-	✓	-	-	-	-	-
AirPlay	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓
Miracast	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓
HDMI1/HDMI2端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDMI Out端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
HDBaseT 端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
LAN端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
USB-A端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
USB-B端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Audio Out端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
RS-232C端子	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
レンズカバー	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
スピーカー	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓

	EB-L890E/EB-L895E	EB-L795SE	EB-L690SE/EB-L695SE	EB-L690E	EB-L890U	EB-L790U	EB-L790SU	EB-L690U
レンズシフトダイヤル（上下/左右）	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ズームリング	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
フォーカスリング	✓	-	-	✓	✓	✓	-	✓
フォーカスリング（センター）	-	✓	✓	-	-	-	✓	-
フォーカスリング（コーナー）	-	✓	✓	-	-	-	✓	-
書画カメラ（オプション）	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
確認音（電源オン/オフ時）	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
日付&時刻設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
スケジュール設定	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
PC Free	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
一括設定（USBメモリー）	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
一括設定（USBケーブル）	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ユーザーロゴ保護	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ネットワーク保護	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
スケジュール保護	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Epson iProjection	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Epson Projector Management/ Epson Projector Management Connected	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Epson Projector Professional Tool	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Epson Projector Content Manager	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Epson Creative Projection	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Epson Projector Config Tool	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

	EB-L890E/EB-L895E	EB-L795SE	EB-L690SE/EB-L695SE	EB-L690E	EB-L890U	EB-L790U	EB-L790SU	EB-L690U
Epson Web Control	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
メール通知	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
SNMP	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
セキュアHTTP (HTTPS)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ESC/VP21 コマンド	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
ESC/VP.net (Ver. 2.0)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Web API	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
PJLink	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Crestron Integrated Partner	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Extron IP Link	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Extron XTP	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
AMX Device Discovery	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Control4 Simple Device Discovery Protocol	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
Crestron Connected	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
4Kエンハンスメント	✓	✓	✓	✓	-	-	-	-
USB-A (5V==900mA) 端子を使ってファームウェアを更新 (USBメモリー)	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
USB-A (5V==2.0A) 端子を使ってファームウェアを更新 (USBメモリー)	-	-	✓	-	-	-	-	-
ファームウェア更新 (USBケーブル)	-	-	✓	-	-	-	-	-

	EB-L890E/EB-L895E	EB-L795SE	EB-L690SE/EB-L695SE	EB-L690E	EB-L890U	EB-L790U	EB-L790SU	EB-L690U
ファームウェア更新（ネットワーク）	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓
無線LAN診断	-	-	✓	-	-	-	-	-
Wireless LAN system (Wi-Fi6)	✓	✓	-	✓	✓	✓	✓	✓
Wireless LAN system (Wi-Fi4/5)	-	-	✓	-	-	-	-	-
自動構成	-	-	✓	-	-	-	-	-
一時アドレスの使用	-	-	✓	-	-	-	-	-

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- 「本機の特長」 [p.17](#)
- 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.20](#)

本機は、用途に合わせたさまざまな機能を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- 「かんたん設定」 [p.17](#)
- 「4Kエンハンスメントテクノロジーで多くの情報を鮮明でシャープに投写」 [p.17](#)
- 「かんたん、便利なマルチプロジェクション設定」 [p.17](#)
- 「多様な環境で設置可能」 [p.17](#)
- 「らくらく無線投写」 [p.17](#)
- 「Appleデバイスとの連携」 [p.19](#)
- 「環境への配慮」 [p.19](#)

かんたん設定

NFCの技術を使用して、プロジェクターの設定を簡単に行うことができます。

4Kエンハンスメントテクノロジーで多くの情報を鮮明でシャープに投写

- 4Kエンハンスメントテクノロジーで実現する高解像度により、WUXGA、Full HDを上回る多くの情報を表示できます。
- 高輝度により、明るい環境でも鮮明な映像を視聴できます。
- 3LCD技術が実現する高い色再現性により、色彩豊かな映像を体験できます。

かんたん、便利なマルチプロジェクション設定

- プロジェクターを複数台で使う時に、オプションの外付けカメラを装着することで、設置時や経年変化による輝度、色ばらつきを自動で補正できます。
- Epson Projector Professional Toolを使うことで、複数台のプロジェクターを短時間で効率的にセットアップして調整し、高度な幾何学歪み補正を実行できます。
- デイジーチェーン接続に対応しているので、分配器不要で同時投写できます。
- 4Kエンハンスメント画質でブレンディング機能を実行することにより、大画面・高画質を実現できます。

多様な環境で設置可能

- 軽量・コンパクトな筐体により、空間を圧迫することなく、きれいに設置することができます。
- 1.4倍以上のズームとレンズシフトにより、天井の凹凸や照明を避けて設置できます。数値は機種によって異なります。
- 投写比0.5以上により、短焦点でプロジェクターを設置できます。数値は機種によって異なります。

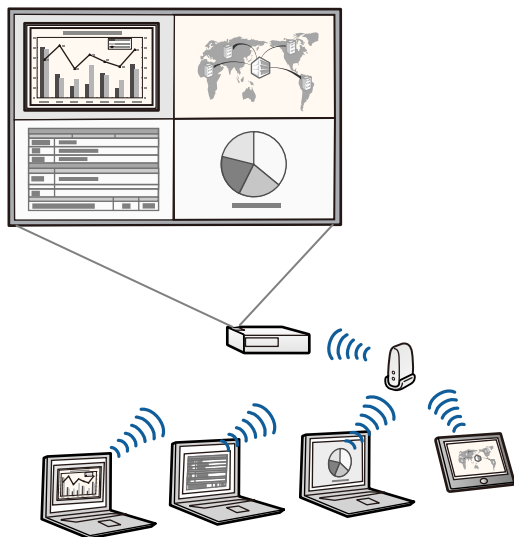
らくらく無線投写

- Miracastを使うと、Miracastに対応のモバイルデバイスと本機を無線で接続し、投写します。



- Epson iProjection（Windows/Mac）を使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピューターの画面や、Epson iProjectionがインストールされているスマートフォンやタブレット端末内のデータを投写できます。

詳しくは『Epson iProjection操作ガイド（Windows/Mac）』をご覧ください。



- 無線LAN経由で投写するときは、本機に無線LANユニットを取り付けてから無線LAN設定をしてください。

無線LANユニットが同梱されていない場合は、オプション品をお買い求めください。本機と同梱品は『かんたん操作ガイド』で確認できます。

- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です

- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

epson.jp/download

- Epson iProjection（iOS/Android）を使うと、本機とモバイルデバイスと無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google Playからダウンロードできます。



App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

- Epson iProjection（Chromebook）を使うと、本機とChromebookと無線で接続できます。Epson iProjectionは、Chromeウェブストアからダウンロードできます。



Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

▶▶ 関連項目

- 「有線LANでの映像投写」 [p.146](#)
- 「無線LANでの映像投写」 [p.150](#)
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Miracast）」 [p.161](#)
- 「機能一覧表」 [p.12](#)

Appleデバイスとの連携

- AirPlayを使うと、AirPlayに対応しているAppleデバイスを使って、本機でビデオや音楽、写真などのメディアをストリーミングできます。



Works with

Apple AirPlay



Works with

Apple Home

Use of the Works with Apple AirPlay badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Controlling this HomeKit-enabled accessory automatically and away from home requires a HomePod, HomePod mini, or Apple TV set up as a home hub. It is recommended that you update to the latest software and operating system.

環境への配慮

- 緩衝材にはパルプ成形品を使用し、プロジェクターの一部には再生プラスチックを使用しています。
- 消費電力削減機能を搭載して、環境負荷の低減を目指します。
- 長期間交換不要のエアフィルターを採用しています。

本機の各部名称とその働きについて説明します。

本書では断りがない限りEB-L890Eのイラストを用いて説明しています。

プロジェクターの各部の形状はお使いの機種によって異なります。



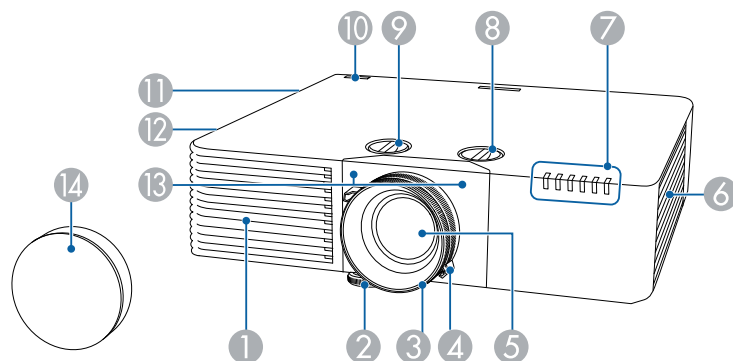
初めて使用するときは、プロジェクターから保護フィルムを取り外してください。

▶ 関連項目

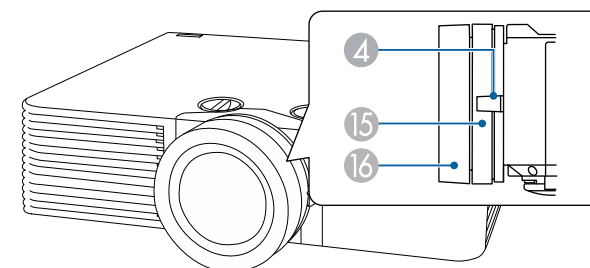
- ・「プロジェクターの各部名称 - 前面/上面」 [p.20](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - 背面」 [p.21](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - 底面」 [p.22](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - インターフェイス」 [p.23](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 [p.24](#)
- ・「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 [p.25](#)

プロジェクターの各部名称 - 前面/上面

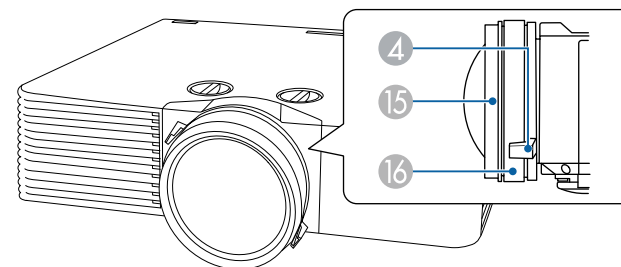
EB-L890E/EB-L895E/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L690U



EB-L795SE/EB-L790SU



EB-L690SE/EB-L695SE



名称		機能
①	吸気口	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
②	フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
③	フォーカスリング	映像のピントを調整します。
④	ズームリング	映像のサイズを調整します。
⑤	投写レンズ	ここから映像を投写します。
⑥	吸気口（エアフィルター）	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑦	インジケーター	本機の状態を表示します。

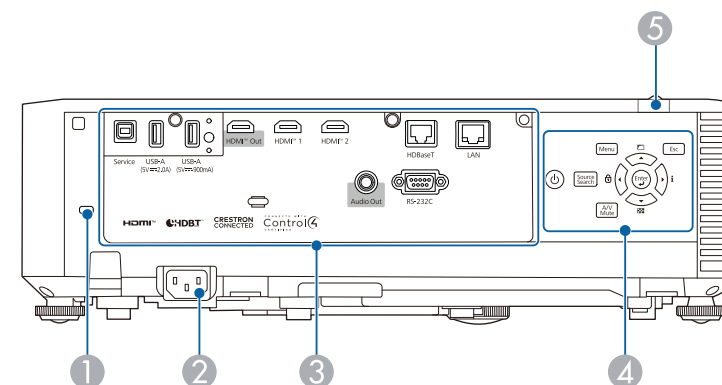
名称	機能
⑧ 上下レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を上下に移動します。
⑨ 左右レンズシフトダイヤル	ダイヤルを回して投写映像の位置を左右に移動します。
⑩ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑪ スピーカー	音声を出力します。
⑫ 排気口	本機内部を冷却した空气の吐き出し口です。 ⚠ 注意 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。
⑬ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑭ レンズカバー	本機を使用しないときに装着し、投写レンズを保護します。
⑮ フォーカスリング（センター）	投写映像のセンターのピントを合わせます。
⑯ フォーカスリング（コーナー）	投写映像のコーナーのピントを合わせます。

▶ 関連項目

- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.77](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.78](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する（センター/コーナー）」 [p.79](#)
- 「ケーブルカバーを取り付ける」 [p.45](#)
- 「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.61](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.256](#)

- 「リモコンを操作する」 [p.47](#)
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.246](#)

プロジェクターの各部名称 - 背面

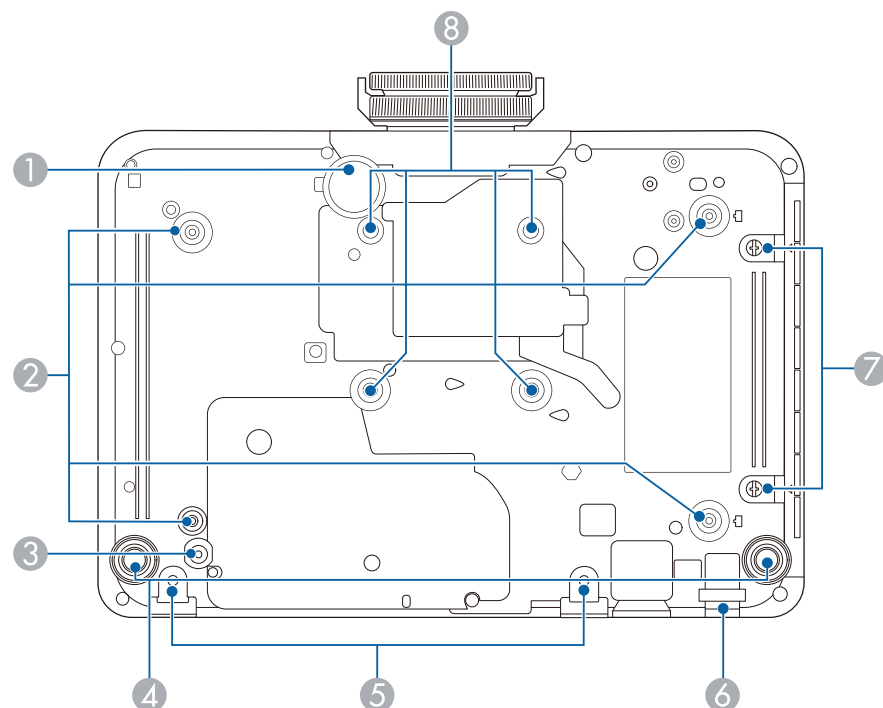


名称	機能
① セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。
② 電源端子	電源コードを接続します。
③ インターフェイス	外部機器を接続します。
④ 操作パネル	本機の操作をします。
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの各部名称 - インターフェイス」 [p.23](#)
- 「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.143](#)

プロジェクターの各部名称 - 底面



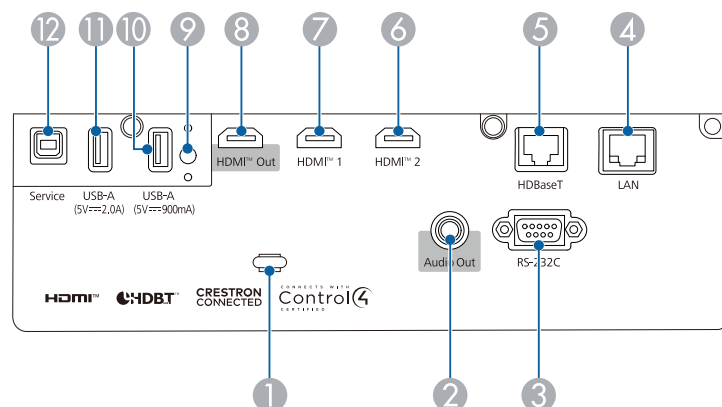
名称	機能
① フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
② 天吊り金具固定部 (4箇所)	本機を天井から吊り下げるときは、オプションの天吊り金具をすべての固定部を使用してここに取り付けます。
③ ワイヤークランプ固定部	オプションの天吊り金具を取り付けるときは、落下防止のため、カラビナをここに取り付けてセーフティーワイヤーを通します。

名称	機能
④ リアフット	机上に設置したときに、フットを伸縮させて映像の左右の傾きを調整します。
⑤ ネジ穴 (ケーブルカバー用)	オプションのケーブルカバーを固定するためのネジ穴です。
⑥ セキュリティーケーブル取付け部	市販の盗難防止用ワイヤーロックをこの部分に通して施錠します。 ⚠ 警告 セーフティーワイヤーをここに通さないでください。
⑦ エアフィルターカバー固定ネジ	エアフィルターカバーを固定するネジです。
⑧ 金具固定部 (4箇所)	壁や天井に取り付けるときは、VESA規格 (100 × 100 mm) に準拠した市販の金具をすべての固定部を使用してここに取り付けます。

▶ 関連項目

- 「セキュリティーケーブルを取り付ける」 [p.143](#)

プロジェクターの各部名称 - インターフェイス



名称	機能
① ケーブルホルダー	ケーブル類を固定するための市販の結束バンド（ケーブルタイ）を通します。
② Audio Out端子	投写中の入力ソースの音声を外部スピーカーに出力します。
③ RS-232C端子	RS-232Cケーブルを接続して、コンピューターから本機を制御します。（通常はこの端子を使用する必要はありません。）
④ LAN端子	LANケーブルを接続して、ネットワークに接続します。
⑤ HDBaseT端子	LANケーブルを接続して、オプションのHDBaseTトランスミッターに接続します。 この端子はHDCP2.3に対応しています。
⑥ HDMI2端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューターの信号を入力します。 この端子はHDCP2.3に対応しています。
⑦ HDMI1端子	

名称	機能
⑧ HDMI Out端子	複数台のプロジェクターを並べて、ひとつの大きな映像として投写するとき、HDMIケーブルで隣のプロジェクターのHDMI端子と接続します。 この端子はHDCP2.3に対応しています。
⑨ 無線LANユニット固定ネジ	無線LANユニットカバーを固定するネジです。（EB-L690SE/EB-L695SE）
⑩ USB-A（5V=900mA）端子	USB機器を接続して映像を投写します。 オプションの書画カメラを接続します。 無線LANユニットを取り付けます。 外付けカメラを接続します。 USBメモリーを接続して、エラーログや操作ログを保存します。 一括設定機能でメニュー設定をコピーするときや、ファームウェアを更新するときに使います。 ファームウェアの更新方法はお使いの機種によって異なります。詳細は、「機能一覧」をご覧ください。  本書では、USB-A（5V=900mA）とUSB-A（5V=2.0A）をまとめてUSB-A端子と表記しています。

名称	機能
⑪ USB-A (5V===2.0A) 端子	USB機器を接続して映像を投写します。 オプションの書画カメラを接続します。 外付けカメラを接続します。 USBメモリーを接続して、エラーログや操作ログを保存します。 一括設定機能でメニュー設定をコピーするときや、ファームウェアを更新するときに使います。 ファームウェアの更新方法はお使いの機種によって異なります。詳細は、「機能一覧」をご覧ください。
⑫ Service端子	一括設定機能でメニュー設定をコピーするときや、ファームウェアを更新するときに使います。ファームウェアの更新方法はお使いの機種によって異なります。詳細は、「機能一覧」をご覧ください。

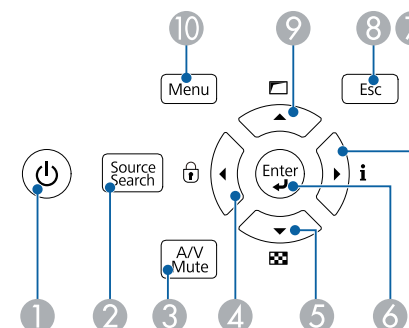


本書では、USB-A (5V===900mA) とUSB-A (5V===2.0A) をまとめてUSB-A端子と表記しています。

▶ 関連項目

- 「機能一覧表」 [p.12](#)
- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.238](#)
- 「ファームウェアを更新する」 [p.250](#)
- 「外付けカメラを使用する」 [p.137](#)
- 「複数台のプロジェクターを接続する」 [p.43](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.37](#)
- 「無線LANでの映像投写」 [p.150](#)

プロジェクターの各部名称 - 操作パネル



プロジェクター本体には（ ）内の名称が印字されています。

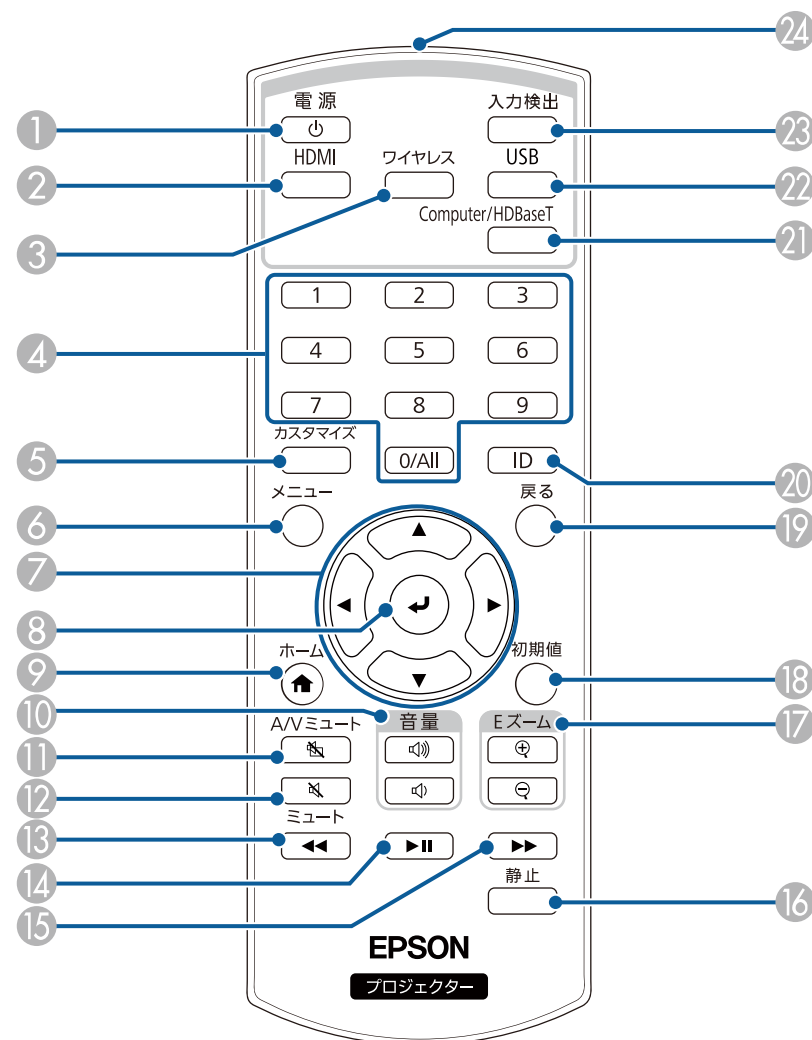
名称	機能
① 電源ボタン (⏻)	本機の電源をオン/オフします。
② 【入力検出】ボタン (Source Search)	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
③ 【A/Vミュート】ボタン (A/V Mute)	映像と音声を一時的に遮断します。
④ 左ボタン	操作ボタンロック画面を表示します。 メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑤ 下ボタン	テストパターンを表示します。 メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。

名称	機能
⑥ 【決定】 ボタン (↵) (Enter)	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑦ 右ボタン	情報画面を表示します。 メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑧ 【戻る】 ボタン (Esc)	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑨ 上ボタン	幾何学歪み補正画面を表示します。 メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑩ 【メニュー】 ボタン (Menu)	メニュー画面を表示/終了します。

▶ 関連項目

- ・ 「映像を切り替える」 p.80
- ・ 「メニューの設定」 p.200

プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	機能
① 電源ボタン (⏻)	本機の電源をオン/オフします。
② 【HDMI】 ボタン	HDMI1端子とHDMI2端子からの映像に切り替えます。
③ 【ワイヤレス】 ボタン	ネットワークで接続している他の機器からの映像に切り替えます。
④ 数字ボタン	メニュー内で数字を入力します。
⑤ 【カスタム】 ボタン	[管理] メニューの [カスタマイズボタン] で設定した機能を実行します。
⑥ 【メニュー】 ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑦ 上下左右ボタン	メニューの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑧ 【決定】 ボタン (↵)	メニューの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。
⑨ 【ホーム】 ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
⑩ 【音量】 上げ/下げボタン	スピーカーの音量を調整します。
⑪ 【A/Vミュート】 ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。
⑫ 【Mute】 ボタン	音声を一時的にオフにします。
⑬ 巻き戻しボタン	映像を巻き戻します。(AirPlayストリーミング/HDMI CEC用)
⑭ 一時停止/再生ボタン	映像を一時停止したり、再生したりします。(AirPlayストリーミング/HDMI CEC用)
⑮ 早送りボタン	映像を早送りします。(AirPlayストリーミング/HDMI CEC用)
⑯ 【静止】 ボタン	映像を一時停止/解除します。

名称	機能
⑰ 【Eズーム】 +/- ボタン	投写映像のサイズを調整します。
⑱ 【初期値】 ボタン	選択した設定を初期値に戻します。
⑲ 【戻る】 ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑳ 【ID】 ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
㉑ 【コンピューター/HDBaseT】 ボタン	HDBaseT端子からの映像に切り替えます。
㉒ 【USB】 ボタン	USB-A端子からの映像に切り替えます。
㉓ 【入力検出】 ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
㉔ リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶ 関連項目

- ・ 「映像を切り替える」 [p.80](#)
- ・ 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.107](#)
- ・ 「メニューの設定」 [p.200](#)
- ・ 「映像を最適化する (カラーモード)」 [p.84](#)
- ・ 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.82](#)
- ・ 「画面の一部を拡大表示する (Eズーム)」 [p.117](#)
- ・ 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.114](#)
- ・ 「2つの映像を同時に投写する」 [p.99](#)
- ・ 「ホーム画面設定」 [p.50](#)
- ・ 「映像を一時的に停止する」 [p.115](#)
- ・ 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.95](#)

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

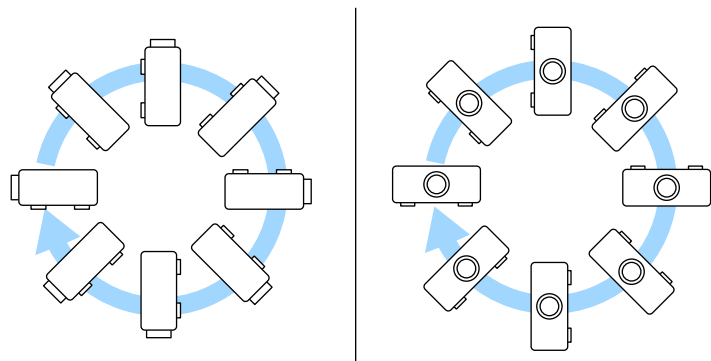
- 「プロジェクターの設置」 [p.28](#)
- 「セーフティーワイヤーを取り付ける」 [p.33](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.37](#)
- 「複数台のプロジェクターを接続する」 [p.43](#)
- 「ケーブルカバーを取り付ける」 [p.45](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.46](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

常に特定の位置に固定して使用する場合は、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

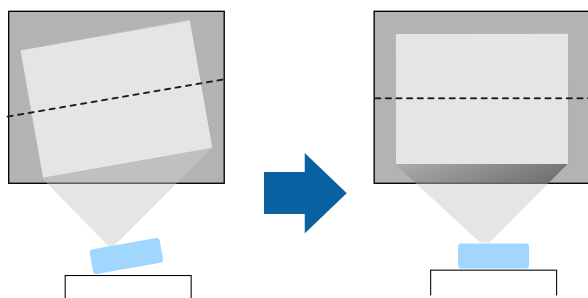
VESA規格（100×100 mm）に準拠した金具も使用できます。

本機はさまざまな角度で映像を投写できます。垂直、水平方向ともに設置角度に制限はありません。

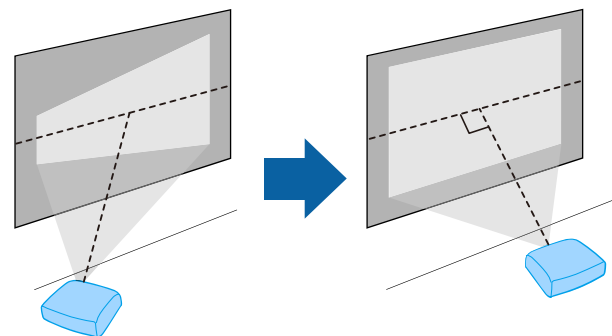


プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないください。
- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



⚠ 警告

- 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、プロジェクターが落下するおそれがあります。
- 天吊り金具とプロジェクターの取り付け不備は、プロジェクターの落下事故につながるおそれがあります。天吊り金具は、プロジェクターの取扱説明書で指定されている天吊り固定部すべてを使用して確実に固定してください。また、十分強度のあるワイヤーなどを使ってプロジェクターと金具を固定してください。本機に対応したエプソン指定の金具を使用してください。
- 湿気やホコリの多い場所や、油煙や湯気が当たる場所（調理場所、ご家庭のキッチン、加湿器の近くなど）にプロジェクターを設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、油によりプロジェクターの外装ケースが劣化し、天吊り設置したプロジェクターが落下するおそれがあります。

外装ケースの劣化・破損によりプロジェクターの落下が想定される環境例

- 油煙が多い場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- 溶剤、薬品が揮発している空間（工場、実験室など）
- 油、洗剤、薬品などが付着する場所（工場、調理場所、ご家庭のキッチンなど）
- アロマオイルを頻繁に焚く場所（リラクゼーションルームなど）
- イベント演出などのスモーク（油成分以外も含む）や、泡が多い場所（イベント演出装置の周辺など）
- 加湿器の近く

⚠ 警告

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- ホコリや塵の多い場所で使用・保管はしないでください。投写映像の品質が劣化したり、エアフィルターや投写レンズにホコリが詰まって、故障や火災につながる可能性があります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- 塩害が発生する場所や、温泉の硫黄ガスなどの腐食性ガスが発生する場所には設置しないでください。腐食による落下の原因となることがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

注意

- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[設置]メニューの[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
- 湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

▶ 関連項目

- 「輸送に関するご注意」 [p.30](#)
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.30](#)
- 「投写距離」 [p.32](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.64](#)

輸送に関するご注意

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

- 接続している機器はすべて取り外します。
- レンズシフトダイヤル（上下・左右）を回して、レンズをレンズシフト可動範囲の中心付近にします。
- 同梱のレンズカバーを取り付けます。
- 長距離を輸送するときや、運送業者に依頼されるときは、本機を緩衝材で保護し、頑丈な箱に入れて、精密機器であることを表記してください。
- 修理のため本機を輸送するときや、ご購入時の箱に入れるか、本機を緩衝材で保護してください。精密機器であることを表記してください。

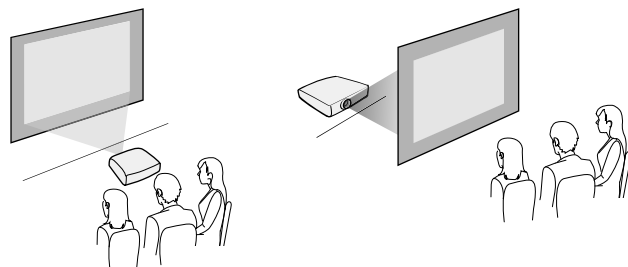


輸送中に発生したトラブルについては責任を負いかねますので、ご了承ください。

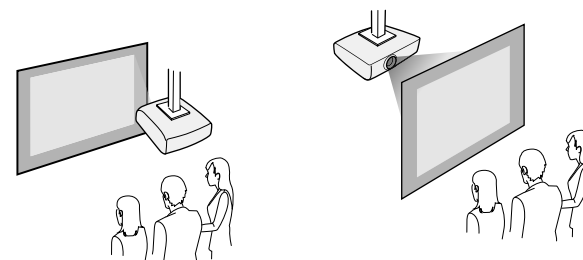
プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



設置する場所や方法に合わせて、[設置]メニューで[設置モード]を選択します。必要に応じて、[設置]メニューの[方向ボタン反転]と[表示]メニューの[メニュー回転]の設定を変更してください。

▶ 関連項目

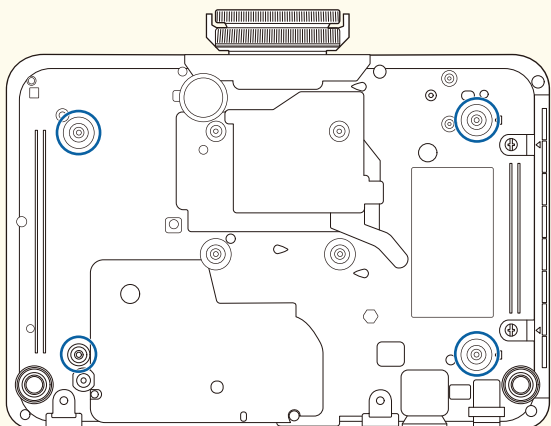
- 「設置に関するご注意」 [p.30](#)
- 「設置モードを選択する」 [p.56](#)

設置に関するご注意

設置の際には以下の点にご注意ください。

注意

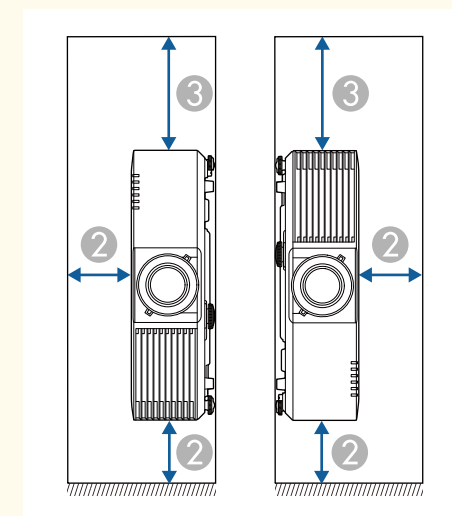
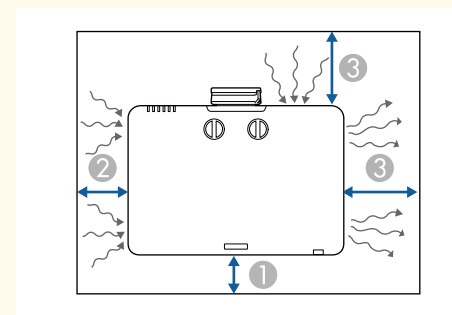
- 本機を傾けて設置する場合は、専門業者にご依頼のうえ、本機に対応した専用の設置用金具をお使いください。
- 正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- M4ネジ（最大深さ9 mm）を使って、本機底面の天吊金具固定部（4箇所）と設置用金具を固定してください。



設置スペース

注意

吸気口・排気口をふさがないように、本機の周辺には以下のスペースを確保してください。



① 10 cm

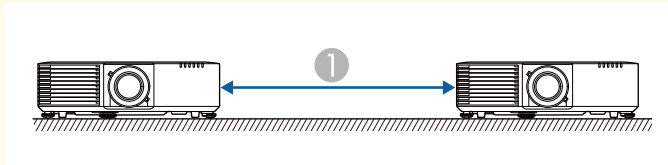
② 20 cm

③ 40 cm

設置スペース（複数台並べて設置するとき）

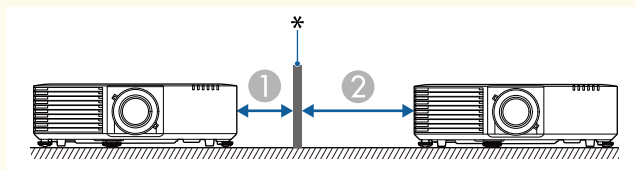
注意

- 本機を複数台並べて設置するときは、排気口から出た熱が他のプロジェクターの吸気口に入り込まないようにしてください。



① 150 cm

- 仕切りを置くときは、以下のスペースを確保してください。

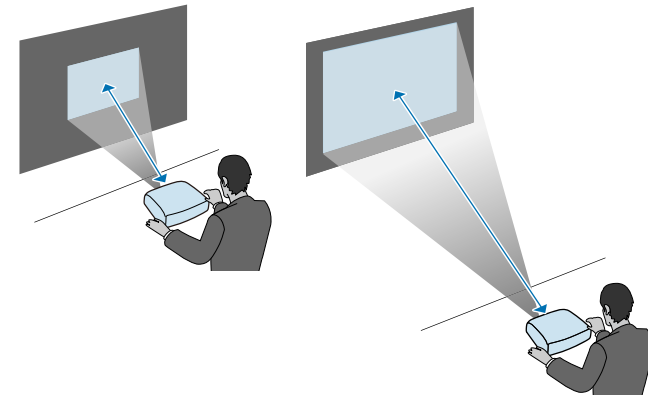


① 20 cm

② 40 cm

* 仕切り

スクリーンサイズと投写距離を参考にして、本機からスクリーンまでのおよその距離を決めてください。



▶ 関連項目

- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.280](#)

投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。
本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

本機を天吊り設置するときは、落下防止用のセーフティーワイヤーを取り付けます。

⚠ 警告

セーフティーワイヤーは、必ずエプソン純正の天吊り金具に同梱されているものをご使用ください。セーフティーワイヤーは、別途セーフティーワイヤーセットELPWR01としてもお買い求めいただけます。

注意

プロジェクターを逆さにして置くときは、レンズを傷つけないように、布などの緩衝材を下に敷いてください。（EB-L795SE/EB-L690SE/EB-L695SE/EB-L790SU）

▶ 関連項目

- ・「天吊り金具ELPMB22をお使いのとき」 [p.33](#)
- ・「天吊り金具ELPMB30をお使いのとき」 [p.34](#)

天吊り金具ELPMB22をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

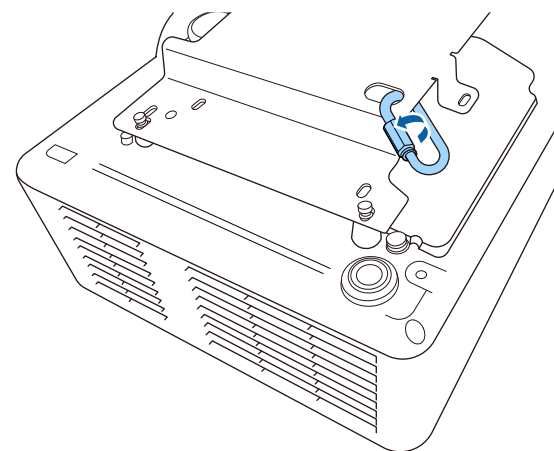
事前に天吊り金具（ELPMB22）が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- ・セーフティーワイヤー×1
- ・カラビナ×2
- ・ワイヤークランプ×1
- ・取付用ネジ（M4×10 mm）×1

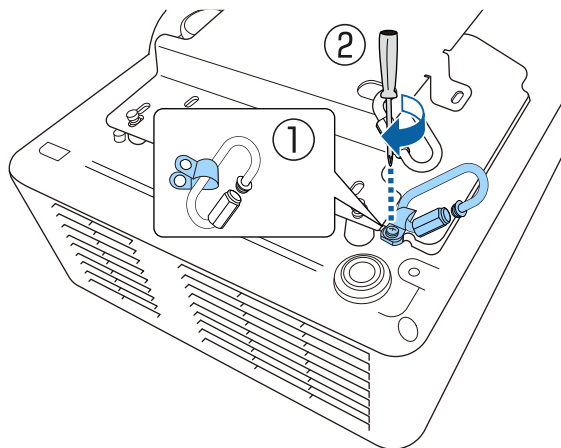


天吊り金具ELPMB22について詳しくは、『天吊り金具ELPMB22/ELPMB23取扱説明書』をご覧ください。

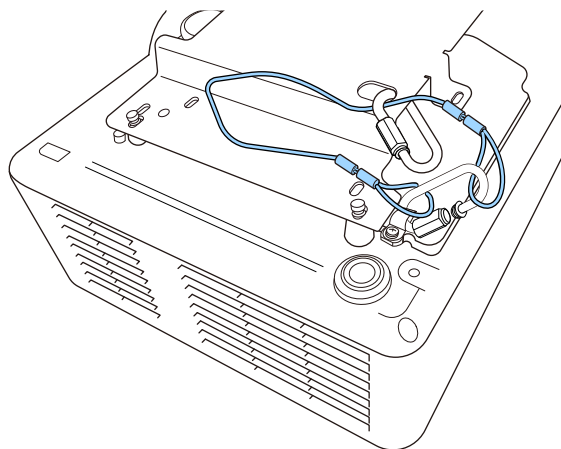
- 1 天吊り金具にカラビナを通して、カラビナを締めます。



- 2** もう一つのカラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部に取付用ネジで固定します。



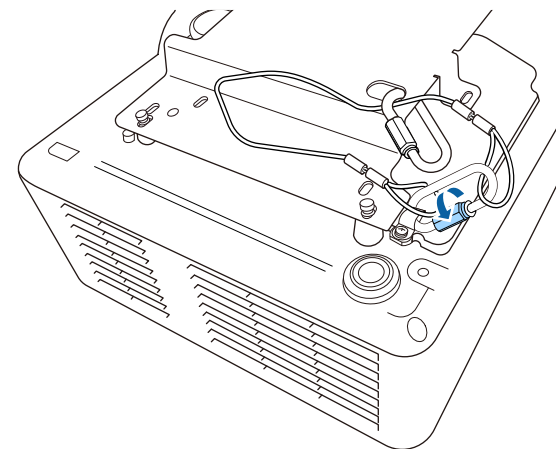
- 3** セーフティーワイヤーを天吊り金具側のカラビナに通して、両端をプロジェクター側のカラビナに取り付けます。



⚠ 警告

セーフティーワイヤーはセキュリティーケーブル取付け部には取り付けないでください。

- 4** カラビナを締めます。



天吊り金具ELPMB30をお使いのとき

以下の手順でセーフティーワイヤーを取り付けます。

事前に天吊り金具（ELPMB30）が確実に本機に取り付けられていること、また、セーフティーワイヤーセットの以下の同梱品がそろっていることを確認してください。

- セーフティーワイヤー × 1
- カラビナ × 2（ELPMB30で使用するカラビナは1つです。）
- ワイヤークランプ × 1
- 取付用ネジ（M4 × 10 mm） × 1

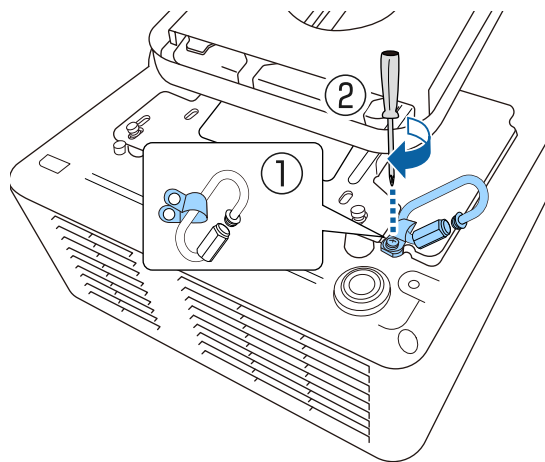
セーフティーワイヤーを取り付ける

35

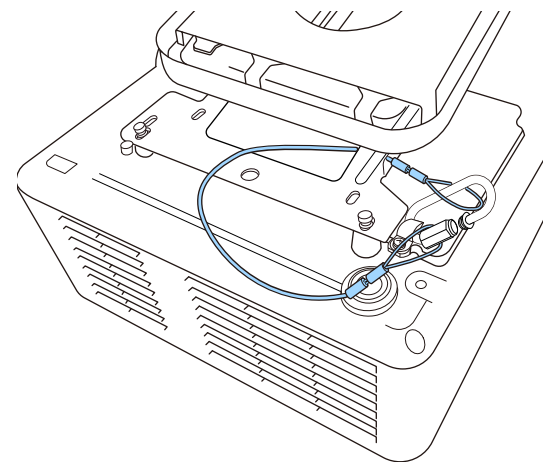


ELPMB30について詳しくは、『ELPMB30取扱説明書』をご覧ください。

- 1 カラビナにワイヤークランプを取り付け、ワイヤークランプをプロジェクターのワイヤークランプ固定部に取付用ネジで固定します。



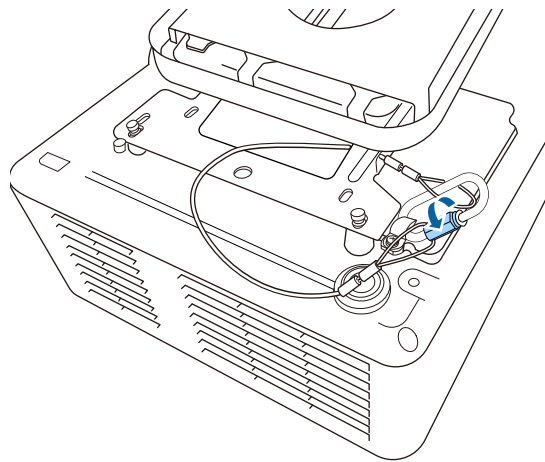
- 2 セーフティーワイヤーを天吊り金具に通して、両端をカラビナに取り付けます。



⚠ 警告

セーフティーワイヤーはセキュリティーケーブル取付け部には取り付けないでください。

3 カラビナを締めます。



プロジェクターと映像機器の接続方法を説明します。

注意

接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



本機に同梱されているケーブルは『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

▶ 関連項目

- 「コンピューターを接続する」 [p.37](#)
- 「ビデオ機器を接続する」 [p.37](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.38](#)
- 「書画カメラを接続する」 [p.40](#)
- 「HDBaseTトランスミッターの接続」 [p.40](#)
- 「外部機器を接続する」 [p.40](#)

コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

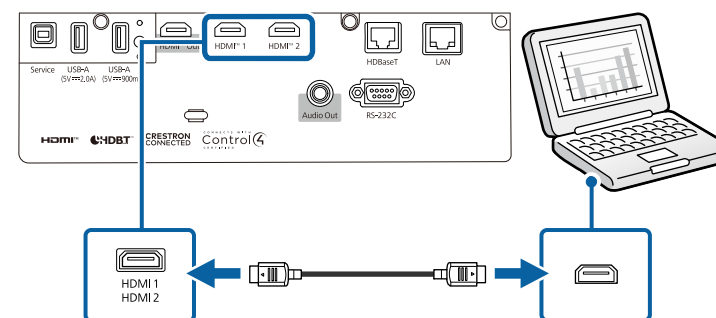
▶ 関連項目

- 「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.37](#)

HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。

- 1** コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



ビデオ機器を接続する

プロジェクターにビデオ機器を接続します。



- 4K 60Hz 4:4:4などの18 Gbps伝送帯域の信号を投写するときは、プレミアムハイスピードのHDMIケーブルをお使いください。適合していないケーブルを使用すると、正しく表示できないことがあります。
- 接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- 使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。
- 音声为正しく出力されないときは、[音声出力機器] の設定をご確認ください。
🔊 [信号入出力] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]

▶ 関連項目

- 「HDMIケーブルでビデオ機器と接続する」 [p.38](#)

HDMIケーブルでビデオ機器と接続する

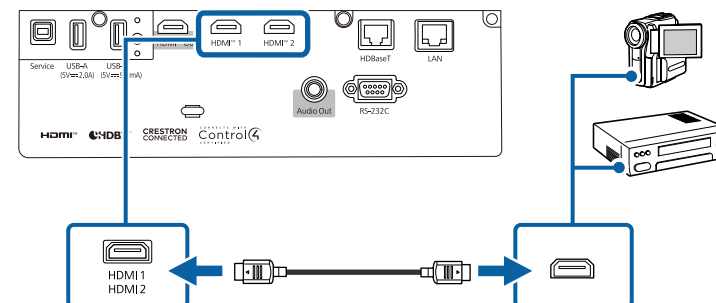
HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。機器の電源が入った状態で接続すると、プロジェクターの故障の原因となります。

- 1** ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

▶ 関連項目

- 「USB機器のデータを投写する」 [p.38](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.39](#)
- 「USB機器を取り外す」 [p.39](#)

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくてもUSB機器内の映像ファイルを投写できます。

- USBメモリー
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ



- デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - USBマストレージクラスに準拠していること（対応していないUSBマストレージクラスの機器もあります）
 - フォーマット形式がFAT16/32であること
 - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること（USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません）
 - MBRパーティションテーブル形式であること
 - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

コンテンツ再生モードでは、USBメモリーにプレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。

▶ 関連項目

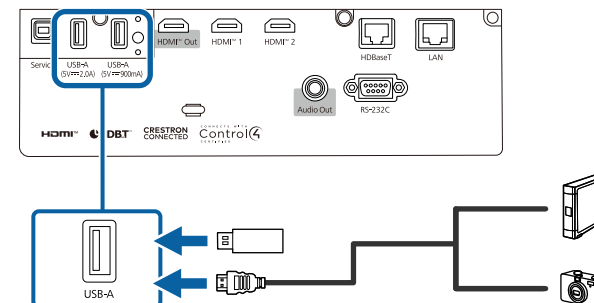
- 「PC Free機能で投写する」 [p.102](#)
- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.107](#)

USB機器を接続する

USB機器をプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1 USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。

- 2 本機のUSB-A端子にUSBケーブル（またはUSBメモリー）を接続します。



注意

- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

- 3 USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1 USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。
- 2 プロジェクターからUSB機器を取り外します。

書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

HDBaseTトランスミッターの接続

100Base-TXタイプのLANケーブルでHDBaseTトランスミッターを接続して、HDMI信号や制御用信号を長距離伝送できます。最長約100mのケーブルを使用できるので、ホールやイベント会場などで離れた場所から本機を制御したり信号を伝送したりするときに便利です。誤作動防止のために、カテゴリ5e以上のシールド付きSTPケーブル（ストレート）をお使いください。ただし、すべての入出力機器および環境において、動作を保証するものではありません。



- HDBaseT端子からEthernet通信やシリアル通信をするときは、[動作] メニューの [制御通信] を [オン] に設定してください。この設定時は、本機のLAN端子とRS-232C端子は無効になります。
☛ [動作] > [HDBaseT設定] > [制御通信]
- Extron社製のXTPトランスミッターまたはスイッチャーを使用するときは、本機のHDBaseT端子に接続します。[動作] メニューの [Extron XTP] を [オン] に設定してください。
☛ [動作] > [HDBaseT設定] > [Extron XTP]
- 本機で投写していないときに、本機を制御する場合は、[動作] メニューの [待機モード] を [ノーマル] に設定します。

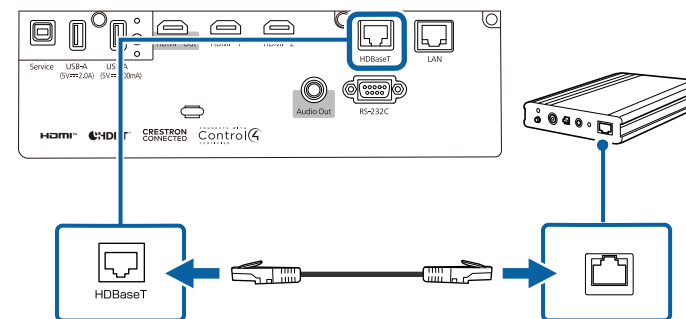
1 本機とHDBaseTトランスミッターの電源を切ります。



LANケーブルを抜き差しするときは、本機とHDBaseTトランスミッターの電源をオフにしてください。

2 LANケーブルをHDBaseTトランスミッターのHDBaseT端子に接続します。

3 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDBaseT端子に接続します。



接続方法について詳しくは、HDBaseTトランスミッターに添付の取扱説明書をご覧ください。

4 本機とHDBaseTトランスミッターの電源を入れます。

外部機器を接続する

プロジェクターに外部出力機器を接続します。

▶ 関連項目

- ・「HDMIモニターを接続する」 p.41
- ・「外部スピーカーを接続する」 p.41

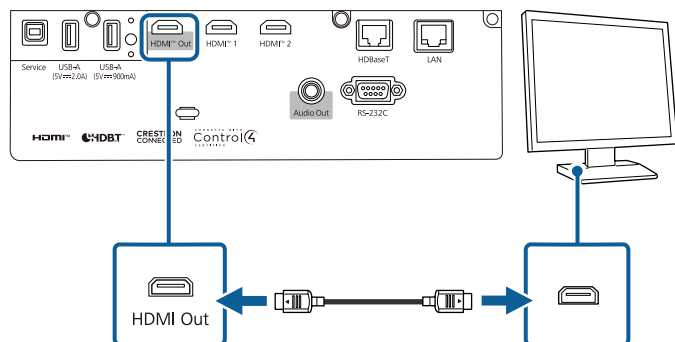
HDMIモニターを接続する

プロジェクターのHDMI Out端子にHDMIモニターを接続して、現在投写中の入力ソースの映像を表示できます。



- ・ プロジェクターとHDMIモニターの音声がずれて聞こえる場合は、プロジェクターまたはHDMIモニターのいずれかの音声をミュートしてください。
- ・ HDMIモニターに映像が表示されない場合は、[信号入出力]メニューの[EDID]設定をHDMIモニターの解像度に合わせます。
- ・ HDCP2.3に対応したHDMIモニターを使用してください。
- ・ すべての機器・製品に対応することを保証するものではありません。

- 1 HDMIモニターのHDMI入力端子にHDMIケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI Out端子に接続します。



外部スピーカーを接続する

外部スピーカーをプロジェクターに接続できます。本機のリモコンで音量を調整できます。

外部スピーカーから音声を出力するときは、[信号入出力]メニューの[音声出力機器]を[プロジェクター]に設定します。[音声出力機器]が[AVアンプ]に設定されていても、アンプが接続されていない場合は、音声は外部スピーカーから出力されます。

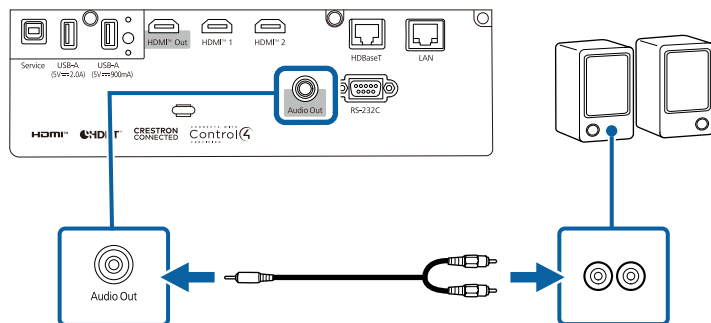
☛ [信号入出力] > [HDMIリンク] > [音声出力機器]



- ・ 本機の電源がオフの場合に外部スピーカーから音声を出力するときは、[動作]メニューで以下の項目を設定します。
 - ・ [待機モード] を [ノーマル] に設定する
 - ・ [待機時音声出力] を [オン] に設定する
- ・ スピーカー付きのアンプに本機を接続できます。
- ・ 外部スピーカーを接続しているときは、本機の内蔵スピーカーから音声は出力されません。

- 1 必要に応じてオーディオケーブル、ビデオケーブルを使用して、お使いのコンピューターやビデオ機器と本機が接続されていることを確認します。
- 2 ステレオミニプラグオーディオケーブル、またはその他のケーブル、アダプターなど、外部スピーカーに接続するケーブルを用意します。
- 3 必要に応じて、接続ケーブルを外部スピーカーに接続します。

- 4** 接続ケーブルのもう一方のコネクターを本機のAudio Out端子に接続します。



複数台の 프로젝ターを並べて、ひとつの大きな映像として投写できます。

複数の 프로젝ターを連結するには、デージーチェーン接続または分配器接続の2つの方法があります。デージーチェーン接続では4台まで接続できます。

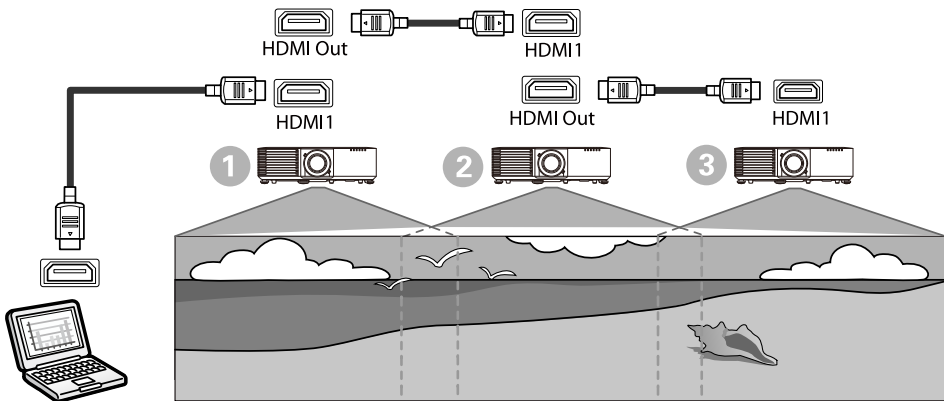
注意

本機を複数台設置するときは、排気口から出た熱が他の 프로젝ターの吸気口に入り込まないようにしてください。

▶ 関連項目

- 「デージーチェーン接続で同じ映像を投写する」 [p.43](#)
- 「設置に関するご注意」 [p.30](#)

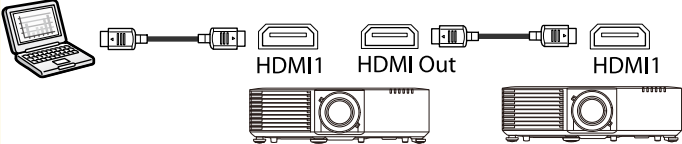
デージーチェーン接続で同じ映像を投写する



1 HDMIケーブルを使ってコンピューターと接続し、HDMIケーブルで 프로젝ター同士のHDMI1端子とHDMI Out端子を接続します。



- 入力ソースとして HDMI1ソースを選択している時のみ、HDMI Out端子から映像が出力されます。
- デージーチェーンで3台または4台の 프로젝ターを接続するときは、 프로젝ター同士を以下のように接続します。



- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3** すべての 프로젝ターについて、[映像調整] メニューの [カラーモード] を [マルチプロジェクション] に設定します。
- 4** [信号入出力] メニューの [HDMIリンク] で必要な設定をします。詳しくは次の表をご覧ください。

設定	①	②	③
	機器に接続する最初の 프로젝ター	中央の 프로젝ター	終端の 프로젝ター
HDMI リンク設定	HDMI Out電源連動：オン HDMI Out終端：オフ	HDMI Out電源連動：オン HDMI Out終端：オフ	HDMI Out電源連動：オン HDMI Out終端：オン



5台以上の 프로젝ターをデ이지チェーン接続している場合や、設定が正しくない場合は、正しく投写できないことがあります。

- 5** [マルチ 프로젝クション] メニューで必要な設定をします。
- 6** 【メニュー】 ボタンまたは【戻る】 ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

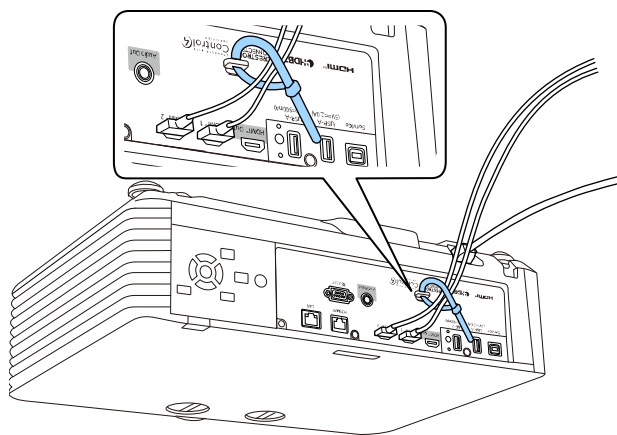
- 「マルチ 프로젝クション機能」 [p.125](#)

ケーブルカバーを取り付ける

45

本機を天吊り設置するときは、オプションのケーブルカバーを装着して、ケーブル類を目立たなくすることができます。

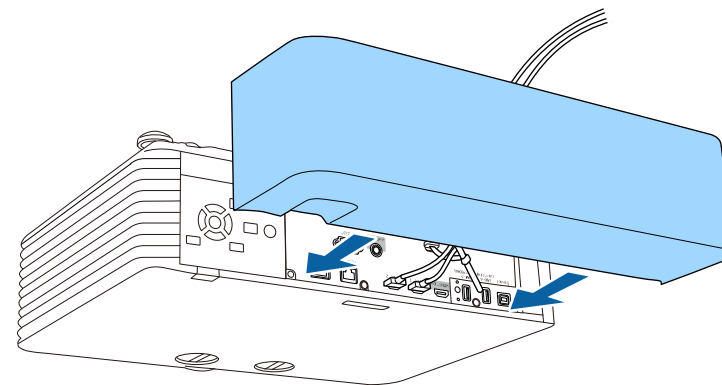
- 1 市販の結束バンドなどをケーブルホルダーに通し、ケーブル類を束ねます。



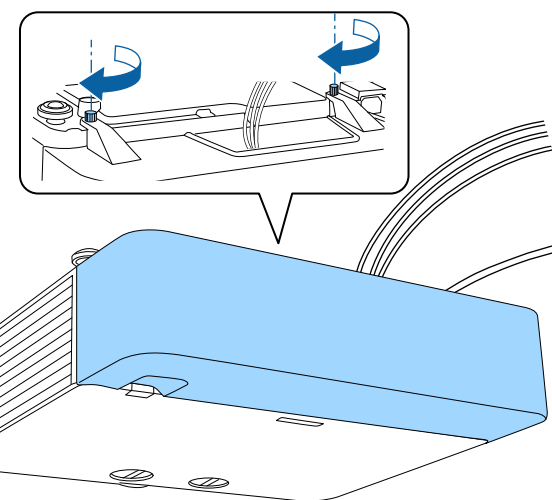
⚠ 注意

電源コードとその他の接続ケーブルを束ねないでください。火災の原因となります。

- 2 ケーブルカバーの切り込みにケーブルを通して、ケーブルカバーをプロジェクターに取り付けます。



- 3 ケーブルカバーのネジを締めます。



ケーブルカバーを外すときは、ネジをゆるめます。

リモコンに電池を取り付ける

46

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

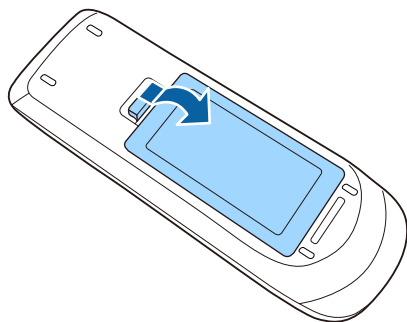
注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。



電池がなくなったら、新しい電池と交換してください。リモコンには、単3マンガン電池またはアルカリ電池2個を使用します。

1 電池カバーを外します。

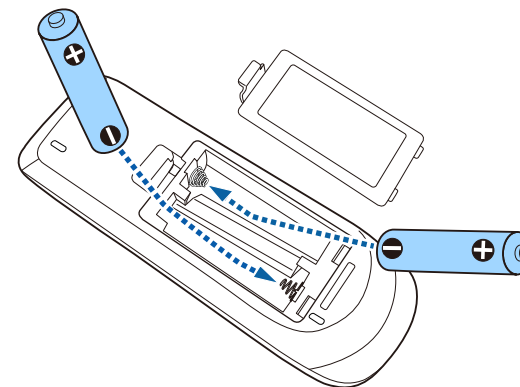


2 古い電池が入っていれば取り外します。



使用済みの電池は、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

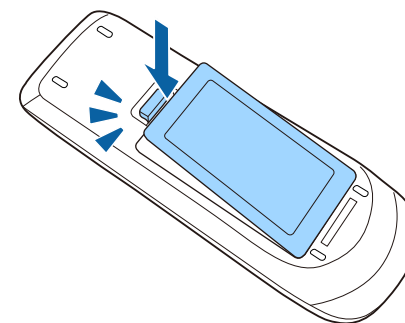
3 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

電池ホルダー内の表示を確認して、(+) (-) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



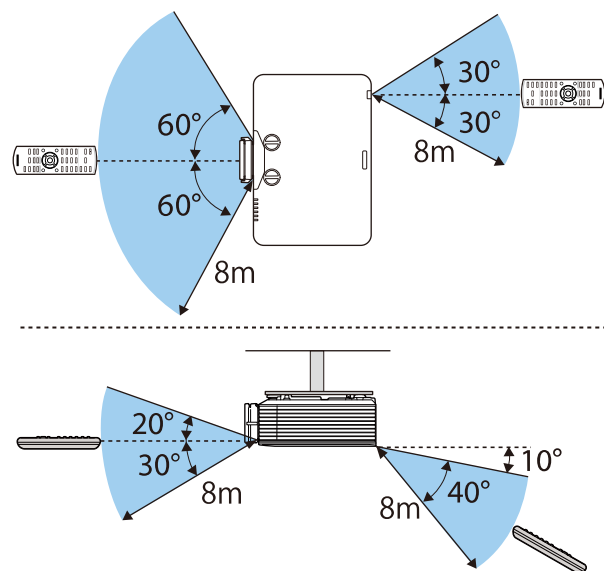
▶ 関連項目

- 「リモコンを操作する」 [p.47](#)

リモコンを操作する

リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを操作できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

プロジェクターの基本機能を使用する

本機の基本機能を説明します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの電源を入れる」 [p.49](#)
- 「プロジェクターの電源を切る」 [p.52](#)
- 「日時を設定する」 [p.53](#)
- 「メニューの言語を選択する」 [p.55](#)
- 「設置モードを選択する」 [p.56](#)
- 「スクリーンタイプを設定する」 [p.58](#)
- 「映像の位置を調整する（レンズシフト）」 [p.61](#)
- 「テストパターンを表示する」 [p.62](#)
- 「映像の高さを調整する」 [p.63](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.64](#)
- 「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.77](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.78](#)
- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する（センター/コーナー）」 [p.79](#)
- 「映像を切り替える」 [p.80](#)
- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.82](#)
- 「映像を最適化する（カラーモード）」 [p.84](#)
- 「映像の光量を調整する」 [p.86](#)
- 「映像の色合いを調整する」 [p.87](#)
- 「映像の解像感を調整する」 [p.90](#)
- 「明るさを設定する」 [p.92](#)
- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.95](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

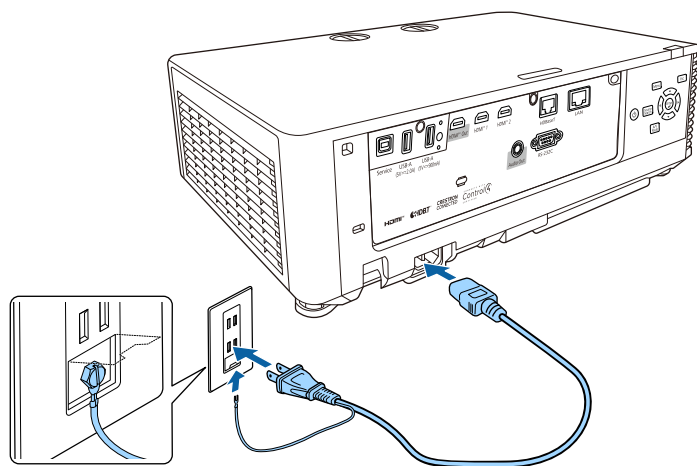
1 本機とビデオ機器を接続します。

⚠ 注意

本機とビデオ機器を接続してから、電源コードを接続します。

2 レンズカバーを取り外します。

3 本機とコンセントを電源コードで接続します。



⚠ 警告

必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケータが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

4 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して、本機の電源を入れます。

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。



〔動作〕メニューの〔高速起動〕をオンにすると、次回の電源投入時には数秒で投写可能状態になります。

映像が投写されないときは、以下を試してください。

- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノートパソコンを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- 投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。
- ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

⚠ 警告

- ・ 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
- ・ 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・ 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因になります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときはAVミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。



- ・ [動作] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。

🖱 [動作] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]

- ・ [動作] メニューの [オートパワーオン] を有効にしているときは、接続機器からの入力信号が検出されたときに自動で電源が入ります。

▶ 関連項目

- ・ 「ホーム画面設定」 [p.50](#)
- ・ 「動作メニュー」 [p.214](#)

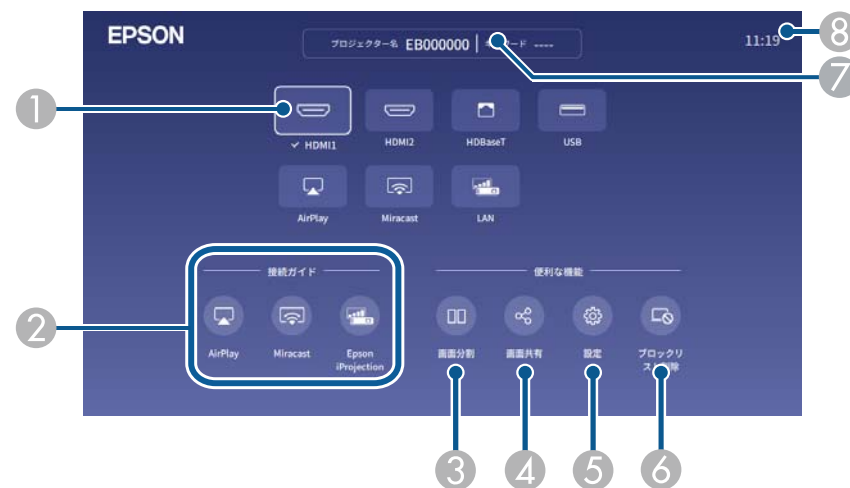
ホーム画面設定

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面はリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。



本機の電源投入時に、入力信号がないときにもホーム画面が表示されます。

操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 1 投写したい入力ソースを選択します。
現在投写している入力ソースにはチェックマークが付きます。
現在の入力映像のプレビュー画像がサムネイル表示されます（コンテンツ再生モード時のUSB入力ソース以外）。
- 2 接続ガイドを表示します。お使いのデバイスに応じた接続の方法を確認できます。
- 3 投写画面を分割して、2つの異なる入力ソースの映像を同時に投写します。
- 4 プロジェクターから投写している画面を、同じネットワーク上の他のプロジェクターに配信します。

- ⑤ 以下の機能の設定を変更します。(表示される項目は設定により異なります。)
- [カラーモード]
 - [明るさレベル]
 - [音量]
 - [幾何学歪み補正] ([タテヨコ台形補正] および [Quick Corner] が使用できます。)
 - [アスペクト]



- [幾何学歪み補正] は、[設置] メニューの [幾何学歪み補正] が [タテヨコ] または [Quick Corner] のとき表示されます。
- [アスペクト] 入力ソースがHDMI、HDBaseT、またはUSBかつUSB書画カメラのとき表示されます。(事前に [表示倍率] をオフにするか、[映像調整] メニューで [表示倍率モード] を [フル表示] に設定します。)

- ⑥ [ネットワーク投写] メニューで [アクセス制御] が [オン] に設定されているとき、どのデバイスをMiracastで接続するかを管理できます。接続しようとしているデバイスを確認画面からブロックすると、そのデバイスがブロックリストに追加されます。このアイコンで、デバイスのブロックを解除できます。
- ⑦ プロジェクター名とプロジェクターキーワードを表示します。
- ⑧ 現在の時刻を表示します。



10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「設置メニュー」 [p.208](#)
- 「映像の形状を補正する」 [p.64](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.158](#)

- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.201](#)
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.99](#)
- 「画面共有」 [p.171](#)

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。光源の寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、使用時間の経過にともなって低下します。
- [管理] メニューの [光源キャリブレーション] が [定期的に行] に設定されていて、プロジェクターが以下の状態にあるときは、本機の電源を切ると、光源キャリブレーションが自動で開始します。
 - 前回の光源キャリブレーションの実施から100時間が経過している場合
 - 本機を20分以上使用している場合
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

3 本機を搬送または保管するときは、電源インジケータが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。

4 レンズカバーを取り付けます。

1 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか？

はい :  ボタンを押す

いいえ: 他のボタンを押す

2 再度電源ボタンを押します。(電源を切らないときは、他のボタンを押します。)

「ピッピッ」と確認音が2回鳴った後、光源がオフになり、ステータスインジケータが消灯します。

プロジェクターの日時を設定します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「管理」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カスタマイズボタン	未設定
信号入出力	ユーザーロゴ	
設定	操作ボタンロック	オフ
マルチプロジェクション	ユニフォーミティー	
表示	リフレッシュモード	
動作	光源キャリブレーション	
管理	カラーキャリブレーション	
ネットワーク	日付&時刻	
情報	スケジュール設定	
メモリー	NFC設定	
節電	言語	日本語
初期・全体設定	管理初期化	

- 4 「日付&時刻」を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 「日付&時刻」を選択し、【決定】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。

[日付&時刻]		戻る
日付	2010-01-01	
時刻	00:00	
時差 (UTC)	+	
	00:00	
		設定

- 6 「日付」を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトウェアキーボードで本日の日付を入力します。
- 7 「時刻」を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトウェアキーボードで現在の時刻（現地時間）を入力します。
- 8 「時差 (UTC)」を選択し【決定】ボタンを押して、協定世界時からの時差を設定します。
- 9 終了したら、「設定」を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 10** 夏時間を有効にするときは、[夏時間設定] を [オン] に設定します。表示された画面の各項目を設定します。

[夏時間設定]		戻る
夏時間	オン	⬅
夏時間調整 (分)	0	
夏時間開始		
月	1	
週	1	
曜日	月	
時刻	00:00	
夏時間終了		
月	1	
週	1	
曜日	月	
時刻	00:00	
		設定

- 11** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- 12** インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するときは、[インターネット時刻] を [オン] に設定します。表示された画面の各項目を設定します。

[インターネット時刻]		戻る
インターネット時刻	オン	⬅
インターネット時刻サーバー	0.0.0.0	
		設定

- 13** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】 ボタンを押します。
- 14** 【メニュー】 ボタンまたは【戻る】 ボタンを押してメニューを終了します。

〔言語〕 設定でメニューおよびメッセージの言語を変更できます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】 ボタンを押します。
- 3 〔管理〕 を選択し、【決定】 ボタンを押します。

映像調整	カスタマイズボタン	未設定
信号入出力	ユーザーロゴ	
設置	操作ボタンロック	オフ
マルチプロジェクション	ユニフォーミティー	
表示	リフレッシュモード	
動作	光源キャリブレーション	
管理	カラーキャリブレーション	
ネットワーク	日付&時刻	
情報	スケジュール設定	
メモリー	NFC設定	
節電	言語 	日本語
初期・全体設定	管理初期化	

- 4 〔言語〕 を選択し、【決定】 ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【決定】 ボタンを押します。
- 6 【メニュー】 ボタンまたは【戻る】 ボタンを押してメニューを終了します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- ・ [フロント]：机上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- ・ [フロント・天吊り]：天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- ・ [リア]：リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- ・ [リア・天吊り]：天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

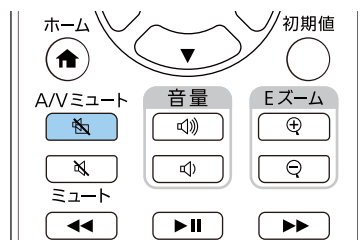
▶ 関連項目

- ・ 「リモコンで 設置モードを変更する」 [p.56](#)
- ・ 「メニューから設置モードを変更する」 [p.56](#)
- ・ 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.30](#)

リモコンで 設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 リモコンの【A/Vミュート】ボタンを5秒間押します。



映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 3 元の設置モードに戻すには、【A/Vミュート】ボタンをもう一度5秒間押します。

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [設置] を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	テストパターン	
信号入出力	設置モード	フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転	オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部	オフ
動作	スクリーンタイプ	16:9 ☒
管理	高地モード	オフ ☐
ネットワーク	ブランキング	
情報	設置初期化	
メモリー		
節電		
初期・全体設定		

- 4 [設置モード] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5** お使いの環境に合わせた設置モードを選択し、【決定】ボタンを押します。

[設置モード]	戻る
フロント	
✓ フロント・天吊り	
リア	
リア・天吊り	

- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

お使いのスクリーンのアスペクト比に合わせて、映像を表示する領域がスクリーンに合うよう、[スクリーンタイプ] を設定します。



- ・ [動作] メニューの [コンテンツ再生] を [オン] に設定しているときは、[スクリーンタイプ] を変更できません。
- ・ [スクリーンタイプ] を変更すると、[幾何学歪み補正] は初期化されます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [設置] を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	テストパターン
信号入出力	設置モード フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転 オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正 タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部 オフ
動作	スクリーンタイプ 16:9 ☒
管理	高地モード オフ ☐
ネットワーク	ブランキング
情報	設置初期化
メモリー	
節電	
初期・全体設定	

- 4 [スクリーンタイプ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 お使いのスクリーンのアスペクト比を選択し、【決定】ボタンを押します。

[スクリーンタイプ]	戻る
4:3	
16:6	
✓ 16:9	
16:10	
21:9	

- 6 【メニュー】ボタンを押して終了します。



プロジェクターの再起動が必要になることがあります。画面の指示に従って操作します。

- 7 必要に応じて投写映像のアスペクト比を調整します。



[スクリーンタイプ] の設定が変更されると、[EDID] の設定は自動調整されます。

▶ 関連項目

- ・ 「映像の位置を調整する（スクリーン位置）」 [p.58](#)
- ・ 「映像の水平位置を調整する（画面シフト）」 [p.59](#)

映像の位置を調整する（スクリーン位置）

映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、映像の位置を調整できます。



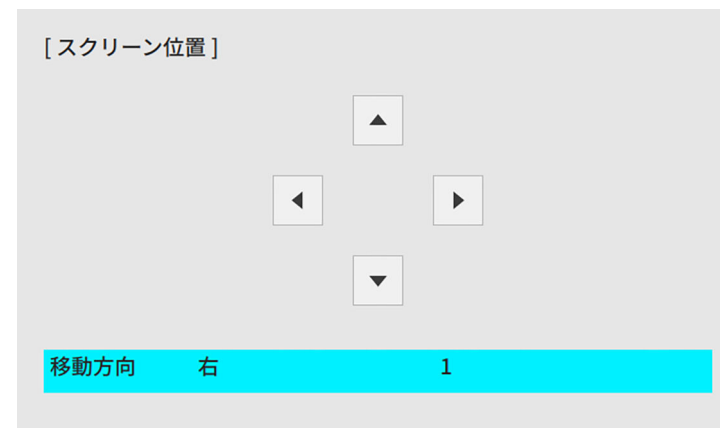
「スクリーンタイプ」の設定が「16:10」のときは調整できません。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「設置」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	テストパターン
信号入出力	設置モード フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転 オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正 タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部 オフ
動作	スクリーンタイプ 16:9 ☐
管理	高地モード オフ ☐
ネットワーク	プランキング
情報	設置初期化
メモリー	
節電	
初期・全体設定	

- 4 「スクリーン位置」を選択し、【決定】ボタンを押します。

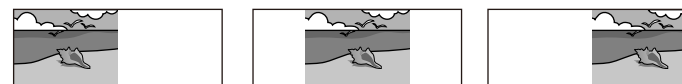
- 5 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで映像の位置を調整します。



- 6 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

映像の水平位置を調整する（画面シフト）

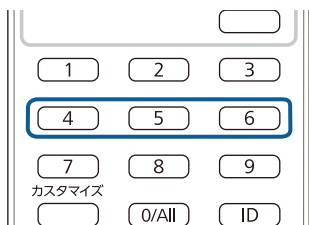
「スクリーンタイプ」を「16:6」に設定したときに、超横長画面での映像の投写位置を設定できます。



- 入力ソースがHDMIまたはHDBaseTで、「映像調整」メニューの「アスペクト」を「オート」に設定しているときのみ有効です。
- 画面分割投写中は設定できません。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2** リモコンの【4】、【5】、または【6】 ボタンを押します。
- 3** リモコンのボタンを押して、水平方向の投写位置を設定します。
- 【4】：画面の左に投写します。
 - 【5】：画面の中央に投写します。
 - 【6】：画面の右に投写します。



投写位置の設定は、本機の電源を切るまで有効です。

- 4** 終了したら、【戻る】 ボタンを押します。

本機を投写面に対して平行に設置できないときや、映像の位置を調整したいときは、レンズシフト機能を使って映像の位置を上下左右に移動します。

注意

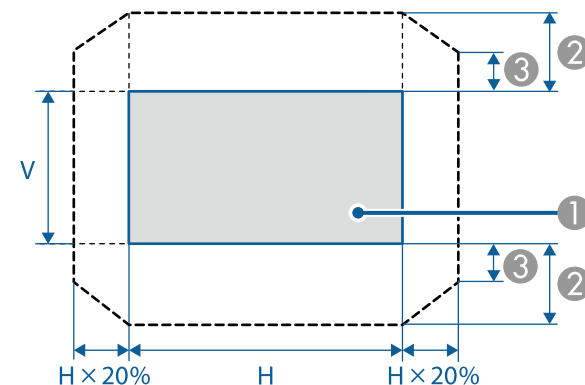
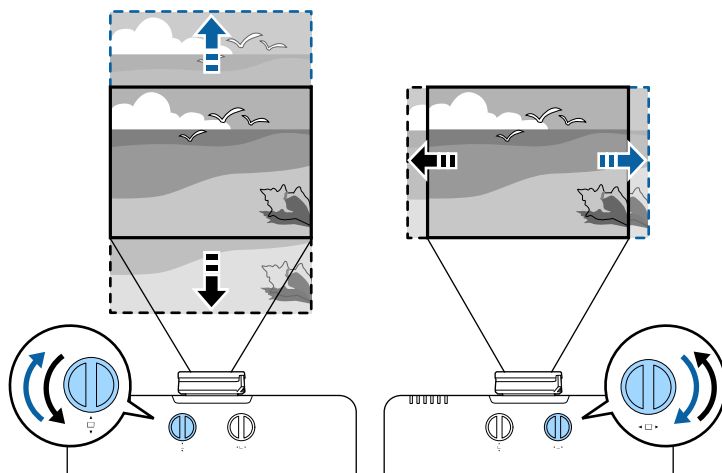
画面の位置を上下方向に調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。上から下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から30分以上たってから行ってください。
- レンズの位置がレンズシフト調整可能範囲の中心にあるときに、映像が最も鮮明になります。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 上下レンズシフトダイヤル、左右レンズシフトダイヤルを回して、映像の位置を調整します。



- ① レンズシフト調整可能範囲の中心に投写された画像
- ② 最大可動領域： $V \times 50\%$
- ③ 左右方向が最大値の場合： $V \times 12\%$



- 上下方向に最大まで移動した場合は左右に移動できません。
- レンズシフト調整可能範囲は目安の値です。

テストパターンを表示させると、映像機器を接続せずに投写映像を調整できます。

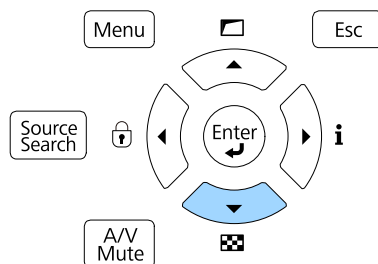


- テストパターンは「スクリーンタイプ」の設定に合わせて表示されます。スクリーンタイプを先に設定してください。
- テストパターンで調整できない項目や、映像の微調整は、映像機器から実際に映像を投写して調整してください。
- 静止中に投写映像をキャプチャーすると、テストパターンの一つとして使うことができます。キャプチャー画像は4Kエンハンスメント画質ではありません。

5 【戻る】 ボタンを押して、テストパターンを消します。

1 本機の電源を入れます。

2 操作パネルの下ボタンを押します。



テストパターンが表示されます。



テストパターンは「設置」メニューからも表示できます。

3 リモコンの左右ボタン、または操作パネルの【決定】ボタンを押すと、テストパターンが切り替わります。

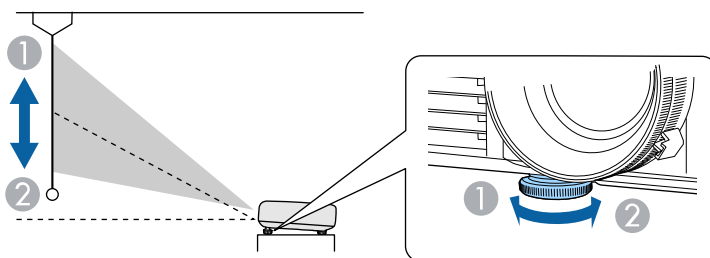
4 映像を調整します。

机などの平らな場所に置いて投写するときは、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

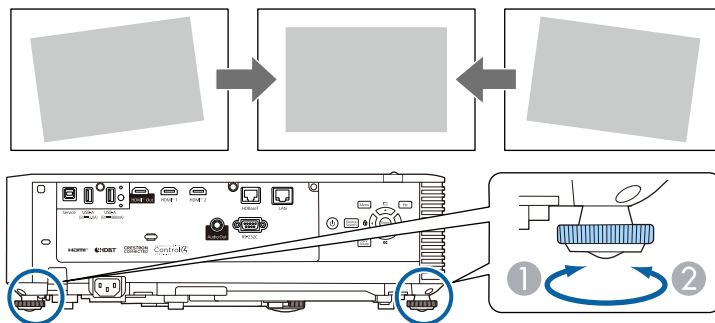
2 フロントフットを回して高さを調整します。



① フットを伸ばす

② フットを縮める

3 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



① フットを伸ばす

② フットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

- 「映像の形状を補正する」 [p.64](#)

スクリーンの正面にプロジェクターを設置して、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

補正後は、映像が少し小さくなります。

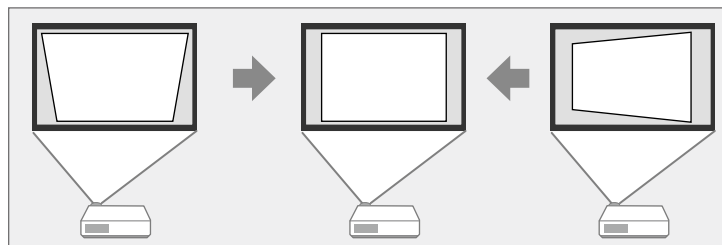
投写映像の画質を維持するためには、プロジェクターの設置位置を調整して映像サイズや形状を調整することをお勧めします。

▶ 関連項目

- 「タテヨコ台形補正で映像のゆがみを補正する」 [p.64](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.65](#)
- 「曲面補正モードで映像のゆがみを補正する」 [p.68](#)
- 「コーナー補正モードで映像のゆがみを補正する」 [p.70](#)
- 「ポイント補正モードで映像のゆがみを補正する」 [p.73](#)
- 「保存したメモリーを呼び出す」 [p.75](#)

タテヨコ台形補正で映像のゆがみを補正する

「タテヨコ台形補正」メニューを使用して、映像のゆがみを補正します。



映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約30°以内のときです。
(EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L695SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U)

映像を補正できる条件は、投写角度が上下左右約25°以内のときです。
(EB-L690SE)



- 必要に応じて、事前に「[スクリーンタイプ]」と「[スクリーン位置]」の設定を変更してください。
- 他の補正方法と組み合わせて使うことはできません。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「[設置]」を選択し、【決定】ボタンを押します。

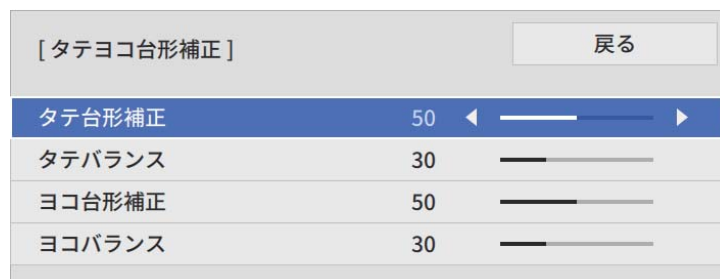
映像調整	テストパターン	
信号入出力	設定モード	フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転	オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部	オフ
動作	スクリーンタイプ	16:9 ☐
管理	高地モード	オフ ☐
ネットワーク	ブランキング	
情報	設置初期化	
メモリー		
節電		
初期・全体設定		

- 4 「[幾何学歪み補正]」を選択し、【決定】ボタンを押します。
「[幾何学歪み補正]」画面が表示されます。



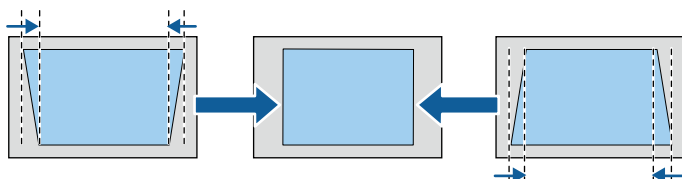
操作パネルの上ボタンでも「[幾何学歪み補正]」メニューを表示できます。

- 5** [タテヨコ台形補正] を選択して、【決定】 ボタンを押します。必要に応じて [はい] を選択します。
[タテヨコ台形補正] 画面が表示されます。

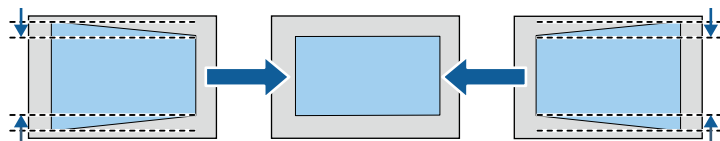


- 6** 操作パネルまたはリモコンの上下左右ボタンで補正方法を選択し、映像の形状を補正します。

- [タテ台形補正]

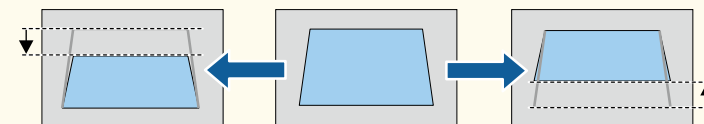


- [ヨコ台形補正]

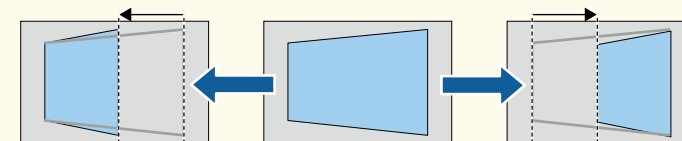


レンズシフト機能で投写映像の位置が調整されているときは、必要に応じて [タテバランス] と [ヨコバランス] を調整してください。

- [タテバランス]



- [ヨコバランス]



- 7** 終了したら、【戻る】 ボタンを押します。
補正後は、映像が少し小さくなります。

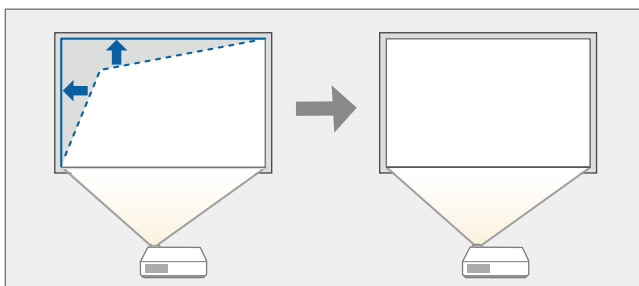


補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。

☞ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

[Quick Corner] 機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



「スクリーンタイプ」を変更したり、「スクリーン位置」を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「設置」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	テストパターン	
信号入出力	設置モード	フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転	オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部	オフ
動作	スクリーンタイプ	16:9 ☒
管理	高地モード	オフ ☐
ネットワーク	プランキング	
情報	設置初期化	
メモリー		
節電		
初期・全体設定		

- 4 「幾何学歪み補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。
「幾何学歪み補正」画面が表示されます。

[幾何学歪み補正]

戻る

補正方法ごとに調整した形状が保存されます。

1つの方法でかんたんに補正

☒ タテヨコ台形補正

☐ Quick Corner

複数の方法を組み合わせて補正

☐ ポイント補正モード

☐ 曲面補正モード

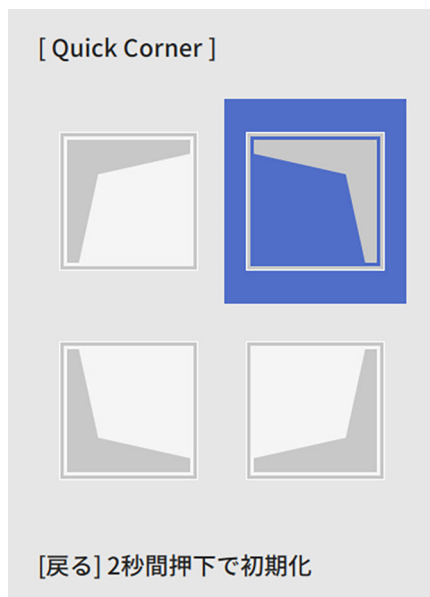
☐ コーナー補正モード

☐ オフ

メモリー

- 5 「Quick Corner」を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じて「はい」を選択します。
エリア選択画面が表示されます。

- 6** 上下左右ボタンを押して調整するコーナーを選択し、【決定】ボタンを押します。

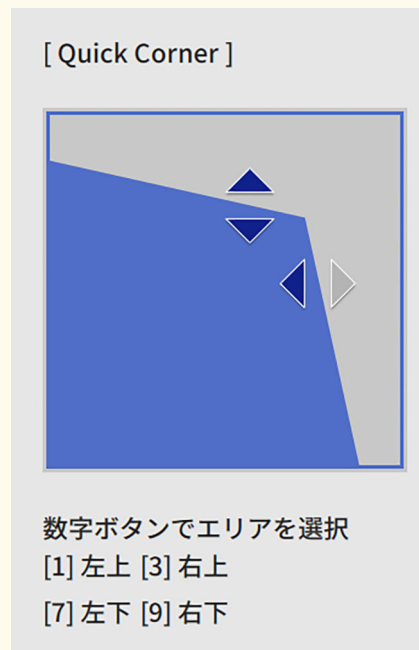


[Quick Corner] で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、[はい] を選択します。

- 7** 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



- リモコンの次の数字のテンキーボタンを押して、調整するコーナーを選択することもできます。
- 【1】：左上のコーナーを選択します。
- 【3】：右上のコーナーを選択します。
- 【7】：左下のコーナーを選択します。
- 【9】：右下のコーナーを選択します。
- 以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- 8** 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

- 9** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

Quick Corner実行後は、[設置] メニューの[幾何学歪み補正] が[Quick Corner] に設定されます。

操作パネルの上矢印ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

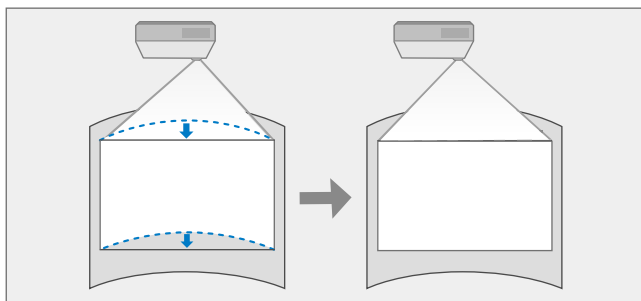


補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。

☞ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]

曲面補正モードで映像のゆがみを補正する

曲面に映像を投写するときは、曲面投写補正機能を使用して映像のゆがみを補正します。



[スクリーンタイプ] を変更したり、[スクリーン位置] を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

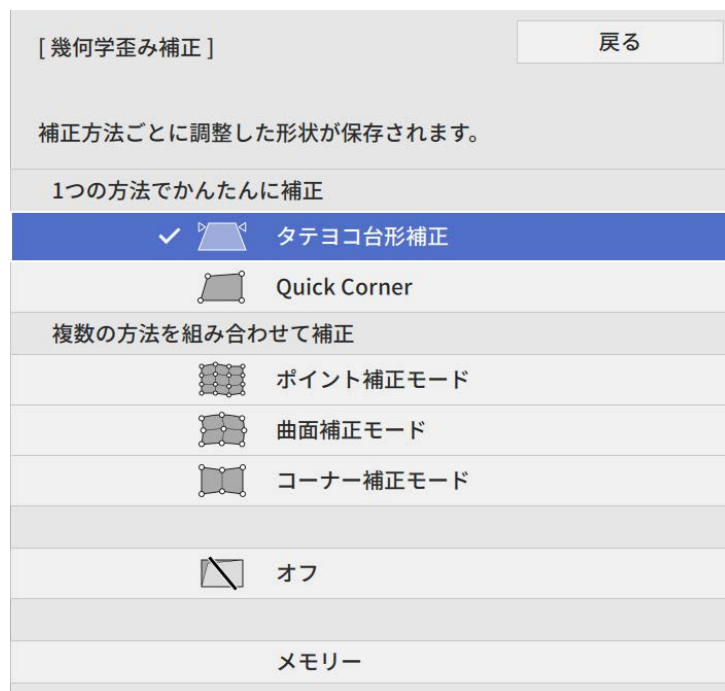
2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 [設置] を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	テストパターン	
信号入出力	設置モード	フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転	オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部	オフ
動作	スクリーンタイプ	16:9 ☐
管理	高地モード	オフ ☐
ネットワーク	ブランキング	
情報	設置初期化	
メモリー		
節電		
初期・全体設定		

4 [幾何学歪み補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。
[幾何学歪み補正] 画面が表示されます。

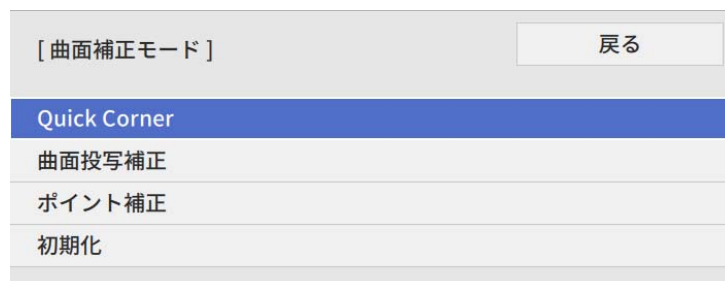
1 本機の電源を入れて、映像を表示します。



5 [曲面補正モード] を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じて [はい] を選択します。

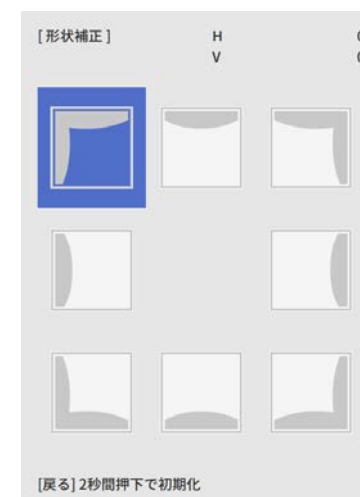
[曲面補正モード] 画面が表示されます。

6 [曲面投写補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。



7 [形状補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。
エリア選択画面が表示されます。

8 上下左右ボタンを押して補正するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。



9 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【戻る】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



10 手順8と9を繰り返して、必要なすべてのエリアを補正します。

11 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

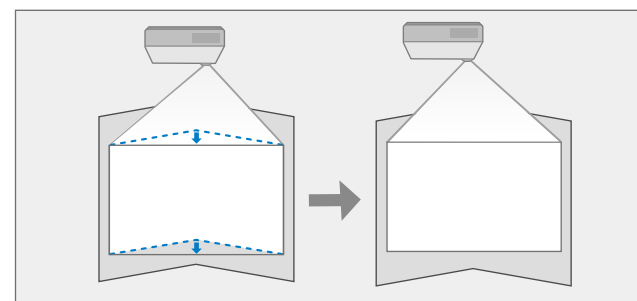


- 補正した結果を微調整できます。[Quick Corner] で映像の傾きを調整し、[ポイント補正] で微調整します。手順6の画面で [Quick Corner] または [ポイント補正] を選択してください。
- 補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。
☛ [設置] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]
- [曲面投写補正] で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、[はい] を選択します。

- 「ポイント補正モードで映像のゆがみを補正する」 [p.73](#)

コーナー補正モードで映像のゆがみを補正する

直角の面に映像を投写するときは、コーナー投写補正機能を使用して映像のゆがみを補正します。



- [スクリーンタイプ] を変更したり、[スクリーン位置] を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。
- 補正時は、画面中央に一番近い点を基準とすることを推奨します。

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

▶ 関連項目

- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.65](#)

2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 「設置」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	テストパターン	
信号入出力	設置モード	フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転	オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部	オフ
動作	スクリーンタイプ	16:9 ☐
管理	高地モード	オフ ☐
ネットワーク	ブラッキング	
情報	設置初期化	
メモリー		
節電		
初期・全体設定		

4 「幾何学歪み補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。
「幾何学歪み補正」画面が表示されます。

[幾何学歪み補正]
戻る

補正方法ごとに調整した形状が保存されます。

1つの方法でかんたんに補正

✓  タテヨコ台形補正

 Quick Corner

複数の方法を組み合わせて補正

 ポイント補正モード

 曲面補正モード

 コーナー補正モード

 オフ

メモリー

5 「コーナー補正モード」を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じて「はい」を選択します。
「コーナー補正モード」画面が表示されます。

6 「コーナー投写補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。

[コーナー補正モード]
戻る

Quick Corner

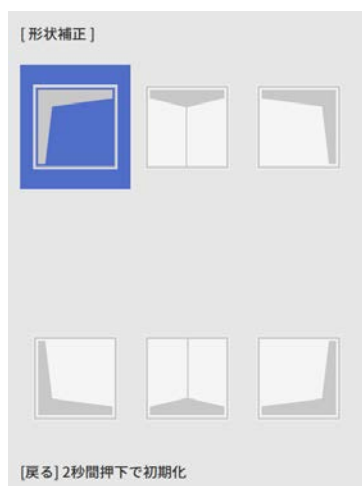
コーナー投写補正

ポイント補正

初期化

7 「形状補正」を選択して【決定】ボタンを押します。
エリア選択画面が表示されます。

8 上下左右ボタンを押して補正するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。



9 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【戻る】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



10 手順8と9を繰り返して、必要なすべてのコーナーを調整します。

11 終了したら、【戻る】ボタンを押します。



- 補正した結果を微調整できます。[Quick Corner] で映像の傾きを調整し、[ポイント補正] で微調整します。手順6の画面で [Quick Corner] または [ポイント補正] を選択してください。
- 補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。
 - ☞ [設定] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]
- [コーナー投写補正] で補正した結果を初期化するには、エリア選択画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、[はい] を選択します。

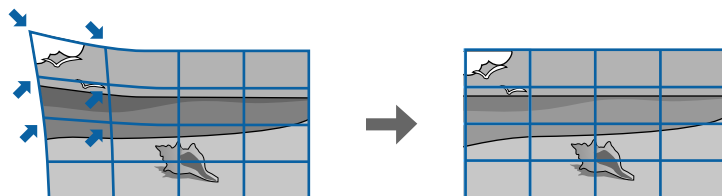
▶▶ 関連項目

- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.65](#)

- 「ポイント補正モードで映像のゆがみを補正する」 p.73

ポイント補正モードで映像のゆがみを補正する

「ポイント補正」機能を使用して部分的に発生するわずかなゆがみを補正します。投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正します。



「スクリーンタイプ」を変更したり、「スクリーン位置」を調整したりしたときは、補正した結果は初期化されます。

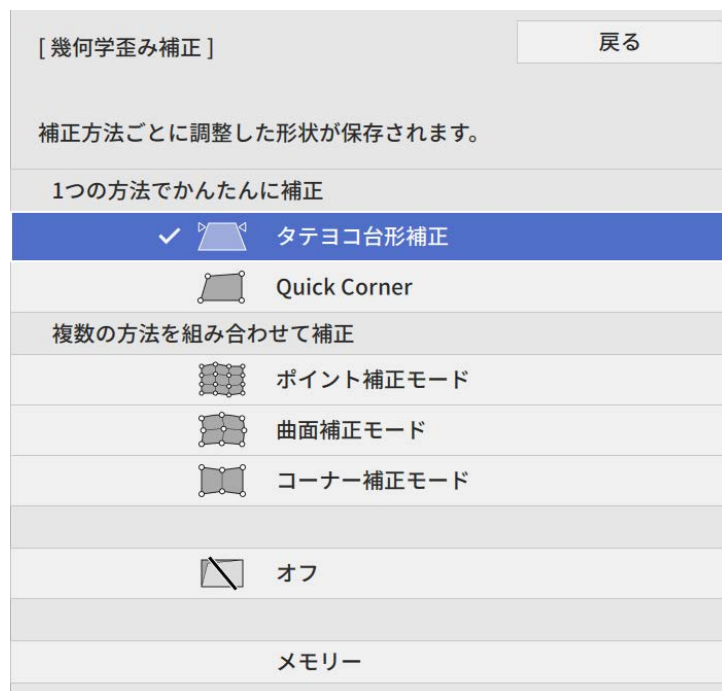
- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

- 3 「設定」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	テストパターン	
信号入出力	設定モード	フロント・天吊り
設定	方向ボタン反転	オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部	オフ
動作	スクリーンタイプ	16:9 ☐
管理	高地モード	オフ ☐
ネットワーク	ブランキング	
情報	設置初期化	
メモリー		
節電		
初期・全体設定		

- 4 「幾何学歪み補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。
「幾何学歪み補正」画面が表示されます。



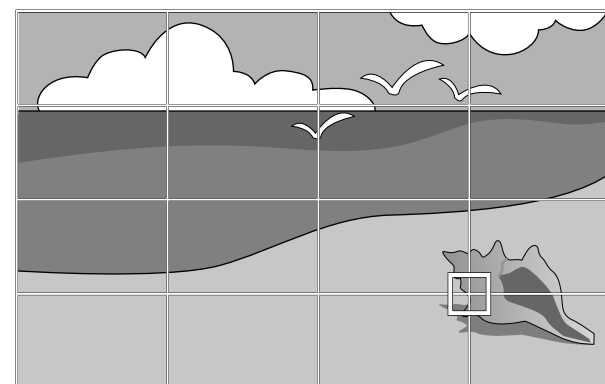
【Quick Corner】で映像のゆがみと大きさを大まかに補正し、【ポイント補正】で細かく調整します。

- 7** 「ポイント補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。
投写画面に格子が表示されます。



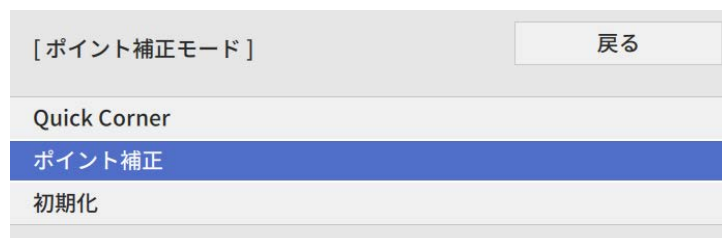
- ポイントの数を変更するときは、【戻る】ボタンを押して、[ポイント補正]メニューで他の[ポイント数]を選択します。
- 格子が見えにくいときは、【戻る】ボタンを押して、[ポイント補正]メニューの[パターン色]で色を変更します。

- 8** ポイントを1つずつ補正したいときは、上下左右ボタンを押して補正するポイントを選択し、【決定】ボタンを押します。

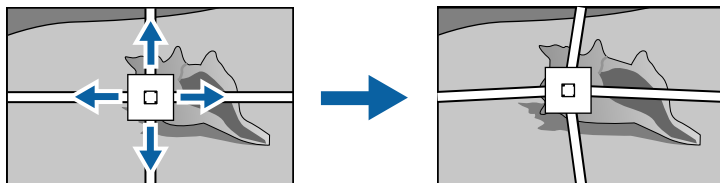


- 5** 「ポイント補正モード」を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じて「はい」を選択します。

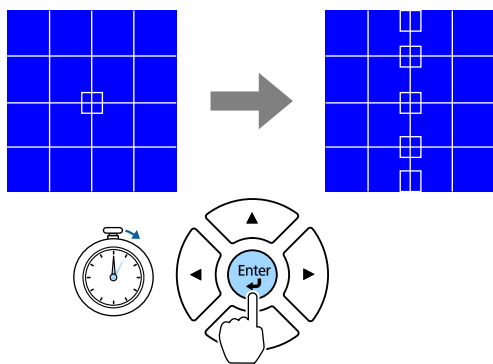
- 6** 「ポイント補正」を選択し、【決定】ボタンを押します。



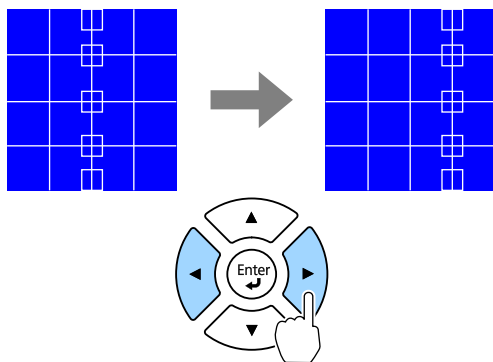
- 9** 上下左右ボタンで映像のゆがみを補正します。



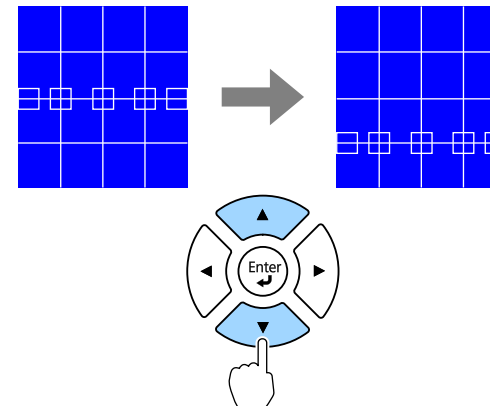
- 10** 特定の列や行内の、すべてのポイントを補正するときは、【決定】ボタンを2秒間押します。



- 11** 左右ボタンで調整する列を選択して【決定】ボタンを押します。



- 12** 上下ボタンで調整する行を選択して【決定】ボタンを押します。



- 13** 続けて他のポイントを補正する場合は、【戻る】ボタンを押して前の画面に戻り、手順8～12を繰り返します。

- 14** 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

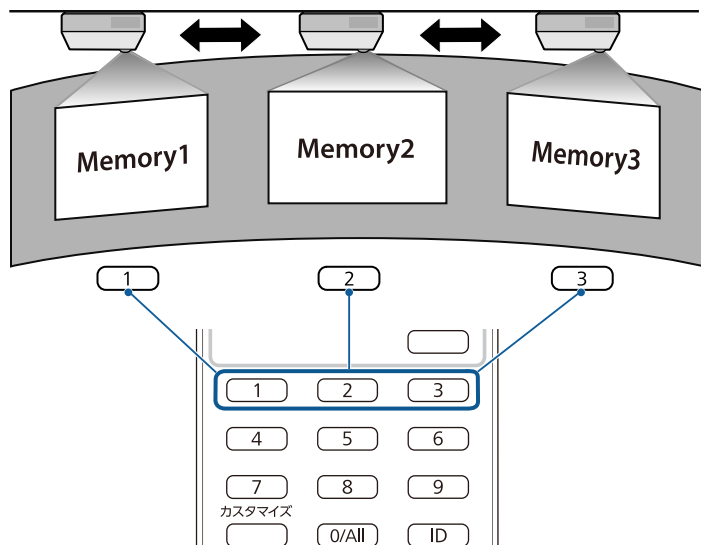


- 補正した映像の形状をメモリーとして登録するには、[メモリー保存] を選択します。メモリーには映像の形状を3つまで登録できます。
 [設定] > [幾何学歪み補正] > [メモリー] > [メモリー保存]
- [ポイント補正] で補正した結果を初期化するには、[ポイント補正] で [初期化] を選択します。

保存したメモリーを呼び出す

メモリーに設定・登録した内容を呼び出します。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 登録したメモリー番号（1～3）のテンキーボタンを押します。



- イラストはイメージです。
- [メモリー] メニューの [メモリー呼出] から設定・登録した内容を読み出せます。

- 3 設定が読み込まれたら、画面の指示に従います。

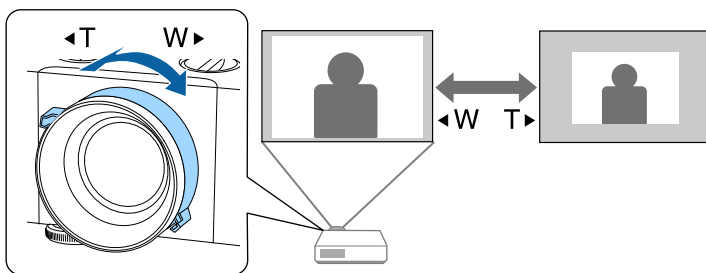
ズームリングで映像の大きさを調整できます。



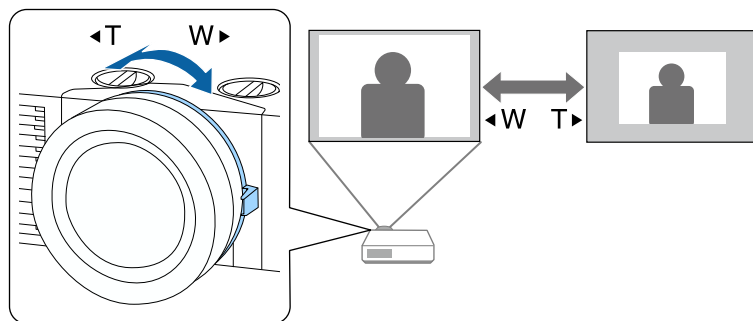
プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から30分以上たってから行ってください。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。

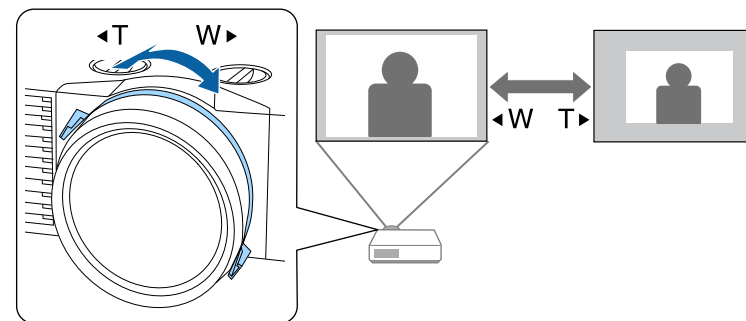
EB-L890E/EB-L895E/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L690U



EB-L795SE/EB-L790SU



EB-L690SE/EB-L695SE



フォーカスリングで映像のピントを調整する

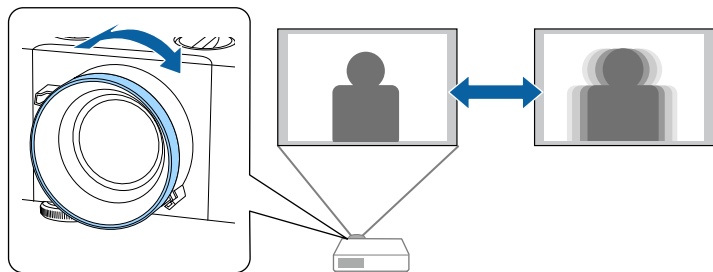
78

フォーカスリングを使用して、ピントのズレを補正します。(EB-L890E/EB-L895E/EB-L690E/EB-L890U//EB-L790U/EB-L690U)



プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から30分以上たってから行ってください。

フォーカスリングを回して画面全体の焦点を合わせます。



フォーカスリングで映像のピントを調整する（センター/コーナー）

79

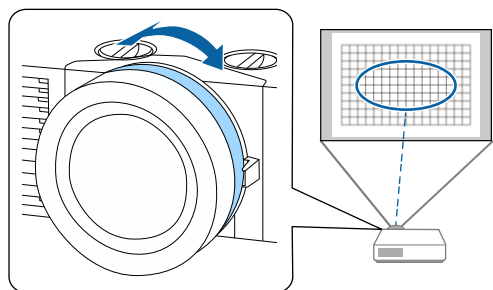
フォーカスリング（センター）とフォーカスリング（コーナー）を使用して、ピントのズレを補正します。（EB-L795SE/EB-L690SE/EB-L695SE/EB-L790SU）



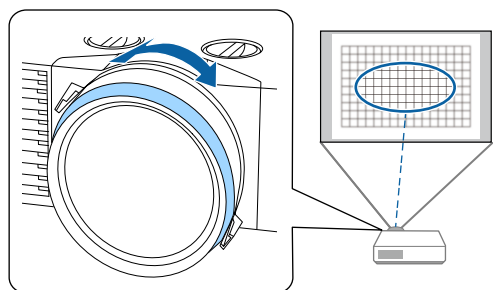
プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。映像のサイズ調整、ピント調整、レンズシフトによる位置調整は、投写開始から30分以上たってから行ってください。

1 投写画面の中心を見ながら、センターフォーカスを調整します。

EB-L795SE/EB-L790SU

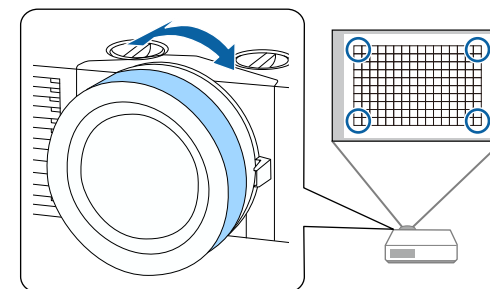


EB-L690SE/EB-L695SE

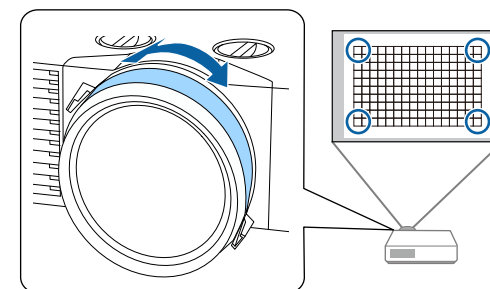


2 投写画面の四隅を見ながら、コーナーフォーカスを調整します。

EB-L795SE/EB-L790SU



EB-L690SE/EB-L695SE



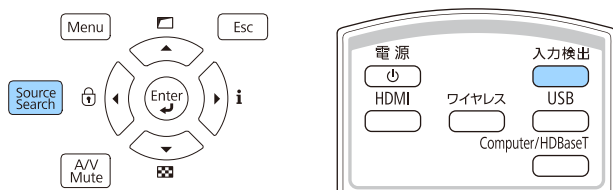
3 まだピントが合わない場合は、手順1と2を繰り返して調整します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの各部名称 - 前面/上面」 [p.20](#)

コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

- 1 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2 ビデオ機器の映像を表示するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3 次のいずれかの操作を行います。
 - 目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。



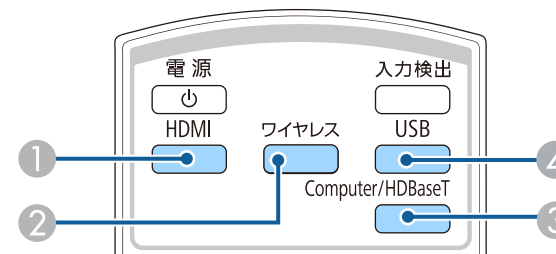
映像信号が検出されないときは、次の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。

【入力検出】

映像信号	
HDMI1	なし
HDMI2	なし
HDBaseT	なし
USB	
AirPlay	
Miracast	なし
LAN	なし

映像信号を入力してください。
 ⇨ ボタンで入力ソースを選択できます。

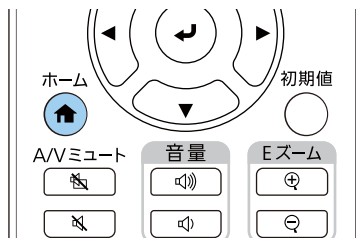
- リモコンで、表示したい入力ソースのボタンを押します。押したボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。



- ① HDMI入力ソース（HDMI1およびHDMI2端子）
- ② ネットワーク入力ソース（AirPlay、Miracast、LAN）

- ③ Computer/HDBaseTソース (HDBaseT端子)
- ④ USB入力ソース

- リモコンの【ホーム】ボタンを押します。



投写する入力ソースを選択します。



- 入力信号を検出すると、ソースの並び順が変わります。(検出したソースが左上に表示されます。)
- 現在投写している入力ソースにはチェックマークが付きます。現在の入力映像のプレビュー画像がサムネイル表示されます (コンテンツ再生モード時のUSB入力ソース以外)。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 [p.25](#)

本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。映像をスクリーンに合わせるために、手動でアスペクト比を切り替えることもできます。

▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 [p.82](#)
- ・「アスペクトモードの種類」 [p.83](#)

映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。



- ・アスペクト比を切り替える前に、「[設置]」メニューで「[スクリーンタイプ]」を設定してください。
- ・以下の入力ソースから投写中のときに設定できます。
 - ・ HDMI
 - ・ HDBaseT
- ・「[表示倍率]」をオフ、または「[表示倍率モード]」を「[フル表示]」に設定しているときのみ有効です。

☞ [映像調整] > [表示倍率] > [表示倍率モード]

1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。

2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 [映像調整] を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 ● 50 ● 50
設置	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

4 [アスペクト] を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 入力信号に合わせてアスペクト比を選択します。

6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



- ・選択できるアスペクト比は、接続機器からの入力信号によって異なります。
- ・映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、「[設置]」メニューの「[スクリーン位置]」で映像の位置を調整できます。

☞ [設置] > [スクリーンタイプ] > [スクリーン位置]

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.203](#)

- ・「設置メニュー」 [p.208](#)

アスペクトモードの種類

〔スクリーンタイプ〕の設定、および接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作者の権利を侵害するおそれがあります。

アスペクトモード	説明
オート	入力信号に応じて、アスペクト比が自動的に設定されます。
4:3 (〔スクリーンタイプ〕が〔4:3〕のときのみ)	入力信号のアスペクト比が4:3に変換されます。
16:9 (〔スクリーンタイプ〕が〔4:3〕または〔16:10〕のときのみ)	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。
フル (〔スクリーンタイプ〕が〔16:6〕、〔16:9〕、〔16:10〕または〔21:9〕のときのみ)	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。

アスペクトモード	説明
Hズーム Vズーム (〔スクリーンタイプ〕が〔4:3〕、〔16:9〕、〔16:10〕または〔21:9〕のときのみ)	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅（Hズーム）、または高さ（Vズーム）に合わせて映像を表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。
リアル (〔スクリーンタイプ〕が〔4:3〕、〔16:9〕、〔16:10〕または〔21:9〕のときのみ)	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。投写エリアからはみ出した部分は表示されません。

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

▶ 関連項目

- ・「カラーモードを変更する」 [p.84](#)
- ・「カラーモードの種類」 [p.84](#)

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「映像調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 🌑 50 🌒 50
設置	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

- 4 「カラーモード」を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 5 入力信号に合わせてカラーモードを選択します。
- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 [p.203](#)
- ・「マルチプロジェクションメニュー」 [p.210](#)

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

カラーモード	説明
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
プレゼンテーション	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
ナチュラル	色を忠実に再現します。写真などの静止画像を投写するのに最適です。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
BT.709	ITU-R BT.709に準拠した映像になります。
DICOM SIM	エックス線写真などの医用画像を投写するのに適しています。ただし、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。

カラーモード	説明
マルチプロジェクション	本機を複数台並べて投写する場合に適しています (映像の明るさや色合いの違いを小さくします)。

ダイナミックコントラストをオンにすると、映像の明るさに合わせてプロジェクターの光量を自動的に調整することでコントラストを改善します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「映像調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 ● 50 ● 50
設定	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

- 4 「ダイナミックコントラスト」を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。
 - ・ [標準]：光量変化を抑えた、標準の光量調整を行います。
 - ・ [高速]：シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。光量が大きく変化します。

- ・ [ECO]：できるだけ画質を損なうことなく、電力を抑えながら光量を調整します。

[ダイナミックコントラスト]	戻る
高速	
標準	
ECO	
✓ オフ	

- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

投写映像の色合いを細かく調整できます。

▶ 関連項目

- ・「色相、彩度、明度を調整する」 [p.87](#)
- ・「ガンマを調整する」 [p.88](#)

色相、彩度、明度を調整する

映像の色相、彩度、明度を調整します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [映像調整] を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 ● 50 ● 50
設定	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

- 4 [RGBCMY] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 調整する色を選択し、【決定】ボタンを押します。

[RGBCMY]			戻る
	色相	彩度	明度
R	50	50	50
G	50	50	50
B	50	50	50
C	50	50	50
M	50	50	50
Y	50	50	50

- 6 必要に応じて以下を調整します。
 - ・ [色相]：映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
 - ・ [彩度]：映像全体の鮮やかさを調整します。
 - ・ [明度]：映像全体の明るさを調整します。

[R]		戻る
色相	50 M ◀ ▶ Y	
彩度	50	
明度	50	

- 7 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

ガンマを調整する

ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。



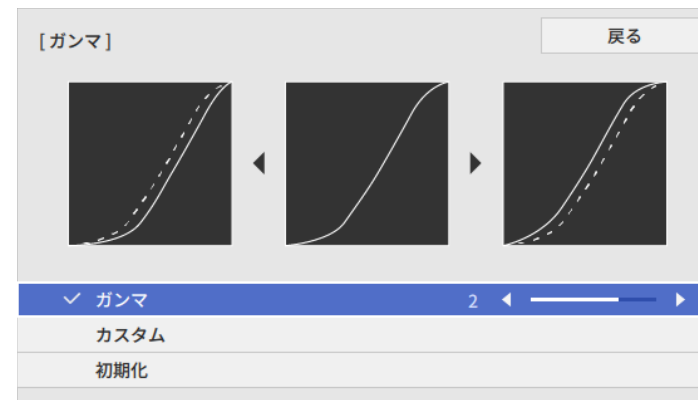
シーンに応じて階調表現を最適化し、メリハリのある映像にするときは「シーン適応ガンマ補正」で映像を補正します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「映像調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 ● 50 ● 50
設置	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

- 4 「ガンマ」を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 「ガンマ」の補正值を調整し、【決定】ボタンを押します。



数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。





- [映像調整] メニューで、[カラーモード] を [ダイナミック] または [DICOM SIM] 以外に設定していると、ガンマの設定方法が逆になります。

数値が大きいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が小さいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。

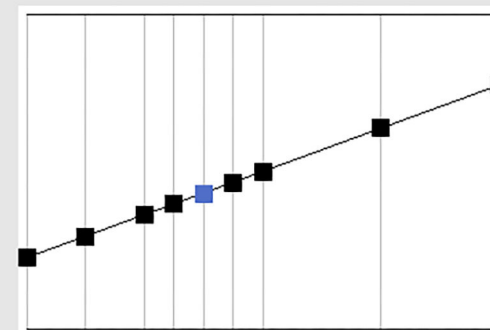
- [映像調整] メニューの [カラーモード] で [DICOM SIM] を選択したときは、投写サイズに応じた補正値を選択します。
 - 投写サイズが 120 インチ以下：より小さい数値を選択します。
 - 投写サイズが 120 インチ以上：より大きい数値を選択します。
- 本機の設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できないことがあります。

- 6** 調整の精度を上げるには、[カスタム] を選択して【決定】ボタンを押します。

- 7** ガンマ調整グラフで、左右ボタンを使って変更したい階調を選択します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【決定】ボタンを押します。

[ガンマ]

点滅している部分が調整対象です。



- 8** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.203](#)

映像の解像感を調整することで、質感や素材感のあるくっきりとした映像を表現できます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 「映像調整」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 ● 50 ● 50
設置	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

- 4 「イメージ強調」を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 「[イメージ強調プリセット]」を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ ● ● ●
設置	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	[イメージ強調]	戻る
ネットワーク	4Kエンハンスメント	オン ☒
情報	イメージ強調プリセット	オフ ▼
メモリー	アスペクト	
節電	表示倍率	
初期・全体設定	映像調整初期化	

- 6 プリセットを選択し、【決定】ボタンを押します。

[イメージ強調プリセット]	戻る
✓ オフ	
プリセット1	
プリセット2	
プリセット3	
プリセット4	
プリセット5	

プリセットに登録されている以下の項目の設定値が映像に反映されます。

- ・ [ノイズリダクション]

- [MPEGノイズリダクション]
- [ディテール強調]

7 必要に応じて、それぞれの設定値を個別に調整します。

- [ノイズリダクション]：映像のざらつきを抑えます。
- [MPEGノイズリダクション]：MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。
- [ディテール強調]：映像のテクスチャーや質感を強調します。



調整後、プリセットの設定値は上書きされます。

8 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

光源の明るさを設定します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [動作] を選択し、【決定】ボタンを押します。

映像調整	待機モード	ノーマル
信号入出力	待機時音声出力	オン ☐
設置	オートパワーオン	オフ ☐
マルチプロジェクション	高速起動	オフ ☐
表示	HDBaseT設定	
動作	光源明るさ制御	
管理	起動時入力設定	ラストソース
ネットワーク	スリープモード	オン ☐
情報	スリープモード時間	10分
メモリー	A/Vミュート設定	
節電	動作設定	
初期・全体設定	コンテンツ再生	
	動作初期化	

- 4 [光源明るさ制御] を選択し、【決定】ボタンを押します。

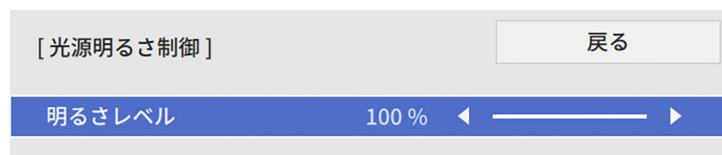
- 5 明るさを一定のレベルで維持したいときは、[明るさ一定運用] を [オン] に設定します。

映像調整	待機モード	有線LAN通信
信号入出力	待機時音声出力	オン ☐
設置	オートパワーオン	オフ ☐
マルチプロジェクション	高速起動	オフ ☐
表示	HDBaseT設定	
動作	[光源明るさ制御]	戻る
管理	明るさ一定運用	オン ☐
ネットワーク	明るさ維持レベル	100%
情報	光源モード	ノーマル
メモリー	明るさレベル	100%
節電	コンテンツ再生	
初期・全体設定	動作初期化	

- 6 [明るさ一定運用] をオフにしたときは、[光源モード] を選択します。
 - ・ [ノーマル]：明るさを落としたいときに選択します。光源使用時間の目安は約20,000時間です。
 - ・ [静音]：ファンの音が気になるときに選択します。明るさレベルは約70%になります。光源使用時間の目安は約20,000時間です。
 - ・ [ロング]：光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約70%になります。光源使用時間の目安は約30,000時間です。
 - ・ [カスタム]：明るさレベルを70～100%の範囲で設定します。



- 7** [光源モード] で [カスタム] を選択したときは、[明るさレベル] を選択し、左右矢印ボタンを押して明るさレベルを設定します。



- 8** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



光源の明るさを一定に保ちたいときは、[管理] メニューの [光源キャリブレーション] で [定期的に実行] を選択してください。

関連項目

- 「光源の使用時間」 [p.93](#)

光源の使用時間

光源の使用時間は、[明るさレベル] の設定や [明るさ一定運用] のオン/オフによって異なります。

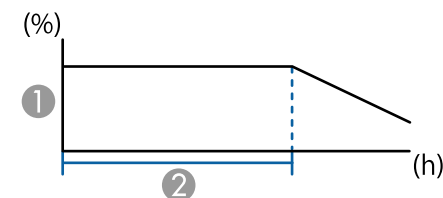


- 光源の使用時間はお使いの環境によって異なります。
- 以下に示す時間は目安であり、保証期間ではありません。
- 本機の使用条件や使用環境によっては、目安時間より短い時間でも、本機内部の部品交換が必要となることがあります。
- [明るさ一定運用] がオンのときに、以下に示す目安時間を超えて使用した場合は、[明るさ維持レベル] の設定を高くすることはできません。

明るさ一定運用がオフの場合

明るさレベルの設定	光源の明るさが半減するまでの時間（目安）
100%	20,000時間
90%	21,000時間
80%	24,000時間
70%	30,000時間

明るさ一定運用がオンの場合



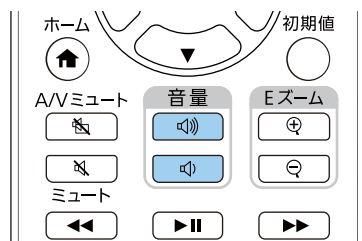
- ① 明るさ維持レベル
- ② 光源の明るさを一定に保つことができる時間（目安）

明るさ維持レベルの設定	時間
85%	6,000時間

明るさ維持レベルの設定	時間
80%	10,000時間
75%	14,000時間
70%	19,000時間

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。
プロジェクターに接続している外部スピーカーの音量も調整できます。
音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【音量】ボタンを押して音量を調整します。



音量調節画面が表示されます。

- 3 メニューから音量を調整するときは、[信号入出力] メニューの [音量] を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

プロジェクターの便利な機能

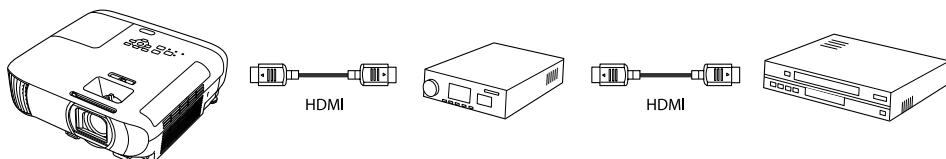
プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

- 「HDMIリンク機能」 [p.97](#)
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.99](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.102](#)
- 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.107](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.114](#)
- 「映像を一時的に停止する」 [p.115](#)
- 「音声を一時的に遮断する（ミュート）」 [p.116](#)
- 「画面の一部を拡大表示する（Eズーム）」 [p.117](#)
- 「ユーザーロゴを設定する」 [p.118](#)
- 「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.120](#)
- 「映像の詳細設定を行う」 [p.122](#)
- 「マルチプロジェクション機能」 [p.125](#)
- 「外付けカメラを使用する」 [p.137](#)
- 「セキュリティ機能」 [p.139](#)

本機のHDMI端子にHDMI CEC規格に対応したAV機器を接続すると、接続機器同士の連携動作が本機のリモコンで操作できます。

例：電源オン連動やAVアンプの音量調整など



- AV機器がHDMI CEC規格に対応していれば、中継するAVアンプがHDMI CEC規格に対応していなくてもHDMIリンク機能が利用できます。
- HDMI CEC規格で同時に接続できるプレーヤーは3台までです。

▶ 関連項目

- 「HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する」 [p.97](#)

HDMIリンク機能を使って接続機器を操作する

HDMIリンクを利用できる接続機器を選択して、HDMIリンク機能で機器を操作できます。



- HDMIリンク機能を使用するには、[信号入出力] メニューの[HDMIリンク]を[オン]に設定します。
- 接続機器側の設定も必要です。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI CEC規格に対応していても動作しない接続機器や、動作しない機能があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- ケーブルがHDMIの規格に対応していないと動作しません。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 [信号入出力]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 [HDMIリンク]を選択して【決定】ボタンを押します。
表示された画面で、[HDMIリンク]が[オン]に設定されていることを確認します。
- 4 [接続機器一覧]を選択して【決定】ボタンを押します。
- 5 HDMIリンクで操作したり、映像を表示したりする機器を選択して【決定】ボタンを押します。



- HDMIリンクされている機器は左側のマークが青色になります。
- 機器名が取得できないときは空欄になります。

- 6 必要に応じて【戻る】ボタンを押して、HDMIリンクのオプション設定をします。

- [音声出力機器]：音声を出力する機器を選択します。



- 本機から音声を出力するときは、[プロジェクター]を選択します。
- HDMIケーブルで中継しているAVアンプから音声を出力するときは、[AVアンプ]を選択します。

- [電源オン連動]：本機や接続機器の電源を入れたときに連動する操作を設定します。



- 本機の電源を入れたときに、接続機器の電源も入るようにするには、[PJ→接続機器] または [双方向] を選択します。
- 接続機器の電源を入れたときに、本機の電源も入るようにするには、[接続機器→PJ] または [双方向] を選択します。

- [電源オフ連動]：本機の電源オフに連動して、接続機器の電源も切るかどうかを設定します。



- [電源オフ連動] は、接続機器のCEC電源連動機能を有効に設定しているときのみ有効です。
- 録画中の機器など、状態によっては電源が切れないことがあります。

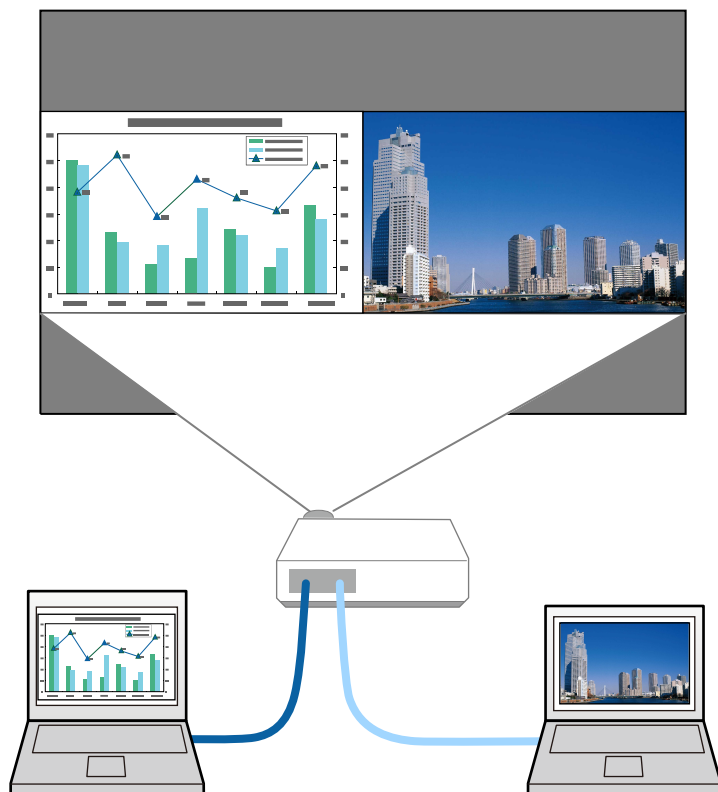
7 【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

本機のリモコンを使って接続機器の再生、停止、早送り、早戻しなどの操作ができます。

2つの映像を同時に投写する

99

2画面機能を使用して、2つの機器の映像を同時に投写します。2画面機能はリモコンまたはメニューから実行できます。



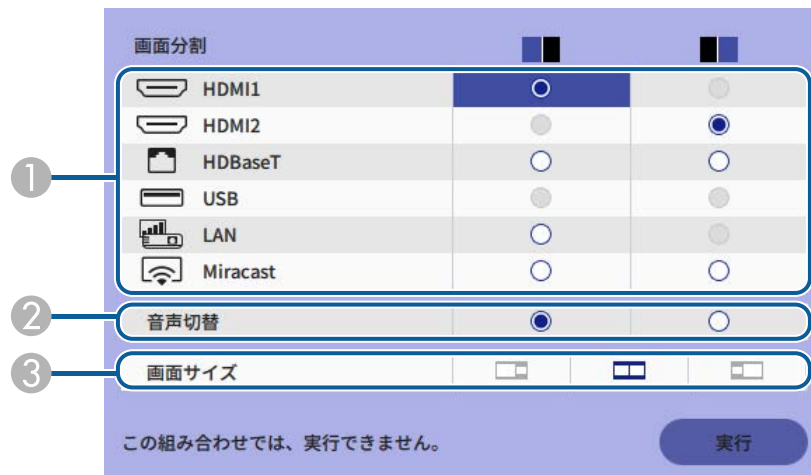
- ・2画面機能を使用しているときは、本機の一部の機能が使用できなくなったり、一部の設定が自動的に両方の映像に適用されたりすることがあります。
- ・[動作] メニューの [コンテンツ再生] を [オン] に設定しているときは、この機能は使用できません。
- ・[マルチプロジェクション] メニューの [表示倍率]、または [エッジブレンディング] を使用しているときは、画面分割機能を使用できません。

- 1** 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2** 【ホーム】 ボタンを押します。
- 3** [画面分割] を選択します。



- 4** 【メニュー】 ボタンを押します。

5 2画面に分割するときは、以下の設定をします。



① 入力ソースを選択します。



組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。

② 音声を出力する画面を選択します。

③ 画面サイズを選択します。

6 「実行」を選択し、【決定】ボタンを押します。

7 画面分割機能を終了するには、【戻る】ボタンを押します。

▶ 関連項目

- 「画面分割投写できる入力ソース」 [p.100](#)
- 「画面分割投写中の制限事項」 [p.101](#)

画面分割投写できる入力ソース

画面分割で投写できる入力ソースの組み合わせは以下のとおりです。

EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U

左画面ソース	右画面ソース					
	HDMI1	HDMI2	HDBaseT	USB	LAN	Miracast
HDMI1	—	✓	✓	✓	—	—
HDMI2	✓	—	—	✓	✓	✓
HDBaseT	✓	—	—	✓	✓	✓
USB	✓	✓	✓	—	—	✓
LAN	—	✓	✓	—	—	—
Miracast	—	✓	✓	✓	—	—

EB-L690SE/EB-L695SE

左画面ソース	右画面ソース				
	HDMI1	HDMI2	HDBaseT	USB	LAN
HDMI1	—	✓	✓	✓	✓
HDMI2	✓	—	—	✓	✓
HDBaseT	✓	—	—	✓	✓
USB	✓	✓	✓	—	—
LAN	✓	✓	✓	—	—

画面分割投写中の制限事項

操作に関する制限事項

画面を分割しての投写中は、以下の操作はできません。

- メニューの設定
- Eズーム
- アスペクトモードの切り替え（アスペクトモードは [オート] に設定されます。）
- リモコンの【カスタマイズ】ボタンでの操作（投写面へのネットワーク情報の表示以外）
- 投写中の映像に [ダイナミックコントラスト] の設定を適用
- 【カスタマイズ】ボタンを使用する以外の方法での投写面へのネットワーク情報の表示
- [Miracast] 情報バーの表示

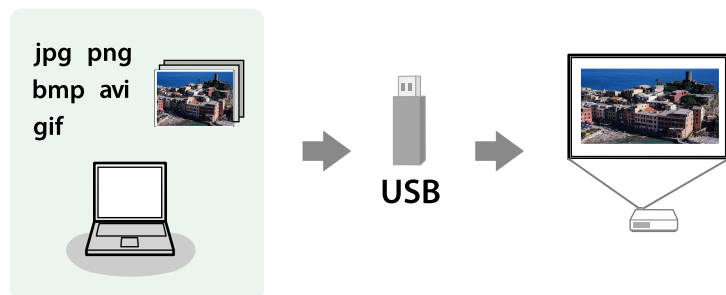
画質調整に関する制限事項

- [表示] メニューの [無信号時画面] で [ロゴ] を設定していても、映像信号が入力されていないときは青い画面が表示され、ロゴは表示できません。
- 複数のプロジェクターを並べて作った一つの大きな映像で画面分割機能を使用するときは、2台目のプロジェクターは入力ソースを検出できません。

▶▶ 関連項目

- 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.82](#)
- 「画面の一部を拡大表示する（Eズーム）」 [p.117](#)
- 「映像の光量を調整する」 [p.86](#)
- 「メニューの設定」 [p.200](#)

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



▶ 関連項目

- 「サポートファイル形式」 [p.102](#)
- 「PC Free使用時の注意事項」 [p.103](#)
- 「PC Freeのスライドショーを開始する」 [p.103](#)
- 「PC Freeで動画を投写する」 [p.104](#)
- 「PC Freeの表示オプション」 [p.105](#)

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。



- FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 • CMYK形式 • プログレッシブ形式 • 高圧縮 • 解像度が8192×8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル • アニメーションファイル • インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1920×1200を超えるファイル • インターレース形式
動画	.avi	• バージョン：AVI 1.0のみ • 解像度：最大1280×720 • サイズ：最大2 GB • 動画コーデック：Motion JPEG • フレームレート：最大30 fps • 音声コーデック：LPCM、IMA ADPCM • 音声サンプリングレート：11.025 kHz、22.05 kHz、44.1 kHz、16 kHz、24 kHz、32 kHz、48 kHz

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- USBキーとして使用しているUSBメモリーは、PC Free機能では使用できません。
- PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、PC Free機能が使用できないことがあります。
- ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。
- 以下の機能はPC Freeで投写しているときでも使用できます。
 - 静止
 - A/Vミュート
 - Eズーム

▶ 関連項目

- 「映像を一時的に停止する」 [p.115](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.114](#)
- 「画面の一部を拡大表示する（Eズーム）」 [p.117](#)

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えてスライドショーを開始します。



画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

1

リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの画像を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」を選択して、【決定】ボタンを押します。

2

以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。

- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ] または [前のページ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

3 次のいずれかの操作を行います。

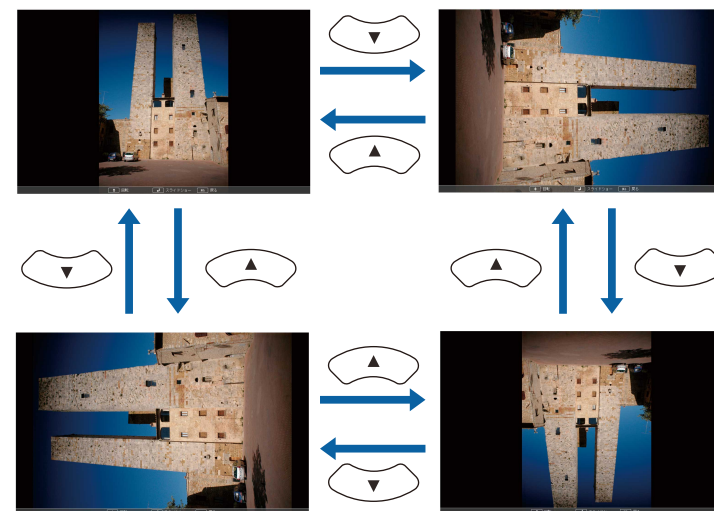
- 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。(ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。)
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の [スライドショー] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の [オプション] を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。

4 投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

5 画像の投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。ファイル一覧画面に戻ります。

6 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

▶ 関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.39](#)
- 「PC Freeの表示オプション」 [p.105](#)

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースを切り替えて、動画の投写を開始します。



画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1 リモコンの【USB】ボタンを押します。
PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- 別のUSBドライブの動画ファイルを表示するには、一覧画面上部の「ドライブの選択」を選択して【決定】ボタンを押します。

- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。
 - USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して【決定】ボタンを押します。
 - ひとつ上のフォルダーに戻るときは、「上へ戻る」を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ] または [前のページ] を選択して【決定】ボタンを押します。

- 3 上下左右ボタンでファイルを選択して【決定】ボタンを押します。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名表示が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の「スライドショー」を選択します。

- 4 投写を終了するときには、【戻る】ボタンを押し、[終了] を選択して【決定】ボタンを押します。
ファイル一覧画面に戻ります。

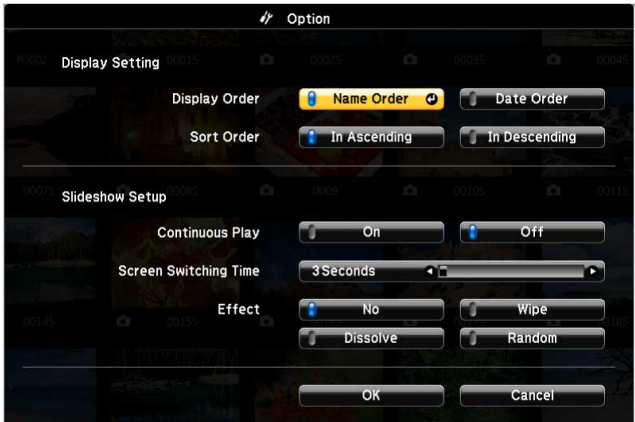
- 5 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

▶ 関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.39](#)
- 「PC Freeの表示オプション」 [p.105](#)

PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押します。



設定	選択肢	説明
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果を入れる

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示（高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります）
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を入れる

コンテンツ再生モードを使うと、デジタルサイネージに適した映像を投写できます。外部メモリーに保存されているプレイリストの画像や動画を投写できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。



▶ 関連項目

- 「サポートファイル形式」 [p.107](#)
- 「コンテンツ再生モードに切り替える」 [p.108](#)
- 「プレイリストを再生する」 [p.108](#)
- 「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 [p.111](#)
- 「コンテンツ再生モードの制限事項」 [p.113](#)

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをコンテンツ再生モードで投写できます。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 • プログレッシブ形式 • 高圧縮 • 解像度が8192×8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル • アニメーションファイル • インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280×800を超えるファイル • インターレース形式
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	• バージョン：AVI 1.0のみ • 解像度：最大1280×720 • サイズ：最大2 GB • 動画コーデック：Motion JPEG • フレームレート：最大30 fps • 音声コーデック：LPCM、IMA ADPCM • 音声サンプリングレート：11.025 kHz、22.05 kHz、44.1 kHz、16 kHz、24 kHz、32 kHz、48 kHz

コンテンツ再生モードに切り替える

プレイリストを再生するには、コンテンツ再生モードに切り替えます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[動作] を選択して、【決定】ボタンを押します。

映像調整	待機モード	ノーマル
信号入出力	待機時音声出力	オン ☐
設置	オートパワーオン	オフ ☐
マルチプロジェクション	高速起動	オフ ☐
表示	HDBaseT設定	
動作	光源明るさ制御	
管理	起動時入力設定	ラストソース
ネットワーク	スリープモード	オン ☐
情報	スリープモード時間	10分
メモリー	A/Vミュート設定	
節電	動作設定	
初期・全体設定	コンテンツ再生	
	動作初期化	

- 3 [コンテンツ再生] を [オン] にします。
確認メッセージが表示されます。
- 4 コンテンツ再生モードを有効にするために、本機の電源を入れなおします。

プレイリストを再生する

コンテンツ再生モードでは、プレイリストとして保存した写真や動画を投写できます。



- 1 以下の方法でプレイリストを作成し、USBメモリーに保存します。

- Epson Projector Content Managerを使うと、画像や動画をプレイリストに追加して外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えたり、プレイリストを再生する日時を指定するタイムテーブルを設定することもできます。

Epson Projector Content Managerは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

epson.jp/download

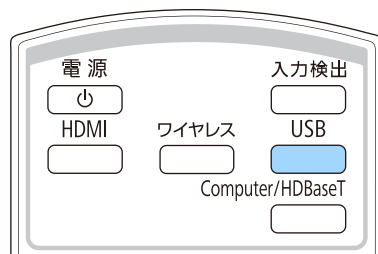
詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- Epson Web Controlを使うと、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されている外付けデバイスに保存できます。エフェクト機能を使って投写映像の色や形を変えることもできます。
- Epson Creative Projectionを使うと、iOSのモバイルデバイスでデジタルサイネージコンテンツを作成できます。プロジェクターにコンテンツをワイヤレスに転送することもできます。

Epson Creative Projectionは、App Storeから無料でダウンロードできます。App Storeへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

2 コンテンツ再生モードが有効な状態で、USBメモリーを本機のUSB-A端子に接続します。

3 リモコンの【USB】ボタンを押します。



前回再生したプレイリストが再生されます。タイムテーブルを設定しているときは、その時間に指定されているプレイリストが再生されます。



- テンキーボタンを押すと、お気に入りに登録したプレイリストを再生できます。お気に入りには、プレイリストを作成したソフトウェアを使って登録できます。
- 再生するプレイリストを一覧から選択するには、[動作]メニューの[USBビューアー]を選択し、上下左右ボタンで選択します。

▶ 関連項目

- 「Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する」 [p.109](#)

Epson Web Controlを使ってプレイリストを作成する

コンテンツ再生モードでは、Webブラウザを使ってプレイリストを作成して、ネットワークプロジェクターに接続されているUSBメモリーに保存できます。

注意

プレイリストの作成中は、USBメモリーを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。USBメモリーのデータが破損することがあります。

- 1** 本機がコンテンツ再生モードで動作中であることを確認します。
- 2** お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。
- 3** USBメモリーがプロジェクターのUSB-A端子に接続されていることを確認します。
- 4** お使いの機器でWebブラウザを起動します。
- 5** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを[]で囲んで入力します。

6 [USBメモリー] を選択します。



7 [素材のアップロード] を選択します。



8 プレイリストに追加したい画像や動画を選択します。



.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできます。

.mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。

選択したファイルが、プロジェクターに接続されているUSBメモリーにコピーされます。

9 次のいずれかの操作を行います。

- アップロードした画像や動画を既存のプレイリストに追加したいときは、[プレイリストに追加]を選択し、追加するプレイリストを選択します。
- 新しいプレイリストを作成したいときは、[新規プレイリストを作成]を選択します。

10 プレイリストを編集します。



- 1 プレイリスト名を編集できます。
- 2 繰り返し再生するかどうかを設定します。

3 お気に入りに登録します。

お気に入りに登録すると、[リモコン] 画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。

4 プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。

5 画像や動画を追加します。

6 画像や動画を一覧から削除します。

7 [静止画切り替え] 画面を表示します。

プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。

8 [エフェクト] 画面を表示します。

あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。

9 プレイリストをプレビューできます。

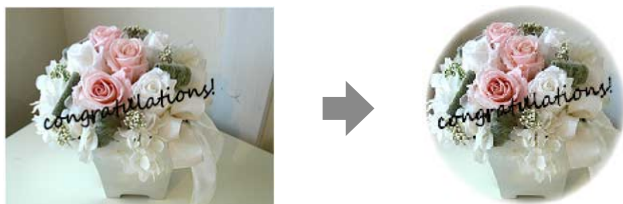
11 終了したら、[完了]を選択します。



- [リモコン] または [プレイリスト] 画面からプレイリストを再生できます。
- プレイリストを再生する日時を設定するには、Epson Projector Content Managerを使用します。

映像に効果を加える（エフェクト機能）

コンテンツ再生モードでは、映像の色や形を変えて投写できます。



- エフェクト機能を使うときは、[リフレッシュモード] を定期的に行ってください。
- ☛ [管理] > [リフレッシュモード]
- [エッジブレンディング] 機能を使用しているときは、エフェクト機能を使用できません。

- 1 コンテンツ再生モードが有効な状態で【メニュー】ボタンを押し、[動作] を選択して、【決定】ボタンを押します。

映像調整	待機モード	ノーマル
信号入出力	待機時音声出力	オン ☐
設置	オートパワーオン	オフ ☐
マルチプロジェクション	高速起動	オフ ☐
表示	HDBaseT設定	
動作	光源明るさ制御	
管理	起動時入力設定	ラストソース
ネットワーク	スリープモード	オン ☒
情報	スリープモード時間	10 分
メモリー	A/Vミュート設定	
節電	動作設定	
初期・全体設定	コンテンツ再生	
	動作初期化	

- 2 [コンテンツ再生] を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 3 [エフェクト] を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 4 [エフェクト] を [オン] に設定し、【決定】ボタンを押します。

[エフェクト]	戻る
エフェクト	オン ☒
形状フィルター	円1
カラーフィルター	オフ
明度	100

- 5 [形状フィルター] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6 必要に応じて以下の項目を調整します。

- [形状]：エフェクトの形状を、丸、四角、カスタムから選択します。



Epson Projector Content Managerを使うと、好きな画像をカスタムに登録できます。詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

- [フィルター効果]：選択した形状の内側をマスクするか、外側をマスクするかを選択します。
- [サイズ]：選択した形状のサイズを設定します。
- [表示位置]：選択した形状の表示位置を設定します。



カスタムを使用する時は、[サイズ] と [表示位置] 設定は変更できません。

7 [カラーフィルター] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

8 必要に応じて以下の項目を調整します。

- [カラーフィルター]：エフェクトの色を選択します。
- [カスタム]：[赤]、[緑]、[青] をそれぞれ調整します。

9 エフェクトの明るさを設定するときは、[明度] を選択します。

10 【メニュー】 ボタンを押して終了します。

▶ 関連項目

- 「動作メニュー」 [p.214](#)

- PC Free
- USB書画カメラ
- Epson iProjectionを使った画面共有

▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「ネットワーク設定メニュー」 [p.223](#)
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.99](#)
- 「スクリーンタイプを設定する」 [p.58](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.102](#)

コンテンツ再生モードの制限事項

操作に関する制限事項

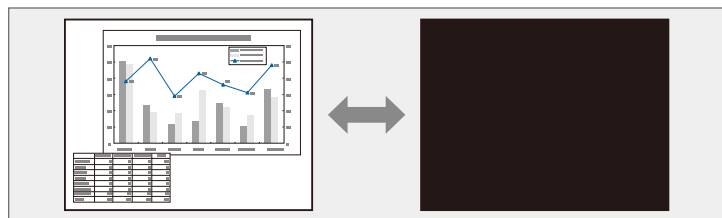
コンテンツ再生モードでは、以下の操作や設定の変更はできません。

- [映像調整] メニューの [色温度] ([カラーフィルター] で [ウォームホワイト]、または [クールホワイト] が設定されているとき)
- 画面分割
- ログ保存先
- ブランキング
- [設置] メニューの [スクリーンタイプ]
- [表示] メニューの [無信号時画面]
- 自動入力検出
- [ネットワーク設定] メニューの [Remote/パスワード]
- ベーシックコントロール

投写中の映像と音声を一時的に消します。

プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなどに効果的です。

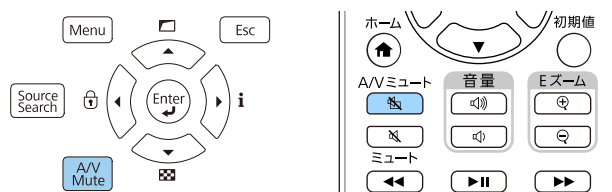
停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。



▶ 関連項目

- 「動作メニュー」 [p.214](#)

1 操作パネルまたはリモコンの【A/Vミュート】ボタンを押します。



光源が消灯して、映像と音声が悪断されます。

2 投写を再開するときは、再度【A/Vミュート】ボタンを押します。



- A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は無効にできます。
 - ☛ [動作] > [A/Vミュート設定] > [A/Vミュートタイマー]
- [動作] メニューの [A/Vミュート解除ボタン] を [A/Vミュート] に設定すると、A/Vミュートを実行したまま本機を操作できます。
 - ☛ [動作] > [A/Vミュート設定] > [A/Vミュート解除ボタン]

動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。



- 2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。



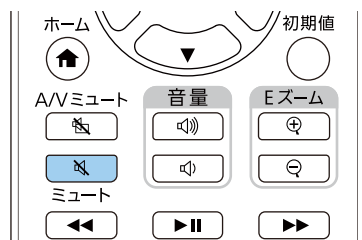
リモコンの【静止】ボタンを押すと、現在投写している映像をキャプチャーしてテストパターンとして使用するか確認する画面が表示されます。（「[4Kエンハンスメント]」が「オン」のときは表示されません。）

静止中に【決定】ボタンを押して投写映像をキャプチャーすると、テストパターンの一つとして使うことができます。キャプチャーした映像を投写しながら、レンズシフト、フォーカスや幾何学歪み補正などの調整ができます。

キャプチャーしたテストパターンは本機の電源をオフにするまで有効です。

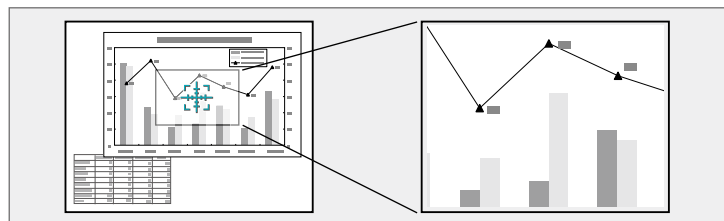
投写中の音声を一時的に消すことができます。

- 1 リモコンの【ミュート】ボタンを押します。



- 2 再開するときは、【ミュート】ボタンを再度押します。

映像の一部をズームして拡大表示することで、プレゼンテーションのポイントに注目させることができます。



「映像調整」メニューの「表示倍率」機能を使用しているときは、この機能は使用できません。

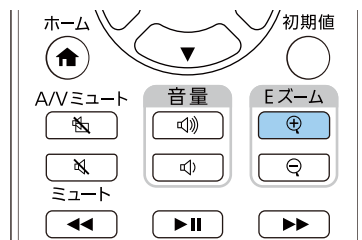
- ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
- ズームアウト：【Eズーム】(-) ボタンを押します。
- ズーム解除：【戻る】ボタンを押します。

拡大された映像が投写され、拡大倍率が画面に表示されます。

1～4倍まで、25段階で拡大できます。

エプソン製書画カメラをUSBで接続して、カメラから読み込んだ映像を投写しているときは、1～8倍まで、57段階で拡大できます。

1 リモコンの【Eズーム】(+) ボタンを押します。



ズームエリアの中心を示す十字カーソルが画面に表示されます。

2 以下の操作でズームエリアを決めてズームします。

- 十字カーソルの移動：上下左右ボタンでズームしたい位置に十字カーソルを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、十字カーソルを斜めに移動できます。
- ズームイン：【Eズーム】(+) ボタンを繰り返し押します。ズームインの速度を上げるには、【Eズーム】(+) ボタンを長押しします。

プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。この画像は、入力信号が未検出のときにも表示できます。この画像をユーザーロゴと呼びます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できないようにすることができます。



- ・ [メニュー保護] の [ユーザーロゴ] をオンにしているときは、[オフ] にしてからユーザーロゴを設定してください。
- ・ 一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- ・ HDCPで保護されたコンテンツは保存できません。
- ・ [コンテンツ再生] が [オン] のときは、プロジェクターの電源投入時のみユーザーロゴを表示できます。
- ・ ユーザーロゴ画像は4Kエンハンスメント画質ではありません。
- ・ この機能は入力ソースが AirPlay、LAN、Miracastのときは無効です。(EB-L890E/EB-L895E/EB-L790SE/EB-L795SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U/EB-L690SU/EB-L695SU)

1 ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。

2 【メニュー】 ボタンを押し、[管理] を選択して【決定】 ボタンを押します。

映像調整	カスタマイズボタン	未設定
信号入出力	ユーザーロゴ	
設置	操作ボタンロック	オフ
マルチプロジェクション	ユニフォーミティー	
表示	リフレッシュモード	
動作	光源キャリブレーション	
管理	カラーキャリブレーション	
ネットワーク	日付&時刻	
情報	スケジュール設定	
メモリー	NFC設定	
節電	言語	日本語
初期・全体設定	管理初期化	

3 [ユーザーロゴ] > [設定開始] の順に選択し、【決定】 ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



[ユーザーロゴ] を選択すると、[幾何学歪み補正]、Eズーム、[アスペクト]、[表示倍率]、[スクリーンタイプ] などの設定が、一時的に無効になります。

4 [はい] を選択して【決定】 ボタンを押します。

5 表示されている画像を確認し、[はい] を選択して保存します。ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

6 【戻る】 ボタンを押して、メッセージを閉じます。

7 「表示」を選択して【決定】ボタンを押します。

映像調整	無信号時画面	青
信号入出力	スタートアップ表示	オン ☒
設置	スタンバイ確認	オン ☒
マルチプロジェクション	ホーム画面自動表示	オン ☒
表示	メッセージ表示	オン ☒
動作	メッセージ表示位置	右上
管理	メニュー回転	オフ
ネットワーク	メニューカラー	白
情報	メニュー表示位置	中央
メモリー	エアフィルター清掃通知	オン ☒
節電	画面分割設定	
初期・全体設定	表示初期化	

8 ユーザーロゴを表示するタイミングを設定します。

- 入力信号がないときに表示するには、「無信号時画面」を選択し、「ロゴ」に設定します。
- 本機の電源投入時に表示するには、「スタートアップスクリーン」を「オン」に設定します。



「ユーザーロゴ」の表示設定の変更を防止したいときは、「メニュー保護」の「ユーザーロゴ」をオンに設定します。

▶ 関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.140](#)

投写映像の設定値をメモリーに登録して、いつでも必要なときに呼び出すことができます。

- 1 本機の電源を入れて、映像を表示します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[メモリー]を選択して【決定】ボタンを押します。



- 3 [画質メモリー]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 4 次のいずれかを選択します。
 - [メモリー保存]：現在の設定をメモリーに保存します（10件まで保存できます）。



- 以下の設定を保存できます。
 - カラーモードごとに調整した[映像調整]メニューの設定
 - [信号入出力]メニューの[ビデオレンジ]
 - [動作]メニューの[光源モード]と[明るさレベル]
 - ☛ [動作] > [光源明るさ制御] > [光源モード]
 - ☛ [動作] > [光源明るさ制御] > [明るさレベル]
 - [マルチプロジェクション]メニューの[カラーマッチング]
 - ☛ [マルチプロジェクション] > [スクリーンマッチング] > [カラーマッチング]
- すでに登録済みのメモリー名は青いマークで表示されます。登録済みのメモリー名を選択したときは、登録内容を消去して、現在の設定に置き換えます。

- [メモリー呼出]：保存したメモリーを呼び出し、現在の設定と置き換えます。
- [メモリー名称変更]：メモリー名を変更します。
- [メモリー削除]：選択したメモリーを消去します。

- 5 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



- メモリー保存時のカラーモードは、メモリー名の右側に表示されます。
- 保存されたメモリーを消去するには、[メモリー初期化]を選択します。

▶▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.206](#)
- 「動作メニュー」 [p.214](#)
- 「マルチプロジェクションメニュー」 [p.210](#)

プロジェクターの詳細な映像調整を行います。

▶ 関連項目

- ・「色味を調整する（ユニフォーミティー）」 [p.122](#)
- ・「光源キャリブレーションを実行する」 [p.123](#)

色味を調整する（ユニフォーミティー）

「ユニフォーミティー」機能を使って、投写画像の色味バランスを手動で調整します。

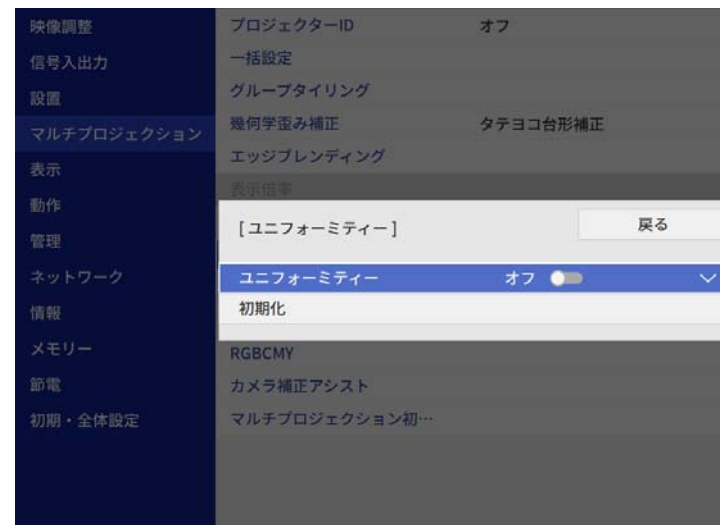


ユニフォーミティーを調整後も、色味が均一にならない場合があります。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[マルチプロジェクション] を選択して、【決定】ボタンを押します。

映像調整	プロジェクターID	オフ
信号入出力	一括設定	
設置	グループタイリング	
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	エッジブレンディング	
動作	黒レベル調整	
管理	表示倍率	
ネットワーク	スクリーンマッチング	
情報	ユニフォーミティー	
メモリー	光源モード	ノーマル
節電	カラーマッチング	
初期・全体設定	RGBCMY	
	カメラ補正アシスト	
	マルチプロジェクション初...	

- 2 「ユニフォーミティー」を選択して【決定】ボタンを押します。



- 3 「ユニフォーミティー」を選択して「オン」に設定します。

- 4 「調整レベル」を選択して【決定】ボタンを押します。

- 5 レベルを選択して【戻る】ボタンを押します。



白 - グレー - 黒まで8つのレベルがあります。それぞれのレベルに対して調整を行います。

- 6 「調整開始」を選択して【決定】ボタンを押します。

- 7** 調整するエリアを選択して【決定】ボタンを押します。



最初に画面の周囲を調整します。最後に「全体」を選択し、画面全体を調整します。

- 8** 必要に応じて、[赤]、[緑]、[青] を選択し、それぞれの色味を調整します。



調整中に【決定】ボタンを押すと、投写映像を調整画面と入力映像で切り替えられます。

- 9** 【戻る】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。

- 10** この手順を繰り返して、すべてのエリアを調整します。

- 11** 手順4に戻り、それぞれのレベルで調整します。

- 12** 終了したら、【メニュー】ボタンを押します。

光源キャリブレーションを実行する

光源キャリブレーションを実行すると、光源のホワイトバランスや明るさレベルのずれが補正されます。使用時間が100時間を経過するたびに光源キャリブレーションを実行してください。自動でキャリブレーションが実行されるようにスケジュールしたり、手動でメニューから光源キャリブレーションを実行したりすることもできます。

以下の場合には自動光源キャリブレーションが開始されません。

- 本機の電源を入れて30分以内
- ダイレクトシャットダウンを使用する場合
- 本機を24時間以上使用している場合
- 使用する環境の温度が高く、光源の明るさが自動的に低下している場合

- 1** 本機の電源を入れます。

- 2** 【メニュー】 ボタンを押し、[管理] を選択して【決定】 ボタンを押します。

映像調整	カスタマイズボタン	未設定
信号入出力	ユーザーロゴ	
設置	操作ボタンロック	オフ
マルチプロジェクション	ユニフォーミティー	
表示	リフレッシュモード	
動作	光源キャリブレーション	
管理	カラーキャリブレーション	
ネットワーク	日付&時刻	
情報	スケジュール設定	
メモリー	NFC設定	
節電	言語 	日本語
初期・全体設定	管理初期化	



本機を24時間以上使用している場合、またはダイレクトシャットダウンを使用している場合は、定期的に光源キャリブレーションを実行するために[スケジュール設定]を選択します。

自動光源キャリブレーションをスケジュールするには、[スケジュール設定]を選択します。

- 5** 【メニュー】 ボタンを押して終了します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.197](#)

- 3** [光源キャリブレーション] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- 4** 次のいずれかを選択します。

- 光源キャリブレーションを今すぐ実行するには、[今すぐ実行]を選択します。
- 使用時間が100時間が経過するたびに光源キャリブレーションを自動で実行するには、[定期的に実行]を選択して、[オン] に設定します。
- 光源キャリブレーションを実行した最後の日時は、[最終実行日時]で確認できます。

複数台のプロジェクターからの投写映像を組み合わせ、明るい映像や、つなぎ目が目立たない大画面の映像を投写できます。(マルチプロジェクション機能)

使用できるプロジェクターの台数は、投写方法によって異なります。

- 複数の投写映像を組み合わせ、つなぎ目が目立たない大画面の映像を投写する
 - オプションの外付けカメラを装着してプロジェクターのメニューを使う：プロジェクター2台まで（シンプルブレンディング）
 - Epson Projector Professional Toolとオプションの外付けカメラを使う、またはプロジェクターのメニューを使う：プロジェクター15台まで（ブレンディング）
- 複数の投写映像を重ねて、明るい映像を投写する
 - Epson Projector Professional Toolと、オプションの外付けカメラを使う：プロジェクター6台まで（スタッキング）
 - オプションの外付けカメラを装着してプロジェクターのメニューを使う：プロジェクター2台まで（シンプルスタッキング）

▶ 関連項目

- 「カメラ補正機能の条件」 [p.125](#)
- 「手順概要」 [p.125](#)
- 「マルチプロジェクションの事前準備」 [p.126](#)
- 「投写画面の合成」 [p.128](#)
- 「色の調整」 [p.136](#)
- 「外付けカメラを使用する」 [p.137](#)

カメラ補正機能の条件

カメラ補正機能を使用する場合は、以下の条件を満たすことを推奨します。

- 各プロジェクターに外付けカメラを装着している

- 使用するすべてのプロジェクターが、電源オンから2分以上経過している
- そりやゆがみがない平面の拡散型のホワイトマットスクリーンを使用している
- 投写面に対してプロジェクターが平行に設置されている
- 外付けカメラや投写映像を遮っていない
- 全白画面を投写したときと全黒画面を投写したときのスクリーン面上の照度比が8:1以上である（スクリーン照度が40ルクス以下の場合、以下の投写サイズが推奨値）
 - 9.9Klmまで：50インチ～200インチ
 - 10Klm～14.9Klm：60インチ～300インチ
 - 15Klm～19.9Klm：70インチ～350インチ
 - 20Klm～24.9Klm：80インチ～400インチ
 - 25Klm～29.9Klm：90インチ～450インチ
 - 30Klm以上：100インチ～500インチ
- すべてのプロジェクターが同じ解像度である
- 「[設置] メニューの [設置モード] がすべてのプロジェクターで [フロント] または [フロント・天吊り] に設定されている

手順概要

以下の順序で設定することをお勧めします。

準備

- プロジェクターの接続
- プロジェクターの初期化
- プライマリープロジェクターの選定

- プロジェクターの補正
- プロジェクターの設置
- 投写映像の粗調整
- プロジェクターのネットワーク接続

投写画面の合成

- ブレンディング
- タイリング
- スタッキング

色の調整

- 映像の色相、彩度、明度の調整
- 映像全体の色味調整

マルチプロジェクションの事前準備

プロジェクターを設置する前の基本設定や、後工程の作業時間を短縮するための下準備を行います。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの接続」 [p.126](#)
- 「プロジェクターの初期化」 [p.126](#)
- 「プライマリープロジェクターの選定」 [p.127](#)
- 「プロジェクターの補正」 [p.127](#)
- 「プロジェクターの設置」 [p.127](#)
- 「投写画面の粗調整」 [p.127](#)
- 「プロジェクターのネットワーク接続」 [p.128](#)
- 「デイジーチェーン接続で同じ映像を投写する」 [p.43](#)

プロジェクターの接続

複数台のプロジェクターに接続します。詳しくは「デイジーチェーン接続で同じ映像を投写する」を参照します。

▶ 関連項目

- 「デイジーチェーン接続で同じ映像を投写する」 [p.43](#)

プロジェクターの初期化

プロジェクターの設定値のばらつきを無くします。

[マルチプロジェクション] を始める前に [一括設定] を使うと、一括で必要な設定ができます。

使用するすべてのプロジェクターで必要な設定をしてください。

- 以下の値を初期値に戻します。
 - ユニフォーミティー
 - スクリーンマッチング
 - カラーマッチング
 - 静止画
 - 黒レベル調整
 - 明るさレベル
- 以下を変更します。
 - [カラーモード] を [マルチプロジェクション] に設定
 - [ダイナミックコントラスト] を [オフ] に設定
 - [光源モード] を [カスタム] に設定
 - [スリープモード] を [オフ] に設定

プライマリープロジェクターの選定

調整の基準となるプロジェクターを1台選定します。

使用するすべてのプロジェクターでテストパターンを表示し、最も色ムラが少ないプロジェクターをプライマリープロジェクターとしてください。



- 次のテストパターンを表示することを推奨します。
[グレースケール]、[グレーバーV]、[グレーバーH]、[白]
- リモコン操作をする場合は、プライマリープロジェクターとリモコンに共通のIDを設定し、リモコンの操作対象を限定することをお勧めします。

プロジェクターの補正

プロジェクターを繰り返し使用することで生じる画面全体の色味や明るさのずれを補正し、それぞれのプロジェクターの映像の色合いを合わせます。すべてのプロジェクターで以下の調整を行います。

- 光源キャリブレーションを実行します。
☛ [管理] > [光源キャリブレーション]
- 外付けカメラを装着しているときは、カラーキャリブレーションを実行します。
☛ [管理] > [カラーキャリブレーション]
- 外付けカメラを装着していないときや、カラーキャリブレーションでの調整が不十分なときは [ユニフォーミティー] を実行します。
☛ [マルチプロジェクション] > [ユニフォーミティー]
☛ [管理] > [ユニフォーミティー]
- [カラーモード] を [マルチプロジェクション] に設定します。

☛ [映像調整] > [カラーモード]



[光源キャリブレーション] の [定期的に実行] は [オフ] にしておくことをお勧めします。[オン] にしていると、自動でキャリブレーションが実行され、マルチプロジェクションで調整した色が変わってしまう場合があります。

プロジェクターの設置

使用するすべてのプロジェクターを適所に設置します。

プライマリープロジェクターが中央にくるように設置すると、投写エリア中央の色ムラが抑えられ、色合わせがしやすくなります。

投写画面の粗調整

使用するすべてのプロジェクターで次の操作を行い、投写映像が矩形になるように位置や形状を整えます。

テストパターンを表示すると、投写位置を合わせやすくなります。

- 投写画面の位置：設置場所や角度の調整、レンズシフト
- 投写画面のサイズ：設置場所の調整、ズーム
- 投写画面のピント：フォーカス



- プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。投写開始後30分以上経過してから調整作業をはじめることをお勧めします。
- 次のテストパターンを表示することを推奨します。
[グレースケール]、[グレーバーV]、[グレーバーH]、[白]
- 上下レンズシフトで画面の位置を調整するときは、画面を下から上に移動して調整し、終了してください。
上から下に移動して終了すると、画面の位置が少し下がる場合があります。
- 次の理由により、幾何学歪み補正での調整はお勧めできません。
 - 画質が劣化する
 - 補正值が大きいと映像の位置合わせが困難

プロジェクターのネットワーク接続

使用するすべてのプロジェクターとネットワークハブをLANケーブルで接続します。

接続後は、すべてのプロジェクターにIPアドレスが割り振られていることを確認してください。



投写するすべてのプロジェクターがネットワークに接続されているときは、基準となる1台のプロジェクター（プライマリプロジェクター）を使って、映像の調整を自動で行うことができます。プロジェクターがネットワークに接続されていないときは、それぞれのプロジェクターの映像を手動で調整します。

投写画面の合成

複数のプロジェクターからの投写映像を組み合わせ、明るい映像や大画面の映像を投写します。

投写環境に合わせて、合成した映像を調整してください。

- オプションの外付けカメラを装着すると、プロジェクターのメニューを使って簡単に映像を調整できます。
- 外付けカメラとEpson Projector Professional Toolをお使いのときは、Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能を使って映像を自動調整します。
- 外付けカメラを装着していないときや、Epson Projector Professional Toolが使用できないときは、プロジェクターのメニューを使って手動で映像を調整します。



- Epson Projector Professional Toolのソフトウェアおよび取扱説明書はWebサイトよりダウンロードしてください。
epson.jp/download
- Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、以下の機能も曲面に対応します。
 - スクリーンマッチング（凸面は対応していません）
 - カラーキャリブレーション
 - ブレンディング
 - スタッキング
 - スタッキング & ブレンディング

▶▶ 関連項目

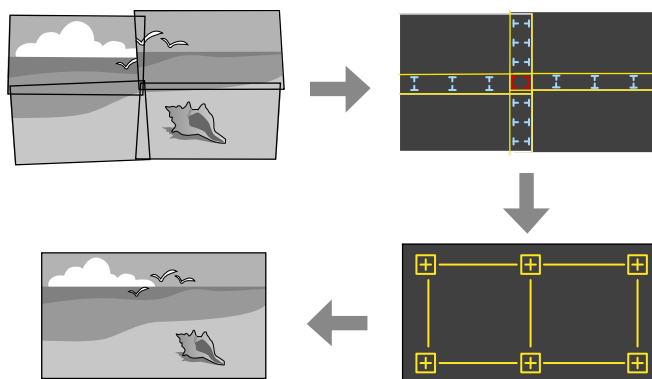
- 「Epson Projector Professional Toolとオプションのカメラを使ったブレンディング」 [p.129](#)
- 「タイリング（プロジェクターのメニューで調整するとき）」 [p.129](#)

- ・「オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンドリング（プロジェクターのメニューで調整するとき）」 [p.133](#)
- ・「Epson Projector Professional Toolとオプションのカメラを使ったスタッキング」 [p.134](#)
- ・「シンプルスタッキング（プロジェクターのメニューで調整するとき）」 [p.135](#)
- ・「スタッキング&ブレンドリング（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）」 [p.135](#)

Epson Projector Professional Toolとオプションのカメラを使ったブレンドリング

オプションの外付けカメラとEpson Projector Professional Toolを使って、最大15台のプロジェクターの映像を組み合わせ、ひとつの大画面の映像を投写します。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool 操作ガイド』をご覧ください。



- 1 Epson Projector Professional Toolを起動します。
- 2 [レイアウト/監視] タブでプロジェクターをグループ化します。

- 3 [グループ編集] 画面の [タイリング・スタッキング設定] でプロジェクターの位置を指定します。

- 4 [幾何学歪み補正アシストブレンドリング機能] ウィザードを起動します。

必要に応じて、以下を行ってください。

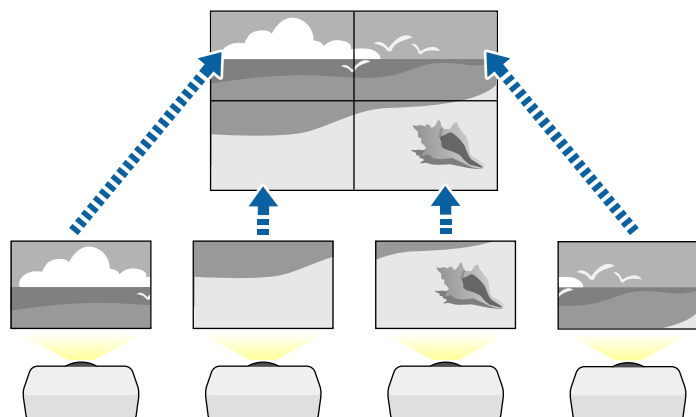
- ・ [スクリーンマッチング]: 投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。
- ・ [ポイント補正]: 投写映像の画素ずれを調整します。
- ・ [表示倍率]: 投写映像の一部を切り出して拡大します。



- ・ タイリングの自動調整にかかる時間はプロジェクターの配置や台数によって異なります。最長で約8分かかります。
- ・ スクリーンマッチングの所要時間はプロジェクターの配置によって異なります。最長で約18分かかります。

タイリング（プロジェクターのメニューで調整するとき）

外付けカメラを装着していないときや、Epson Projector Professional Toolが使用できないときは、プロジェクターのメニューを使って最大15台のプロジェクターの映像を組み合わせ、ひとつの大画面の映像を投写します。ここでは、全てのプロジェクターから手動で調整するときの方法を説明します。



- 1** [マルチプロジェクション] メニューの [プロジェクターID] を選択して、1台のリモコンで複数のプロジェクターを操作できるように、それぞれのプロジェクターにIDを設定します。
- 2** 特定のプロジェクターのみを操作するときは、リモコンのIDをプロジェクターのIDと一致するように設定します。【ID】 ボタンを押して5秒以内に、テンキーでプロジェクターIDと同じ数字を入力してください。(1桁の数字を入力します。)
- 3** ネットワーク上の複数のプロジェクターの映像を組み合わせるときは、プライマリプロジェクターのメニューで [グルーピング] を選択して、同時に操作するプロジェクターをグループ化します。
- 4** プライマリプロジェクターの [マルチプロジェクション] メニューで [グループタイリング] 設定をを選択し、【決定】 ボタンを押します。
- 5** [タイリング] を選択して、【決定】 ボタンを押します。

- 6** [タイリング] を選択して、それぞれのプロジェクターの投写位置を割り当てます。
 - オプションの外付けカメラを装着しているときは、プライマリプロジェクターで [オート] を選択します。
 - オプションの外付けカメラを装着していないときや、投写位置を自動で割り当てることができないときは、[マニュアル] を選択します。
 - [マニュアル] を選択したときは、[画面構成] を選択して [タテ台数] と [ヨコ台数] で画面の数を設定します。
 - [画面構成] の設定が終了したら [配置設定] を選択して、それぞれのプロジェクターの投写位置を設定します。それぞれのプロジェクターの投写位置を設定します。[タテ順番] で上から下へ1、2、3...の順に配置します。[ヨコ順番] で左から右へA、B、C...の順に配置します。

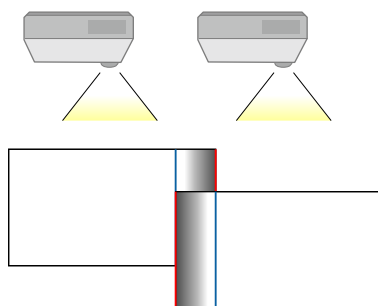
1A	1B	1C
2A	2B	2C
3A	3B	3C

- すべてのプロジェクターで [画面構成] と [配置設定] を設定します。

7 入力ソースを選択して、映像を投写します。

8 [エッジブレンディング] を選択して、映像のつなぎ目が目立たないように補正します。

- 先に、[エッジブレンディング] を [ブレンディング/黒レベル] に設定し、[マーカー表示] と [パターン表示] をオンにしておきます。
- 補正するエッジ位置（映像が重なり合う箇所）を選択し、[ブレンディング] を [オン] にします。
- [ブレンド開始位置] を選択し、ブレンディングの開始位置を指定します。
- [ブレンド範囲] を選択し、左右ボタンでグラデーションをかける範囲を指定します。映像が重なり合う範囲とマーカーの位置が等しくなるようにします。



- [ブレンド曲線] でグラデーションのかけ方を調整します。設定が終わったら、[マーカー表示] と [パターン表示] をオフにします。

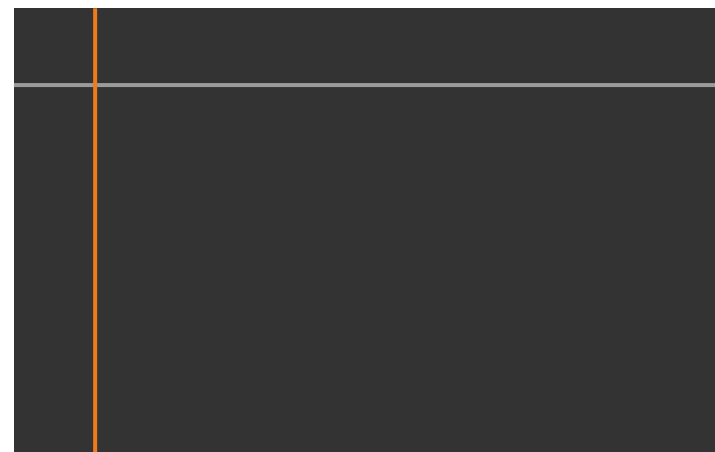
9 [黒レベル調整] を選択して、映像が重なっていない箇所の黒色の明るさや色合いを、重なった箇所に合わせて目立たないように補正します。

- 最初に [カラー調整] を選択します。

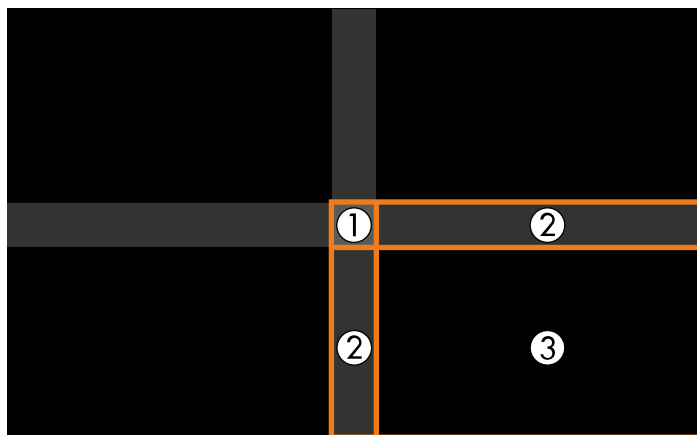
[エッジブレンディング] の設定に合わせて領域が表示されます。

- 上下左右ボタンを押して調整するエリアを選択し、【決定】ボタンを押します。

選択している箇所はオレンジ色で表示されます。黒の色合いや明るさを調整します。



- 画面が複数重なっているときは、重なりが多い箇所（一番明るい箇所）を基準に調整してください。以下の例では、最初に（2）が（1）と合うように調整し、次に（3）が（2）と合うように調整します。



- この手順を繰り返して、調整が必要なすべての箇所を調整します。
- 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

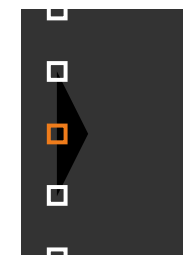
10 色合いが同じにならない箇所があるときは「エリア補正」を選択します。

- 最初に「調整開始」を選択します。
映像が重なっている箇所を示す境界線が表示されます。境界線は「エッジブレンディング」の設定に合わせて表示されます。
- 上下左右ボタンで調整する箇所の境界線を選択して【決定】ボタンを押します。
選択している境界線はオレンジ色で表示されます。



- 上下左右ボタンで境界線の位置を調整して【決定】ボタンを押します。上下左右ボタンで移動するポイントを選択して【決定】ボタンを押します。

選択しているポイントはオレンジ色で表示されます。ポイントは上下左右ボタンで移動できます。



- 「ポイント」でポイント数を変更できます。
- 続けて他のポイントを移動するときは【戻る】ボタンを押して、この手順を繰り返します。
- 他の境界線を調整するときは、境界線を選択する画面が表示されるまで【戻る】ボタンを押します。

11 ネットワーク上の複数のプロジェクターの映像を組み合わせるときは、「スクリーンマッチング」で映像の明るさや色合いを調整します。



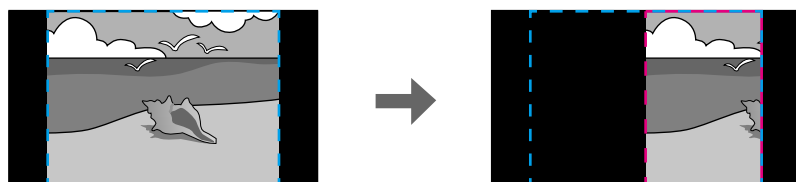
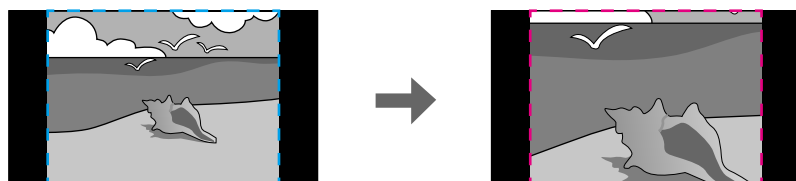
スクリーンマッチングの所要時間はプロジェクターの配置によって異なります。最長で約18分かかります。

12 プロジェクターがネットワークに接続されていないときや、手動で調整したいときは「カラーマッチング」を選択して、すべてのプロジェクターの明るさや色合いを手動で調整します。

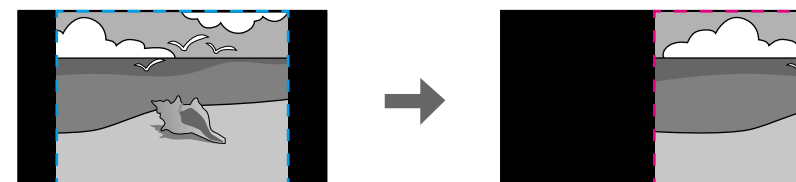
- ・「調整レベル」の調整値を選択し、「赤」、「緑」、「青」の色味を調整してから「明るさ」を調整します。
- ・この手順を繰り返して、すべての調整レベルを調整します。

13 「表示倍率」を選択して、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を選択します。

- ・最初に「表示倍率」を「オート」または「マニュアル」に設定します。
- ・「表示倍率モード」を選択して、以下のいずれかを選択します。
- ・「ズーム表示」：表示中の映像のアスペクト比を維持して映像を切り出します。



- ・「フル表示」：プロジェクターのパネルサイズを基準にして映像を切り出します。



- ・必要に応じて以下の設定をします。
- ・「タテヨコ倍率」：水平方向、垂直方向同時に映像を拡大/縮小します。
- ・「タテ倍率」：垂直方向に映像を拡大/縮小します。
- ・「ヨコ倍率」：水平方向に映像を拡大/縮小します。
- ・「切り出し調整」を選択し、上下左右ボタンを使って映像の座標と範囲を調整します。
- ・「切り出し範囲確認」を選択し、切り出す範囲を確認します。

オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング（プロジェクターのメニューで調整するとき）

オプションの外付けカメラを使って2台のプロジェクターの投写映像から横長の映像を作成します。

この機能は、オプションの外付けカメラを装着していて、分配器で複数のプロジェクターを接続しているときのみ有効です。

- 1** 2台のプロジェクターをLANケーブルで接続します。

- 2 両方のプロジェクターでネットワークメニューのDHCPが [オン] に設定されていることを確認します。



IPアドレスが有効になるまで約1分かかります。

- 3 [マルチプロジェクション] > [カメラ補正アシスト] > [シンプルレンディング] を選択し、【決定】を押します。必要に応じて [はい] を選択します。

- 4 [配置設定] を選択して、[A1]、[B1]、または [C1] からプライマリプロジェクターの位置を指定します。

- 5 [全体画面アスペクト] 設定で結合後の横長画像のアスペクトを選びます。



[全体画面アスペクト] 設定では以下のアスペクトが選択できます。

選択できる項目はスクリーンタイプの設定によって異なります。

- 21:9 (EDID 3440x1440)
- 21:9 (EDID 2560x1080)
- 16:6 (EDID 2880x1080)
- 16:6 (EDID 1920x720)
- 3:1 (EDID 3240x1080)
- 32:10 (EDID 3456x1080)
- 32:9 (EDID 3200x900)

- 6 [自動調整開始] を開始します。レンズシフトダイヤルを使って投写位置を調整しきれない場合は、各投写映像の色付き帯の部分が増えるようにプロジェクター本体を動かします。

- 7 自動調整が終了したら、画面の指示に従って [形状補正] を行います。

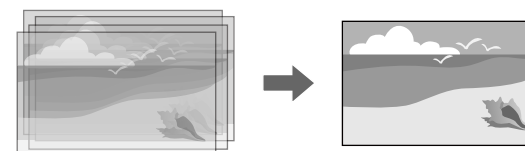
- 8 [スクリーンマッチング] を実行します。

自動調整の終了後、投写映像の画素がずれているときは、手動で [ポイント補正] を行ってください。

Epson Projector Professional Toolとオプションのカメラを使ったスタッキング

オプションの外付けカメラとEpson Projector Professional Toolを使って、最大6台のプロジェクターの映像を組み合わせ、ひとつの明るい映像を投写します。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool 操作ガイド』をご覧ください。



- 1 Epson Projector Professional Toolを起動します。
- 2 [レイアウト/監視] タブでプロジェクターをグループ化します。
- 3 [グループ編集] 画面の [タイリング・スタッキング設定] でプロジェクターの位置を指定します。

- 4** [幾何学歪み補正アシストスタッキング機能] ウィザードを起動します。

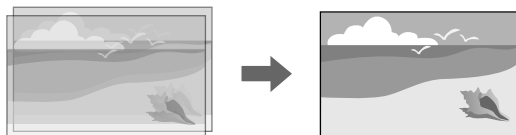
ウィザード終了後、投写映像の画素がずれているときは、手動で[ポイント補正]を行ってください。



スタッキングの自動調整にかかる時間はプロジェクターの配置や台数によって異なります。最長で約9分かかります。

シンプルスタッキング（プロジェクターのメニューで調整するとき）

Epson Projector Professional Toolを使用できないときは、プロジェクターのメニューから調整します。2台のプロジェクターの映像を重ねて、ひとつの明るい映像を投写できます。



この機能はオプションの外付けカメラを装着しているときのみ有効です。

- 1** 2台のプロジェクターをLANケーブルで接続します。
- 2** 両方のプロジェクターで[ネットワーク]メニューの[DHCP]が[オン]に設定されていることを確認します。
 ☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [IP設定] > [DHCP]



IPアドレスが有効になるまで約1分かかります。

- 3** [マルチプロジェクション] > [カメラ補正アシスト] > [シンプルスタッキング] > [ポイント補正]を選択し、プライマリプロジェクターとなるプロジェクターの映像の投写位置、形状、ピントを[Quick Corner]で調整します。

- 4** [自動調整開始]を選択して画面の指示に従います。

自動調整の終了後、投写映像の画素がずれているときは、手動で[ポイント補正]を行ってください。



- シンプルスタッキングの所要時間はプロジェクターの配置によって異なります。最長で約5分かかります。
- 外付けカメラを装着していないときは、プロジェクターで以下の項目を手動で調整してください。
 - フォーカス
 - ズーム
 - レンズシフト
 - 幾何学歪み補正

スタッキング&ブレンディング（Epson Projector Professional Toolで調整するとき）

[幾何学歪み補正アシストスタッキング&ブレンディング機能]ウィザードを使うと、複数のプロジェクターからの投写映像をつなげたり重ねたりして、ひとつなぎの大きな明るい映像を簡単に作成できます。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

- 1** Epson Projector Professional Toolを起動します。
- 2** [レイアウト/監視] タブでスタッキング&ブレンディングに対応しているプロジェクターをグループ化します。
- 3** [グループ作成] 画面で [ブレンディング・スタッキング設定] を選択します。
- 4** [ブレンディング・スタッキング設定] で、プロジェクターの位置を指定します。
- 5** [幾何学歪み補正アシスト スタッキング&ブレンディング機能] ウィザードを起動します。
必要に応じて、以下を行ってください。
 - [スクリーンマッチング]：投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。
 - [ポイント補正]：投写映像の画素ずれを調整します。



次のテストパターンを表示することを推奨します。
[グレーバー V]、[グレーバー H]、[白]

色の調整

使用するすべてのプロジェクターでテストパターンを表示し、各画面の色調を確認します。

色調の調整が必要なときは次の設定を行ってください。

- 映像の色相、彩度、明度を調整する。
 - ☞ [映像調整] > [RGBCMY]
- 映像全体の色味を調整する。
 - ☞ [映像調整] > [ホワイトバランス]

オプションの外付けカメラをプロジェクターに取り付けると、投写映像の調整に役立つ以下の機能が使用できます。

- Epson Projector Professional Toolを使って投写映像を自動調整します。(カメラアシスト機能)
- 2台のプロジェクターから投写した映像をひとつに重ねて、明るい映像を作成します。(シンプルスタッキング)
- 2台のプロジェクターから投写した映像をひとつに重ねて、横長の映像を作成します。(シンプルブレンディング)
- 外付けカメラで撮影した映像をEpson Web Controlから確認します。(リモートカメラアクセス)
- 複数台のプロジェクターからの映像を組み合わせる投写するときに、それぞれの映像の色合いや明るさを合わせます。(スクリーンマッチング)
- 経年劣化による画面全体の色味を補正します。(カラーキャリブレーション)

外付けカメラはプロジェクターまたはレンズユニットに取り付けます。カメラ用の三脚や設置スペースは不要です。また、ピントや画角、露光などの調整も不要です。

取り付け方法は、外付けカメラに添付の取扱説明書をご覧ください。



Epson Projector Professional Toolおよび操作ガイドはWebサイトよりダウンロードしてください。

epson.jp/download

▶ 関連項目

- 「オプションのカメラの接続」 [p.137](#)

オプションのカメラの接続

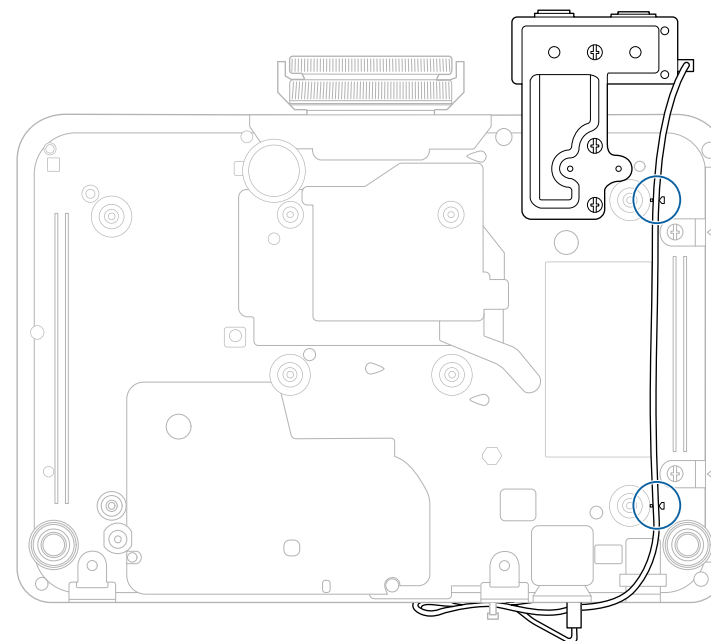
オプションの外付けカメラELPEC01をプロジェクターに接続すると、複数台のプロジェクターからの投写映像を調整することができます。

オプションの外付けカメラELPEC01をプロジェクターに装着後は、ELPEC01の取扱説明書を参照し、ELPEC01に同梱されているUSBケーブルを下図のようにプロジェクターに取り付けてください。

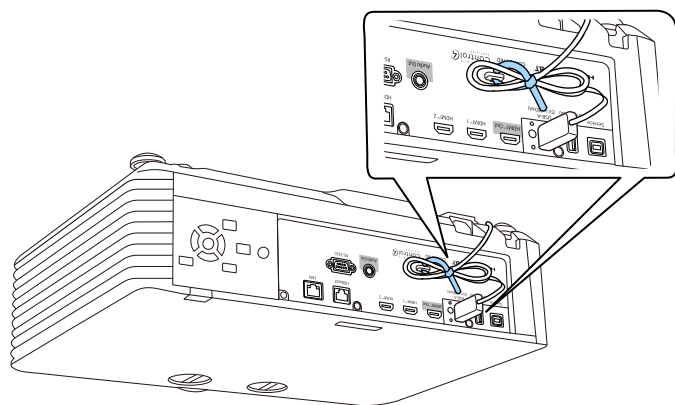
以下の物をご準備ください。

- 市販の結束バンド×1

- 1** 外付けカメラを装着後、USBケーブルをプロジェクター底面のパスに通して固定します。



- 2** プロジェクターにUSBケーブルを接続したら、プロジェクターのケーブルホルダーにケーブルを通し、結束バンドでUSBケーブルをとりまとめます。



以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- ・パスワードプロテクト：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。
本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- ・操作ボタンロック：操作パネルのボタン操作をできないようにします。
イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- ・セキュリティケーブル：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

▶ 関連項目

- ・「パスワードプロテクトの種類」 [p.139](#)
- ・「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.142](#)
- ・「リモコンのボタン操作を制限する」 [p.143](#)
- ・「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.143](#)

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のメニュー保護を設定できます。

- ・[電源投入時]：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。コンセントを抜き差しした後に電源オンすると、パスワードの入力が必要になります。コンセントを抜かない限り、次回電源オンではパスワードは不要です。[ダイレクトパワーオン] および [オートパワーオン] 機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。
- ・[メニュー保護] > [ユーザーロゴ]：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のときに表示されるユーザーロゴの画面設

定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。

- ・[メニュー保護] > [スケジュール]：スケジュール設定を変更できないようにします
- ・[メニュー保護] > [ネットワーク]：[ネットワーク] メニューの設定を変更できないようにします。

▶ 関連項目

- ・「パスワードの設定」 [p.139](#)
- ・「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.140](#)
- ・「パスワードを入力する」 [p.141](#)

パスワードの設定

初めて本機を使用するときは、パスワードを設定します。



デフォルトのパスワードは設定されていません。新たにパスワードを設定する必要があります。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。

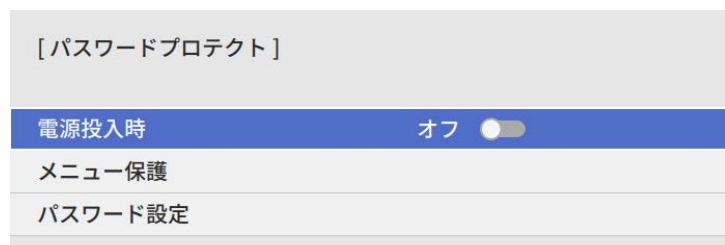


パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



- パスワードが設定されていないときは、[パスワードプロテクト] 設定メニューが表示される前にパスワードの設定を求められます。
- すでに [パスワードプロテクト] が有効になっているときは、[パスワードプロテクト] 設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

2 [パスワード設定] を選択して【決定】ボタンを押します。



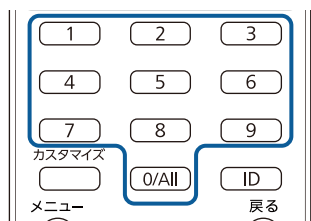
「パスワードを変更しますか?」というメッセージが表示されます。

3 [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。



[いいえ] を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

4 リモコンの数字ボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

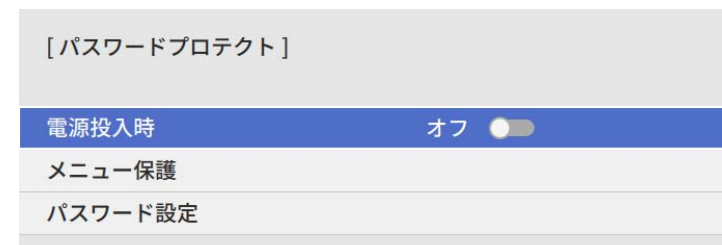
5 パスワードを再入力します。
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

6 【戻る】ボタンを押してメニューに戻ります。

7 パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されない場合は、メニューが表示されるまで5秒間ほどリモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

- プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時] を [オン] に設定します。
- プロジェクターの設定の変更を防止したいときは、[メニュー保護] を選択し、【決定】ボタンを押して、以下の設定をします。

- ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ] を [オン] に設定します。
- スケジュール設定の変更を防止したいときは、[スケジュール] を [オン] に設定します。
- ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク] を [オン] に設定します。

パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

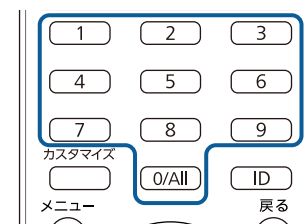
パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。

[パスワード設定]

パスワードを設定します。
(4桁の数字)

- 1 リモコンのテンキーボタンを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

- 2** 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

注意

- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを差し直してから、本機の電源を入れてください。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード]:xxxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作が停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。リモコンからは通常どおり操作できます。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[管理] を選択して、【決定】ボタンを押します。

映像調整	カスタマイズボタン	未設定
信号入出力	ユーザーロゴ	
設置	操作ボタンロック	オフ
マルチプロジェクション	ユニフォーミティー	
表示	リフレッシュモード	
動作	光源キャリブレーション	
管理	カラーキャリブレーション	
ネットワーク	日付&時刻	
情報	スケジュール設定	
メモリー	NFC設定	
節電	言語	日本語
初期・全体設定	管理初期化	

- 2** [操作ボタンロック] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3** ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- プロジェクターのすべてのボタンをロックするには、[全ロック] を選択します。
- 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックするには、[電源以外ロック] を選択します。

[操作ボタンロック]	戻る
全ロック	
電源以外ロック	
✓ オフ	

確認メッセージが表示されます。

- 4** [はい] を選択して【決定】ボタンを押します。
[操作ボタンロック] の設定が有効になります。

▶ 関連項目

- 「操作ボタンロックを解除する」 [p.143](#)

操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- 操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。
- [管理] メニューの [操作ボタンロック] を [オフ] に設定してください。

▶ 関連項目

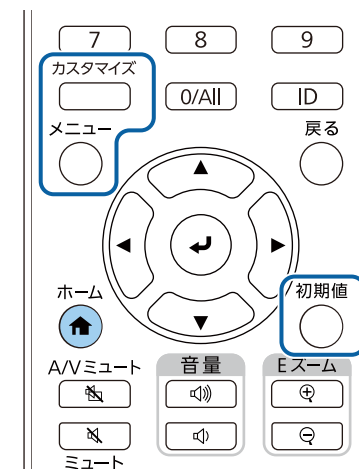
- 「管理メニュー」 [p.218](#)

リモコンのボタン操作を制限する

リモコンのボタンをロックして、本機の設定変更を防止します。

リモコンの【ホーム】ボタンを約5秒間押します。ロックできるボタンは下図のとおりです。

ロックを解除するときも、【ホーム】ボタンを約5秒間押します。



セキュリティケーブルを取り付ける

盗難防止のために、セキュリティケーブルを本機に取り付けることができます。

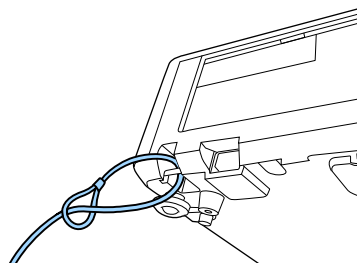
- Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムを本機のセキュリティスロットに取り付けます。



マイクロサーバーセキュリティシステムの詳細は、Kensington社のWebサイトをご覧ください。

<https://www.kensington.com/>

- ワイヤーケーブルを、本機のセキュリティケーブル取付け部に取り付けて、部屋の建具や動かないものに固定します。



ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

▶ 関連項目

- 「有線LANでの映像投写」 [p.146](#)
- 「無線LANでの映像投写」 [p.150](#)
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Miracast）」 [p.161](#)
- 「AirPlayを使用する」 [p.165](#)
- 「セキュアHTTP」 [p.169](#)
- 「画面共有」 [p.171](#)

有線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。ネットワーク経由で投写するには、プロジェクターをネットワークに接続し、プロジェクターおよびコンピュータのネットワーク設定をします。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、以下のWebサイトからEpson iProjection（Windows/Mac）をインストールします。

epson.jp/download

Epson iProjectionを使用すると、コンピュータの映像をネットワーク経由で投写できます。また、ネットワークに接続された複数のコンピュータの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド（Windows/Mac）』をご覧ください。



「Web制御パスワード」が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

▶ 関連項目

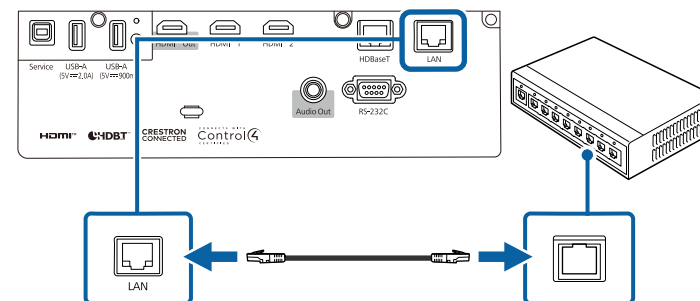
- ・「有線LANに接続する」 [p.146](#)
- ・「有線LANを設定する」 [p.146](#)

有線LANに接続する

プロジェクターを有線LANに接続するには、100Base-TXまたは10Base-Tネットワークケーブルを使用します。誤作動防止のために、カテゴリー5以上のシールド付きケーブルをお使いください。

- 1** LANケーブルをネットワークハブ、スイッチ、またはルーターに接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクターをプロジェクターのLAN端子に接続します。



有線LANを設定する

ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



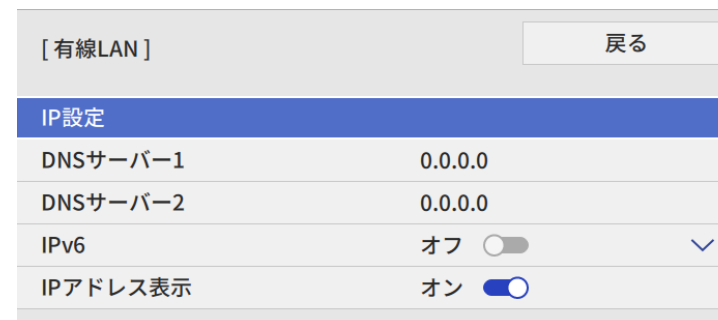
設定の前に、LAN端子にLANケーブルを接続し、プロジェクターを有線LANに接続してください。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [ネットワーク設定] を選択して【決定】ボタンを押します。
- 3** [プロジェクター名] にネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- 4** [優先制御インターフェイス] を [有線LAN] に設定します。

- 5** [有線LAN] を選択して【決定】ボタンを押します。



- 6** 必要に応じてネットワークのIPアドレスを割り当てます。
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。
 - DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。
- 7** 設定したIPアドレスがネットワーク情報画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

- 8** [ネットワーク投写] を選択し、【決定】 ボタンを押します。



- 9** 他のユーザーが誤って接続するのを防ぎたいときは、[プロジェクターキーワード] をオンにします。



オンにすると、コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するとき、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。

- 10** [Epson iProjection] を [オン] にします。

- 11** 必要に応じて設定を変更します。

- [SSID表示]：ネットワーク情報画面やホーム画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
- [LAN情報設定表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。
- [モデレーターパスワード]：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。（デフォルトのパスワードは設定されていません。）
- [キーワード割り込み表示]：Epson iProjectionを使って本機に接続するとき、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。

- 12** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

- 13** リモコンの【ワイヤレス】 ボタンを押して、LANソースに切り替えます。

ネットワーク情報画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。

[LAN]

プロジェクター名 :

IPアドレス  :

キーワード :

Epson iProjectionアプリを使ってQRコードを読み取ります。



無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

- 無線LAN経由で投写するときは、無線LANユニットをプロジェクターに取り付けて、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください。
- 無線LANユニットが内蔵されている機種では、無線LANユニットの取り付けは不要です。無線LAN経由で投写するときは、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください。

[ネットワーク] メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

プロジェクターの接続とネットワーク設定が終わったら、以下のWebサイトからネットワークソフトウェアをダウンロードしてインストールします。

epson.jp/download

無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- Epson iProjection (Windows/Mac) を使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは『Epson iProjection操作ガイド (Windows/Mac)』をご覧ください。
- Epson iProjection (iOS/Android) を使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。
Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- Epson iProjection (Chromebook) を使用すると、Chromebookから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、Chromeウェブストアから無料でダウンロードできます。Chromeウェブストアへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワード設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

▶ 関連項目

- 「内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために」 [p.150](#)
- 「無線LANユニットを取り付ける」 [p.151](#)
- 「さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法」 [p.151](#)
- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 [p.152](#)
- 「無線LANのセキュリティを設定する (シンプルAPモード：オン)」 [p.155](#)
- 「無線LANのセキュリティを設定する (シンプルAPモード：オフ)」 [p.156](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.158](#)
- 「USBキーを使って接続する (Windowsのみ)」 [p.159](#)

内蔵の無線LANユニットを安全にお使いいただくために

無線LAN内蔵のプロジェクターで無線LAN接続をするときは、以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方は、製品に近づかないでください。また、製品を取り扱うときは、近くに心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方がいないことを確認してください。電磁妨害が生じ、医療機器が誤動作する可能性があります。
- 電磁妨害による誤動作や事故の原因となります。自動ドアや火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しないでください。

⚠ 注意

製品から20cm以上離れてお使いください。体調不良の原因となります。

無線LANユニットを取り付ける

無線LAN経由でプロジェクターを使用するときは、無線LANユニットを取り付けます（EB-L690SE/EB-L695SE）。エプソン純正の無線LANユニット以外は取り付けないでください。

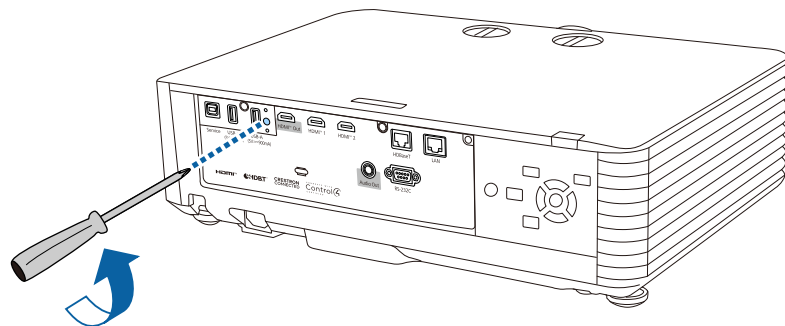
注意

無線LANユニットのインジケータが青色に点灯または点滅しているときや、無線LAN経由で映像を投写しているときは、無線LANユニットを取り外さないでください。無線LANユニットの破損や故障の原因となります。

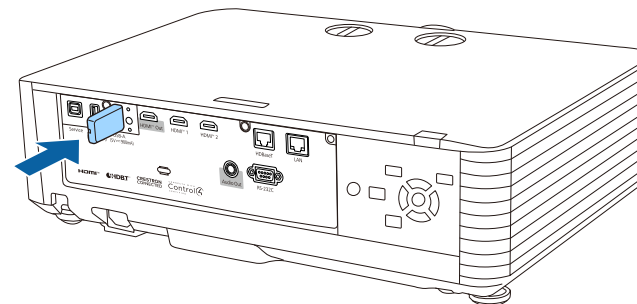


無線LANユニットのインジケータは動作しません。プロジェクターの無線LANインジケータで、無線LANの状態を確認してください。

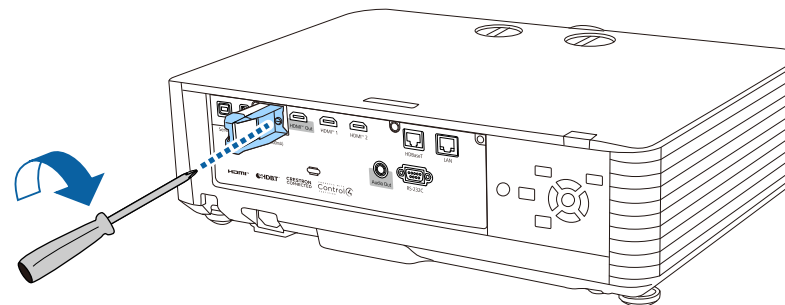
- 1 無線LANユニットカバーの固定ネジを+のドライバーで外します。



- 2 USB-A端子に無線LANユニットを取り付けます。



- 3 無線LANユニットに付属の無線LANユニットカバーを取り付けて、固定ネジを締めます。



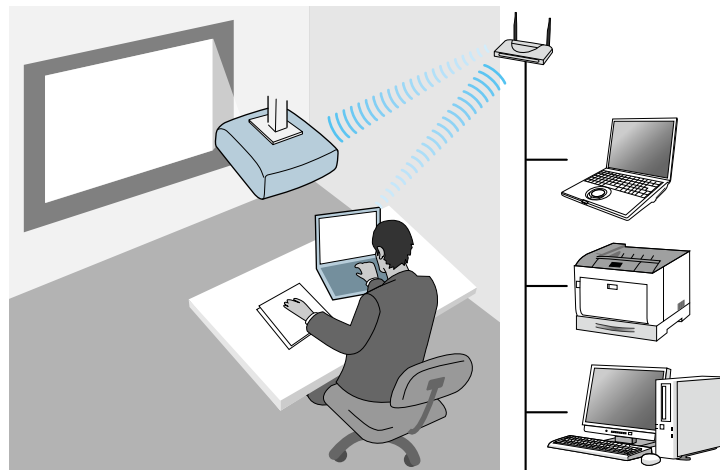
さまざまなネットワーク投写に対応した接続方法

お使いのネットワーク環境に適した接続方法を選択できます。

- シンプルAPモードでは、プロジェクターとスマートフォンやタブレット端末、コンピューターを無線で直接接続できます。Epson iProjectionの「かんたんモード」、Miracast、またはオプションのワイヤレスプレゼンテーションシステムで接続するときに、このモードを選択します。



- シンプルAPモードをオフにすると、無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。Epson iProjectionの「マニュアルモード」で接続するときに、このモードを選択します。(EB-L690SE/EB-L695SE)



本機を無線LAN経由で監視・制御するときは、[シンプルAP] 設定を[オフ] にしてください。

プロジェクターに無線LANモジュールが内蔵されている場合は、2つの接続方法を同時に使用できます。[シンプルAP] を[オン] に設定します。

☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [シンプルAP]

プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由で映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。



プロジェクターを無線LANに接続するには、無線LANユニットを取り付けます (EB-L690SE/EB-L695SE)。

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [無線LAN電源] を [オン] に設定します。
- 3** [ネットワーク設定] を選択して【決定】ボタンを押します。
- 4** [プロジェクター名] にネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- 5** [優先制御インターフェイス] を [無線LAN] に設定します。
- 6** 接続方法を選択します。
- シンプルAPモードの場合は、[シンプルAP] を [オン] に設定し、手順11へ進みます。
 - アクセスポイントの場合は、[シンプルAP] を [オフ] に設定し、次の手順へ進みます。

- 同時に2つの接続モードを使用する場合は、[シンプルAP] を [オン] に設定し、次の手順へ進みます。

- 7** [無線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。



アクセスポイントの検索が始まります。



[アクセスポイント検索] でアクセスポイントを手動で検索できます。

- 8** 接続するアクセスポイントを選択します。



手動でSSIDを割り当てるときは [SSID] を選択して、SSIDを入力します。

- 9** 必要に応じてネットワークのIPアドレスを割り当てます。
- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択し、[DHCP] を [オン] にします。

- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定]を選択し、[DHCP]を[オフ]にして、プロジェクターの[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス]を入力します。

10 設定したIPアドレスがネットワーク情報画面に表示されないようにするには、[IPアドレス表示]を[オフ]に設定します。

11 [ネットワーク投写]を選択し、【決定】ボタンを押します。

[ネットワーク投写]		戻る
プロジェクターキーワード	オフ ☐	
Epson iProjection	オン ☒	↑
SSID表示	オン ☒	
LAN情報設定	テキストとQRコード	
モデレーターパスワード		
キーワード割り込み表示	オフ ☐	
Miracast	オン ☒	↑
アクセス制御	01 ☐	
セカンダリ接続		
パフォーマンス調整	1 (きれい)	
Miracast情報表示	オン ☒	
メッセージ配信	オフ ☐	
画面共有	オフ ☐	↓

12 他のユーザーが誤って接続するのを防ぎたいときは、[プロジェクターキーワード]をオンにします。



オンにすると、コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するとき、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。

13 [Epson iProjection]を[オン]にします。

14 必要に応じて設定を変更します。

- [SSID表示]：ネットワーク情報画面やホーム画面にSSIDを表示するかどうかを選択します。
- [LAN情報設定表示]：本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。
- [モデレーターパスワード]：Epson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- [キーワード割り込み表示]：Epson iProjectionを使って本機に接続するとき、投写画面にプロジェクターキーワードを表示するかどうかを設定します。

15 設定が終わったら、[ネットワーク設定]の画面に戻り、[設定]を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



[Web制御パスワード]が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

- 16** リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押して、LANソースに切り替えます。

ネットワーク情報画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピューターの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

▶ 関連項目

- 「Windowsで無線LANを設定する」 [p.155](#)
- 「Macで無線LANを設定する」 [p.155](#)

Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1** Windowsタスクバーのネットワークアイコンをクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2** 無線LANアクセスポイント経由で接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。
- 3** [接続] をクリックします。

Macで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1** 画面上部にあるメニューバーのWi-Fiアイコンをクリックします。
- 2** 無線LANアクセスポイント経由で接続するときは、Wi-Fiがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

無線LANのセキュリティを設定する（シンプルAPモード：オン）

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。シンプルAPモードではWPA2-PSKセキュリティを使用します。



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3 [パスフレーズ]を選択し、【決定】ボタンを押して、パスフレーズを入力します。半角英数字8文字以上63文字以内で入力します。

【パスフレーズ】
(8~63文字)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	!	"	#	\$
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	%	&	'	,
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	*	+	(	)
u	v	w	x	y	z	@	.	Space	/	:		SYM2	
A/a										←	→	⌫	
OK												Cancel	

- 4 設定が終わったら、[ネットワーク設定]の画面に戻り、[設定]を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

無線LANのセキュリティを設定する（シンプルAPモード：オフ）

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA3-PSKセキュリティ
- WPA2/WPA3-PSKセキュリティ
- WPA3-EAPセキュリティ
- WPA2/WPA3-EAPセキュリティ



無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 WPA3-EAPまたはWPA2/WPA3-EAPセキュリティを設定する場合は、プロジェクターに対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 3 [ネットワーク設定]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4** [無線LAN] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

[無線LAN]		戻る
アクセスポイント検索		
SSID		
セキュリティ	なし	
IP設定		
DNSサーバー1	0.0.0.0	
DNSサーバー2	0.0.0.0	
IPv6	オフ	☐
IPアドレス表示	オン	☒

- 5** [セキュリティ] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- 6** 無線LANの設定に合わせて、セキュリティを設定します。

[セキュリティ]		戻る
WPA2/WPA3-PSK		
WPA2/WPA3-EAP		
WPA3-PSK		
WPA3-EAP		
✓ なし		

- 7** 選択したセキュリティに応じて、以下のいずれかの操作をします。

- [WPA3-PSK]、[WPA2/WPA3-PSK] の場合：[パスフレーズ] を選択し、【決定】 ボタンを押して、パスフレーズを入力します。半

角英数字8文字以上63文字以内で入力します。手順16へ進みます。

- [WPA3-EAP]、[WPA2/WPA3-EAP] の場合：[EAP種類] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- 8** [EAP種類] で認証プロトコルを選択します。

[EAP種類]		戻る
✓ PEAP		
EAP-TLS		

- 9** 証明書の種類を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- [クライアント証明書]：[EAP-TLS] 用のクライアント証明書
- [CA証明書]：EAPのすべての種類用のクライアント証明書



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 10** [保存] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- 11** 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。

- 12** 【決定】 ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。

- 13** 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

- 14** 証明書のパスワードを入力し、【決定】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

- 15** 必要に応じてEAPセキュリティを選択します。
- ・ [ユーザー名]：ユーザー名を入力します。半角英数字64文字以内で入力します。クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
 - ・ [パスワード]：[PEAP] の認証用パスワードを入力します。半角英数字64文字以内で入力します。
 - ・ [認証サーバー名]：認証サーバー名を入力します。

- 16** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・ 「サポートするクライアント・CA証明書の一覧」 [p.158](#)

サポートするクライアント・CA証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

クライアント証明書 (EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512

項目	説明
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード	設定が必要。64文字以内の半角英数字。

CA証明書 (PEAP/EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、画面に投写されるQRコードをEpson iProjection (iOS/Android) で読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。



- ・ お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください。
- ・ Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- ・ かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。

1 リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押します。

QRコードが投写画面に表示されます。



- QRコードが表示されないときは、[ネットワーク]メニューの[LAN情報設定]を[テキストとQRコード]に設定します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Epson iProjection] > [LAN情報設定]
- QRコードを非表示にしたいときは、【戻る】ボタンを押してください。
- QRコードが表示されないときは、【決定】ボタンを押してください。

2 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。**3** 投写されているQRコードをEpson iProjectionで読み取って、プロジェクターに接続します。

投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、から[コンテンツ]メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

USBキーを使って接続する（Windowsのみ）

USBメモリーをUSBキーとして設定し、無線LANに対応したWindowsコンピュータとプロジェクターを簡単に無線接続します。USBキーを使うと、お使いのコンピュータの無線LAN設定を自動で選択し、ワイヤレスに映像を投写できます。

1 Epson iProjection（Windows/Mac）の[USBキー作成ツール]でUSBキーを設定します。

詳しくは『Epson iProjection操作ガイド（Windows/Mac）』をご覧ください。

2 無線LANユニットが内蔵されているか、または取り付けられているか確認します。**3** 本機の電源を入れます。**4** リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押します。
ネットワーク情報画面が表示されます。SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。**5** 無線LANユニットが取り付けられている場合は取り外し、USB-A端子にUSBキーを接続します。
ネットワーク情報の更新が始まり、完了したことを通知するメッセージが表示されます。**6** USBキーを取り外します。
無線LANユニットを取り外したときは、再度無線LANユニットを取り付けます。**7** コンピューターのUSB端子にUSBキーを接続します。

- 8** 画面の指示に従って、必要なアプリケーションのインストールを進めます。



- Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、[はい] をクリックしてファイアウォールを無効にします。
- コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
- 自動的にインストールされないときは、USBキー内の [MPPLaunch.exe] をダブルクリックします。

しばらくすると、コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。

- 9** 投写が終了したら、Windowsタスクバーの [ハードウェアの安全な取り外し] を選択し、コンピューターからUSBキーを取り外します。



USBキーを使用する前に接続していたアクセスポイントに接続するには、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

Miracastを搭載したノートパソコン、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます。

Miracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。Windowsコンピューターをお使いのときは、Miracast接続に必要なアダプターが利用可能なことを確認してください。

Miracast機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- インターレース映像は再生できません。
- 3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- 解像度とフレームレートによっては投写できないことがあります。
- 3D映像は再生できません。
- 著作権保護されたコンテンツは、Miracast接続では再生できません。
- Miracastの投写中にMiracastの設定は変更しないでください。設定を変更すると、接続が切断され、再接続までに時間がかかることがあります。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [Miracast]
- Miracastの投写中は、電源ブレーカーで直接本機の電源を切らないでください。



- Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1以降のWindowsに搭載されています。
デバイスによって、Miracast機能を搭載していないことがあります。お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。
- [Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

▶ 関連項目

- 「Miracast設定を選択する」 [p.161](#)
- 「Miracast機能を使って接続する」 [p.163](#)
- 「Windows 10でMiracast接続する」 [p.163](#)
- 「Windows 11でMiracast接続する」 [p.164](#)

Miracast設定を選択する

モバイルデバイスから映像を投写するには、プロジェクターの[Miracast]の設定をします。



Windows 10では、以下の方法で映像を伝送できます。

- お使いのモバイルデバイスからプロジェクターへ直接データを伝送する

- LANを経由してデータを伝送する

LAN経由でデータを伝送すると、接続の安定性が向上し、セキュリティを強化できます。LAN経由でデータを伝送するには、以下の方法でプロジェクターをLANに接続します。

- LANケーブルを接続する
- 無線アクセスポイントに接続できるように[無線LAN]を設定する

- 1** 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 2** [無線LAN電源] を [オン] に設定します。
- 3** [ネットワーク設定] を選択して【決定】ボタンを押します。
- 4** 以下のいずれかを選択します。
- ・ 有線LAN経由でデータを伝送するときは、[有線LAN] を選択します。
 - ・ モバイルデバイスから直接伝送する、または無線アクセスポイント経由で伝送するときは、[無線LAN] を選択します。
 - ・ 直接伝送する方式のみ対応しているモバイルデバイスでは、[無線LAN] を選択します。

- 5** [シンプルAP] を [オン] に設定します。



パスワードが設定されていないときは、[シンプルAP] を [オン] にする際にパスワード設定画面が表示されます。

- 6** [ネットワーク投写] を選択。

- 7** [Miracast] を [オン] にします。

- 8** 必要に応じて設定を変更します。

- ・ [アクセス制御]：Miracastでのほかのユーザーによる投写の許可を確認するかどうかを選択します。
- ・ [セカンダリ接続]：Miracast機能を使って投写するかどうかを設定します。
- ・ [パフォーマンス調整]：Miracastの映像表示速度および品質を調整します。品質を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選択します。
- ・ [Miracast情報表示]：Miracastソースを投写しているときに、機器の接続に必要な情報を表示します。

- 9** 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



[Web制御パスワード] が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

Miracast機能を使って接続する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。Miracastで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1** 必要に応じて本機の [Miracast] を設定します。
- 2** リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押して、Miracastソースに切り替えます。
ネットワーク情報画面が表示されます。
- 3** モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。
接続可能なデバイスの一覧が表示されます。
- 4** 一覧から本機のプロジェクター名を選択します。
モバイルデバイスからの映像がプロジェクターに表示されます。



- [アクセス制限] が [オン] に設定されているときは、投写許可画面が表示されるので [はい] を選択してください。また、投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押下すると、デバイスを強制的に切断できます。
- 接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。
モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。

Windows 10でMiracast接続する

お使いのコンピューターでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Miracastで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1** 必要に応じて本機の [Miracast] を設定します。
- 2** リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押して、Miracastソースに切り替えます。
ネットワーク情報画面が表示されます。
- 3** キーボードのWindowsキーを押しながら**K**キーを押します。
接続可能なデバイスの一覧が表示されます。
- 4** 一覧から本機のプロジェクター名を選択します。
コンピューターからの映像がプロジェクターに表示されます。



- [アクセス制限] が [オン] に設定されているときは、投写許可画面が表示されるので [はい] を選択してください。また、投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押下すると、デバイスを強制的に切断できます。
- 接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。



- 5** 一覧から本機のプロジェクター名を選択します。
コンピューターからの映像がプロジェクターに表示されます。



- 「アクセス制限」が「オン」に設定されているときは、投写許可画面が表示されるので「はい」を選択してください。また、投写中にリモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押下すると、デバイスを強制的に切断できます。
- 接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

Windows 11でMiracast接続する

お使いのコンピューターでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Miracastで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1** 必要に応じて本機の「Miracast」を設定します。
- 2** リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押して、Miracastソースに切り替えます。
ネットワーク情報画面が表示されます。
- 3** コンピューターのタスクバーでスピーカーのアイコンをクリックします。
- 4** 「キャスト」をクリックします。
接続可能なデバイスの一覧が表示されます。



「キャスト」が表示されない場合や、その他のメッセージが表示される場合は、コンピューターに付属の取扱説明書をご覧ください。

AirPlayに対応しているAppleデバイスを使って、プロジェクターでビデオや音楽、写真などのメディアをストリーミングすることができます。また、Appleデバイスの画面全体をミラーリングして表示することもできます。

本機はHomeKitに対応しています。プロジェクターをAppleデバイスのHomeKitに登録すると、AppleデバイスのApple Home appでプロジェクターの操作ができるようになります。



- [動作] メニューで [待機モード] を [ノーマル] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、AirPlayの接続ができます。
- AirPlay利用可能にするには、インターネットに接続する必要があります。[ネットワーク] メニューでネットワークの設定をしてください。インターネットに接続したことがない場合は、AirPlayの接続を試みたときにネットワークの設定が必要である旨の画面が表示されます。
- AirPlayを使用する場合は、DNSサーバーを設定している必要があります。使用しているネットワークに応じて [有線LAN] メニューまたは [無線LAN] メニューの [IP設定] で [DHCP] を [オン] に設定してください。[DHCP] を [オフ] に設定している、またはDNSサーバーのアドレスを別に設定したい場合は、[DNSサーバー1] または [DNSサーバー2] でIPアドレスを入力してください。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [有線LAN]
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN]
- 有線LANと無線LANで同じアクセスポイントを使用すると、AirPlayは使用できません。
- Appleデバイスに保存されていないコンテンツをAirPlayでストリーミングする場合は、使用するネットワークに応じて、[優先制御インターフェイス] を [無線LAN] または [有線LAN] に設定してください。
- 最大の表示解像度は1920×1080です。
- 著作権保護されたコンテンツは AirPlayで再生できないことがあります。
- 音声は最大2チャンネル、サンプリング周波数44.1kHzまで対応します。

▶▶ 関連項目

- 「AirPlayの設定をする」 [p.166](#)
- 「AirPlay接続でメディアをストリーミング/ミラーリングする」 [p.167](#)

AirPlayの設定をする

AirPlayを使用する場合は、使用するApple デバイスとプロジェクターが同じネットワークを使用していることを確認してください。

AirPlayの設定は、プロジェクターのAirPlayとHomeKitの設定画面から行います。



- プロジェクターで日時を設定していない、または日時にずれがある場合、AirPlayが途中で切断されることがあります。[管理] メニューの [日付&時刻] で正しい日時を設定してください。
- AirPlay使用時の待機画面などで約10分間操作がない場合に、パネルの焼き付き防止のため画面が黒くなることがあります。

1 入力ソースを AirPlay以外にします。

2 【メニュー】 ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】 ボタンを押しします。



3 [ネットワーク] メニューで [AirPlayとHomeKit] を選択し、【決定】 ボタンを押しします。

AirPlayとHomeKitの設定画面が表示されます。



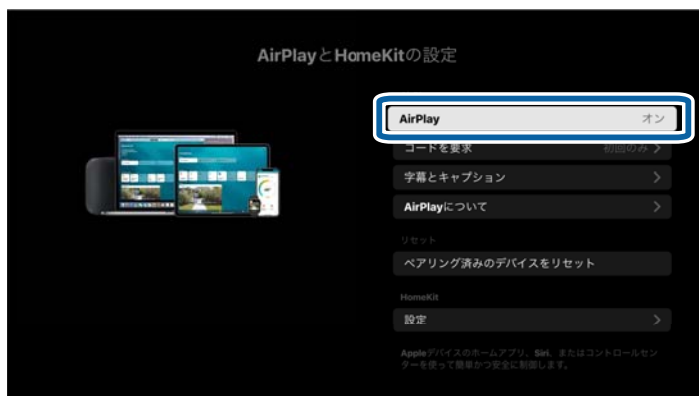


- 入力ソースが AirPlay のときは、[ネットワーク] メニューで [AirPlay と HomeKit] を選択できません。設定を変更したい場合は、一度 Apple デバイスで再生を停止してください。表示される以下の画面から AirPlay と HomeKit の設定画面を表示してください。



- AirPlay をオフにしているときは、入力ソースを AirPlay にすると AirPlay と HomeKit の設定画面が表示されます。

4 AirPlayをオンにします。



5 必要に応じて他の設定を変更します。

HomeKitに登録する場合は、投写されるQRコードをAppleデバイスで読み取ります。

HomeKitに登録すると、AppleデバイスのHome appでプロジェクターの操作やデバイス名の変更ができるようになります。



Home appでデバイス名を変更するときは、ソフトキーボードで入力可能な文字だけが使用できます。他の文字は使用できません。

▶ 関連項目

- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.202](#)

AirPlay接続でメディアをストリーミング/ミラーリングする

AirPlayに対応しているAppleデバイスをお使いのときは、プロジェクターでビデオや音楽、写真などのメディアをストリーミングすることができます。また、Appleデバイスの画面全体をミラーリングして表示することもできます。



AirPlay使用時の待機画面などで約10分間操作がない場合に、パネルの焼き付き防止のため画面が黒くなることがあります。



ストリーミングしている場合は、プロジェクターのリモコンで再生、一時停止、早送り、早戻し、音量の変更、ミュートができます。

- 1** AppleデバイスでAirPlay接続するメディアを選択し、AirPlayアイコン（または)を選択します。
ミラーリングする場合は、コントロールセンターを開いて画面ミラーリングアイコン（)を選択します。

- 2** Appleに表示されたリストからプロジェクターのデバイス名を選択します。



- プロジェクターのデバイス名を確認する場合は、Appleデバイスでメディアの再生を停止し、リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押し続けると表示される以下の画面で確認してください。ホーム画面またはLAN待機画面でも確認できます。
- AirPlayをオフにしていると、Appleデバイスに表示されるリストにプロジェクターのデバイス名が表示されません。以下のいずれかの操作でAirPlayとHomeKitの設定画面を表示させて、AirPlayをオンにしてください。
 - 【ワイヤレス】ボタンをAirPlayとHomeKitの設定画面が表示されるまで押す。
 - [ネットワーク]メニューで[AirPlayとHomeKit]を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 3** 4桁のPINコードが投写された場合は、Appleデバイスで入力します。
メディアのストリーミングまたはAppleデバイス画面のミラーリングが始まります。

- 4** AirPlay接続を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。
接続開始前の画面が投写されます。



- Appleデバイス側で接続先の変更操作や、ミラーリング停止操作を行ってもAirPlay接続を終了できます。
- プロジェクターのホーム画面を表示させるなど、AirPlay再生中の画面から他の画面に切り替えるとAirPlay接続が終了します。

HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクターとWebブラウザ間の通信のセキュリティを強固にできます。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティを適用するには、Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクターにインストールし、[セキュアHTTP]設定をオンにします。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [セキュアHTTP]

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

▶ 関連項目

- 「メニューからWebサーバー証明書を設定する」 [p.169](#)

メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクターメニューと外付けデバイスを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



- 本機では、外付けデバイスとしてUSBメモリーを使用できます。
- 電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 1 本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。
- 2 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 3 [ネットワーク設定]を選択して【決定】ボタンを押します。
- 4 [プロジェクター制御]を選択して【決定】ボタンを押します。

[プロジェクター制御]		戻る
コマンド通信	プロテクト	
Web API設定		
ベーシックコントロール	オフ ☐	▼
PJLink	オフ ☐	▼
SNMP	オフ ☐	▼
AMX Device Discovery	オフ ☐	
Crestron Connected	オフ ☐	▼
Crestron XiO Cloud	オフ ☐	
Control4 SDDP	オフ ☐	
セキュアHTTP	オン ☒	▲
Webサーバー証明書		

- 5 [セキュアHTTP]を[オン]に設定します。
- 6 [Webサーバー証明書]を選択して【決定】ボタンを押します。
- 7 [登録]を選択して【決定】ボタンを押します。
- 8 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。
- 9 【決定】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。
- 10 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。

- 11** 証明書のパスワードを入力して【決定】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

▶ 関連項目

- 「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 [p.170](#)

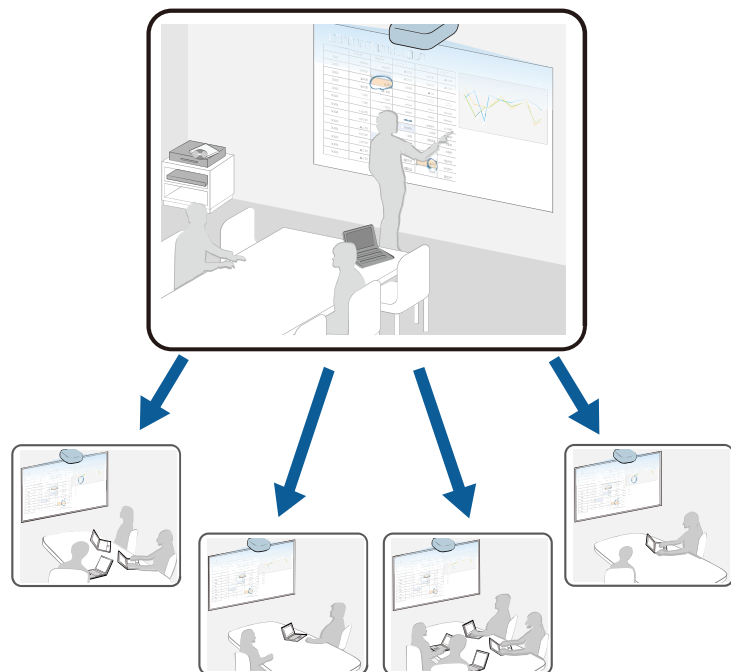
サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

Webサーバー証明書（セキュアHTTP）

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード	設定が必要。64文字以内の半角英数字。

プロジェクターから投写している画面を、同じネットワーク上の他のプロジェクターに4台まで配信できます。他のプロジェクターで同時に同じ画面を見ることができます。



画面共有機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- 画面共有機能搭載のプロジェクターのみと共有が可能です。
- 画面を共有しているプロジェクターとファームウェアのバージョンが異なるときは、ファームウェアの更新が必要になることがあります。
- HDCPで保護されたコンテンツは配信できません。
- 画面共有中は「ネットワーク」の設定を変更できません。
- この機能は入力ソースが AirPlay、LAN、Miracastのときは無効です。(EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U)

▶ 関連項目

- 「投写画面を共有する」 [p.171](#)
- 「共有された画面を受信する」 [p.173](#)

投写画面を共有する

画面を共有する前に、プロジェクターの設定が必要です。

- プロジェクターをネットワークに接続します。
- 「画面共有」の設定を「オン」にします。
 - ☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定」 > 「ネットワーク投写」 > 「画面共有」
- キーワード入力による認証を省略して、他のプロジェクターと簡単に接続したいときは、「接続モード」を「キーワードなし」に設定します。
 - ☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定」 > 「ネットワーク投写」 > 「画面共有」 > 「接続モード」

1 本機の電源を入れて、映像を表示します。

2 【ホーム】 ボタンを押します。

3 「画面共有」 を選択します。



4 「投写画面を共有する」 を選択します。



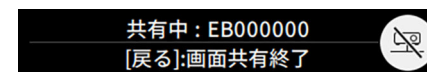
5 画面を共有するプロジェクターを指定します。



- ① テンキーを使用してIPアドレスを入力します。
- ② 入力が求められたときに、テンキーを使用してプロジェクターキーワードを入力します。プロジェクターキーワードは受信するプロジェクターの投写画面に表示されます。
- ③ 接続履歴を表示します。以前に接続したことがあるプロジェクターに接続するときは、リストからIPアドレスを選択することができます。

6 「接続」 を選択します。

接続が完了すると、共有状況を示す情報バーが画面の右上に表示されます。情報バーはドラッグして位置を移動できます。



7 手順3から6を繰り返して、その他のプロジェクターと接続します。

8 入力ソースを選択して、共有したい映像を投写します。

配信先のプロジェクターに画面が表示されます。

▶▶ 関連項目

- 「画面共有を終了する」 p.173

画面共有を終了する

画面共有はステータスバーの  アイコンを選択して終了できます。このアイコンを押すと、すべてのプロジェクターへの配信を一度に終了できます。特定のプロジェクターのみ配信を停止するときは、以下の操作をします。

- 1 【ホーム】 ボタンを押します。
- 2 「画面共有」 を選択します。



- 3 配信を停止するプロジェクターを選択して、「切断」 を選択します。



「切断」 を選択すると、ボタンが「確認」 に変わります。再度ボタンを選択し、プロジェクターと切断します。



選択したプロジェクターとの接続が切断され、画面共有が終了します。

- 4 手順3を繰り返して、その他のプロジェクターと切断します。



「共有終了」 を選択すると、ボタンが「確認」 に変わります。再度ボタンを選択し、すべてのプロジェクターと切断します。

共有された画面を受信する

画面を受信する前に、プロジェクターの設定が必要です。

- 画面を共有しているプロジェクターと同じネットワークに接続してください。
- Epson iProjectionで接続しているコンピューターやモバイルデバイスがないことを確認します。
- 「画面共有」 の設定を「オン」 にします。
 - ☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定」 > 「ネットワーク投写」 > 「画面共有」

他のプロジェクターが共有を始めると、共有画面が自動で表示されます。画面が表示されないときは、リモコンの【ワイヤレス】ボタンを押します。

受信した画面を消去するには、投写中に【戻る】ボタンを押します。



お使いのプロジェクターのIPアドレスがわからないときは、【ホーム】ボタンを押して「画面共有」を選択します。ガイドスクリーンにIPアドレスが表示されます。

プロジェクターを監視および制御する

ネットワーク経由でプロジェクターの監視と制御を行う方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management Connected/Epson Projector Management」 [p.176](#)
- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.177](#)
- 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.187](#)
- 「メールでプロジェクターの異常を通知する」 [p.189](#)
- 「SNMPを使ってプロジェクターを監視する」 [p.190](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.192](#)
- 「PJLinkについて」 [p.193](#)
- 「Crestron Connectedについて」 [p.194](#)
- 「Web API」 [p.196](#)
- 「プロジェクターのイベントスケジュールを設定する」 [p.197](#)

Epson Projector Management ConnectedとEpson Projector Management (Windowsのみ) は、ネットワークに接続されたプロジェクターの状態を監視したり、制御するためのソフトウェアです。

Epson Projector Management Connectedはプロジェクターの情報をクラウドサーバー上で管理するため、どのデバイスからでも遠隔で監視・制御ができます。

Epson Projector ManagementはWindows専用ソフトウェアで、コンピューターから同一ネットワーク内のプロジェクターの監視・制御ができます。お客様の使用環境や使用目的に応じていずれかをお選びください。

詳しくは以下のWebサイトでご確認ください。

<https://www.projection-service.epson.com/epm-connected/>



プロジェクター登録時の認証方法は、Epson Projector Managementのバージョンによって異なります。

- Epson Projector Management Ver.5.30以前： Monitor/パスワード
- Epson Projector Management Ver.5.40以後： Web制御パスワード

最良の結果を得るには、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用することをお勧めします。

コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から行えます。

コンテンツ再生モードではプレイリストの編集もできます。

注意

以下の場合には、USBメモリーを本機から取り外したり、本機の電源コードを抜いたりしないでください。USBメモリーのデータが破損することがあります。

- [プレイリスト] 画面表示中
- [USBメモリー] 画面表示中



- コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。
- 以下のWebブラウザを使用できます。
 - Microsoft Edge (Windows)
 - Safari (Mac、iOS)
 - Chrome (Android)
- お使いのWebブラウザで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。
- [動作] メニューの [待機モード] を [ノーマル] に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザを使って設定や制御ができます。
- Epson iProjection (iOS/Android) から、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御が可能です。

1 本機の電源がオンになっていることを確認します。

2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。

3 お使いの機器でWebブラウザを起動します。

4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、[Epson Web Control] 画面に接続します。IPv6アドレスを入力するときは、アドレスを [] で囲んで入力します。

[Epson Web Control] 画面が表示されます。

- 通常モード



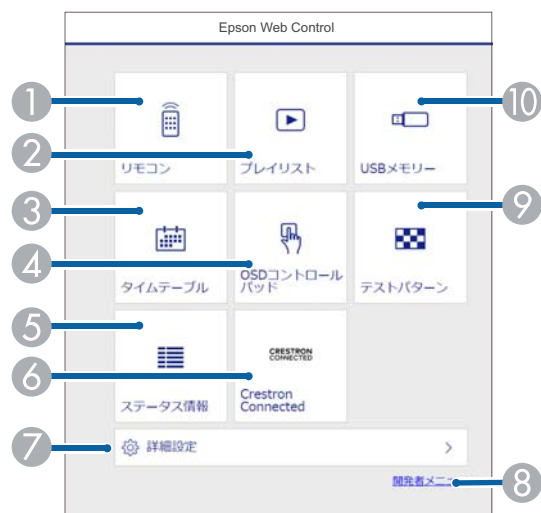
- ① 本機をリモート操作します。
- ② テストパターンを表示します。

- ③ 投写映像の静止画を遠隔地から撮影します。
[ネットワーク] メニューの [リモートカメラアクセス] が有効のとき表示されます。
- ④ 本機の詳細設定をします。
- ⑤ [Crestron Connected] の操作画面を表示します。[Crestron Connected] を使用しているときのみ有効です。
- ⑥ 本機の状態を表示します。
- ⑦ 指やマウスで本機のメニューを操作します。



「管理」メニューの「ログ保存先」を「USBおよび内部メモリー」に設定しているときは、ブラウザーのアドレス入力部に「https://<projector's IP address>/logs/」と入力してログを確認できます。

・ [コンテンツ再生] モード



- ① 本機をリモート操作します。

- ② 再生したいプレイリストを選択します。プレイリストの作成や編集もできます。
- ③ [タイムテーブル] 画面を表示します。
- ④ 指やマウスで本機のメニューを操作します。
- ⑤ 本機の状態を表示します。
- ⑥ Crestron Connectedの操作画面を表示します。Crestron Connectedを使用しているときのみ有効です。
- ⑦ 本機の詳細設定をします。
- ⑧ [開発者メニュー] 画面を表示します。
- ⑨ テストパターンを表示します。
- ⑩ プレイリスト用の素材データをUSBメモリーに転送します。

5 操作したい項目を選択します。



[Epson Web Control] 画面のオプション設定をするためにログインを求められる場合があります。あらかじめ以下のパスワードを設定してください。

- ・ [ベーシックコントロール] にアクセスするときは、ユーザー名 **EPSONREMOTE** と [Remoteパスワード] を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
[ネットワーク] メニューで [ベーシックコントロール] を [オン] にして、パスワードを設定してください。
☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [ベーシックコントロール]
- ・ その他の画面にアクセスして設定を保存するときは、ユーザー名 **EPSONWEB** と [Web制御パスワード] を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
[ネットワーク] メニューでパスワードを設定してください。
☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Web制御パスワード]

▶ 関連項目

- 「Web Controlのオプション設定」 p.179
- 「ネットワークメニュー」 p.222

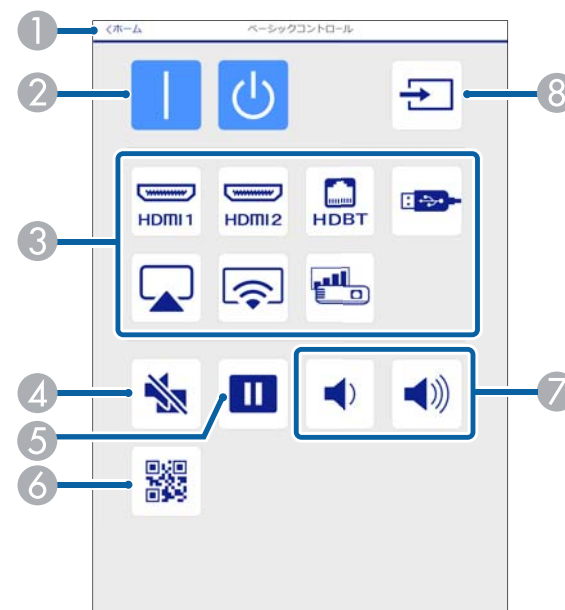
Web Controlのオプション設定

ベーシックコントロール

[ベーシックコントロール] 画面では、入力ソースの選択やプロジェクターの操作ができます。



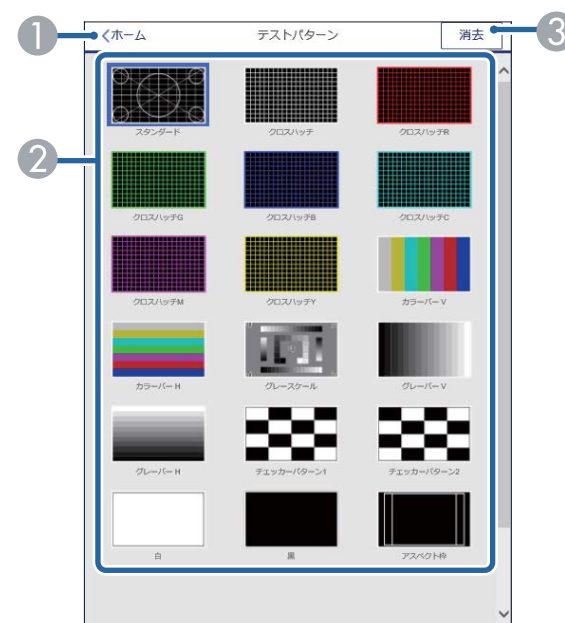
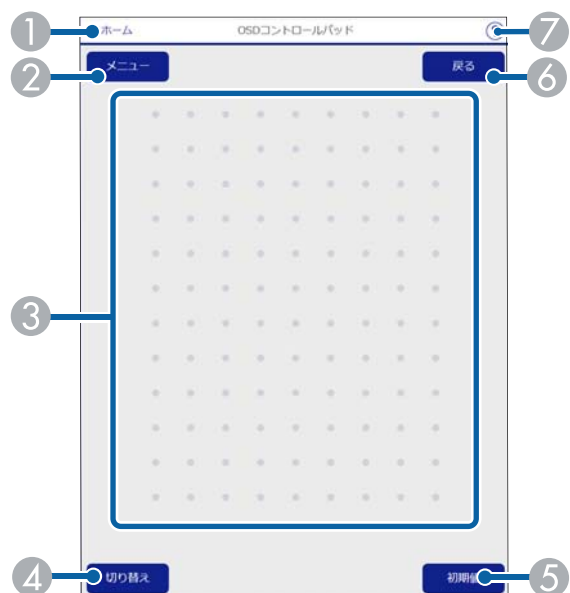
- ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(ユーザー名は **EPSONREMOTE** です。デフォルトのパスワードは設定されていません。この機能を初めて使うときは、表示されるダイアログに従ってパスワードを設定してください。)
- パスワードは、[ネットワーク] メニューで変更できます。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [ベーシックコントロール]



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。
- ⑤ 映像を一時停止/解除します。
- ⑥ QRコードを表示します。
- ⑦ スピーカーの音量を調整します。
- ⑧ 映像の入力を検出します。

OSDコントロールパッド

[OSDコントロールパッド] 画面では、指やマウスでプロジェクターのメニューを操作できます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 本機のメニューを表示します。
- ③ 指やマウスでメニューを操作します。
- ④ 本機のメニューを表示します。
- ⑤ 選択した設定を初期値に戻します。
- ⑥ 前のメニュー項目に戻ります。
- ⑦ ヘルプを表示します。

テストパターン

[テストパターン] 画面では、テストパターンを表示できます。

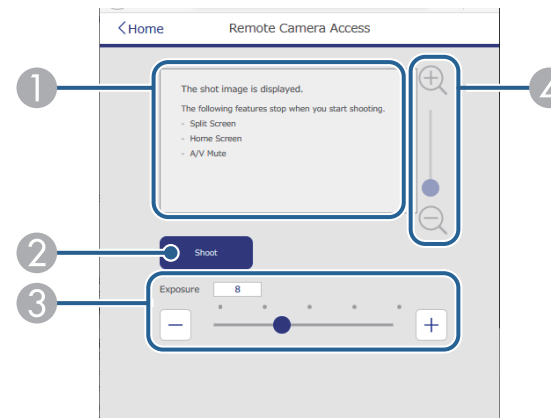
- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 表示可能なテストパターン一覧から、表示したいパターンを選択します。
- ③ テストパターンの表示を終了します。

ステータス情報



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 項目名を表示します。
- ③ 各項目の状態を表示します。
- ④ その他の項目を選択します。

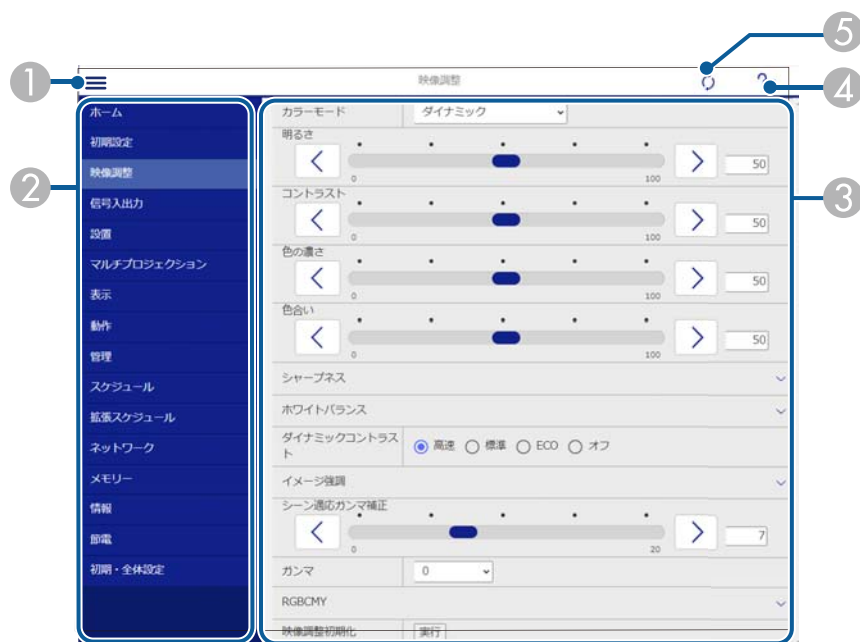
リモートカメラアクセス (通常モード時のみ)



- ① [撮影] ボタンで撮影した画像を表示します。
- ② オプションの外付けカメラを使用して、投写映像を静止画で撮影します。
- ③ 撮影時の露光を調整します。
- ④ 撮影した画像をズームイン・ズームアウトします。

詳細設定

[詳細設定] 画面では、プロジェクターの詳細設定ができます。



- ① メニューを開きます。
- ② 選択しているメニュー名を表示します。
- ③ 本機の設定をします。(設定項目は機種により異なります。)
- ④ 本機の設定をロックまたはアンロックします。
- ⑤ 本機の設定を更新します。



以下の項目はWebブラウザでは変更できません。

- [HDMIリンク]
- [一括設定]
- [カメラ補正アシスト]
- [リモートカメラアクセス]
- [コンテンツ再生]
- [カスタマイズボタン]
- [ユーザーロゴ]
- [無線LAN診断]
- [言語]
- [アクセスポイント検索]
- [Crestron Connected]
- [HDBaseT信号レベル]
- [Event ID]
- [HDBaseT Tx]
- [アンテナレベル]
- [ネットワーク初期化]
- [ファームウェア更新]

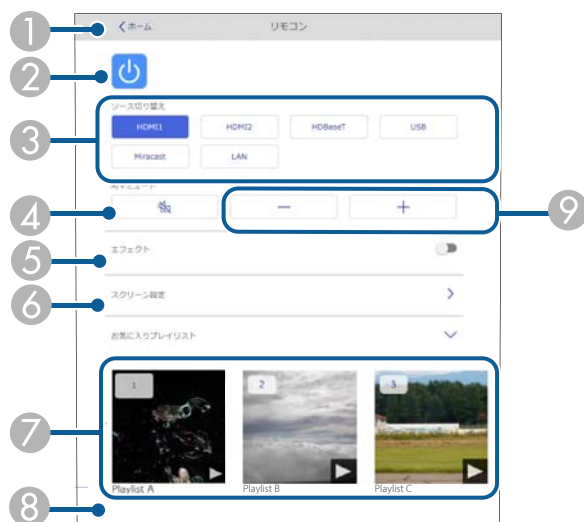


以下の項目はWebブラウザでのみ設定できます。

- Monitorパスワード (半角英数字で16文字以内)
- IPv6設定 (手動)
- HTTPポート追加 (Web制御に使用するポート番号で、80 (デフォルト)、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号)
- ログ表示

リモコン（コンテンツ再生モード時のみ）

[リモコン] 画面では、入力ソースの選択、プロジェクターの操作、プレイリストの再生ができます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② 本機の電源をオン/オフします。
- ③ 入力ソースを選択します。（入力可能なソースは機種により異なります。）
- ④ 映像と音声を一時的に遮断します。
- ⑤ 入力ソースがUSB以外のとき、[エフェクト] の項目が表示されます。
[エフェクト] をオン/オフします。投写映像の色や形を変えたいときはオンにしてください。
オンにすると、[エフェクト] 画面が表示されます。あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑥ 画面の設定をします。
- ⑦ お気に入りに登録したプレイリストの一覧です。選択すると再生が始まります。

- ⑧ 再生中のプレイリストの情報を表示します。
プレイリストの設定はアイコンで示されます。

⚡: エフェクトが設定されています

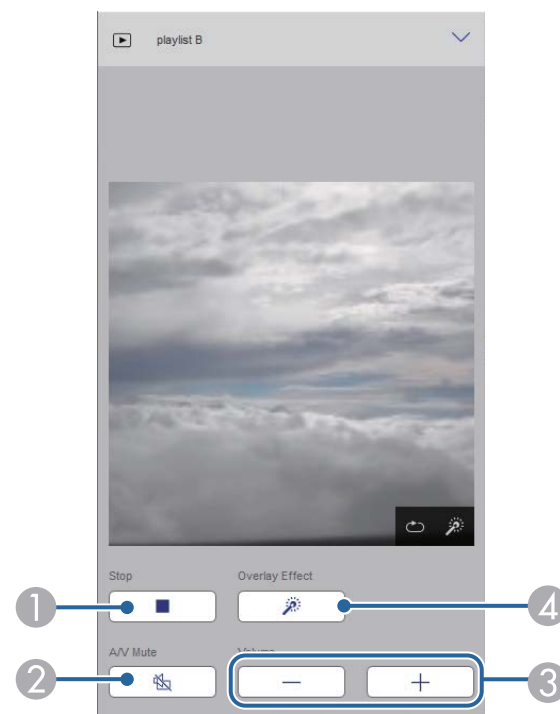
🔄: 繰り返し再生が設定されています

00:10: プレイリストの長さ

右下の矢印を選択すると、次の画面が表示されます。

- ⑨ スピーカーの音量を調整します。

プレイリスト再生中の画面（コンテンツ再生モード時のみ）

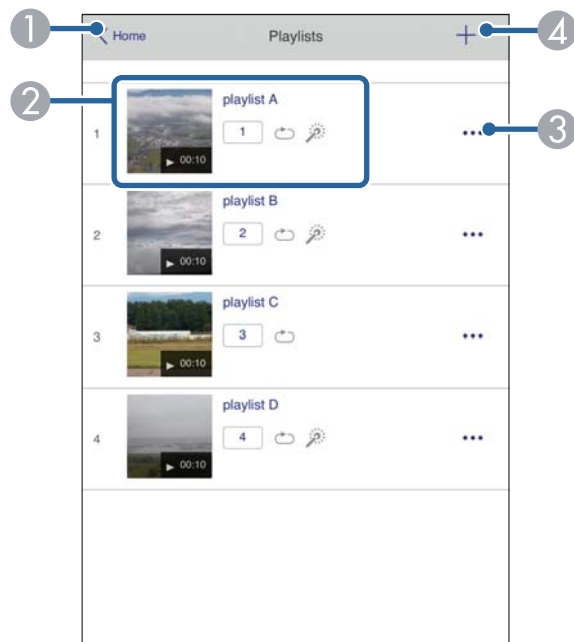


- ① 投写を停止します。

- ② 映像と音声を一時的に遮断します。ただし、すべてのサウンドおよびビデオの再生は続行されるため、停止したポイントから投写を再開することはできません。
- ③ スピーカーの音量を調整します。
- ④ [エフェクト] 画面を表示します。あらかじめ用意されているエフェクトの設定を選択、または明度、カラーフィルター、形状フィルターのエフェクトを個別に設定します。

プレイリスト（コンテンツ再生モード時のみ）

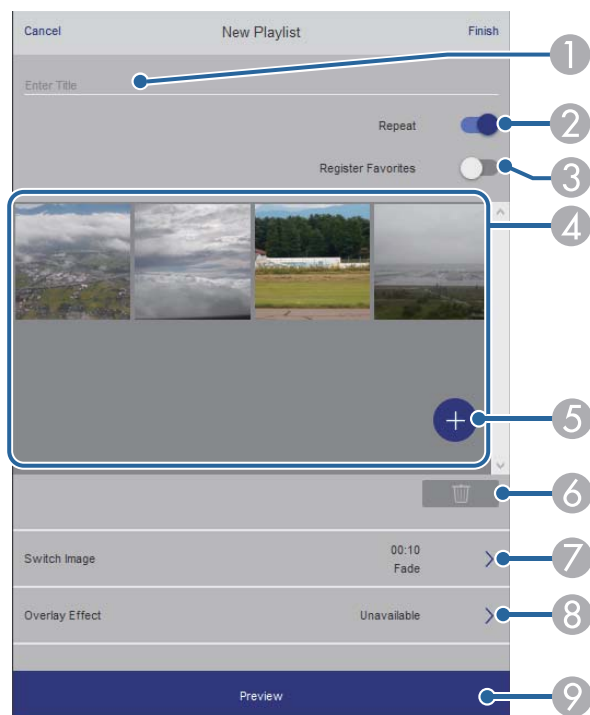
[プレイリスト] 画面では、再生したいプレイリストを選択できます。プレイリストの作成や編集もできます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。

- ② プレイリストを再生します。
プレイリストの設定はアイコンで示されます。
🔖: お気に入りに登録された番号
🔄: 繰り返し再生が設定されています
⚙️: エフェクトが設定されています
- ③ メニューから、プレイリストの編集、複製、お気に入り登録、削除ができます。
[編集] または [複製] を選択したときは、[プレイリスト編集] 画面が表示されます。
- ④ [新規プレイリスト] 画面で新規プレイリストを作成できます。

新規プレイリスト/プレイリスト編集画面（コンテンツ再生モード時のみ）



- ① プレイリスト名を編集できます。
- ② 繰り返し再生するかどうかを設定します。
- ③ お気に入りに登録します。
お気に入りに登録すると、[リモコン] 画面またはリモコンを使用して簡単にプレイリストを再生できます。
- ④ プレイリストに追加された画像や動画を表示します。ここに表示された順序で画像や動画が再生されます。
- ⑤ 画像や動画を追加します。
- ⑥ 画像や動画を一覧から削除します。

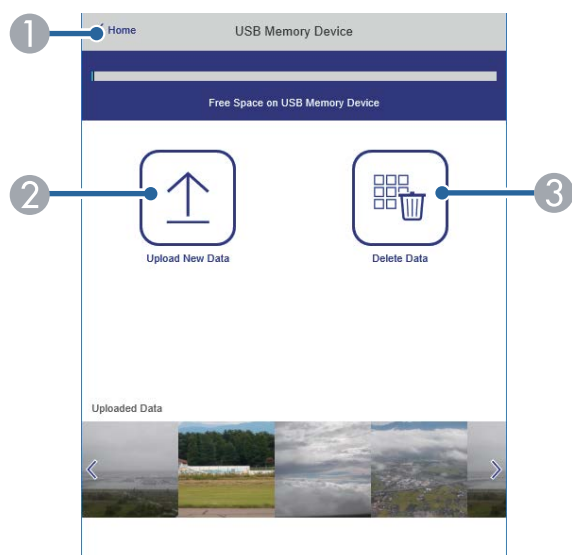
- ⑦ [静止画切り替え] 画面を表示します。
プレイリスト投写中に次のファイルに切り替わるまでの表示時間を設定できます。トランジション効果も設定できます。
- ⑧ [エフェクト] 画面を表示します。
あらかじめ用意されているカラーフィルターまたは形状フィルターなどのエフェクトをプレイリストに設定できます。エフェクトをカスタマイズすることもできます。
- ⑨ プレイリストをプレビューできます。

USBメモリー（コンテンツ再生モード時のみ）

[USBメモリー] 画面では、プレイリストに追加したい写真や動画をUSBメモリーに転送したり、不要な写真や動画をUSBメモリーから削除できます。



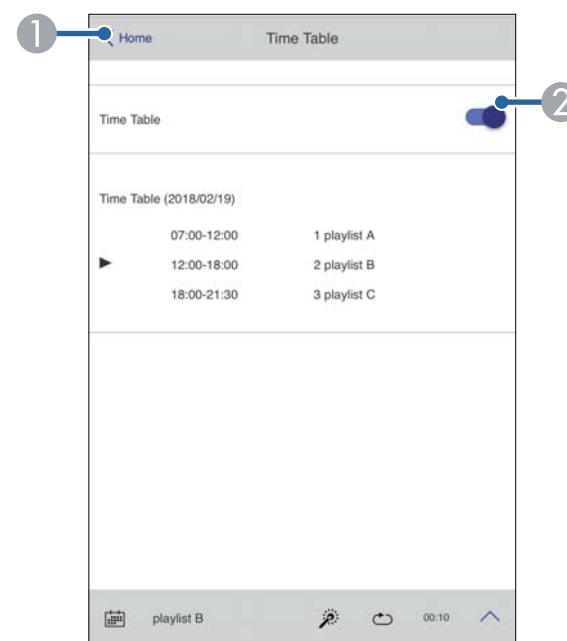
.avi、.jpeg (.jpg)、.png、.bmp、.gifファイルをアップロードできます。
.mp4または.movファイルをプレイリストに追加したいときは、Epson Projector Content ManagerまたはEpson Creative Projectionを使用します。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② プレイリストに追加する写真や動画を、USBメモリーに転送します。
- ③ 写真や動画をUSBメモリーから消去します。

タイムテーブル（コンテンツ再生モード時のみ）

[タイムテーブル] 画面では、タイムテーブルを有効または無効にできます。



- ① [Epson Web Control] のホーム画面に移動します。
- ② タイムテーブルをオン/オフします。



Epson Projector Content Managerのタイムテーブル機能を使うと、プレイリストを再生する日時を指定できます。
詳しくは『Epson Projector Content Manager操作ガイド』をご覧ください。

セキュリティー設定に用いる電子証明書を本機に設定します。



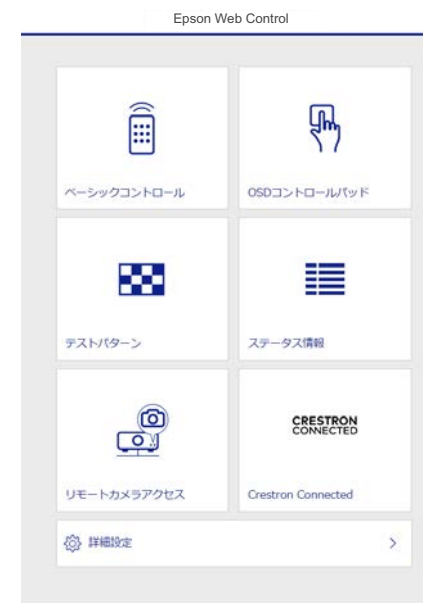
本機への電子証明書のインストールは、[ネットワーク] メニューから行うことができます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [EAP設定] > [クライアント証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [EAP設定] > [CA証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [プロジェクター制御] > [Webサーバー証明書]

- 1 本機に対応した形式の証明書を用意します。
- 2 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 3 ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。
Epson Web Control画面が表示されます。



- 5 [詳細設定] を選択します。



- 詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(ユーザー名は**EPSONWEB**です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- パスワードは、[ネットワーク] メニューで変更できます。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

- 6 [ネットワーク] から[証明書]を選択します。
- 7 登録する証明書を選択します。

- 8** [パスワード] ボックスにパスワードを入力し、[送信] をクリックします。
- 9** 設定が終了したら、[適用] をクリックします。

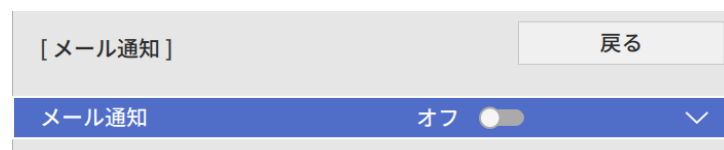
プロジェクターが異常/警告状態になったとき、異常状態が電子メールで通知されるようにメール通知機能を設定できます。

〔動作〕メニューの〔待機モード〕設定を〔ノーマル〕に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、通知メールを送信できます。

1 【メニュー】ボタンを押し、〔ネットワーク〕を選択して、【決定】ボタンを押しします。

2 〔ネットワーク設定〕を選択して【決定】ボタンを押しします。

3 〔メール通知〕を選択して【決定】ボタンを押しします。



4 〔メール通知機能〕を〔オン〕に設定します。

5 〔SMTPサーバー〕にIPアドレスを入力します。



〔SMTPサーバー〕には127.x.x.xのIPアドレスは使用できません（xは0～255の数値）。

6 SMTPサーバーの〔認証タイプ〕を設定します。

7 〔ポート番号〕にSMTPサーバーのポート番号を1～65535の数値で入力します（デフォルトは25）。

8 SMTPサーバーの〔ユーザー名〕を入力します。

9 SMTP認証に使う〔パスワード〕を入力します。

10 送信者として表示されるメールアドレスを〔送信元アドレス〕に入力します。

11 宛先を選択し、メールアドレスとメール通知する異常/警告の種類を選択します。宛先は3つまで設定できます。



メールアドレスは半角英数字64文字以内で入力します。

12 設定が終わったら、〔ネットワーク設定〕の画面に戻り、〔設定〕を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。



本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールを送信できないことがあります。

▶ 関連項目

- 「異常通知メールの見方」 [p.189](#)

異常通知メールの見方

通知メールを送信する設定をしているとき、本機が異常/警告状態になると、以下の情報を含むメールが送信されます。

- メール差出人：〔差出人〕のメールアドレス
- メール件名：〔Epson Projector〕
- 1行目：異常が生じたプロジェクター名
- 2行目：異常が生じたプロジェクターのIPアドレス
- 3行目：異常の内容

コンピューターにSNMP（Simple Network Management Protocol）ソフトウェアをインストールして、プロジェクトターを監視できます。SNMPによる管理は、ネットワーク管理者が行います。SNMPソフトウェアを使用するときは、本機のSNMP設定をします。

1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク] を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 [ネットワーク設定] を選択して【決定】ボタンを押します。

3 [プロジェクトター制御] を選択して【決定】ボタンを押します。

[プロジェクトター制御]

戻る

コマンド通信	プロテクト
Web API設定	
ベーシックコントロール	オフ ☐ ▼
PJLink	オフ ☐ ▼
SNMP	オフ ☐ ▼
AMX Device Discovery	オフ ☐
Crestron Connected	オフ ☐ ▼
Crestron XiO Cloud	オフ ☐
Control4 SDDP	オフ ☐
セキュアHTTP	オン ☒ ▲
Webサーバー証明書	

4 [SNMP] を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 ネットワーク設定に応じて、SNMPエージェントのバージョンを選択します。

6 選択したSNMPエージェントのバージョンに応じて、次のいずれかを実行します。

- [SNMPv1/v2c]：[オン] に設定し、SNMPの[コミュニティ名] を半角英数字32文字以内で入力します。
- [SNMPv3]：[オン] に設定し、手順8に進みます。

7 [トラップIPアドレス1] と [トラップIPアドレス2] に、SNMP通知を受信するIPアドレスを最大2つ入力します。0～255の数字を入力します。



224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスは使用できません。

手順9へ進みます。

8 必要に応じてSNMPを設定します。

- 半角英数字32文字以内でユーザー名を入力します。
- [トラップIPアドレス1]、[トラップIPアドレス2]：SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。



224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスは使用できません。

- [認証タイプ]：SNMPv3の認証タイプを選択します。
- [認証パスワード]：SNMPv3の認証用パスワードを入力します。半角英数字32文字以内で入力します。
- [暗号化タイプ]：SNMPv3の暗号化タイプを選択します。
- [暗号化パスワード]：SNMPv3の暗号化パスワードを入力します。半角英数字32文字以内で入力します。

- 9 設定が終わったら、[ネットワーク設定] の画面に戻り、[設定] を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。

ESC/VP21を使用して外部デバイスからプロジェクターを制御できます。

▶ 関連項目

- ・ 「ESC/VP21コマンドリスト」 [p.192](#)
- ・ 「ケーブル配線」 [p.192](#)

ESC/VP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン' (3Ah) を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後'を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に'を返信します。

利用可能なコマンドは本機の『仕様一覧』で確認できます。

▶ 関連項目

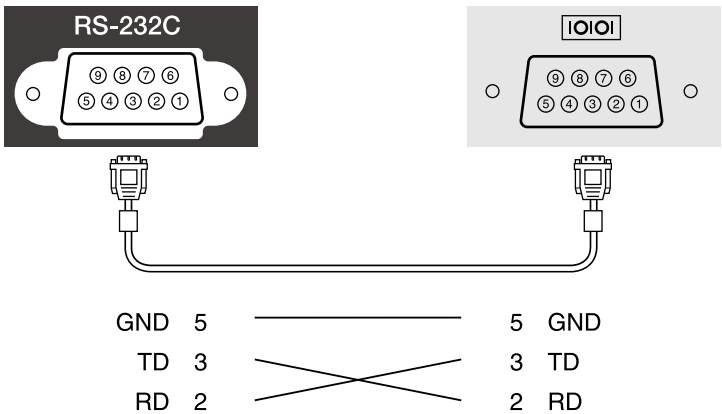
- ・ 「ドキュメント類の最新バージョンを入手する」 [p.11](#)

ケーブル配線

シリアル接続

- ・ コネクタ形状：D-Sub 9-pin（オス）
- ・ プロジェクター入力端子名：RS-232C
- ・ ケーブルタイプ：クロスケーブル

以下の図では、左の端子がプロジェクター側、右の端子がコンピューター側を示しています。



信号名	機能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ

通信プロトコル

- ・ ボーレート基準速度：9600 bps
- ・ データ長：8 bit
- ・ パリティ：なし
- ・ ストップビット：1 bit
- ・ フロー制御：なし

JBMIA（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）によりネットワーク対応プロジェクターの制御用プロトコルの標準化が進められ、制御用標準プロトコルPJLinkが策定されました。

本機はJBMIAによって策定されたPJLink Class2規格に準拠しています。

PJLinkの検索機能で使用するポート番号は4352（UDP）です。

PJLinkを使用するには、事前にネットワーク設定を行う必要があります。

次のコマンドを除く、PJLink Class2によって規定されているすべてのコマンドに対応しており、PJLink規格の適合性を確認しています。

<http://pjlink.jbmia.or.jp/>

- 非対応コマンド

機能		PJLinkコマンド
ミュート設定	映像ミュート設定	AVMT 11
	音声ミュート設定	AVMT 21

- 入力端子名称および入力ソース番号の対応表

入力端子名称	入力ソース番号
HDMI1	32
HDMI2	33
USB	41
LAN	52
HDBaseT	56
Miracast	57
AirPlay	59

- 「メーカー名問合せ」で表示するメーカー名

EPSON

- 「機種情報問合せ」で表示する機種名

- EPSON L895E/L890E
- EPSON L795SE
- EPSON/L695SE/L690SE
- EPSON L690E
- EPSON L890U
- EPSON L790U
- EPSON L790SU
- EPSON L690U

▶ 関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.145](#)

Crestron Connectedは統合コントロールシステムです。ネットワークで接続された複数の機器を一括して監視、制御できます。Crestron Connectedを使うと、Webブラウザを使ってプロジェクターの制御や監視ができます。



- Crestron Connectedを使用するときは、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能を使用できません。

Crestron Connectedの詳細については、Crestron社のWebサイトを参照してください。

<https://www.crestron.com/>

システム内の機器の監視には、Crestron社が提供するCrestron RoomView ExpressまたはCrestron Fusionを使用できます。監視の他にヘルプデスクとの通信、緊急時のメッセージ送信ができます。詳細は以下をご覧ください。

<http://www.crestron.com/getroomview>

本書では、Webブラウザを利用してコンピューターの画面上で本機を操作する方法を説明します。

▶ 関連項目

- 「Crestron Connectedを設定する」 [p.194](#)

Crestron Connectedを設定する

Crestron Connectedを使ってプロジェクターの監視と制御をするには、コンピューターとプロジェクターがネットワークに接続されていることを確認します。

無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。



【動作】メニューの[待機モード]を[ノーマル]に設定すると、本機がスタンバイ状態（電源オフ）のときも、Webブラウザを使って設定や制御ができます。

1 【メニュー】ボタンを押し、[ネットワーク]を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 [ネットワーク設定]を選択して【決定】ボタンを押します。

3 [プロジェクター制御]を選択して【決定】ボタンを押します。

[プロジェクター制御]		戻る
コマンド通信	プロテクト	
Web API設定		
ベーシックコントロール	オフ ☐	▼
PJLink	オフ ☐	▼
SNMP	オフ ☐	▼
AMX Device Discovery	オフ ☐	
Crestron Connected	オフ ☐	▼
Crestron XiO Cloud	オフ ☐	
Control4 SDDP	オフ ☐	
セキュアHTTP	オン ☒	▲
Webサーバー証明書		

- 4** 「Crestron Connected」を「オン」に設定して、プロジェクターが検出されるようにします。
- 5** 設定が終わったら、「ネットワーク設定」の画面に戻り、「設定」を選択します。画面の指示に従って設定を保存し、メニューを終了します。
- 6** プロジェクターの電源を入れなおして設定を有効にします。
- 7** ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 8** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。
- 9** 「Crestron Connected」を選択します。詳細はCrestron社のWebサイトを参照してください。

コンテンツ再生モードとプロジェクター制御では、Web APIを使ってプロジェクターを操作できます。詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。



- Web API通信には、API認証（Digest認証）を使用できます。
- API認証のユーザー名は **EPSONWEB**、パスワードは [Web制御パスワード] で設定されているパスワードを入力してください。
☞ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [Web制御パスワード]

▶ 関連項目

- 「Web APIを有効にする」 [p.196](#)

Web APIを有効にする

Web APIはWebブラウザから有効にできます。

- 1** [Epson Web Control] 画面で [開発者メニュー] を選択します。
- 2** [API有効] を [オン] にします。

プロジェクターの電源オン/オフや入力ソースの切り替えなど、最大30件のイベントをプロジェクターにスケジュール登録できます。設定した日時を選択したイベントが自動的に実行されます。

警告

燃えやすいものをプロジェクターのレンズの前に置かないでください。スケジュール機能によりプロジェクターの電源が自動でオンになり、火災の原因となることがあります。



事前に [メニュー保護] の [スケジュール] を [オフ] に設定します。

- 1 [管理] メニューで [日付&時刻] を設定します。
- 2 【メニュー】 ボタンを押し、[管理] を選択して【決定】 ボタンを押しします。
- 3 [スケジュール設定] を選択して【決定】 ボタンを押しします。
- 4 [スケジュール] を選択して【決定】 ボタンを押しします。

- 5 [新規追加] を選択して【決定】 ボタンを押しします。

6 イベント実行時の動作内容を設定します。

7 イベントを実行する日付や曜日、時刻を選択します。

8 「保存」を選択し、【決定】ボタンを押します。 登録したイベントが画面に表示されます。イベントのステータス や時刻はアイコンやインジケータで示されます。



- ①  : 有効なイベント
 : 定期的なイベント
 : 無効なイベント
② 選択している日付 (強調表示)
③  : 1回限りのイベント
 : 定期的なイベント
 : 通信監視のオン/オフ
 : 無効なイベント

9 登録されているイベントを編集するには、イベントを選択し、【戻る】ボタンを押します。

- 10** 表示されたメニューから操作を選択します。
- [有効] / [無効] : 選択したイベントを有効または無効にできます。
 - [編集] : イベントの動作内容または日時を変更できます。
 - [削除] : 登録したイベントを一覧から削除できます。

11 [設定完了] を選択して、[はい] を選択します。

登録したイベントをすべて削除するには、[スケジュール初期化] を選択します。

▶ 関連項目

- 「日時を設定する」 [p.53](#)
- 「管理メニュー」 [p.218](#)

メニューの設定

プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.201](#)
- 「ソフトキーボードを操作する」 [p.202](#)
- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.206](#)
- 「設置メニュー」 [p.208](#)
- 「マルチプロジェクションメニュー」 [p.210](#)
- 「表示メニュー」 [p.212](#)
- 「動作メニュー」 [p.214](#)
- 「管理メニュー」 [p.218](#)
- 「ネットワークメニュー」 [p.222](#)
- 「情報メニュー」 [p.233](#)
- 「メモリーメニュー」 [p.234](#)
- 「節電メニュー」 [p.235](#)
- 「初期・全体設定メニュー」 [p.236](#)
- 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.238](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
メニューが表示されます。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 ● 50 ● 50
設置	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

- 7 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。



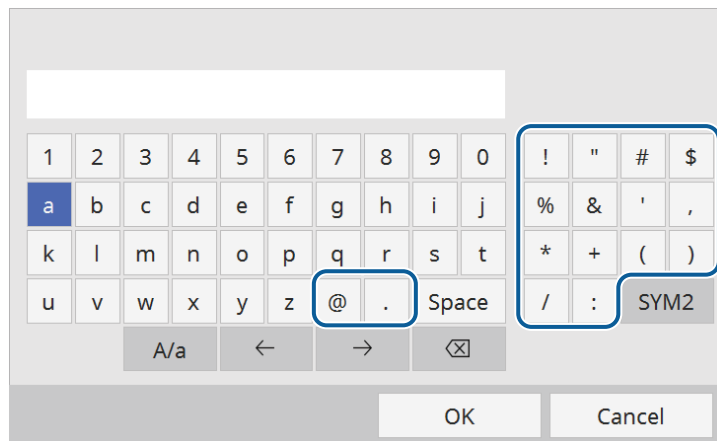
✓が表示される項目には関連するメニューがあります。設定をオンにしたり、特定の値を設定すると、関連するメニューを展開して表示します。



- 2 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。
- 3 設定を変更するには、【決定】ボタンを押します。
- 4 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5 メニュー設定をすべて初期値に戻すには、[初期・全体設定]を選択します。
- 6 メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。

数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【決定】ボタンを押します。



A/aキーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。
SYM1/2キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードの【OK】を選択して入力を確定します。【Cancel】を選択すると、テキストの入力を取り消します。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。
プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

▶ 関連項目

- 「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.202](#)

ソフトキーボードで入力可能な文字

ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{ }~

「映像調整」メニューでは、投写映像の画質を調整できます。カラーモードや入力ソースによって設定できる項目が異なります。

映像調整	カラーモード	ダイナミック
信号入出力	画質調整	☀ 50 ● 50 ● 50 ● 50
設置	シャープネス	
マルチプロジェクション	ホワイトバランス	
表示	ダイナミックコントラスト	オフ
動作	イメージ強調	
管理	シーン適応ガンマ補正	0
ネットワーク	ガンマ	
情報	RGBCMY	
メモリー	初期値に戻す	
節電	アスペクト	オート
初期・全体設定	表示倍率	
	映像調整初期化	

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
画質調整	明るさ	映像の明るさを調整します。
	コントラスト	映像のコントラストを調整します。
	色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。
	色合い	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。

設定	選択肢	説明
ホワイトバランス	色温度	選択したカラーモードに応じて色温度を設定します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。 [カラーフィルター] が [ウォームホワイト]、[クールホワイト] 以外のとき表示されます。 ☛ [動作] > [コンテンツ再生] > [エフェクト] > [カラーフィルター]
	G-M補正	映像の色合いを細かく調整します。値を高くすると緑がかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。
	カスタム	オフセット、ゲインを [R] (赤)、[G] (緑)、[B] (青) の成分ごとに調整します。
ダイナミックコントラスト	高速 標準 ECO オフ	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。

設定	選択肢	説明
イメージ強調	4Kエンハンスメント	(この設定は機種により異なる場合があります。) 1画素を0.5画素ずつ斜めにシフトさせることで解像度を2倍にして投写します。高解像度の映像信号を精細に投写します。 以下の場合には、この項目は無効になります。 ・ [アスペクト] が [リアル] に設定されている。 ・ 画面共有機能を使用している。
	イメージ強調プリセット	[ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション]、[ディテール強調] の設定値としてあらかじめ用意された設定を選択します。

設定	選択肢	説明
	ノイズリダクション	アナログ映像のざらつきを抑えます。以下の場合には、この項目は無効になります。 ・ 以下の入力ソースから投写中のとき (お使いの機種によって選択可能なソースは異なります。) ・ USB ・ LAN ・ AirPlay ・ Miracast ・ 解像度が2Kを超える映像が入力されている ・ インターレース信号が入力されている ・ [4Kエンハンスメント] が [オン] に設定されているとき ・ [エッジブレンディング] が [ブレンディング/黒レベル] または [黒レベル] のとき
	MPEGノイズリダクション	MPEG形式の映像のざらつきを抑えます。 以下の入力ソースから投写中のときは設定できません。 ・ USB ・ LAN
	ディテール強調	映像のテクスチャーや質感を強調します。
	初期化	[イメージ強調] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

設定	選択肢	説明
シーン適応ガンマ補正	レベル調整	シーンに応じて階調表現を最適化して、メリハリのある映像にします。コントラストを強調したいときは、大きい値を選択します。
ガンマ	-5～5 カスタム	補正値を選んだり、ガンマグラフを見ながら映像の発色を調整します。
RGBCMY	レベル調整	[R] (赤)、[G] (緑)、[B] (青)、[C] (シアン)、[M] (マゼンタ)、[Y] (イエロー) ごとに色相、彩度、明度を調整します。
初期値に戻す	—	現在のカラーモードで調整したすべての値を初期値に戻します。
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比（縦横比）を設定します。 (事前に「表示倍率」をオフにするか、「表示倍率モード」を「フル表示」に設定します。) 入力ソースがHDMI、HDBaseT、またはUSBかつ書画カメラから読み込んだ映像を投写しているときのみ表示されます。
表示倍率	映像の切り出しに関する設定	水平/垂直方向に映像を拡大/縮小します。 本機を複数台使用してひとつの映像を投写するときは、それぞれのプロジェクターで表示する映像の範囲を調整します。
映像調整初期化	—	「映像調整」メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



- 「明るさ」の設定は光源の明るさには影響しません。光源の明るさを変更するには、「動作」メニューの「光源明るさ制御」を設定します。

▶ 関連項目

- 「カラーモードの種類」 [p.84](#)
- 「機能一覧表」 [p.12](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[信号入出力]メニューで設定します。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

映像調整	音量
信号入出力	ビデオレンジ オート
設置	カラースペース オート
マルチプロジェクション	ダイナミックレンジ
表示	EDID
動作	HDMI IN EQレベル
管理	HDMIリンク
ネットワーク	信号入出力初期化
情報	
メモリー	
節電	
初期・全体設定	

設定	選択肢	説明
音量	レベル調整（入力ソースごと）	本機のスピーカーの音量を調整します。 また、外部スピーカーの音量も調整できます。 音声はAVアンプに出力されていないとき表示されます。
ビデオレンジ	オート リミテッド (16-235) フル(0-255)	接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。

設定	選択肢	説明
カラースペース	オート BT.709 BT.2020	色空間の変換方式を設定します。 [映像調整] で [カラーモード] が [BT.709] または [DICOM SIM] に設定されているときは選択できません。
ダイナミックレンジ	ダイナミックレンジ	映像の暗部、明部の表示できる範囲を切り替えます。[オート]（推奨）[SDR] [HDR10] [HLG] から選択します。 [映像調整] で [カラーモード] が [BT.709] または [DICOM SIM] に設定されているときは選択できません。
	映像信号	映像信号を表示します。
	HDR10 設定	HDR PQ方式でのダイナミックレンジのPQ（Perceptual Quantizer）カーブを切り替えます。 [ダイナミックレンジ] が [オート] で [映像信号] が [HDR10] に設定されている、または [ダイナミックレンジ] が [HDR10] に設定されている時のみ表示されます。
	HLG 設定	HDR HLG方式でのダイナミックレンジのHLG（Hybrid Log Gamma）カーブを切り替えます。 [ダイナミックレンジ] が [オート] で [映像信号] が [HLG] に設定されている、または [ダイナミックレンジ] が [HLG] に設定されている時のみ表示されます。

設定	選択肢	説明
EDID	EDID (HDMI1) EDID (HDMI2) EDID (HDBaseT)	映像機器に通知する本機の解像度情報を設定します。映像の解像度に合わせて、必要に応じて設定を変更してください。 解像度の違う複数のディスプレイが設置されている環境でも、基準となるディスプレイの [EDID] と同じ設定をすることで、入力ソースの [EDID] を切り替えて、ディスプレイ間の [EDID] を統一することができます。
HDMI IN EQレベル	HDMI1 HDMI2	HDMI入力端子に接続している映像機器に応じてHDMI受信レベルを変更します。映像にノイズが入ったり、映らないときは、設定を変更してください。 入力ソースを切り替えることなく、ソースごとに設定できます。
HDMIリンク	HDMIリンク	[オン] に設定すると、[HDMIリンク] 機能が有効になります。
	接続機器一覧	HDMI端子に接続されている機器の一覧を表示します。 [HDMIリンク] が [オン] のときに表示されます。
	音声出力機器	AVアンプを接続している場合に、本機のスピーカーから音声を出力するか、AVアンプのスピーカーから音声を出力するかを選択します。

設定	選択肢	説明
	電源オン連動	本機または接続機器の電源をオンにしたときの動作を設定します。 [HDMI Out電源連動] が [オン] に設定されているときは無効です。 ・ [双方向]：本機の電源オンに連動して接続機器の電源をオンに、また、接続機器の電源オンに連動して本機の電源をオンにします。 ・ [接続機器→PJ]：接続機器の電源オンに連動して、本機の電源をオンにします。 ・ [PJ→接続機器]：本機の電源オンに連動して、接続機器の電源をオンにします。
	電源オフ連動	本機の電源オフに連動して、接続機器の電源をオフにするかしないかを設定します。 [HDMI Out電源連動] が [オン] に設定されているときは無効です。
	HDMI Out電源連動	本機の電源オン/オフに連動して、HDMI Out端子に接続された機器の電源をオン/オフするかどうかを設定します。
	HDMI Out終端	デジチェーン接続の終端のプロジェクターのみ [オン] に設定します。 [HDMI Out電源連動] が [オフ] に設定されているときは無効です。
信号入出力初期化	—	[信号入出力] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

〔設置〕メニューでは、プロジェクターの設置環境に合わせた設定ができます。

映像調整	テストパターン	
信号入出力	設置モード	フロント・天吊り
設置	方向ボタン反転	オフ ☐
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	リモコン受光部	オフ
動作	スクリーンタイプ	16:9 ☒
管理	高地モード	オフ ☐
ネットワーク	プランキング	
情報	設置初期化	
メモリー		
節電		
初期・全体設定		

設定	選択肢	説明
テストパターン	—	機器を接続せずに映像のピントやズーム、映像のゆがみを調整できるように、テストパターンを表示します。（【戻る】ボタンを押すと、パターン表示を終了します。）
設置モード	フロント リア フロント・天吊り リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
方向ボタン反転	オン オフ	本機を天吊り設置しているときは「オン」にして、操作パネルの上下左右ボタンの動作方向を反転させます。

設定	選択肢	説明
幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正	投写映像の縦方向、横方向のゆがみを補正します。 [タテ台形補正]：投写映像の縦方向のゆがみを補正します。 [タテバランス]：投写映像の縦方向のバランスを補正します。 [ヨコ台形補正]：投写映像の横方向のゆがみを補正します。 [ヨコバランス]：投写映像の横方向のバランスを補正します。
	Quick Corner	投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
	ポイント補正モード	投写画像を格子で区切り、格子の交点を上下左右に移動させることで投写画面のゆがみを補正します。
	曲面補正モード	曲面に投写した映像のゆがみを補正します。
	コーナー補正モード	屈折した面に投写した映像のゆがみを補正します。
	オフ	幾何学歪み補正は一時的に無効になります。

設定	選択肢	説明
	メモリー	設定値をメモリーに登録します。 ・ [メモリー保存]：補正した映像の形状を、メモリーとして登録します。 ・ [メモリー呼出]：メモリーとして登録した映像の形状を呼び出します。 ・ [メモリー名称変更]：保存したメモリーの名称を変更します。 ・ [メモリー削除]：保存したメモリーを削除します。 ・ [メモリー初期化]：保存したメモリーをすべて削除します。
リモコン受光部	フロント・リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。[オフ] にすると、リモコンからの操作ができなくなります。
スクリーンタイプ	4:3 16:6 16:9 16:10 21:9	投写面のアスペクト比を設定し、投写面に合わせたサイズの映像を投写します。 [動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。
スクリーン位置	位置調整	本機を動かさずに映像の投写位置を調整します。 [スクリーンタイプ] がプロジェクターの解像度と同一のアスペクト比に設定されているとき、この機能は使用できません。

設定	選択肢	説明
高地モード	オン オフ	標高約1,500 m以上の場所で本機を使うように動作を制御します。
ブランキング	上 下 左 右	設定した領域の映像を非表示にします。 [動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。
設置初期化	—	[設置] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

[マルチプロジェクション] メニューでは、複数のプロジェクターを並べて、一つの大きな映像を作るための設定ができます。

映像調整	プロジェクターID	オフ
信号入出力	一括設定	
設置	グループタイリング	
マルチプロジェクション	幾何学歪み補正	タテヨコ台形補正
表示	エッジブレンディング	
動作	黒レベル調整	
管理	表示倍率	
ネットワーク	スクリーンマッチング	
情報	ユニフォーミティー	
メモリー	光源モード	ノーマル
節電	カラーマッチング	
初期・全体設定	RGBCMY	
	カメラ補正アシスト	
	マルチプロジェクション初…	

設定	選択肢	説明
プロジェクターID	オフ 1～9	複数のプロジェクターをリモコンから操作するときに使う本機のIDを設定します。
一括設定	—	マルチプロジェクションで投写するために必要な設定を一括で行うことができます。
グループタイリング	グルーピング	マルチプロジェクションで使用する（複数の）プロジェクターをグループ化します。
	タイリング	映像の分割数と、各映像の投写位置を設定します。
幾何学歪み補正	—	[設置] メニューの [幾何学歪み補正] を参照。

設定	選択肢	説明
エッジブレンディング	エッジブレンディング エッジ位置(上) エッジ位置(下) エッジ位置(左) エッジ位置(右) マーカー表示 パターン表示 表示色	映像のつなぎ目を補正します。
黒レベル調整	カラー調整 エリア補正 初期化	映像が重なった部分の黒色を調整します。 [エッジ位置(上)]、[エッジ位置(下)]、[エッジ位置(左)]、[エッジ位置(右)]の [ブレンディング] を [オン] に設定しているときは表示されません。
表示倍率	—	[映像調整] メニューの [表示倍率] を参照。

設定	選択肢	説明
スクリーンマッチング	自動調整開始	複数のプロジェクターの色合いや明るさ、黒レベル、ブレンド曲線を補正します。 - 自動調整機能は次のときに有効です。 「タイリング」メニューで「配置設定」が設定されている - オプションのカメラが装着されている 「管理」メニューで「カラーキャリブレーション」が「オン」に設定されているとき 「光源モード」が「カスタム」のときは「元に戻す」と「やり直し」が行えます。
	元に戻す	
	やり直し	
	スケジュール設定	
ユニフォーミティー	カラーモード	「ユニフォーミティー」で調整したすべての値を初期値に戻します。
	光源明るさ制御	
	カラーマッチング	
	ユニフォーミティー	
ユニフォーミティー	黒レベル調整	「ユニフォーミティー」で調整したすべての値を初期値に戻します。
	初期化	
	調整レベル	
	調整開始	

設定	選択肢	説明
光源モード	ノーマル	光源の明るさを設定します。 「動作」メニューの「明るさ一定運用」が「オン」の時は無効です。 「ノーマル」：明るさを落とさずに選択します。 「静音」：ファンの騒音を軽減したいときに選択します。明るさレベルは約70%になります。 「ロング」の場合：光源の寿命を延ばしたいときに選択します。明るさレベルは約70%になります。 「カスタム」：明るさレベルを設定します。
	静音	
	ロング	
	カスタム	
カラーマッチング	調整レベル	各映像の色合いや明るさの差を補正します。
	赤	
	緑	
	青	
RGBCMY	明るさ	「映像調整」メニューの「RGBCMY」設定を参照。
	調整レベル	
	赤	
	緑	
カメラ補正アシスト	青	2台のプロジェクターから投写した映像をひとつに重ねて、明るい映像を作成します。
	明るさ	
	調整レベル	
	赤	
マルチプロジェクション初期化	緑	複数の投写映像を組み合わせ、つなぎ目が目立たない大画面の映像を投写します。
	青	
	明るさ	
	調整レベル	

〔表示〕メニューでは、プロジェクターの各種表示設定ができます。

映像調整	無信号時画面	青
信号入出力	スタートアップ表示	オン ☐
設置	スタンバイ確認	オン ☐
マルチプロジェクション	ホーム画面自動表示	オン ☐
表示	メッセージ表示	オン ☐
動作	メッセージ表示位置	右上
管理	メニュー回転	オフ
ネットワーク	メニューカラー	白
情報	メニュー表示位置	中央
メモリー	エアフィルター清掃通知	オン ☐
節電	画面分割設定	
初期・全体設定	表示初期化	

設定	選択肢	説明
無信号時画面	黒 青 ロゴ	入力信号がないときに表示する画面の色やロゴを選択します。 〔動作〕メニューの〔コンテンツ再生〕が〔オフ〕のときに表示されます。
スタートアップ表示	オン オフ	〔オン〕にすると、投写開始時にロゴを表示します。
スタンバイ確認	オン オフ	〔オン〕にすると、リモコンの電源ボタンを押したときに、確認画面が表示されます。
ホーム画面自動表示	オン オフ	〔オン〕にすると、本機の起動時に入力信号がない場合に、ホーム画面を自動的に表示します。

設定	選択肢	説明
メッセージ表示	オン オフ	〔オン〕にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面に表示されます。
メッセージ表示位置	右上 右 右下 下 左下 左 左上 上 中央	投写画面でメッセージを表示する位置を選択します。
メニュー回転	右90度 左90度 オフ	メニューの表示方向を90°回転させます。
メニューカラー	黒 白	ホーム画面とメニューのカラーテーマを設定します。
メニュー表示位置	中央 右上 右 右下 下 左下 左 左上 上	投写画面でメニューを表示する位置を選択します。

設定	選択肢	説明
エアフィルター清掃通知	オン オフ	[オン] にすると、エアフィルターの詰まりを感知した場合にメッセージを表示します。
画面分割設定	音声出力ソース表示	[オン] にすると、画面を分割して投写しているときに、音声を出力している映像にアイコンを表示します。 [動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。
	配置	2つの映像を同時に投写するときに、画面の位置を [上揃え] または [中央揃え] のいずれかに設定します。 [動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。
表示初期化	—	[表示] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



[メニュー保護] で [ユーザーロゴ] をオンにすると、ユーザーロゴに関する以下の設定は変更できません。事前に [メニュー保護] の [ユーザーロゴ] をオフに設定します。

- [無信号時画面]
- [スタートアップスクリーン]

▶ 関連項目

- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.99](#)

〔動作〕メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。

映像調整	待機モード	ノーマル
信号入出力	待機時音声出力	オン 
設置	オートパワーオン	オフ 
マルチプロジェクション	高速起動	オフ
表示	HDBaseT設定	
動作	光源明るさ制御	
管理	起動時入力設定	ラストソース
ネットワーク	スリープモード	オン 
情報	スリープモード時間	10分
メモリー	A/Vミュート設定	
節電	動作設定	
初期・全体設定	コンテンツ再生	
	動作初期化	

設定	選択肢	説明
待機モード	節電 有線LAN通信 ノーマル	本機がスタンバイ状態のとき操作の状態を設定します。 ・〔節電〕：ネットワーク通信を無効にして、スタンバイ電力を最小限に抑えます。 ・〔有線LAN通信〕：映像を投写していないときでも有線ネットワーク通信が可能になります。 ・〔ノーマル〕：映像を投写していないときでもネットワーク通信とUSB電源供給が可能になります。 以下の場合に表示されます。 ・〔オートパワーオン〕を〔オフ〕に設定しているとき ・〔高速起動〕を〔オフ〕に設定しているとき
待機時音声出力	オン オフ	映像が投影されていないときに音声を出力するかどうかを設定します。 以下の場合に表示されます。 ・〔待機モード〕を〔標準〕に設定しているとき ・〔オートパワーオン〕を〔オフ〕に設定しているとき ・〔高速起動〕を〔オフ〕に設定しているとき

設定	選択肢	説明
オートパワーオン	オフ HDMI1 HDBaseT	オートパワーオンに使用する入力ソースを設定します。 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。
高速起動	オフ 60分 90分	高速起動モードを維持する時間を設定します。本機の電源を切ると高速起動モードに入ります。高速起動モード中に電源ボタンを押すと、約5秒で投写できます。 以下の場合、通常の起動時間となります。 • USB端子からの映像を投写するとき • Miracastで投写するとき 以下の場合に表示されます。 • [オートパワーオン] を [オフ] に設定しているとき
HDBaseT	制御通信	HDBaseT端子からのEthernet通信とシリアル通信の有効/無効を切り替えます。オンにすると、プロジェクターのLANおよびRS-232C端子が無効になります。[Extron XTP] が [オフ] のときに表示されます。

設定	選択肢	説明
	Extron XTP	Extron社製のXTPトランスミッターまたはスイッチャーを本機のHDBaseT端子に接続して使用するときは [オン] に設定します。XTPシステムについて詳しくはExtron社のWebページを参照してください。 http://www.extron.com/
光源明るさ制御	明るさ一定運用	光源の明るさを一定に保つときは、[オン] に設定します。
	明るさ維持レベル	一定に保つ明るさレベルを設定します。 [明るさ一定運用] が [オン] のとき表示されます。
	光源モード	[マルチプロジェクション] メニューの [光源モード] を参照。 [明るさ一定運用] が [オフ] のとき表示されます。
	明るさレベル	[カスタム] で [光源モード] を選択したときに、明るさを設定します。 [明るさ一定運用] が [オフ] のとき表示されます。
自動入力検出	オン オフ	[オン] にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの信号を検出して映像を投写します。 [高速起動] モードで本機を起動したときは、この機能は無効です。 Setting is only displayed when [Content Playback] is set to [Off] .

設定	選択肢	説明
起動時入力設定	入力ソース	本機をコンテンツ再生モードで起動したときに投写する入力ソースを選択します。
スリープモード	オン オフ	[オン] に設定すると、一定時間映像信号の入力がないとき自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	15秒間～30分	[スリープモード] で電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
A/Vミュート設定	A/Vミュートタイマー	[オン] にすると、[A/Vミュート] 実行後30分操作がない場合、自動的に本機の電源が切れます。
	A/Vミュート解除ボタン	[A/Vミュート] に設定すると、【A/V Mute】 ボタンを押したときのみA/Vミュートを解除します。[すべてのボタン] に設定すると、操作パネルとリモコンのすべてのボタンでA/Vミュートを解除できます。
動作設定	ダイレクトパワーオン	[オン] に設定すると、電源プラグを差し込むだけで本機の電源が入ります。
	インジケータ表示	[オフ] に設定すると、異常時や警告時以外は本機のインジケータを消灯します。
	確認音	本機の電源オン/オフ時に鳴る確認音を設定します。
	ログ保存先	エラーログや操作ログの保存先を設定します。 [コンテンツ再生] が [オフ] のときに表示されます。

設定	選択肢	説明
	一括設定範囲	一括設定機能を使って、すべてのメニュー設定をコピーするときは [すべて] を選択します。以下の設定をコピーしたくないときは [一部] を選択します。 ・ [パスワードプロテクト] 設定 ・ [信号入出力] メニューの [EDID] ・ [ネットワーク] メニュー
コンテンツ再生	オン オフ	[オン] に設定すると、プレイリストを再生できます。
エフェクト	エフェクト 形状フィルター カラーフィルター 明度	映像に色や形の装飾を追加します。以下の場合に表示されます。 ・ [マルチプロジェクション] メニューの [エッジブレンディング] が [オフ] に設定されている ・ コンテンツ再生モードで、プレイリストを再生でき、書き込み不可のエラーがない
USBビューアー	—	USBメモリーに保存されているプレイリストを再生します。
動作初期化	—	[動作] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

- ・ 「待機モードで利用できる機能」 [p.217](#)
- ・ 「明るさを設定する」 [p.92](#)
- ・ 「コンテンツ再生モードで投写する」 [p.107](#)

待機モードで利用できる機能

[待機モード] の設定と、利用できる機能の組み合わせは以下の表のとおりです。

	機能							
	オート パワー オン	高速 起動	音声 出力	USB 給電	無線 LAN	有線 LAN	Miraca st	AirPlay
節電	—	—	—	—	—	—	—	—
有線LAN通信	—	—	—	—	—	✓ *1	✓ *1	✓ *1
ノーマル	✓ *2	✓ *2	✓ *2	✓ *1	✓ *1	✓ *1	✓ *1	✓ *1

*1：この機能が使用可能かどうかは、待機モードの設定によって異なります。

*2：この機能を使用するには、各機能の設定でも有効にする必要があります。

〔管理〕メニューでは、プロジェクターの管理者向け設定ができます。

映像調整	カスタマイズボタン	未設定
信号入出力	ユーザーロゴ	
設置	操作ボタンロック	オフ
マルチプロジェクション	ユニフォーミティー	
表示	リフレッシュモード	
動作	光源キャリブレーション	
管理	カラーキャリブレーション	
ネットワーク	日付&時刻	
情報	スケジュール設定	
メモリー	NFC設定	
節電	言語 	日本語
初期・全体設定	管理初期化	

設定	選択肢	説明
カスタマイズボタン	メニュー項目	リモコンの【カスタマイズ】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。【カスタマイズ】ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
ユーザーロゴ	設定開始 初期化	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。 〔設置〕メニューで〔テストパターン〕が〔キャプチャー映像〕に設定されているときは無効になります。

設定	選択肢	説明
操作ボタンロック	全ロック 電源以外ロック オフ	プロジェクターのボタン操作制限を設定します。 • 〔全ロック〕：すべてのボタンをロックします。 • 〔電源以外ロック〕：電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 • 〔オフ〕：ボタンをロックしません。
ユニフォーミティー	—	〔マルチプロジェクション〕メニューの〔ユニフォーミティー〕を参照。
リフレッシュモード	時間	投写映像に残っている残像（焼き付き）を軽減する映像を投写し続ける時間を設定します。
	メッセージ表示	〔オン〕にすると、リフレッシュモード実行中であることが画面に表示されます。
	開始	リフレッシュモードを実行します。設定した時間が経過すると、本機の電源をオフにします。操作パネルまたはリモコンのボタンを操作すると、リフレッシュモードを中止します。
光源キャリブレーション	今すぐ実行	光源のホワイトバランスをキャリブレーションし、投写映像を本来の色合いに自動的に補正します。使用環境の温度によっては設定できないことがあります。（プロジェクターの電源を入れた直後は映像が安定しません。光源キャリブレーションは、投写開始から30分以上たってから行ってください。）

設定	選択肢	説明
	定期的に実行	[オン] にすると、使用時間100時間ごとに光源キャリブレーションを実行します。
	最終実行日時	光源キャリブレーションを実行した最後の日時を表示します。
カラーキャリブレーション	カラーキャリブレーション	経年劣化による画面全体の色味を補正し、工場出荷時の色味に近づけます。 [オン] に設定すると、色味の変化を検知して自動的に調整します。 カラーキャリブレーションには、オプションの外付けカメラの接続が必要です。
	自動調整開始	自動調整を開始します。
	元に戻す	自動調整開始前の画質に戻します。
	やり直し	[元に戻す] を行った後に選択し、自動調整開始後の状態に戻します。
	ユニフォーミティ	画面全体の色味のバランスを調整します。
	初期化	カラーキャリブレーションで調整したすべての値を初期値に戻します。
日付&時刻	日付&時刻 夏時間設定 インターネット時刻	本機の日付と時刻を設定します。夏時間を有効にするときは、[夏時間設定] を選択します。[インターネット時刻] をオンにすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。
スケジュール設定	—	プロジェクターにイベントスケジュールを登録して、設定した日時に選択したイベントを自動的に実行します。

設定	選択肢	説明
NFC設定	NFC書き込み保護 NFC書き込みパスワード	NFCタグ経由での本機の設定変更に関する設定をします。 [NFC書き込み保護]：NFCタグ経由での本機の設定変更を不可能にします。 [NFC書き込みパスワード]：NFCタグ経由での設定変更を行うときに、認証に使用するパスワードを半角英数字32文字以内で設定します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。
管理初期化	—	[管理] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 [言語]



[メニュー保護] で [スケジュール] を [オン] にすると、[スケジュール設定] は変更できません。事前に [メニュー保護] の [スケジュール] を [オフ] に設定します。

▶ 関連項目

- 「Event ID一覧」 [p.219](#)

Event ID一覧

[情報表示] メニューの [Event ID] に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0523	Miracast接続時に、WPSでの接続がタイムアウトしました。プロジェクターとモバイルデバイスを近づけて再度接続してください。
0524	Miracast接続時に、プロジェクターとモバイルデバイス間のWPS処理で不明なエラーが発生しました。[ネットワーク設定] メニューの [ネットワーク投写] で [Miracast] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0525	Miracast接続時に、プロジェクターとモバイルデバイス間のセキュリティ設定が一致していません。[ネットワーク設定] メニューの [ネットワーク投写] で [Miracast] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してからプロジェクターを再起動してください。

Event ID	原因と対処法
0526	Miracast接続時に、WPA2のハンドシェイクが正しく行われませんでした。[ネットワーク設定] メニューの [ネットワーク投写] で [Miracast] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0527	Miracast接続時に、WPA2の4ウェイハンドシェイクが失敗し、接続が確立できませんでした。[ネットワーク設定] メニューの [ネットワーク投写] で [Miracast] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0528	Miracast接続後のIPアドレスの取得に失敗したか、プロジェクターが正しくIPアドレスを提供できませんでした。[ネットワーク設定] メニューの [ネットワーク投写] で [Miracast] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定してからプロジェクターを再起動してください。
0529	Miracastの制御通信 (RTSPメッセージのやり取り) に失敗しました。Miracast接続を一度解除し、再度接続してください。
0530	Miracast接続時に、映像または音声のストリーミングが正常にできませんでした。プロジェクターとモバイルデバイスを近づけて再度接続してください。
0532	Miracast接続するモバイルデバイスとプロジェクターの間で、H.264/H.265の違いや、サポートされていないフォーマットを使用しているなど、ビデオまたはオーディオコーデックの互換性がありません。モバイルデバイス側の解像度やコーデック設定などがMiracast仕様に対応しているか確認してください。
0535	Miracastのセッションが異常終了しました。プロジェクターとモバイルデバイス両方を再起動し、再度接続してください。
0536	Miracast接続時に、アプリのクラッシュなど、異常な通信の切断がありました。プロジェクターを再起動し再度Miracast接続してください。
0542	Miracast接続時に、不明なP2P接続異常がありました。プロジェクターとモバイルデバイス両方を再起動し、再度接続してください。

Event ID	原因と対処法
0543	Miracast接続時のビデオフォーマット異常です。解像度やフレームレート非対応により、プロジェクターへの投写ができません。モバイルデバイスがMiracastの仕様に対応しているか確認してください。
0544	Miracast接続を試みたモバイルデバイスがブロックリストに登録されていて接続が拒否されています。ブロックリストを削除して再度接続してください。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。プロジェクター、コンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2/WPA3の認証方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0893	TKIP/AES暗号化方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
0895	接続中の機器から通信が切断されました。お使いのデバイスの接続を確認してください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。DHCPサーバーが正しく動作していることを確認します。DHCPを使用しないときは、本機の[ネットワーク]メニューにある[DHCP]設定を[オフ]にします。 ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [有線LAN] > [IP設定] > [DHCP] ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [IP設定] > [DHCP]
0899	その他、接続に関するエラー
089A	EAP認証方式がネットワークと一致しません。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。

Event ID	原因と対処法
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089D	鍵交換が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。

〔ネットワーク〕メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。



〔メニュー保護〕で〔ネットワーク〕を〔オン〕にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に〔メニュー保護〕の〔ネットワーク〕を〔オフ〕に設定します。

設定	選択肢	説明
無線LAN情報	無線LAN情報	無線LANのステータス、詳細情報を表示します。
有線LAN情報	有線LAN情報	有線LANのステータス、詳細情報を表示します。
ネットワーク設定	—	ネットワーク設定を構成します。詳しくは、〔ネットワーク設定〕メニューをご覧ください。 入力ソースがAirPlayのときは選択できません。

設定	選択肢	説明
EPMC監視制御	EPMC設定 EPMC設定書き出し EPMC設定読み込み	〔オン〕に設定して必要な設定を行うと、Epson Projector Connected Agentを介さずに、Epson Projector Management Connected クラウドサーバーと直接通信できるようになります。詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』をご覧ください。 https://www.projection-service.epson.com/pages/epm-connected/online-manual/web-front/EN/index.html
ファームウェア更新設定	通知する 通知しない 深夜に自動更新 オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) プロジェクターのファームウェア更新情報を通知するかどうか、およびファームウェアを自動的に更新するかどうかを設定します。 Epson Projector Management Connectedを使用する場合は、〔オフ〕に設定することをお勧めします。
無線LAN電源	オン オフ	無線LAN経由で映像を投写するには〔オン〕を選択します。無線LANで接続しないときは、第三者の不正アクセスを防ぐために〔オフ〕に設定してください。
無線LAN診断	Ping IPアドレス 中断されるまで実行 開始	(この設定は機種により異なる場合があります。) Pingを送信して、通信状況を確認します。

設定	選択肢	説明
AirPlayとHomeKit	—	AirPlayとHomeKitの設定画面を表示します。 入力ソースがAirPlayのときは選択できません。
リモートカメラアクセス	リモートカメラアクセス	オプションの外付けカメラで撮影した画像をEpson Web Controlで表示できます。
ネットワーク初期化	—	[ネットワーク] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。 入力ソースがAirPlayのときは選択できません。 注意 初期化を実行すると [ネットワーク] メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[メニュー保護] で [ネットワーク] を [オン] に設定してください。

設定	選択肢	説明
システム全初期化	—	プロジェクターのネットワークファームウェアを初期化する。 入力ソースがAirPlayのときは選択できません。 注意 初期化を実行すると [ネットワーク] メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[メニュー保護] で [ネットワーク] を [オン] に設定してください。



コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から行えます。

▶ 関連項目

- 「ネットワーク設定メニュー」 [p.223](#)
- 「機能一覧表」 [p.12](#)
- 「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.177](#)

ネットワーク設定メニュー

[ネットワーク設定] メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。



- 無線LANを使用するときは、以下を確認してください。
 - 無線LANユニットが内蔵されていることを確認するか、無線LANユニットを本機に取り付けます。
 - 〔ネットワーク〕メニューで〔無線LAN電源〕をオンにしてください。
 - 〔Web制御パスワード〕が設定されていないときは、ネットワークの設定を保存する際にパスワードの設定を求められます。画面の指示に従ってパスワードを設定してください。

設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 (<code>" * + , / : ; < = > ? [\] `</code> スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
Web制御パスワード	8文字以上32文字以内の半角英数字 (<code>*</code> : スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONWEB です。デフォルトのパスワードは設定されていません。)
優先制御インターフェイス	有線LAN 無線LAN	優先ゲートウェイを設定できます。
プロキシ	IPアドレス ポート番号	(この設定は機種により異なる場合があります。) プロキシの〔IPアドレス〕と〔ポート番号〕を入力します。

設定	選択肢	説明
IPv6	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、〔オン〕にします。 Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
シンプルAP	オン オフ	プロジェクターを簡易アクセスポイントにして機器と接続するときは、〔オン〕に設定します。シンプルAPを使うと、以下の接続が利用できます。 - Epson iProjectionの〔かんたんモード〕で接続する - Miracastを使用する 〔ネットワーク〕メニューの〔無線LAN電源〕が〔オン〕のとき表示されます。
SSID	自動生成SSID	シンプルAP接続で使用するプロジェクターのSSIDを表示します。 〔シンプルAP〕が〔オフ〕のときは設定できません。
セキュリティ	WPA2-PSK	シンプルAPでの通信に使うセキュリティを表示します。 〔シンプルAP〕が〔オフ〕のときは設定できません。
パスフレーズ	8～63文字のパスフレーズ	シンプルAP接続で使用するプロジェクターのパスフレーズを入力します。 〔シンプルAP〕が〔オフ〕のときは設定できません。

設定	選択肢	説明
無線LAN方式	802.11ax (Wi-Fi 6) 802.11ac (Wi-Fi 5) 802.11n (Wi-Fi 4)	本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。 お住まいの国や地域、お使いの機種により、選択できる方式は異なります。 [シンプルAP] が [オフ] のときは設定できません。
チャンネル設定	チャンネル選択	シンプルAP接続で使用する無線チャンネルを選択します。 [シンプルAP] が [オフ] のときは設定できません。
無線LAN	—	[無線LAN] メニューを参照。
有線LAN	—	[有線LAN] メニューを参照。
メール通知	—	[メール通知] メニューを参照。
プロジェクター制御	—	[プロジェクター制御] メニューを参照。
ネットワーク投写	—	[ネットワーク投写] メニューを参照。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定 - 無線LANメニュー」 [p.225](#)
- ・「ネットワーク設定 - 有線LANメニュー」 [p.227](#)
- ・「ネットワーク設定 - メール通知メニュー」 [p.228](#)
- ・「ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー」 [p.229](#)
- ・「ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー」 [p.231](#)

ネットワーク設定 - 無線LANメニュー

[無線LAN] メニューでは、無線LANの設定ができます。



- ・ [ネットワーク] メニューで [無線LAN電源] をオンにします。
- ・ 本機に無線LANユニットを取り付けないときは、事前に [シンプルAP] をオフに設定してください。
- ・ 本機にオプションの無線LANユニットを取り付けるときは、[シンプルAP] をオンに設定してください。

無線LANに接続するときは、セキュリティーを設定することを強くお勧めします。セキュリティーの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。

WPAは、無線ネットワークのセキュリティー強度を向上するための暗号化規格です。本機はAESの暗号化方式に対応しています。



WPA2/WPA3-EAPおよびWPA3-EAPはWPA3 192-bitには対応していません。

設定	選択肢	説明
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID（ネットワーク名）を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します。
セキュリティー	WPA2/WPA3-PSK	WPA2およびWPA3パーソナルモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。

設定	選択肢	説明
	WPA2/WPA3-EAP	WPA2およびWPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
	WPA3-PSK	WPA3/パーソナルモードで接続します。WPA3によるセキュリティーを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
	WPA3-EAP	WPA3エンタープライズモードで接続します。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。
	なし	セキュリティーを設定しません。
パスフレーズ (WPA2/WPA3-PSK またはWPA3-PSK 選択時)	8～63文字のパス フレーズ	ネットワークに接続するためのパスフレーズを入力します。 パスフレーズを入力し、【決定】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク (*) で表示されます。 セキュリティー強化のため、パスフレーズは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスフレーズは初期値に戻ります。
EAP種類 (WPA2/WPA3-EAP またはWPA3-EAP 選択時)	PEAP	Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。

設定	選択肢	説明
	EAP-TLS	一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。
ユーザー名	64文字以内の半 角英数字	ユーザー名を入力します。ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックスラッシュで区切ってドメイン名を追加します (ドメイン名\ユーザー名)。 クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
パスワード	64文字以内の半 角英数字	認証に使用するパスワードを入力します。パスワードを入力し、[設定]を選択すると、パスワードはアスタリスク (*) で表示されます。 [EAP種類] が [PEAP] のときに表示されます。
クライアント証明書	—	クライアント証明書をインポートします。 [EAP種類] が [EAP-TLS] のときに表示されます。
CA証明書	—	CA証明書をインポートします。
認証サーバー名	64文字以内の半 角英数字	認証サーバー名を入力します。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] を使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、 192.168.48.x、192.168.88.x、224.0.0.0～ 255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません (xは0～255の数字)。 255.255.255.255、127.x.x.x、 192.0.2.x、0.0.0.0～254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスはゲートウェイアドレスに使用できません。
DNSサーバー1 DNSサーバー2	IPアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。DNSサーバーは、ホスト名とIPアドレスの対応関係を管理するコンピューターです。以下のIPアドレスは使用できません。127.x.x.x (xは0～255の数字) この設定をしないで0.0.0.0のままにしておくと、DNSサーバーの情報はDHCPから取得されます。DHCPサーバーからの情報取得後も、数値は0.0.0.0のままです。

設定	選択肢	説明
IPv6	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。 Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
自動構成	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) [オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
一時アドレスの使用	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) [オン] に設定すると、一時IPv6アドレスを使用します。
IPアドレス表示	オン オフ	ネットワーク情報画面やホーム画面にIPアドレスを表示するときは、[オン] にします。

▶ 関連項目

- 「機能一覧表」 [p.12](#)

ネットワーク設定 - 有線LANメニュー

[有線LAN] メニューでは、有線LANの設定ができます。

設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	[DHCP] を使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、 192.168.48.x、192.168.88.x、224.0.0.0～ 255.255.255.255のアドレスは [IP アドレス] に使用できません (xは0～255の数字)。255.255.255.255、127.x.x.x、 192.0.2.x、0.0.0.0～254.255.255.255のアドレスは [サブネットマスク] に使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、 224.0.0.0～255.255.255.255のアドレスは [ゲートウェイアドレス] に使用できません。
DNSサーバー1 DNSサーバー2	IPアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。DNSサーバーは、ホスト名とIPアドレスの対応関係を管理するコンピューターです。以下のIPアドレスは使用できません。127.x.x.x (xは0～255の数字) この設定をしないで0.0.0.0のままにしておくと、DNSサーバーの情報はDHCPから取得されます。DHCPサーバーからの情報取得後も、数値は0.0.0.0のままです。

設定	選択肢	説明
IPv6	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) IPv6を使用してプロジェクターをネットワークに接続するときは、[オン] にします。 Epson Web ControlおよびPJLinkを使ったネットワーク経由の監視・制御はIPv6に対応しています。
自動構成	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) [オン] の場合、ルーター広告に従い、アドレスを自動で取得します。
一時アドレスの使用	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合があります。) [オン] に設定すると、一時IPv6アドレスを使用します。
IPアドレス表示	オン オフ	ネットワーク情報画面やホーム画面にIPアドレスを表示するときは、[オン] にします。

▶ 関連項目

- 「機能一覧表」 [p.12](#)

ネットワーク設定 - メール通知メニュー

[メール通知] メニューでは、本機が異常/警告状態になったとき、異常状態を電子メールで通知するための設定ができます。

設定	選択肢	説明
メール通知	オン オフ	[オン] に設定すると、本機が異常/警告状態になったとき、設定した宛先に異常状態を通知するメールを送信します。
SMTPサーバー	64文字以内の半角英数字 (" * , ; < = > ? [\] ` スペースは使用不可) ; < = > ? [ \ ] ` スペースは使用不可)	SMTPサーバーのIPアドレスまたはFQDN (Fully Qualified Domain Name) を入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字) FQDNを指定するときは、DNSサーバーの設定が必要です。
認証タイプ	Open Auth SSL TLS	SMTPサーバーの認証方式を設定します。
ポート番号	1～65535 (デフォルトは25)	SMTPサーバーのポート番号を入力します。
ユーザー名	64文字以内の半角英数字	SMTPサーバーのユーザー名を入力します。
パスワード	64文字以内の半角英数字	SMTP認証に使うパスワードを入力します。
送信元アドレス	64文字以内の半角英数字 (" () , ; < > [\] スペースは使用不可)	送信者のメールアドレスを入力します。個人情報を含まないメールアドレスを指定してください。
宛先1設定 宛先2設定 宛先3設定		メールアドレスとメール通知する本機の異常/警告を選択します。個人情報を含まないメールアドレスを指定してください。

ネットワーク設定 - プロジェクター制御メニュー

[プロジェクター制御] メニューでは、本機をネットワーク経由で設定・制御をするための設定ができます。

設定	選択肢	説明
コマンド通信	プロテクト 互換	コマンド通信を行う際の認証方法を選択します。 [Web制御パスワード] を使ってダイジェスト認証を行うときは、[プロテクト] に設定します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。 [Monitorパスワード] を使って平文認証を行うときは[互換] に設定します。 Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーを組み合わせる場合は、[互換] を選択してください。
Monitorパスワード	半角英数字で最大16文字まで (@以外の記号またはスペースは使用不可)	Ver.5.30またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用したり、スイッチャーやコントローラーを組み合わせる場合は、パスワードを入力してください。[Monitorパスワード] はスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。
Web API設定	Web API	Web APIでプロジェクターを制御するときは [オン] を選択します。

設定	選択肢	説明
	認証タイプ	Web API通信を行う際の認証方法を選択します。 [Open]：セキュリティーを設定しません。 [Digest]：API認証（ダイジェスト認証）を使用します。 詳しくは『プロジェクター用Web API仕様書』をご覧ください。
ベーシックコントロール	オン オフ	[Epson Web Control] の [ベーシックコントロール] で本機の制御をするときは、[オン] に設定します。 [動作] メニューの [コンテンツ再生] が [オフ] のとき表示されます。
Remote/パスワード	8文字以上32文字以内の半角英数字 (*: スペースは使用不可)	[Epson Web Control] の [ベーシックコントロール] にアクセスするための認証用パスワードを設定します。（ユーザー名は EPSONREMOTE です。デフォルトのパスワードは設定されていません。）
PJLink	オン オフ	PJLink通知機能を使うときは、[オン] に設定します。
PJLink/パスワード	32文字以内の半角英数字 (記号とスペースは使用不可)	PJLink対応アプリケーションを使って本機を制御するときの認証用パスワードを設定します。

設定	選択肢	説明
通知先IPアドレス	IPアドレス	PJLink通知機能が有効なとき、プロジェクターのステータスを通知するコンピューターのIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 127.x.x.x、224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
SNMP	SNMPv1/v2c	[オン] に設定すると、SNMPv1/v2cコマンドを使用して本機を制御できます。本機を監視するには、コンピューターにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。
	トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
	コミュニティ名	SNMPコミュニティ名を入力します。半角英数字で最大32文字まで使用できます。（記号とスペースは使用不可）
	SNMPv3	[オン] に設定すると、SNMPv3コマンドを使用して本機を制御できます。本機を監視するには、コンピューターにSNMPマネージャープログラムがインストールされている必要があります。SNMPによる管理は、必ずネットワーク管理者が行ってください。

設定	選択肢	説明
	ユーザー名	SNMPユーザー名を入力します。半角英数字で32文字まで使用できます。
	トラップIPアドレス1 トラップIPアドレス2	トラップIPアドレスに、SNMP通知を受信するIPアドレスを入力します。0～255の数字を入力します。 以下のアドレスは使用できません。 224.0.0.0～255.255.255.255 (xは0～255の数字)
	認証タイプ	SNMPv3の認証タイプを選択します。
	認証パスワード	SNMPv3認証に使用します。 機能を安全に使用するために、必ず設定してください。 半角英数字で32文字まで使用できます。
	暗号化タイプ	SNMPv3の暗号タイプを選択します。
	暗号化パスワード	SNMPv3暗号に使用します。 機能を安全に使用するために、必ず設定してください。 半角英数字で32文字まで使用できます。
AMX Device Discovery	オン オフ	[オン] に設定すると、AMX Device Discoveryを使用して本機の検出ができます。
Crestron Connected	オン オフ	[Crestron Connected] を使用してプロジェクターの監視と制御を行うときのみ [オン] に設定します。 [Crestron Connected] を有効にすると、Epson Projector Managementのメッセージ配信機能が無効になります。

設定	選択肢	説明
Crestron XiO Cloud	オン オフ	[オン] にすると、Crestron XiO Cloudを使用してプロジェクターとその他のさまざまな機種の監視と制御ができます。
Control4 SDDP	オン オフ	[オン] にすると、Control4 SDDP (Simple Device Discovery Protocol) を使って本機の情報を送信します。
セキュアHTTP	オン オフ	Web制御でのプロジェクターとコンピュータの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をWeb制御で行う場合は、[オン] に設定することをお勧めします。
Webサーバー証明書	—	セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書をインポートします。

ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー

[ネットワーク投写] メニューでは、ネットワーク経由で映像を投写するための設定ができます。

設定	選択肢	説明
プロジェクターキーワード	オン オフ	[オン] にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。コンピュータやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEpson iProjectionで入力する必要があります。

設定	選択肢	説明
Epson iProjection	オン オフ	Epson iProjectionを使用するときは、 [オン] に設定します。
SSID表示	オン オフ	ネットワーク情報画面やホーム画面 にSSIDを表示するときは、[オン] に します。
LAN情報設定	テキストとQRコ ード テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式 を設定します。 QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけ で本機とモバイルデバイスをネット ワーク接続できます。
モデレーターパス ワード	4桁の数字	Epson iProjectionを使って、モデレータ ーとして本機に接続するときの認証 用パスワードを入力します。(デフォ ルトのパスワードは設定されていま せん。)
キーワード割り込 み表示	オン オフ	[オン] にすると、Epson iProjectionで プロジェクターに接続したときに、投 写画面にプロジェクターキーワード を表示します。 [プロジェクターキーワード] が [オ ン] のときに設定できます。
Miracast	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合が あります。) Miracast機能を使用するときは、[オ ン] に設定します。
アクセス制御	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合が あります。) [オン] に設定すると、投写を許可す るかどうかの確認画面がMiracastで接 続するたびに表示されます。

設定	選択肢	説明
セカンダリ接続	割り込み接続許可 オフ	(この設定は機種により異なる場合が あります。) Miracast接続中に接続を試みるデバイ スの接続動作を選択します。
パフォーマンス調 整	1 (きれい) 2 3 4 (速い)	(この設定は機種により異なる場合が あります。) Miracastの映像表示速度および品質を 調整します。 1：表示品質が向上します。 4：表示速度が向上します。
Miracast情報表示	オン オフ	(この設定は機種により異なる場合が あります。) [オン] にすると、Miracastソースを投 写しているときに、機器の接続に必要 な情報を表示します。
メッセージ配信	オン オフ	[オン] に設定すると、Epson Projector Managementで配信したメッセージが 受信できます。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』を ご確認ください。 [プロジェクター制御] メニューの [Crestron Connected] が [オフ] のと き表示されます。
画面共有	オン オフ	複数のプロジェクターで投写映像を 共有するときは、[オン] に設定しま す。
接続モード	キーワードあり キーワードなし	[キーワードなし] に設定すると、他 のプロジェクターへ接続するときに キーワードの入力を省略できます。

[情報] メニューでは、本機の情報やバージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



項目	説明
情報表示	プロジェクターや映像信号の情報を確認します。 現在表示している入力ソースによって表示する項目が異なります。
ステータス表示	プロジェクターのステータス情報を表示します。
温度警告情報	高温警告を表示します。
電源オンオフ履歴	電源オン/オフの履歴を表示します。

[メモリー] メニューでは、映像調整の調整値を保存、呼び出し、管理ができます。



設定	選択肢	説明
画質メモリー	—	映像調整の設定値を保存したり、メモリー名称を変更したりします。
幾何学歪み補正メモリー	—	幾何学歪み補正の設定値を保存したり、メモリー名称を変更したりします。
メモリー初期化	—	メモリーの設定を初期値に戻します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターの設定をメモリーに保存する」 [p.120](#)

〔節電〕メニューでは、本機の消費電力を抑えるための設定ができます。



設定	選択肢	説明
スリープモード時間	—	〔動作〕メニューの〔スリープモード時間〕を参照。
A/Vミュートタイマー	—	〔動作〕メニューの〔A/Vミュートタイマー〕を参照。
待機モード	—	〔動作〕メニューの〔待機モード〕を参照。
節電初期化	—	〔節電〕メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。

▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「動作メニュー」 [p.214](#)

設定	選択肢	説明
一括設定	—	以下の設定を一度に実行して電力を節約します。 • 光源モード • ダイナミックコントラスト • スリープモード • スリープモード時間 • A/Vミュートタイマー
光源モード	—	〔動作〕メニューの〔光源モード〕を参照。
ダイナミックコントラスト	—	〔映像調整〕メニューの〔ダイナミックコントラスト〕を参照。
スリープモード	—	〔動作〕メニューの〔スリープモード〕を参照。

〔初期・全体設定〕メニューでは、本機の設定を初期化できます。また、プロジェクターのファームウェアを更新できます。



設定	選択肢	説明
全初期化	—	すべての設定を初期値に戻します。
全初期化(工場出荷状態)	—	本機のすべての設定を初期化します。誤って初期化を実行しないよう、パスワードを設定してください。
使用許諾契約	—	(この設定は機種により異なる場合があります。) 使用許諾契約を表示します。
プライバシーステートメント	—	(この設定は機種により異なる場合があります。) プライバシーステートメントを表示します。

設定	選択肢	説明
利用状況調査	—	(この設定は機種により異なる場合があります。) プロジェクターの動作ログ情報をエプソンに送信するかどうかを選択します
ファームウェア更新	USB経由で実行 ネットワーク経由で実行	(お使いの機種によって選択肢は異なります。) ファームウェア更新モードになり、USB-AまたはService端子を使ってファームウェアのアップデートができます。 〔USB経由で実行〕：あらかじめダウンロードしたファームウェアファイルを使ってUSB経由で更新します。 〔ネットワーク経由で実行〕：ネットワーク経由で更新します。
一括設定書き出し	はい いいえ	本機で設定したメニューの内容を、USBメモリーやコンピューターに書き出します。書き出したメニュー設定は、同じ型番のプロジェクターにコピーできます。
一括設定読み込み	はい いいえ	USBメモリーやコンピューターに保存されたメニュー設定を読み込みます。

全初期化項目

〔全初期化〕を選択すると、次の画面が表示されます。

特定のメニューを初期化しないときは、メニューのチェックボックスを外します。[実行]を選択すると、初期化します。

以下の設定は、初期値に戻りません。

- [言語]

注意

[全初期化]を実行すると、[ネットワーク]メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[メニュー保護]で[ネットワーク]を[オン]に設定してください。



[ネットワーク]メニューでは、[メニュー保護]が有効なとき、[全初期化]を実行しても設定が初期化されません。

全初期化(工場出荷状態)項目

以下の設定は、[全初期化(工場出荷状態)]を実行しても初期値に戻りません。

- 日付&時刻

- 光源使用時間
- パスワード
- パスワードプロテクト設定
- スケジュール設定*

* [パスワードプロテクト]設定画面で[スケジュール保護]を[オフ]に設定しているときは初期化されます。

注意

[全初期化(工場出荷状態)]を実行すると、[ネットワーク]メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[メニュー保護]で[ネットワーク]を[オン]に設定してください。

関連項目

- 「ファームウェアを更新する」 [p.250](#)

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- USBメモリーを使って設定する
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する
- Epson Projector Managementを使って設定する

〔光源使用時間〕や〔ステータス〕などのプロジェクター固有の情報はコピーできません。



- 台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。
- 一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。
- 以下の設定をコピーしたくないときは、〔一括設定範囲〕を〔一部〕に設定してください。
 - 〔パスワードプロテクト〕設定
 - 〔信号入出力〕メニューの〔EDID〕
 - 〔ネットワーク〕メニュー
 - ☛ 〔動作〕 > 〔動作設定〕 > 〔一括設定範囲〕

⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、有償修理となることがあります。

▶ 関連項目

- 「USBメモリーを使って一括設定する」 [p.238](#)
- 「コンピューターを使って一括設定する」 [p.239](#)

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



- FAT16/32形式でフォーマットされ、セキュリティー機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定を正しく保存できないことがあります。
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 2** 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4** インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。インジケーターが点滅に変わると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

5 USBメモリーを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

8 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

9 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。

インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

10 USBメモリーを取り外します。

コンピューターを使って一括設定する

コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



- USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。
 - Windows 10以降
 - macOS 10.12.x以降
- 本機のメニューからもメニューの一括設定ができます。

1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

2 コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのService端子を、USBケーブルで接続します。

3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

4 インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 5** リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識されないことがあります。

- 6** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 7** USBケーブルを取り外します。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。

- 8** コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

- 9** USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのService端子に接続します。

- 10** リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。

- 11** インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。

- 12** コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。



一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。

- 13** コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（Mac）をします。

- 14** USBケーブルを取り外します。
インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

▶ 関連項目

- 「一括設定でエラーが発生したときは」 [p.240](#)

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケーターでお知らせします。インジケーターの状態をご確認ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
- レーザー：橙 速点滅 - 温度：橙 速点滅	一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。
- 電源：青 速点滅 - ステータス：青 速点滅 - レーザー：橙 速点滅 - 温度：橙 速点滅	一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのメンテナンス方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「プロジェクターのメンテナンス」 [p.243](#)
- 「レンズを清掃する」 [p.244](#)
- 「本機を清掃する」 [p.245](#)
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.246](#)
- 「ファームウェアを更新する」 [p.250](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、エアフィルターとリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、清潔で乾いた市販のメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。
- ホコリやゴミが多いときは、ブロアーで取り除いてからレンズを拭いてください。

警告

- レンズを掃除するときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。
- レンズに付着したゴミ・ホコリの除去にエアダスターなどの可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機の内部は高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

- 光源消灯後すぐにレンズを拭かないでください。レンズが傷つく原因になります。
- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- ホコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてってください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は20,000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除してください。（大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2 mg/m3の環境下での使用を想定しています。）

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったときにメッセージが表示されます。内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

▶ 関連項目

- 「エアフィルターと吸気口を清掃する」 p.246
- 「エアフィルターを交換する」 p.248

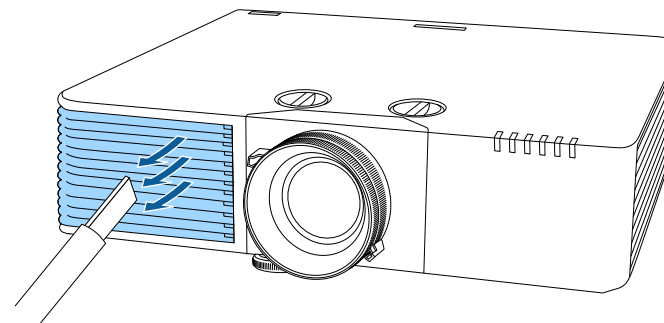
エアフィルターと吸気口を清掃する

以下の場合は、エアフィルターを清掃してください。

- エアフィルターや吸気口が汚れたとき
- 清掃を促すメッセージが表示されたとき
- フィルターインジケーターがオレンジ色に点滅したとき

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 掃除機、またはブラシで丁寧にホコリを取ります。

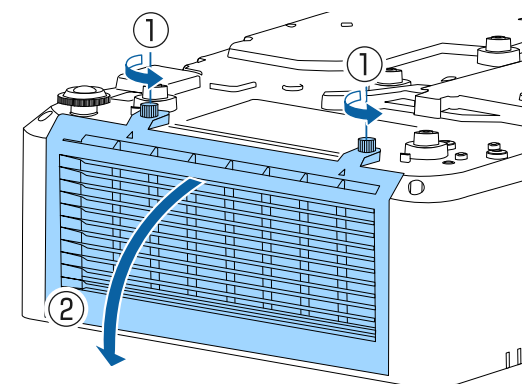


3 底面を上にしてします。

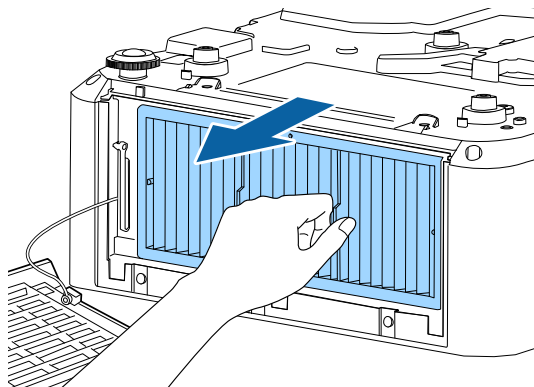
注意

プロジェクターを逆さにして置くときは、レンズを傷つけないように、布などの緩衝材を下に敷いてください。（EB-L795SE/EB-L690SE/EB-L695SE/EB-L790SU）

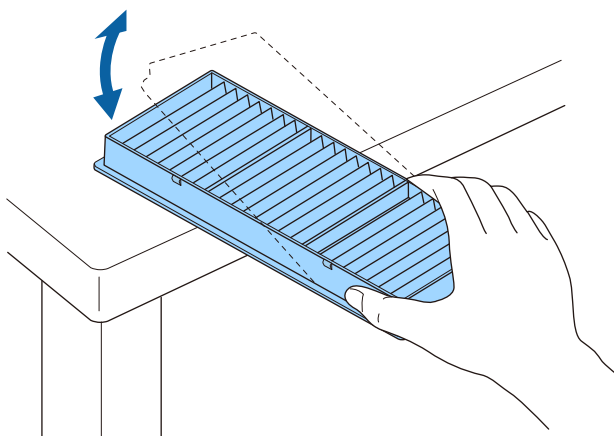
4 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。



- 5** エアフィルターを取り外します。



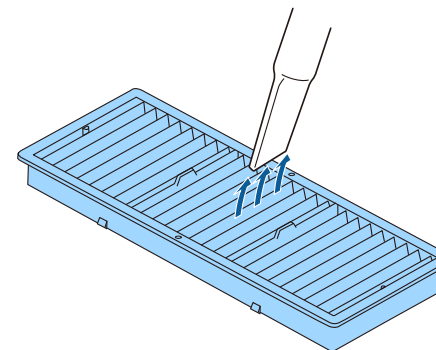
- 6** エアフィルターの両端を4～5回軽く叩いて、ホコリを落とします。



注意

強く叩きすぎると、エアフィルターが割れて正しく装着できなくなることがあります。

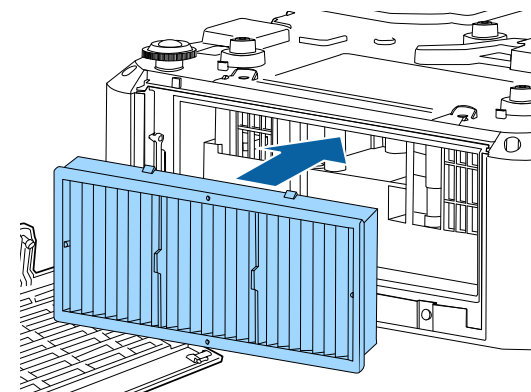
- 7** 掃除機でエアフィルターに残ったホコリを表側（ツメのある面）から吸い取ります。



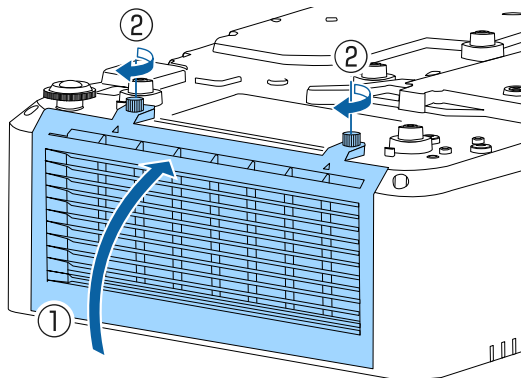
注意

- エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。
- エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

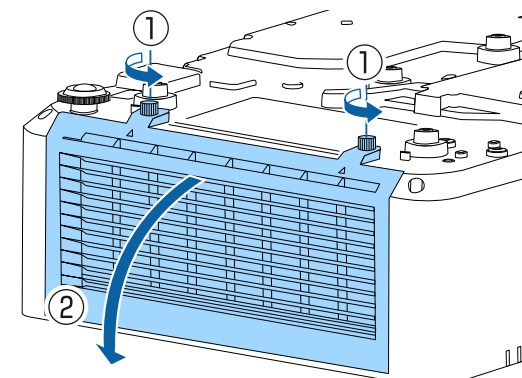
- 8** エアフィルターを取り付けます。



- 9** エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



- 3** 固定ネジをゆるめて、エアフィルターカバーを開けます。



エアフィルターを交換する

以下の場合、エアフィルターを交換してください。

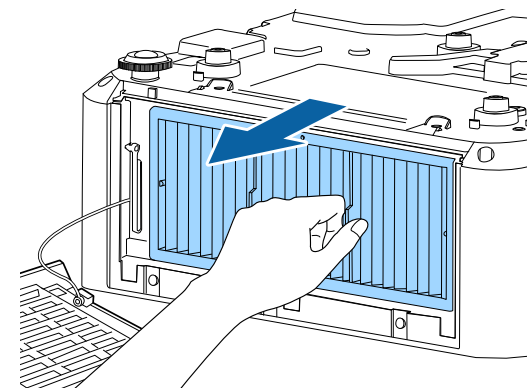
- エアフィルターの清掃後に、清掃または交換を促すメッセージが表示される
- エアフィルターの清掃後に、フィルターインジケーターがオレンジ色に点滅する
- エアフィルターが破損している

本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

- 2** 底面を上にします。

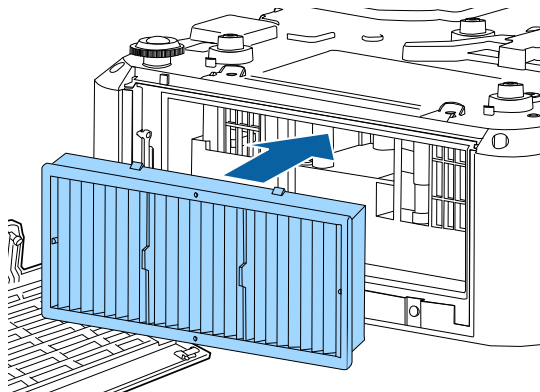
- 4** エアフィルターを取り外します。



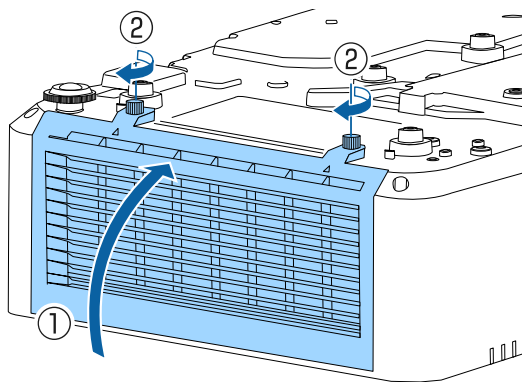
使用済みのエアフィルターは、国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

- フィルターの枠：ポリプロピレン
- フィルター：ポリプロピレン、PET

5 新しいエアフィルターを取り付けます。



6 エアフィルターカバーを閉めて、固定ネジを締めます。



▶ 関連項目

- 「消耗品」 [p.279](#)

〔初期・全体設定〕メニューの〔ファームウェア更新〕を選択すると、プロジェクターがファームウェア更新モードになります。USB-A、またはService端子を使用してファームウェアを更新します。

Epson Projector Management ConnectedまたはEpson Projector Managementでもファームウェアを更新できます。詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』または『Epson Projector Management操作ガイド』をご覧ください。



- ネットワーク経由でのファームウェアの更新の実行中は、プロジェクターのメニューからファームウェアの更新を実行することはできません。（EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U）
- ファームウェアの更新方法はお使いの機種によって異なります。詳細は、「機能一覧」をご覧ください。

▶ 関連項目

- 「USBストレージを使ってファームウェアを更新する」 [p.250](#)
- 「ネットワーク経由でファームウェアを更新する」 [p.252](#)
- 「機能一覧表」 [p.12](#)

USBストレージを使ってファームウェアを更新する

USBストレージを使って、プロジェクターのファームウェアを更新します。



ファームウェアの更新は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因でファームウェアの更新に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

- 1 エプソンのホームページからお使いのプロジェクター用のファームウェアファイルをダウンロードします。

- 2 ダウンロードしたファームウェアファイルを、USBストレージのルート（最上位のフォルダー）にコピーします。



- USBストレージはFAT形式でフォーマットしたものを使用してください。
- USBストレージ内に、ファームウェアファイル以外のファイルをコピーしないでください。
- ファームウェアファイルのファイル名は変更しないでください。ファイル名を変更すると、ファームウェアの更新が開始されません。
- ダウンロードしたファームウェアファイルが、お使いのプロジェクター用のファイルであることを確認してください。ファームウェアファイルが正しくないときは、ファームウェアの更新は始まりません。

- 3 本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。



USBストレージは、プロジェクターに直接接続してください。USBハブを介してUSBストレージを接続すると、ファームウェアの更新が正常に行われないことがあります。

- 4** 【メニュー】ボタンを押し、[初期・全体設定] を選択して、【決定】ボタンを押します。



- 5** [ファームウェア更新] を選択し、【決定】ボタンを押します。



ネットワークファームウェアの更新中は、[ファームウェア更新] を選択しないでください。ネットワークファームウェアの更新が完了してからプロジェクトを更新します。

- 6** [USB経由で実行] を選択し、【決定】ボタンを押します。



あらかじめ、[管理メニュー] の [ログ保存先] を [内部メモリー] に設定しておいてください。

☞ [動作] > [動作設定] > [ログ保存先]

- 7** [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。
ファームウェア更新画面が表示されます。

- 8** List updateを選択し、【決定】ボタンを押します。

- 9** リストに表示されたファイルを選択して【決定】ボタンを押します。

- 10** Transferを選択し、【決定】ボタンを押してファームウェアの更新を始めます。



- ファームウェアの更新中は、プロジェクトから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクトが正常に起動しないことがあります。
- ファームウェアの更新中は、プロジェクトからUSBストレージを外さないでください。USBストレージを取り外すと、ファームウェアの更新が正常に行われなかったことがあります。

プロジェクトのインジケータがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が始まります。

- 11** 更新が完了したら、Rebootが表示されます。Rebootを選択して、【決定】ボタンを押します。

更新が終わったら、[情報] メニューで [バージョン] が正しく更新されているかを確認します。

☞ [情報] > [情報表示] > [バージョン]



- すべてのインジケーターが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- タイムアウトやほかの原因でファームウェア更新に失敗したときは、以下を確認してください。
 - USBメモリーに十分な空き容量があること。
 - USBメモリーが書き込み禁止になっていないこと。

ネットワーク経由でファームウェアを更新する

サーバー上に最新のファームウェアがアップロードされると、ネットワーク経由でプロジェクター本体のファームウェア更新ができるようになります。

ファームウェア更新の手順は、[ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] の設定により異なります。

- [通知する]：プロジェクターの電源を入れたときにファームウェア更新の確認画面を表示します。
[OK] ボタンを選択して更新を開始します。
- [通知しない]：[初期・全体設定] メニューからファームウェアの更新ができます。
- [深夜に自動更新]：プロジェクターがスタンバイ状態のとき、0：00～4：00の間に自動でファームウェアの更新をします。
- [オフ]：ネットワーク経由でファームウェアの更新ができません。



- ネットワーク経由でファームウェアを更新するには、DNSサーバーを設定する必要があります。
使用しているネットワークに応じて [有線LAN] メニューまたは [無線LAN] メニューの [IP設定] で [DHCP] を [オン] に設定してください。[DHCP] を [オフ] に設定している、またはDNSサーバーのアドレスを別に設定したい場合は、[DNSサーバー1] または [DNSサーバー2] でIPアドレスを入力してください。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN]
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [有線LAN]
- Epson Projector Management Connectedを使用している場合は、[ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] を [オフ] に設定することをお勧めします。

[ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] を [通知しない] に設定しているときは、以下の手順でファームウェアを更新します。
[ファームウェア更新設定] を [通知する] に設定していて、プロジェクターの電源オン時に [OK] を選択しなかった場合や、[深夜に自動更新] に設定していてもプロジェクターの電源が入っていただけ更新されなかった場合も同様の手順でファームウェアを更新できます。

- 1** 【メニュー】 ボタンを押し、[情報] を選択して【決定】 ボタンを押します。
- 2** [ファームウェア更新] を選択し、【決定】 ボタンを押します。

- 3** [ネットワーク経由で実行] を選択して【決定】ボタンを押します。



- サーバー上に最新のファームウェアがアップロードされていない場合は、[ネットワーク経由で実行] を選択できません。
- [ネットワーク] メニューの [ファームウェア更新設定] を [オフ] に設定している場合は [ネットワーク経由で実行] を選択できません。

- 4** [はい] を選択して、ファームウェア更新を開始します。



ファームウェアの更新中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

プロジェクターのインジケータがすべて点灯から点滅に変わり、ファームウェアの更新が始まります。更新が正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。[動作] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、更新後に自動で電源が入ります。

☛ [動作] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]

更新が終わったら、[情報] メニューで [バージョン] が正しく更新されているかを確認します。

☛ [情報] > [情報表示] > [バージョン]



すべてのインジケータが高速で点滅するときは、ファームウェアの更新が失敗した可能性があります。

プロジェクターから電源コードを抜いて、もう一度差し直してください。電源コードを差し直しても点滅するときは、コンセントから電源プラグを抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー」 [p.222](#)
- 「情報メニュー」 [p.233](#)
- 「動作メニュー」 [p.214](#)
- 「初期・全体設定メニュー」 [p.236](#)

困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「トラブルの対処方法」 [p.255](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.256](#)
- 「ステータス表示を確認する」 [p.260](#)
- 「映像や音声に関するトラブル」 [p.261](#)
- 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.269](#)
- 「ネットワークに関するトラブル」 [p.271](#)
- 「コンテンツ再生モードに関するトラブル」 [p.275](#)
- 「HDMIリンクで操作できない」 [p.276](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

- インジケーターで本機の状態を確認する。
- 本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

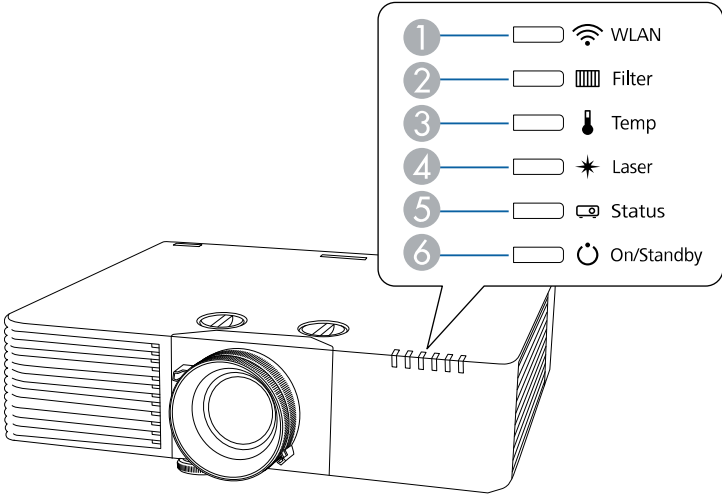


本機を修理に出された場合、初期化してお返すことがあります。各種オンラインサービスのアカウント情報を必ずお控えの上、修理をご依頼ください。

🖱️ [動作] > [動作設定] > [インジケーター表示]

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。

- 各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 〔動作〕メニューの〔インジケータ表示〕が〔オフ〕に設定されている場合は、インジケータがすべて消灯しています。
☛ 〔動作〕 > 〔動作設定〕 > 〔インジケータ表示〕



- ① 無線LANインジケータ
- ② フィルターインジケータ
- ③ 温度インジケータ
- ④ レーザーインジケータ
- ⑤ ステータスインジケータ

⑥ 電源インジケータ

プロジェクターの状態

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中、またはクールダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	スタンバイ状態、スリープモード、ネットワーク監視状態のいずれかの状態です。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点滅 ステータス：消灯 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：消灯	ネットワーク監視、または高速起動モードの準備状態のため、すべての操作が無効になります。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：状態依存 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	リフレッシュモード動作中です。 ☛ [管理] > [リフレッシュモード]
電源：青点灯 ステータス：青点灯 レーザー：橙点灯 温度：橙点灯 フィルター：消灯	一括設定実行中です。 メモリーへの保存とデバイスへの書き込み準備をしています。
電源：青点滅 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：橙点滅 フィルター：消灯	一括設定実行中です。 メモリーへの保存とデバイスへの書き込みをしています。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：橙点滅 フィルター：状態依存	内部温度が高くなっています。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 高温にならない環境で使用するようにします。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点灯 フィルター：消灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - 高温にならない環境で使用するようにします。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[設置]メニューの[高地モード]を[オン]にします。 - 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	レーザー警告です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点灯 温度：消灯 フィルター：消灯	レーザー異常です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：橙点滅 フィルター：消灯	ファン異常またはセンサー異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点滅 温度：消灯 フィルター：消灯	内部異常状態です。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：橙点滅	エアフィルター清掃通知です。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 レーザー：状態依存 温度：状態依存 フィルター：橙点灯	エアフィルター風量警告です。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：消灯 温度：消灯 フィルター：橙点灯	風量低下異常です。 - エアフィルターや排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 - エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 - 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：状態依存 ステータス：状態依存 レーザー：橙点滅 温度：状態依存 フィルター：状態依存	光源の明るさを一定に保つ明るさ一定運用が終了します。  [動作] > [光源明るさ制御] > [明るさ一定運用]
電源：消灯 ステータス：青点滅 レーザー：橙点灯 温度：橙点灯 フィルター：消灯	電源電圧異常です。 ACマイコンとの通信エラーです。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

無線LANの状態

無線LANインジケータの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANが使用可能、またはシンプルAPモードで動作中です。
速い青点滅	アクセスポイントに接続中です。
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。

無線LANインジケータ ーの状態	状態と対処方法
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。

▶ 関連項目

- 「エアフィルターと吸気口を清掃する」 [p.246](#)
- 「エアフィルターを交換する」 [p.248](#)

本機の状態やエラーをステータス表示で確認できます。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3** [情報] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- [Output Signal]：出力映像信号情報



ステータスは英語で表示されます。詳しくは『ステータス表示ガイド』をご覧ください。

- 4** [ステータス表示] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5** 左右ボタンを押して、カテゴリごとの以下の情報を表示します。
 - [System]：本機のシステム状態
 - [Version]：本機のファームウェアバージョン
 - [Network Wired]：有線LAN設定
 - [Network Wireless]：無線LAN設定
 - [Input Signal]：入力映像信号情報

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- 「映像が表示されない」 [p.261](#)
- 「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.262](#)
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.262](#)
- 「映像の一部が表示されない」 [p.263](#)
- 「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.263](#)
- 「映像がぼやける」 [p.264](#)
- 「映像がゆがむ」 [p.264](#)
- 「映像の明るさや色合いが違う」 [p.265](#)
- 「自動補正がうまくできない」 [p.265](#)
- 「シンプルスタッキングがうまくできない」 [p.266](#)
- 「シンプルブレンディングがうまくできない」 [p.266](#)
- 「映像に残像が残る（焼き付き）」 [p.267](#)
- 「音が出ない、小さい」 [p.267](#)
- 「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.267](#)
- 「PC Freeで映像が投写できない」 [p.268](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- プロジェクターまたはリモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- 必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。

- 操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。[管理]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
- プロジェクターのどのボタンを押しても解除できない場合は、本機が故障している可能性があります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- [映像調整]メニューの[明るさ]を調整します。
☛ [映像調整] > [画質調整] > [明るさ]
- 光源の明るさを設定します。
☛ [動作] > [光源明るさ制御]
- [表示]メニューの[メッセージ表示]を[オン]に設定します。
- 著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。

▶ 関連項目

- 「管理メニュー」 [p.218](#)
- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「動作メニュー」 [p.214](#)
- 「表示メニュー」 [p.212](#)
- 「操作ボタンロックを解除する」 [p.143](#)

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合はプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- ノートパソコンから投写するときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。

▶ 関連項目

- 「Windowsのノートパソコンから映像を出力する」 [p.262](#)
- 「Macのノートパソコンから映像を出力する」 [p.262](#)

Windowsのノートパソコンから映像を出力する

ノートパソコンからの投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 1 キーボードのWindowsキーを押しながらPキーを押し、[複製]を選択します。

- 2 ノートパソコンとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの[ディスプレイ]ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。

- 3 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを[ミラー]または[複製]に設定します。

Macのノートパソコンから映像を出力する

Macのノートパソコンからの投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

- 1 [システム環境設定]を開き、[ディスプレイ]を選択します。
- 2 必要に応じて、[ディスプレイ]または[カラーLCD]を設定します。
- 3 [調整]または[アレンジメント]をクリックします。
- 4 [ディスプレイをミラーリング]を選択します。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 「信号入出力」メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。
- HDMIケーブルで接続しているときは、「信号入出力」メニューの「HDMI IN EQレベル」を変更します。設定を変更した後に、プロジェクトの再起動が必要になることがあります。画面の指示に従って操作してください。
- 映像が映らないなどのトラブルが起きるときは、「HDMI IN EQレベル」の設定を変更します。
 - ☛ 「信号入出力」 > 「HDMI IN EQレベル」 > 「HDMI1」
 - ☛ 「信号入出力」 > 「HDMI IN EQレベル」 > 「HDMI2」

▶ 関連項目

- 「信号入出力メニュー」 [p.206](#)
- 「対応解像度」 [p.288](#)

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- お使いのスクリーンに合わせて、「設置」メニューの「スクリーンタイプ」が正しく設定されているか確認します。

映像を表示する領域と映像との間に余白が生じたときは、映像の位置を調整します。
- 「映像調整」メニューの「表示倍率」がオフになっていることを確認します。
- 「スクリーン位置」で映像の表示位置を調整してみます。

☛ 「設置」 > 「スクリーン位置」

- 「映像調整」メニューの「アスペクト」で、アスペクト比を選択してください。
- 映像が希望どおりに表示されるよう、「設置」メニューの「ブランキング」の設定を変更します。
- 【Eズーム】ボタンで映像を拡大・縮小したときは、【戻る】ボタンを押してEズームを解除します。
- コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確認します。
- プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度をを超えていないか確認します。
- コンテンツ再生モードで投写しているときは、「エフェクト」機能の設定を確認します。
 - ☛ 「動作」 > 「コンテンツ再生」 > 「エフェクト」
- 「設置」メニューで「設置モード」を正しく設定します。

▶ 関連項目

- 「設置メニュー」 [p.208](#)
- 「映像の位置を調整する（スクリーン位置）」 [p.58](#)
- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「対応解像度」 [p.288](#)
- 「映像に効果を加える（エフェクト機能）」 [p.111](#)

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。

- 干渉を受けないように、電源コードから離れている
- ケーブルの両端が確実に接続されている
- 延長ケーブルを使用していない
- [映像調整] メニューの [ノイズリダクション]、[MPEGノイズリダクション] を設定します。
 - ☛ [映像調整] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]
 - ☛ [映像調整] > [イメージ強調] > [MPEGノイズリダクション]
- コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- 映像のゆがみを補正したときは、[映像調整] メニューで [シャープネス] を低い値に設定し、表示画質を向上させます。
- 延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- [信号入出力] のメニューで [ビデオレンジ] や [EDID] を正しく設定します。
- インターレース信号入力時はラインダブラー処理が行われないため、投写映像がちらつく場合があります。インターレース信号は外部機器を使ってプログレッシブ変換してから入力することをお勧めします。

▶ 関連項目

- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「対応解像度」 [p.288](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.206](#)

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- テストパターンを表示して、フォーカスリングでピントを調整します。

- 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして補正時の調整値を小さくします。
- 本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- [映像調整] メニューで [シャープネス] を調整して、投写映像の画質を上げます。
- コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶ 関連項目

- 「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.78](#)
- 「レンズを清掃する」 [p.244](#)
- 「画質メニュー」 [p.203](#)

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- タテヨコ台形補正で台形のゆがみを補正します。
 - ☛ [マルチプロジェクション] > [幾何学歪み補正] > [タテヨコ台形補正]
- Quick Cornerでコーナーの形状を個別に補正します。
 - ☛ [マルチプロジェクション] > [幾何学歪み補正] > [Quick Corner]

- 湾曲した投写面に投写するときは、[曲面投写補正]で映像の形状を補正します。
☛ [マルチプロジェクション] > [幾何学歪み補正] > [曲面補正モード] > [曲面投写補正]
- 屈曲した投写面に投写するときは、[コーナー投写補正]で映像の形状を補正します。
☛ [マルチプロジェクション] > [幾何学歪み補正] > [コーナー補正モード] > [コーナー投写補正]
- [ポイント補正]で部分的に発生するわずかなゆがみを補正します。
☛ [マルチプロジェクション] > [幾何学歪み補正] > [ポイント補正モード] > [ポイント補正]

▶ 関連項目

- 「タテヨコ台形補正で映像のゆがみを補正する」 [p.64](#)
- 「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.65](#)
- 「曲面補正モードで映像のゆがみを補正する」 [p.68](#)
- 「コーナー補正モードで映像のゆがみを補正する」 [p.70](#)
- 「ポイント補正モードで映像のゆがみを補正する」 [p.73](#)

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- [映像調整]メニューで[カラーモード]を選択して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- [映像調整]メニューで[明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[色の濃さ]、[RGBCMY]などを設定します。
☛ [映像調整] > [画質調整] > [明るさ]

☛ [映像調整] > [画質調整] > [コントラスト]

☛ [映像調整] > [画質調整] > [色の濃さ]

☛ [映像調整] > [画質調整] > [色合い]

- [信号入出力]のメニューで[ビデオレンジ]や[EDID]を正しく設定します。
- 必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。
- 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- 本機を複数台並べて投写しているときは、[管理]メニューの[光源キャリブレーション]が、すべてのプロジェクターで正しく設定されているか確認します。一部のプロジェクターでのみ光源キャリブレーションが実行されると、ホワイトバランスや明るさレベルのずれが生じることがあります。

▶ 関連項目

- 「映像を最適化する(カラーモード)」 [p.84](#)
- 「画質メニュー」 [p.203](#)
- 「対応解像度」 [p.288](#)
- 「信号入出力メニュー」 [p.206](#)
- 「管理メニュー」 [p.218](#)

自動補正がうまくできない

自動補正がうまくできないときは、次の対処法を確認してください。

- 自動補正機能は、電源オンから30分経ってから実行します。プロジェクター本体の温度が安定しないと、自動補正が正しく機能しないことがあります。
- カメラの周囲に汚れや障害物が無いことを確認します。
- 外付けカメラが正しく装着され、プロジェクターと接続するケーブルが抜けていないことを確認します。

- 外付けカメラが故障している可能性があります。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 補正環境の明るさが変化すると、自動補正が正しく機能しないことがあります。強いスポット光や外光が入らないようにしてください。
- 映像の補正範囲やブレンド幅が推奨範囲内に収まっていることを確認します。スクリーンに対して投写角度が大きい場合は、[幾何学歪み補正]をオフにするか、補正範囲を小さくします。[エッジブレンディング]の設定をしているときは、ブレンド幅を15～43%にします。
- 自動補正を実行中にエラーメッセージが表示されたら、エラーコードを確認してください。

スクリーンマッチング時：

- 0101：測定値異常
- 0102：測定失敗
- 0103：カメラ切替失敗
- 0104/0105：機種不一致

カメラエラー

カラーマッチング時：

- 0201：測定値異常
- 0202：測定失敗
- 0203：カメラ切替失敗
- 0208：カメラエラー

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

シンプルスタッキングがうまくできない

シンプルスタッキングがうまくできないときは、次の対処法を確認してください。

- プロジェクターが適切に設置され、LANケーブルで接続されていることを確認します。
- 外付けカメラが正しく装着され、プロジェクターと接続するケーブルが抜けていないことを確認します。
- 外付けカメラが故障している可能性があります。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 補正環境の明るさが変化すると、シンプルスタッキングが正しく機能しないことがあります。強いスポット光や外光が入らないようにしてください。
- 投写サイズを適切に調整します。
- シンプルスタッキングを実行中にエラーメッセージが表示されたら、エラーコードを確認してください。
 - 0302：測定失敗
 - 0306：幾何学歪み補正エラー
 - 0307/0308：カメラエラー、または通信エラー

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

シンプルブレンディングがうまくできない

シンプルブレンディングがうまくできないときは、次の対処法を確認してください。

- プロジェクターが適切に設置され、LANケーブルで接続されていることを確認します。

- 外付けカメラが正しく装着され、プロジェクターと接続するケーブルが抜けていないことを確認します。
- 外付けカメラが故障している可能性があります。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 補正環境の明るさが変化すると、シンプルスタッキングが正しく機能しないことがあります。強いスポット光や外光が入らないようにしてください。
- 投写サイズを適切に調整します。
- シンプルブレンディングを実行中にエラーメッセージが表示されたら、エラーコードを確認してください。
 - 0402：測定失敗
 - 0406：幾何学歪み補正エラー
 - 0407/0408：カメラエラー、または通信エラー詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

映像に残像が残る（焼き付き）

投写映像に残像（焼き付き）が残るときは、[リフレッシュモード] を使って解消します。[管理] メニューで、[リフレッシュモード] > [開始] を選択します。

▶ 関連項目

- 「管理メニュー」 [p.218](#)

音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の音量設定を調整します。
- 一時的に映像と音を消した場合は、プロジェクターまたはリモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- 一時的に音声を消しているときは、リモコンの【ミュート】ボタンを押して解除します。
- コンピューター、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- HDMIケーブルで接続している機器の音声がでないときは、接続機器の音声出力をPCMに設定します。
- MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。対応していない場合はオーディオケーブルを接続します。
- コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。（Epson iProjection（Windows/Mac）を使用する場合）

▶ 関連項目

- 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.95](#)
- 「プロジェクターを接続する」 [p.37](#)

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

▶▶ 関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 [p.102](#)

PC Freeで映像が投写できない

PC Freeで映像が投写できないときは、次の対処方法を確認してください。

- お使いのUSB機器の転送速度が遅いと、動画を正しく表示できない場合があります。

▶▶ 関連項目

- 「サポートファイル形式」 [p.102](#)

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- 「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.269](#)
- 「リモコンで操作できない」 [p.269](#)
- 「パスワードが入力できない」 [p.270](#)
- 「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 [p.270](#)

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設置]メニューの[リモコン受光部]で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- 本機のボタンはセキュリティ上の目的でロックされていることがあります。[管理]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
- 本機の光源が予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[動作]メニューの[スリープモード]を[オフ]にします。
- 本機の光源が予期せず消えるときは、A/Vミュートタイマーが有効になっている可能性があります。[動作]メニューの[A/Vミュートタイマー]を[オフ]に設定してください。

☛ [動作] > [A/Vミュート設定] > [A/Vミュートタイマー]

- 本機の光源が消え、ステータスインジケーターが点滅して温度インジケーターが点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバーヒート）で電源がオフになっています。
- プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。
- 電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

▶ 関連項目

- 「管理メニュー」 [p.218](#)
- 「動作メニュー」 [p.214](#)
- 「操作ボタンロックを解除する」 [p.143](#)
- 「インジケーターの見方」 [p.256](#)

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。
- 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。

- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。
- [設置] メニューの [リモコン受光部] で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- [リモコン受光部] がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- プロジェクターIDを設定しているときは、プロジェクターIDと同じ番号をリモコンで選択してリモコン操作を有効にします。
- リモコンの【ID】ボタンを押しながら、[0]（ゼロ）ボタンを押します。IDを [0] に設定すると、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

▶ 関連項目

- 「リモコンを操作する」 [p.47](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.46](#)
- 「設置メニュー」 [p.208](#)

- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

注意

[全初期化] や [ネットワーク初期化] を実行すると、[ネットワーク] メニューで設定したすべてのパスワードが初期化され、パスワードの再設定が必要になります。第三者によるパスワードの初期化を防ぐためには、[メニュー保護] で [ネットワーク] を [オン] に設定してください。

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

以下のメッセージが表示されたら、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先先に記載の連絡先にご相談ください。

「時刻を保持する電池残量が低下しています。」

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- 「無線LAN認証できない」 [p.271](#)
- 「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.271](#)
- 「異常が起きたときにメール通知されない」 [p.272](#)
- 「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.272](#)
- 「Miracastで接続できない」 [p.272](#)
- 「Miracastの映像・音声が乱れる」 [p.273](#)
- 「AirPlayで接続できない」 [p.273](#)
- 「AirPlayの映像・音声が乱れる」 [p.273](#)
- 「共有画面を受信できない」 [p.273](#)

無線LAN認証できない

無線LANの認証に失敗するときは、次の対処方法を確認してください。

- 無線LANが正しく設定されていても認証できないときは、[管理] メニューの [日付&時刻] を設定し直してください。
- [ネットワーク] メニューで [セキュリティ] の設定を確認します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [無線LAN] > [セキュリティ]
- アクセスポイントのセキュリティがWPA3-EAPに設定されているときは、WPA2/WPA3-EAPに設定します。

▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー」 [p.222](#)

Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認します。

- ユーザー名を確認してください。(ユーザー名は変更できません。)
 - [ベーシックコントロール] にアクセスするときのユーザー名：
EPSONREMOTE
 - その他の画面にアクセスするときのユーザー名：**EPSONWEB**
- パスワードには、[ネットワーク] メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは設定されていません。
- アクセスポイントに接続している場合、プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- お使いのWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、[Epson Web Control] 画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。
- [動作] メニューの [待機モード] が [ノーマル] のスタンバイ状態のとき、接続しているネットワーク機器の電源が入っていることを確認します。ネットワーク機器の電源を入れた後、プロジェクターを再起動してください。無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

▶ 関連項目

- 「動作メニュー」 [p.214](#)

異常が起きたときにメール通知されない

プロジェクターの異常/警告を通知するメールが受け取れないときは、次の対処方法を確認してください。

- 本機の電源が入っているか、ネットワークに正しく接続されているか確認します。本機に致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になったときは、メールが送信できないことがあります。
- [メール通知] メニューまたはネットワークソフトウェアでメール通知機能を正しく設定していることを確認します。
- 本機がスタンバイ状態のときもプロジェクターを監視できるように、[動作] メニューの [待機モード] を [ノーマル] に設定します。
無線で接続するときは、無線LANアクセスポイント経由で接続してください。

▶ 関連項目

- 「ネットワーク設定 - メール通知メニュー」 [p.228](#)
- 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.46](#)

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎていないか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。

- Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- 映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

Miracastで接続できない

Miracastでプロジェクターに接続できないときは、次の対処方法を確認してください。

- プロジェクターの設定を確認します。
 - [シンプルAP] を [オン] に設定します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [シンプルAP]
 - [Miracast] を [オン] に設定し、プロジェクターを再起動します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [ネットワーク投写] > [Miracast]
 - [Miracast] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定し、プロジェクターを再起動します。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [ネットワーク投写] > [Miracast]
- モバイルデバイスの設定を確認します。
 - モバイル Miracastデバイスの設定が正しいことを確認します。
 - 接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから再接続します。
 - モバイルデバイスを再起動します。
 - 一度 Miracastで接続すると、モバイルデバイスに本機の接続情報が記録されることがありますが、この画面からは再接続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、再度本機を選択してください。

▶ 関連項目

- ・「ネットワーク設定メニュー」 [p.223](#)
- ・「ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー」 [p.231](#)

Miracastの映像・音声が乱れる

Miracastでモバイルデバイスから投写した映像・音声 that 乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- ・モバイルデバイスで Miracastとインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止します。
- ・Miracastで投写できるコンテンツであることを確認します。
- ・モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認します。
- ・モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアを最新の状態に更新します。

AirPlayで接続できない

AirPlayできないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・プロジェクターの設定を確認します。
 - ・Apple デバイスとプロジェクターが同じネットワーク接続を使用していることを確認します。
 - ・AirPlayとHomeKitの設定画面で AirPlayをオンに設定します。
- ・プロジェクターを再起動します。
- ・Appleデバイスの設定が正しいことを確認します。

- ・プロジェクターで日時を設定していない、または日時にずれがある場合、AirPlayが途中で切断されることがあります。

[管理] メニューの [日付&時刻] で正しい日時を設定してください。

AirPlayの映像・音声 that 乱れる

AirPlayでの映像・音声 that 乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・アクセスポイントと Appleデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- ・AppleデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- ・AirPlayでストリーミングまたはミラーリングできるコンテンツであることを確認します。
- ・Appleデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。Appleデバイスの省電力設定などを確認します。
- ・Appleデバイスのソフトウェアアップデートを最新の状態に更新します。

共有画面を受信できない

他のプロジェクターから配信された画面を受信できないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・画面を共有しているプロジェクターと同じネットワークに接続してください。
- ・[画面共有] の設定を [オン] にします。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定] > [ネットワーク投写] > [画面共有]

- Epson iProjectionで接続しているコンピューターやモバイルデバイスがないことを確認します。
- 画面を共有しているプロジェクターとファームウェアのバージョンが異なるときは、ファームウェアの更新が必要になることがあります。

▶ 関連項目

- 「ネットワーク設定 - ネットワーク投写メニュー」 [p.231](#)

プレイリストを再生できないときは、次の対処法を確認してください。

- 「動作」メニューの「コンテンツ再生」を「オン」に設定してください。
- プレイリストがUSBメモリーに保存されていることを確認します。
- USBメモリーが直接本機に接続されていることを確認します。マルチカードリーダーやUSBハブを使用しないでください。
- お使いのUSBメモリーに複数のパーティションが作成されていると、プレイリストが正しく再生されないことがあります。パーティションをひとつにしてからプレイリストを保存してください。
- 解像度の異なるプロジェクターで同じプレイリストを再生しないでください。「動作」メニューの「エフェクト」機能を使って追加された色や形の装飾が正しく再生されないことがあります。

▶ 関連項目

- 「マルチプロジェクションメニュー」 [p.210](#)

HDMIリンクで接続機器を操作できないときは、次の対処方法を確認してください。

- お使いのケーブルがHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。
- 接続機器がHDMI CEC規格に準拠しているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDMIリンクを使うために必要なケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 接続機器の電源がスタンバイ状態になっているか確認します。詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- スピーカーを接続しているときは、PCM出力に設定します。
- 新しく機器を接続したり、接続を変更した後に操作できないときは、接続機器のCEC機能を設定し直して、再起動します。
- 4台以上のマルチメディアプレイヤーを接続しないでください。HDMI CEC規格で同時に接続できるプレイヤーは3台までです。
- HDMI CEC規格に準拠していない機器は 接続機器一覧に表示されません。HDMI CEC規格に準拠した機器をお使いください。

付録

お使いの製品の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.278](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.280](#)
- 「対応解像度」 [p.288](#)
- 「本機仕様」 [p.289](#)
- 「外形寸法図」 [p.292](#)
- 「Epson Projector Content Managerの対応機能」 [p.295](#)
- 「安全規格対応シンボルマークと説明」 [p.296](#)
- 「レーザー製品を安全にお使いいただくために」 [p.298](#)
- 「一般のご注意」 [p.300](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2025年1月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- ・「スクリーン」 [p.278](#)
- ・「設置用金具」 [p.278](#)
- ・「無線LAN用オプション」 [p.278](#)
- ・「外付けオプション」 [p.279](#)
- ・「消耗品」 [p.279](#)

スクリーン

60型スクリーンELPSC27

80型スクリーンELPSC28

100型スクリーンELPSC29

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4：3)

70型スクリーンELPSC23

80型スクリーンELPSC24

90型スクリーンELPSC25

携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比16：10)

50型スクリーンELPSC32

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比4：3)

設置用金具

天吊金具 ELPMB22

薄型天吊金具 ELPMB30

天井に取り付けるときに使います。

セーフティーワイヤーセット ELPWR01

落下防止のため、本機と天吊り金具をつなぐときに使います。

パイプ450（450mm）ELPFP13

パイプ700（700mm）ELPFP14

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。



天吊り設置には特別な技術が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

無線LAN用オプション

無線LANユニットELPAP11

無線LAN接続で投写するときに使います。

ワイヤレスプレゼンテーションシステムELPWP20

本機とWindows/Macコンピューターを直接接続して無線で投写するときに使います。2つのトランスミッター（ELPWT01）とひとつのベースユニット（ELPBU01）が含まれています。

外付けオプション

書画カメラELPDC30

書画カメラELPDC21

書画カメラELPDC13

書画カメラELPDC07

書籍や印刷物を拡大表示するときに使います。

HDBaseTトランスミッターELPHD01

HDMI信号を、LANケーブル1本で長距離伝送するためのトランスミッターです。(HDCP2.2には対応していません。)

スピーカーELPSP02

電源内蔵の外付けスピーカーです。

外付けカメラELPEC01

複数台のプロジェクターから投写している映像を自動調整するときに使います。

ケーブルカバーELPCC07W/ELPCC07B

本機を天吊り設置するときは、このケーブルカバーを使って、ケーブル類を目立たなくすることができます。

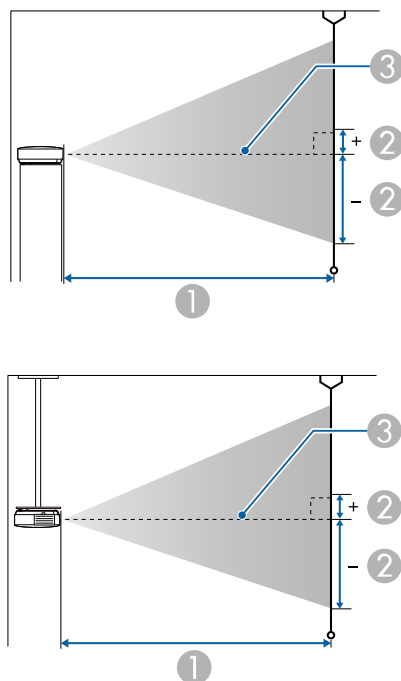
消耗品

エアフィルターELPAF65

使用済みエアフィルターと交換します。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。

投写距離はおおよその値です。



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端までの高さ (上下レンズシフトの設定により変わります) (cm)
- ③ レンズの中心

EB-L890E/EB-L895E/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L690U

16:10 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
50	108 × 67	144	235	-67 - 0
60	129 × 81	174	283	-81 - 0
70	151 × 94	204	331	-94 - 0
80	172 × 108	233	378	-108 - 0
100	215 × 135	292	474	-135 - 0
120	258 × 162	351	569	-162 - 0
150	323 × 202	440	713	-202 - 0
200	431 × 269	588	951	-269 - 0
300	646 × 404	884	1429	-404 - 0
500	1077 × 673	1476	2384	-673 - 0

4:3 screen size		①		②
inch	cm	Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
45	91 × 69	147	240	-69 - 0
50	102 × 76	164	267	-76 - 0
60	122 × 91	197	321	-91 - 0
80	163 × 122	264	429	-122 - 0
100	203 × 152	331	537	-152 - 0
120	244 × 183	398	645	-183 - 0
150	305 × 229	499	807	-229 - 0
200	406 × 305	666	1077	-305 - 0
300	610 × 457	1001	1618	-457 - 0
400	813 × 610	1336	2158	-610 - 0
441	896 × 672	1473	2380	-672 - 0

16:9 screen size		①		②
inch	cm	Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
49	108 × 61	145	237	-64 - 3
50	111 × 62	148	242	-66 - 3
60	133 × 75	179	291	-79 - 4
80	177 × 100	240	389	-105 - 6
100	221 × 125	301	487	-131 - 7
120	266 × 149	361	585	-158 - 8
150	332 × 187	453	733	-197 - 10
200	443 × 249	605	978	-263 - 14
300	664 × 374	909	1469	-394 - 21
400	886 × 498	1213	1959	-526 - 28
486	1076 × 605	1474	2381	-639 - 34

16:6 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
46	109 × 41	147	239	-55 - 14
50	119 × 45	160	260	-59 - 15
60	143 × 54	192	313	-71 - 18
80	190 × 71	258	418	-95 - 24
100	238 × 89	323	524	-119 - 30
120	285 × 107	388	629	-143 - 36
150	357 × 134	486	787	-178 - 45
200	476 × 178	650	1051	-238 - 59
300	713 × 268	976	1578	-357 - 89
400	951 × 357	1303	2105	-476 - 119
452	1075 × 403	1473	2379	-537 - 134

21:9 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
47	110 × 47	147	240	-58 - 11
50	117 × 50	157	255	-61 - 11
60	140 × 60	189	307	-74 - 14
80	187 × 80	253	410	-98 - 18
100	233 × 100	317	514	-123 - 23
120	280 × 120	381	617	-148 - 28
150	350 × 150	477	773	-184 - 34
200	467 × 200	638	1031	-246 - 46
300	700 × 300	958	1549	-369 - 69
400	934 × 400	1279	2066	-492 - 92
461	1076 × 461	1475	2382	-567 - 106

EB-L795SE/EB-L790SU

16:10 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
60	129 × 81	102	175	-81 - 0
70	151 × 94	119	204	-94 - 0
80	172 × 108	137	234	-108 - 0
90	194 × 121	154	264	-121 - 0
100	215 × 135	172	294	-135 - 0
110	237 × 148	189	324	-148 - 0
150	323 × 202	259	443	-202 - 0
200	431 × 269	346	592	-269 - 0
300	646 × 404	521	890	-404 - 0
400	862 × 538	695	1189	-538 - 0

4:3 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
53	108 × 81	102	175	-81 - 0
60	122 × 91	116	198	-91 - 0
70	142 × 107	135	232	-107 - 0
80	163 × 122	155	266	-122 - 0
90	183 × 137	175	300	-137 - 0
100	203 × 152	195	333	-152 - 0
110	224 × 168	214	367	-168 - 0
120	244 × 183	234	401	-183 - 0
200	406 × 305	392	671	-305 - 0
300	610 × 457	590	1009	-457 - 0
353	717 × 538	694	1188	-538 - 0

16:9 screen size		①		②
inch	cm	Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
58	128 × 72	101	174	-76 - 4
60	133 × 75	105	180	-79 - 4
70	155 × 87	123	210	-92 - 5
80	177 × 100	141	241	-105 - 6
90	199 × 112	159	272	-118 - 6
100	221 × 125	177	302	-131 - 7
110	244 × 137	194	333	-145 - 8
120	266 × 149	212	364	-158 - 8
200	443 × 249	356	609	-263 - 14
300	664 × 374	535	915	-394 - 21
389	861 × 484	695	1188	-511 - 27

16:6 screen size		①		②
inch	cm	Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
54	128 × 48	101	174	-64 - 16
60	143 × 54	113	193	-71 - 18
70	166 × 62	132	226	-83 - 21
80	190 × 71	151	259	-95 - 24
90	214 × 80	171	292	-107 - 27
100	238 × 89	190	325	-119 - 30
110	262 × 98	209	358	-131 - 33
120	285 × 107	228	391	-143 - 36
200	476 × 178	382	654	-238 - 59
300	713 × 268	575	984	-357 - 89
362	861 × 323	695	1188	-430 - 108

21:9 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
55	128 × 55	101	174	-68 - 13
60	140 × 60	111	190	-74 - 14
70	163 × 70	130	222	-86 - 16
80	187 × 80	148	254	-98 - 18
90	210 × 90	167	287	-111 - 21
100	233 × 100	186	319	-123 - 23
110	257 × 110	205	351	-135 - 25
120	280 × 120	224	384	-148 - 28
200	467 × 200	375	642	-246 - 46
300	700 × 300	564	966	-369 - 69
369	861 × 369	695	1189	-454 - 85

EB-L690SE/EB-L695SE

16:10 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
80	172 × 108	86	123	-108 - 0
90	194 × 121	97	139	-121 - 0
100	215 × 135	109	154	-135 - 0
110	237 × 148	120	170	-148 - 0
120	258 × 162	131	186	-162 - 0
150	323 × 202	165	233	-202 - 0
200	431 × 269	221	312	-269 - 0
300	646 × 404	334	469	-404 - 0
400	862 × 538	446	627	-538 - 0
500	1077 × 673	558	784	-673 - 0

4:3 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
71	144 × 108	87	123	-108 - 0
80	163 × 122	98	139	-122 - 0
90	183 × 137	111	157	-137 - 0
100	203 × 152	123	175	-152 - 0
110	224 × 168	136	193	-168 - 0
120	244 × 183	149	211	-183 - 0
150	305 × 229	187	264	-229 - 0
200	406 × 305	251	353	-305 - 0
300	610 × 457	378	532	-457 - 0
400	813 × 610	505	710	-610 - 0
441	896 × 672	558	783	-672 - 0

16:9 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
78	173 × 97	86	123	-103 - 5
80	177 × 100	89	126	-105 - 6
90	199 × 112	100	142	-118 - 6
100	221 × 125	112	159	-131 - 7
110	244 × 137	123	175	-145 - 8
120	266 × 149	135	191	-158 - 8
150	332 × 187	170	240	-197 - 10
200	443 × 249	227	321	-263 - 14
300	664 × 374	343	482	-394 - 21
400	886 × 498	459	644	-526 - 28
486	1076 × 605	558	783	-639 - 34

16:6 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
73	174 × 65	87	124	-87 - 22
80	190 × 71	96	136	-95 - 24
90	214 × 80	108	153	-107 - 27
100	238 × 89	120	171	-119 - 30
110	262 × 98	133	188	-131 - 33
120	285 × 107	145	205	-143 - 36
150	357 × 134	182	258	-178 - 45
200	476 × 178	245	345	-238 - 59
300	713 × 268	369	518	-357 - 89
400	951 × 357	493	692	-476 - 119
452	1075 × 403	557	783	-537 - 134

21:9 screen size		①		②
		Minimum (Wide) to Maximum (Tele)		Vertical Lens Shift Bottom to Top
inch	cm			
74	173 × 74	86	123	-91 - 17
80	187 × 80	94	133	-98 - 18
90	210 × 90	106	150	-111 - 21
100	233 × 100	118	168	-123 - 23
110	257 × 110	130	185	-135 - 25
120	280 × 120	142	202	-148 - 28
150	350 × 150	179	253	-184 - 34
200	467 × 200	240	338	-246 - 46
300	700 × 300	362	509	-369 - 69
400	934 × 400	484	680	-492 - 92
461	1076 × 461	558	784	-567 - 106

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度についての詳細は『仕様一覧』をご覧ください。

商品名	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EBL-690SE/EB-L695SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U
外形サイズ	幅440×高さ122×奥行き304 mm（突起部を含まず）
液晶パネルサイズ	0.67型
表示方式	3LCD
有効画素数	WUXGA（横1920×縦1200ドット）×3
スクリーン解像度	2,304,000ピクセル（1,920×1,200×3）
フォーカス調整	手動
ズーム調整	EB-L890E/EB-L895E/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L690U： 1.0～1.6（光学ズーム） EB-L795SE/EB-L790SU： 1.0～1.7（光学ズーム） EB-L690SE/EB-L695SE： 1.0～1.4（光学ズーム）
レンズシフト	手動 上下方向最大約±50% 左右方向最大約±20%
光源	レーザーダイオード
光源出力	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L890U/EB-L790SU： 最大177 W EB-L690E/EB-L790U/EB-L690U： 最大153 W EB-L690SE/EB-L695SE： 最大165 W

波長	449～461 nm
光源使用時間 *	光源モードがノーマルまたは静音の場合：最大約20,000時間 光源モードがロングの場合：最大約30,000時間
音声最大出力	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U： 10 W EB-L690SE/EB-L695SE： —
レーザークラス（内部のレーザー光源）	クラス4
スピーカー	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L790SU/EB-L690U： 1個 EB-L690SE/EB-L695SE： —
電源	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L890U/EB-L790SU： 100-240V AC±10% 50/60Hz 4.8 - 2.1 A EB-L690SE/EB-L695SE/EB-L690E/EB-L790U/EB-L690U： 100-240V AC±10% 50/60Hz 4.4 - 2.0 A

定格消費電力 (100-120V エリア)	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L890U/EB-L790SU : 光源モードがノーマルまたはカスタムの場合 : 470 W 光源モードが静音 : 341 W 光源モードがロングの場合 : 321 W EB-L690SE/EB-L695SE : 光源モードがノーマルまたはカスタムの場合 : 432 W 光源モードが静音 : 313 W 光源モードがロングの場合 : 295 W EB-L690E/EB-L790U/EB-L690U : 光源モードがノーマルまたはカスタムの場合 : 415 W 光源モードが静音 : 305 W 光源モードがロングの場合 : 287 W

定格消費電力 (220-240V エリア)	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L890U/EB-L790SU : 光源モードがノーマルまたはカスタムの場合 : 450 W 光源モードが静音 : 330 W 光源モードがロングの場合 : 310 W EB-L690SE/EB-L695SE : 光源モードがノーマルまたはカスタムの場合 : 415 W 光源モードが静音 : 303 W 光源モードがロングの場合 : 286 W EB-L690E/EB-L790U/EB-L690U : 光源モードがノーマルまたはカスタムの場合 : 399 W 光源モードが静音 : 295 W 光源モードがロングの場合 : 278 W
待機時消費電力	[待機モード] が [有線LAN通信] に設定されている場合 : 2.4 W [待機モード] が [ECO] に設定されている場合 : 0.3 W (100-120Vエリア)、0.4 W (220-240Vエリア)
動作高度	標高 0~3048 m
動作温度範囲 **	標高0~2,286 m : 0~+45°C (湿度20~80%、結露しないこと) 標高2,287~3,048 m : 0~+40°C (湿度20~80%、結露しないこと)
保存温度範囲	-10~+60°C (結露しないこと)

質量	EB-L890E/EB-L895E/EB-L795SE/EB-L890U/EB-L790SU： 約9.5 kg EB-L690E/EB-L790U/EB-L690U： 約9.0 kg EB-L690SE/EB-L695SE： 約10.0 kg

* 光源の明るさが半減するまでの目安時間です。(大気中に含まれる粒子物質が0.04～0.2mg/m3の環境下での使用を想定しています。使用条件や使用環境によって目安時間は変動します。)

** 使用する環境の温度が高くなったときは光源の明るさを自動的に落とします。(標高0～2,286mでは約35℃、標高2,287～3,048mでは約30℃を目安としますが、使用環境等によって異なります。)

定格ラベルは本機の底面に貼り付けられています。

▶ 関連項目

- 「接続端子」 [p.291](#)

Service端子	1	USBコネクター (Bタイプ)
LAN端子	1	RJ-45
HDBaseT端子	1	RJ-45
RS-232C端子	1	ミニD-Sub 9pin (オス)

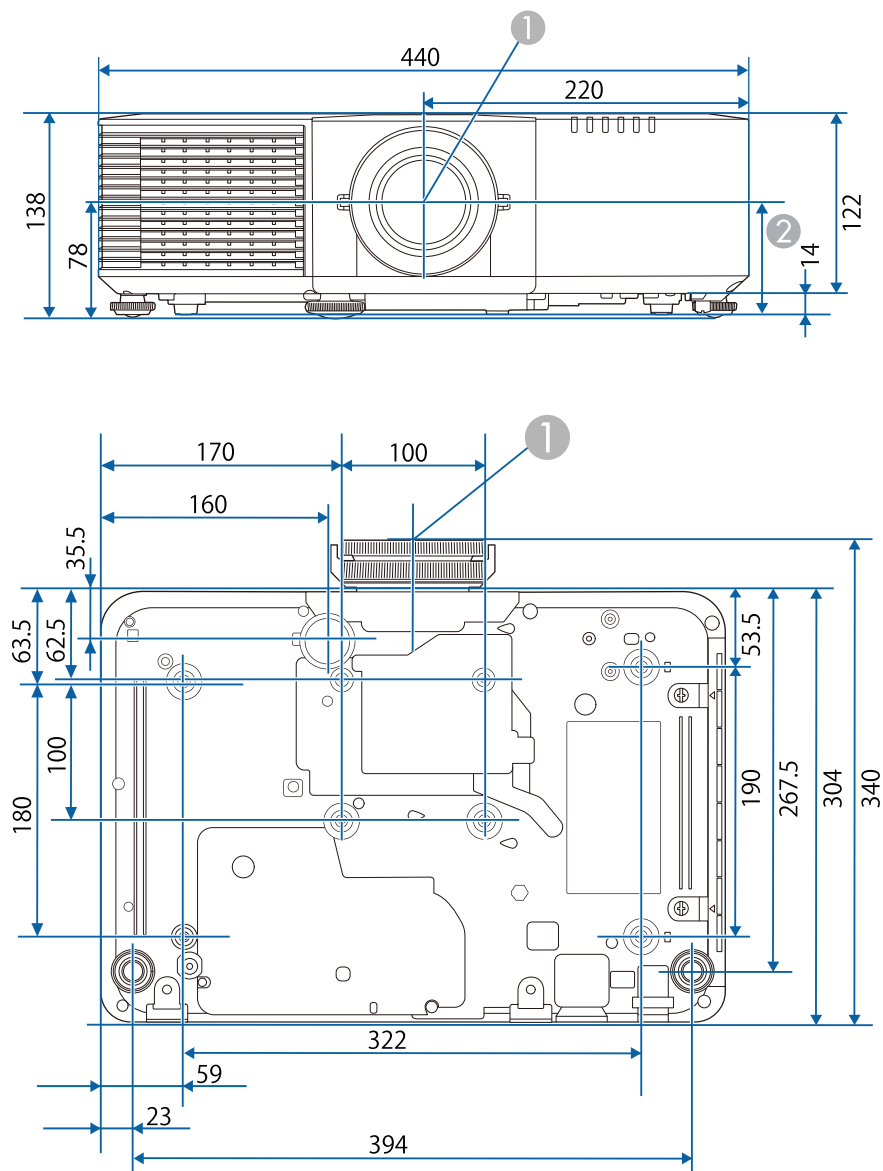


- USB-A端子とUSB-B端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB端子はUSB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- USB-B端子はUSB 1.1には対応していません。

接続端子

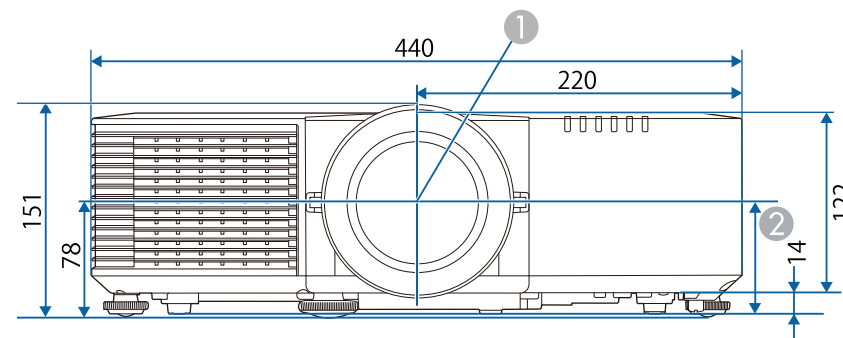
Audio Out端子	1	ステレオミニピンジャック 出力レベル：2Vrms 出力抵抗：100 ohm
HDMI1端子	1	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
HDMI2端子	1	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
HDMI Out端子	1	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
USB-A端子	2	USBコネクター (Aタイプ、5V===2.0Aおよび5V===900mA)

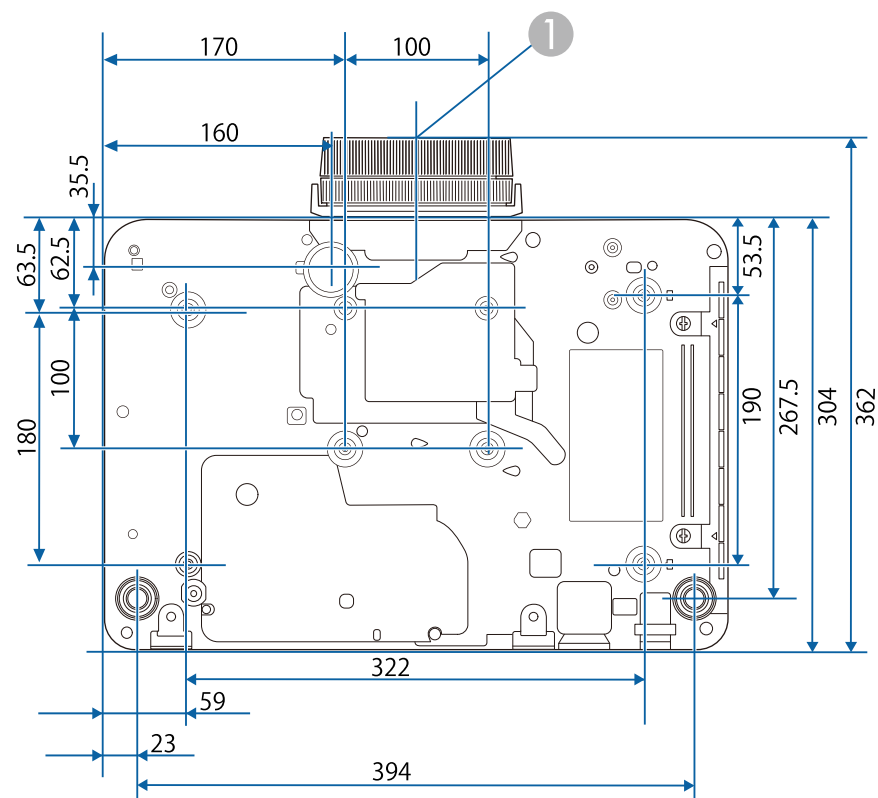
EB-L890E/EB-L895E/EB-L690E/EB-L890U/EB-L790U/EB-L690U



- ① レンズの中心
- ② レンズの中心から天吊り固定部までの寸法：76 mm

EB-L790SU

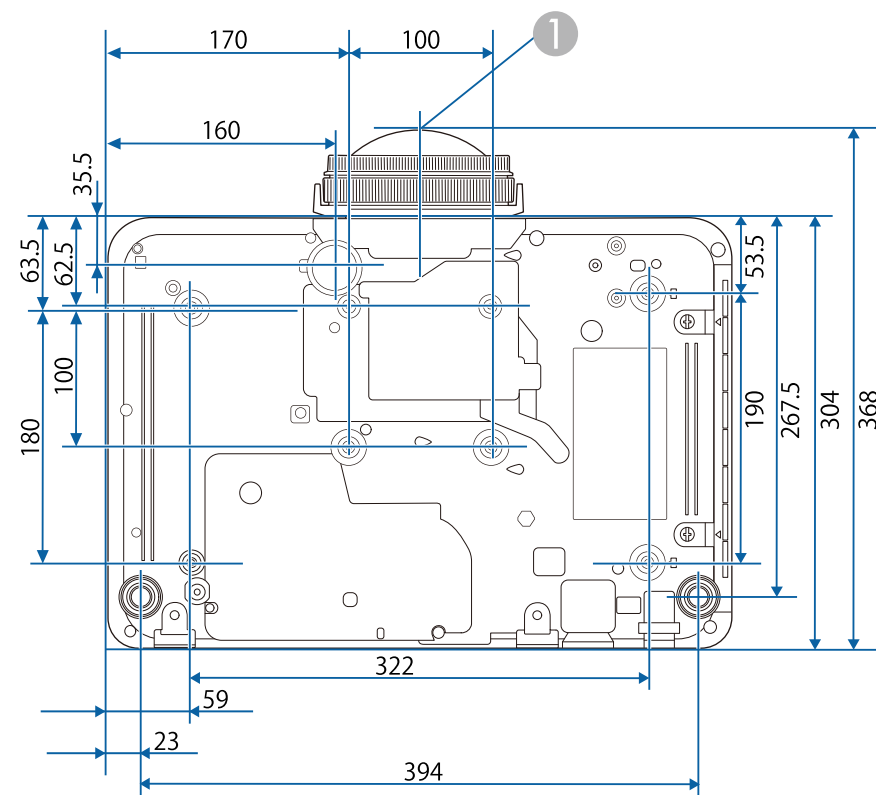
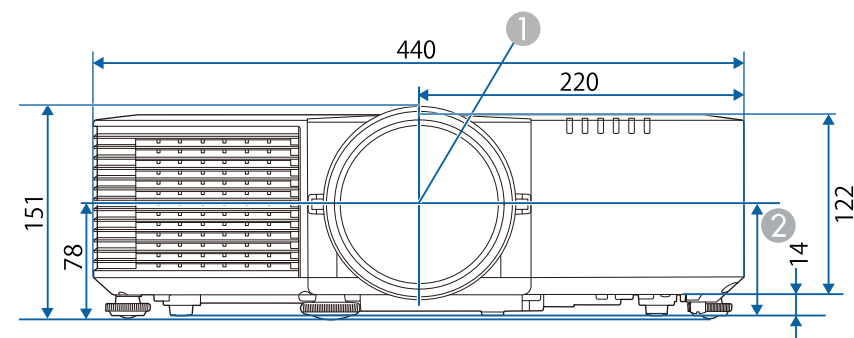




① レンズの中心

② レンズの中心から天吊り固定部までの寸法：76 mm

EB-L690SE/EB-L695SE



- ① レンズの中心
- ② レンズの中心から天吊り固定部までの寸法：76 mm

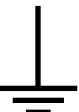
単位：mm

本機はEpson Projector Content Managerの以下の機能をサポートしています。

機能/設定項目		
同期再生		-
ネットワーク経由でプロジェクターにプレイリストを保存する		✓
[設定] > [動画形式]	自動選択	✓
	AVI形式	✓
	MP4形式	-

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No. 5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No. 5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No. 5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No. 0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No. 5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No. 6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No. 5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No. 5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No. 8と同じ
⑩		IEC60417 No. 5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No. 5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No. 11と同じ
⑬		IEC60417 No. 5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No. 5017	アース No. 13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No. 5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
16		IEC60417 No. 5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
17		IEC60417 No. 5172	クラスⅡ機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスⅡ機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いたはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
24		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
26		IEC60417 No. 6056	注意（可動ファンのブレード） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。
27		IEC60417 No. 6043	注意（鋭利な角） 保護規定上、鋭利な角には触れてはいけないことを指示する。
28		—	プロジェクター動作中の投写レンズのぞき込み禁止。
29		ISO7010 No. W027 ISO 3864	警告、光放射（UV、可視光、IRなど） 光放射の近くにいるときは、目や肌に負傷を与えないように注意してください。
30		IEC60417 No. 5109	居住区域使用禁止 居住区域での使用に適さない電気機器・装置であることを示す。

本機はIEC60825-1:2014とEN60825-1:2014+A11:2021に適合したクラス1レーザー製品です。

以下の注意事項を必ず守ってご使用ください。

⚠ 警告

- 本機はクラスA機器です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させるおそれがあります。利用者は製品使用時に適切な手段を講じなくてはならないことがあります。
- 本機のケースを開けないでください。内部に高出力レーザー製品が組み込まれています。
- 本機の光源を直接見ないでください。強い光が視力障害などの原因となります。

⚠ 注意

本機を廃棄する場合は分解しないでください。国や地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。



本機的光源はレーザーを使用しています。レーザーには以下のような特性があります。

- 使用環境によって、光源の輝度が低下します。温度が高くなるほど、輝度の低下が大きくなります。
- 使用時間の経過にともない、光源の輝度が低下します。使用時間と輝度低下の関係は明るさ設定で変更できます。

▶ 関連項目

- 「レーザー警告ラベル」 [p.298](#)

レーザー警告ラベル

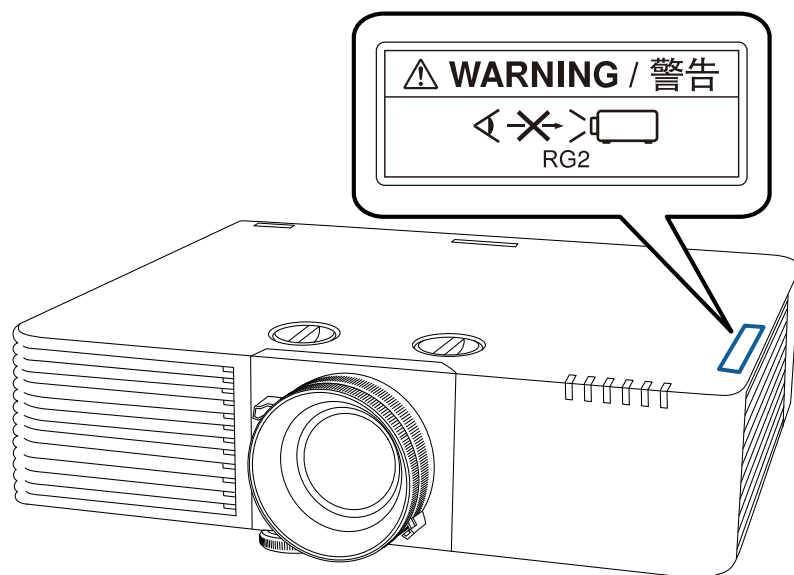
本機には以下のレーザー警告ラベルが貼られています。

内部



上面

投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。
(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)



⚠ 警告

- 投写中は本機のレンズをのぞき込まないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様やペットの行動にご注意ください。
- 投写中は、光源から放射されるレーザービームをのぞかないでください。(RG2 IEC/EN 62471-5:2015に準拠)
- 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- 小さなお子様には操作させないでください。操作する可能性がある場合は、必ず保護者が同伴してください。
- 投写中はレンズをのぞきこまないでください。また、ルーペや望遠鏡などの光学機器を用いてレンズをのぞかないでください。視覚障害の原因になることがあります。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「使用限定について」 [p.300](#)
- 「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 [p.300](#)
- 「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 [p.300](#)
- 「JIS C 61000-3-2適合品」 [p.300](#)
- 「表記について」 [p.300](#)
- 「商標について」 [p.301](#)
- 「ご注意」 [p.301](#)
- 「著作権について」 [p.302](#)

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

- 日本国内向けの本製品を海外で利用した場合は、保証の対象外となります。国内で販売する本製品は、日本国内使用を意図した安全規格基準のみ対応しているため、日本国以外でのご使用は違法となる場合があります。また、国や地域によっては電波使用制限があるため、ネットワーク機能を海外で使った場合、罰せられることがあります。

- 電源コードは日本国内向けの電源仕様に基つき同梱されています。本機を日本国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- Microsoft® Windows® 10 operating system
- Microsoft® Windows® 11 operating system

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows 8.1」、「Windows 10」、「Windows 11」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- macOS 10.13.x
- macOS 10.14.x
- macOS 10.15.x
- macOS 11.0.x

- macOS 12.0.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムを総称する場合は「Mac」と表記します。

商標について

App Storeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. のサービスマークです。

Apple、Mac、macOS、AirPlay、Apple Home、Apple TV、HomeKit、HomePod およびHomePod Miniは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

Wi-Fi[®]、WPA2[™]、WPA3[™]、Wi-Fi CERTIFIED Miracast[®]はWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。

Chrome、Chromebook、Google PlayはGoogle LLC.の商標です。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。 

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

PJLinkは、日本、米国、その他の国や地域における商標、または登録商標です。

Crestron[®]、Crestron Connected[®]、Crestron Fusion[®]、Crestron Control[®]、およびCrestron RoomView[®]は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

Intel[®]は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

Extron[®]およびXTP[®]は、RGB Systemsの登録商標です。

HDBaseT[™]およびHDBaseT Allianceロゴは、HDBaseT Allianceの登録商標です。

Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2025 Seiko Epson Corporation

2025.4 414567801 EN